

科学技術に関する国民意識調査
－科学技術とウェルビーイングとの関係－

2023 年 8 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第1調査研究グループ

細坪護拳 加納圭 渡邊英一郎

本 DISCUSSION PAPER は、所内での討論に用いるとともに、関係の方々からの御意見を頂くことを目的に作成したものである。

また、本 DISCUSSION PAPER の内容は、執筆者の見解に基づいてまとめられたものであり、必ずしも機関の公式の見解を示すものではないことに留意されたい。

The DISCUSSION PAPER series are published for discussion within the National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP) as well as receiving comments from the community.

It should be noticed that the opinions in this DISCUSSION PAPER are the sole responsibility of the author(s) and do not necessarily reflect the official views of NISTEP.

【調査研究体制】

細坪護拳	科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 上席研究官
加納 圭	科学技術・学術政策研究所 客員研究官 滋賀大学教育学部教授
渡邊英一郎	科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 総括上席研究官

【Contributors】

HOSOTSUBO Moritaka Senior Research Fellow,
1st Policy-Oriented Research Group,
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT.

KANO Kei Affiliated Fellow, NISTEP, MEXT.
Professor, Department of Education, Shiga University.

WATANABE Eiichiro Director, 1st Policy-Oriented Research Group,
NISTEP, MEXT.

本報告書の引用を行う際には、以下を参考に出典を明記願います。
Please specify reference as the following example when citing this paper.

細坪護拳, 加納圭, 渡邊英一郎, 「科学技術に関する国民意識調査－科学技術とウェルビーイングとの関係－」, *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.224, 文部科学省科学技術・学術政策研究所.

DOI: <https://doi.org/10.15108/dp224>

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and WATANABE Eiichiro, “Public Attitudes to Science and Technology – The relationship between science and technology and well-being –” *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.224, National Institute of Science and Technology Policy, Tokyo.

DOI: <https://doi.org/10.15108/dp224>

科学技術に関する国民意識調査－科学技術とウェルビーイングとの関係－

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

細坪護孝 加納圭 渡邊英一郎

要旨

15 歳から 69 歳までの男女合計 6,600 人に対し、科学技術の進歩が健康状態、身の周りの安全、経済成長、脱炭素等の 22 のウェルビーイング分野の増進に繋がっているか国民の意識を調べたところ、「(どちらかという) そう思う」が 50%を超えるのは、健康状態、経済成長の 2 分野であった。健康状態、経済分野それぞれにおいて年齢別に「(どちらかという) そう思う」の回答割合を調べたところ、いずれも若い世代(19 歳以下)とシニア世代(60 歳以上)で高いことが判明した。

一方、国民のウェルビーイング測定項目として幸福度(「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とする)について訊いたところ、6 点以上の回答割合が 62%となり、男女別では男性の幸福度が女性に比べて低かった。

科学技術の進歩が健康状態、経済成長の増進に繋がっているとする回答と幸福度が高いとする回答について両者の相関を調べたところ相関関係があった。

Public Attitudes to Science and Technology - The relationship between science and technology and well-being -

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and WATANABE Eiichiro

1st Policy-Oriented Research Group, NISTEP, MEXT

ABSTRACT

We conducted a survey of a total of 6,600 male and female between the ages of 15 and 69. When we surveyed people's awareness of whether or not advances in science and technology are leading to improvements in 22 areas of well-being, including health conditions, personal safety, economic growth, and decarbonization, we found that more than 50% of respondents answered that they "(somewhat) agree" in two areas: health conditions and economic growth. When we examined the percentage of respondents who answered "I think so" by age in each of the health conditions and economic growth, we found that both the younger generation (under 19 years old) and the senior generation (over 60 years old) were higher.

On the other hand, when asked about the level of happiness (10 points for "very happy" and 0 points for "very unhappy") as a measure of people's well-being, 62% responded with a score of 6 or higher, indicating that men's happiness levels were lower than women's.

When we examined the correlation between the responses that the advancement of science and technology leads to improved health conditions and economic growth and the response that the level of happiness is high, a correlation was found.

目次

概要	i ~ x i
1. はじめに	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査期間及び調査方法	1
(3) 調査時点	1
(4) 調査項目	1
3. 調査結果	
(1) 科学技術とウェルビーイングの関係に関する国民の意識に関する調査結果	2
(2) ウェルビーイング測定項目についての調査結果	28
(3) 各ウェルビーイング分野における増進と満足度との間の相関分析	58
(4) 科学技術とウェルビーイングの関係以外の科学技術政策に関する意識	119
(5) 科学技術の発展にともなう不安と満足度との間の相関分析	139
4. おわりに	152
5. 参考文献	152
質問票	153
インターネット調査質問票その1	155
インターネット調査質問票その2	176

概 要

【概要】

(1)はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2023 年度調査(2023 年 6 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 6,600 人にインターネットを使って調査したものである。

(2)調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

1)調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

2)調査期間及び調査方法

2023 年 6 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=6,600 で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数(男性 3,300 名、女性 3,300 名)、15-19 歳、20-24 歳、25-29 歳…60-64 歳、65-69 歳で同数(11 の年齢層、1 年齢層当たり 600 名)とした。

3)調査時点

2023 年 6 月 7 日から 6 月 21 日にかけて実施した。

4)調査項目

今般の調査では特に科学技術とウェルビーイングとの関係を把握することが目的である。

(3)調査結果の概要

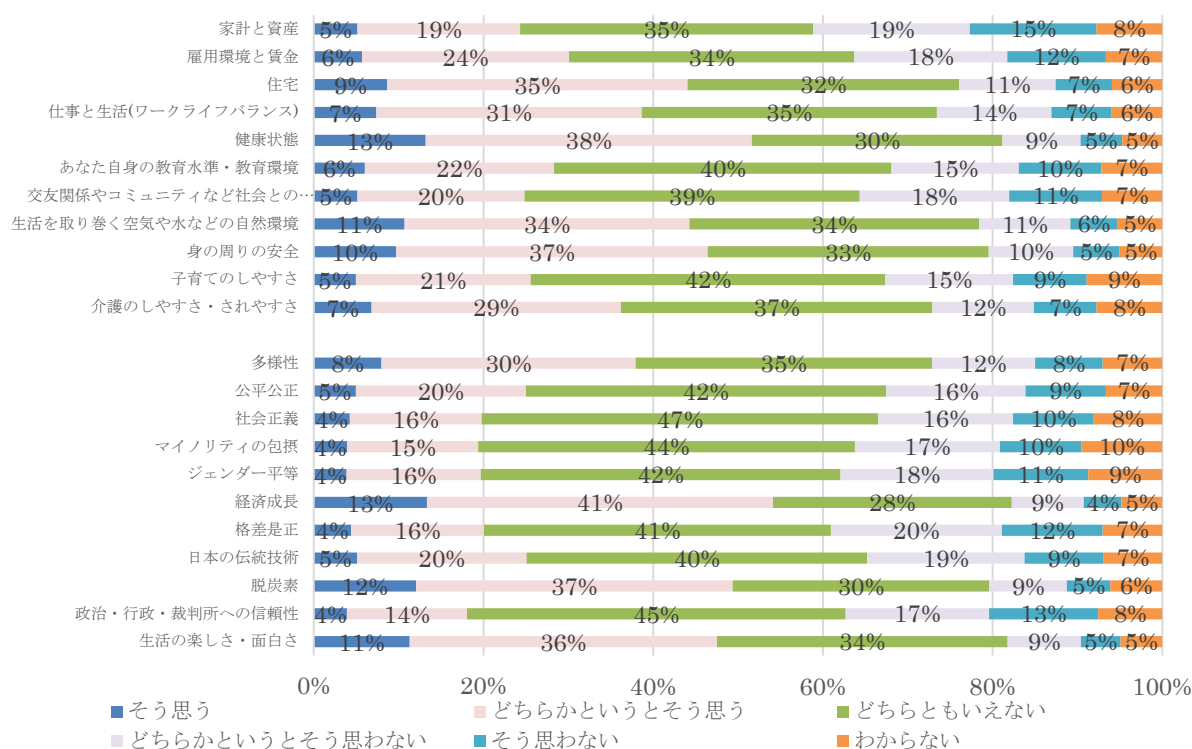
概要では、調査結果のうち、1)科学技術とウェルビーイングの関係に関する国民の意識に関する調査結果について示すとともに、2)ウェルビーイング測定項目についての調査結果、3)各ウェルビーイング分野における増進と満足度との間の相関分析、4)科学技術の発展にともなう不安と満足度との間の相関分析についても紹介する。

本調査では一人ひとりの多様な幸せ(以下において「ウェルビーイング」という)をもたらす分野として「満足度・生活の質に関する調査報告書 2022(内閣府)」^[1]において満足度が調べられている 11 分野に準拠して設定した(概要図表 1-1 の上段 11 分野)。さらに、NISTEP が検討し設定した 11 分野を加えた(概要図表 1-1 の下段 11 分野)。

1) 科学技術とウェルビーイングの関係に関する国民の意識に関する調査結果

① 科学技術の進歩が各ウェルビーイング分野の増進に繋がっているかについての国民の意識

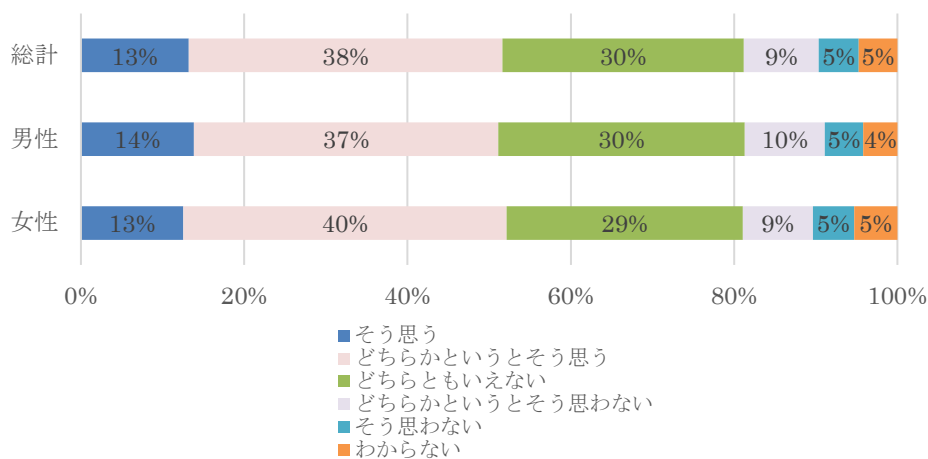
科学技術の進歩が上述のウェルビーイング 22 分野の増進に繋がっているか国民の意識を調べたところ、概要図表 1-1 となり、「(どちらかというと)そう思う」が 50%を超えるのは、健康状態、経済成長の 2 つとなる。



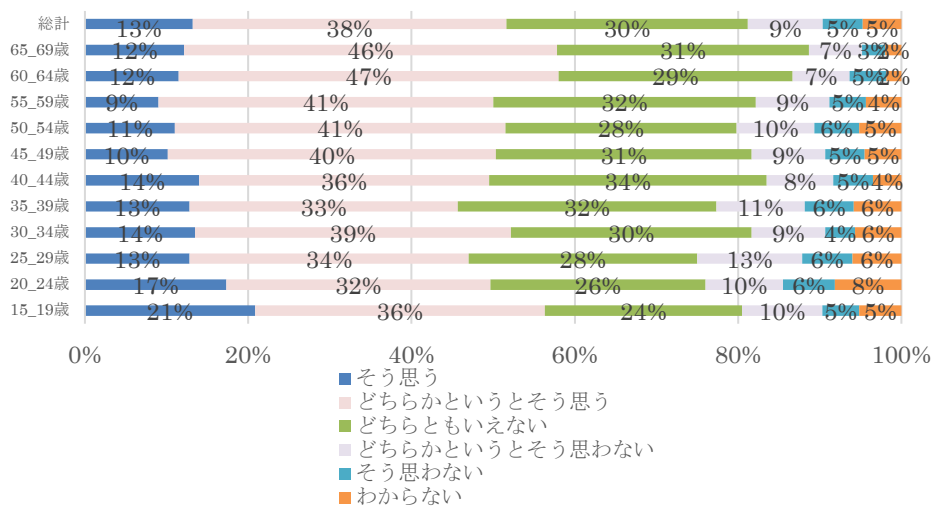
概要図表 1-1 q9,q10 科学技術進歩の総計比較

健康状態の集計結果を「性別」および「年齢別」で見たと、性別(概要図表 1-2)では男性((どちらかというと)そう思う 51%)と女性((どちらかというと)そう思う 53%)はあまり変わらない。わからない、については男性が 4%、女性が 5% 該当している。

一方、「年齢別」(概要図表 1-3)では若い世代(19 歳以下)とシニア世代(60 歳以上)で「(どちらかというと)そう思う」が高いことが判明した。

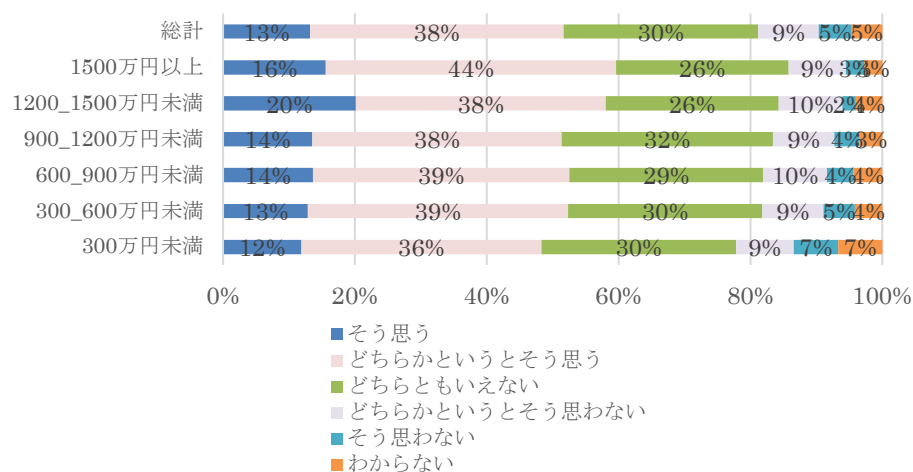


概要図表1-2 q9_5科学技術進歩_健康状態（性別）



概要図表1-3 q9_5科学技術進歩_健康状態（年齢別）

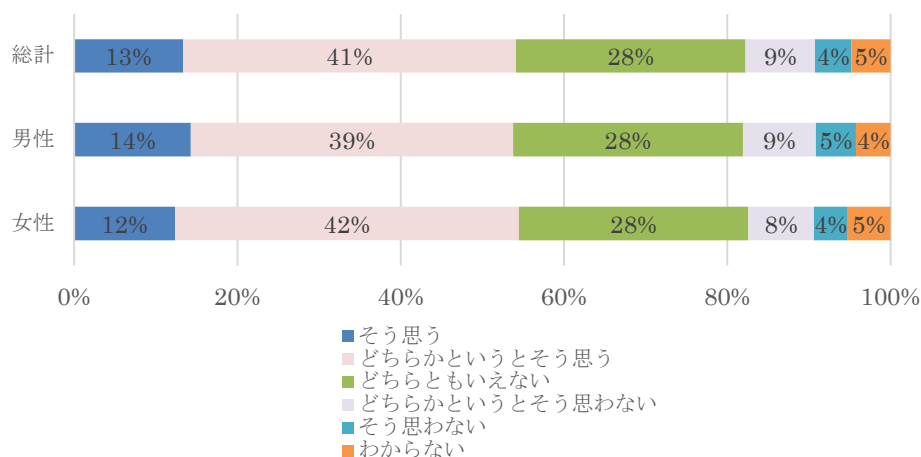
加えて、「税込世帯年収別」で見ると、概要図表 1-4 となり、年収「1500 万円以上」階級をトップに年収が高くなるにつれて「(どちらかという)と思う」が概ね単調に多くなっている。



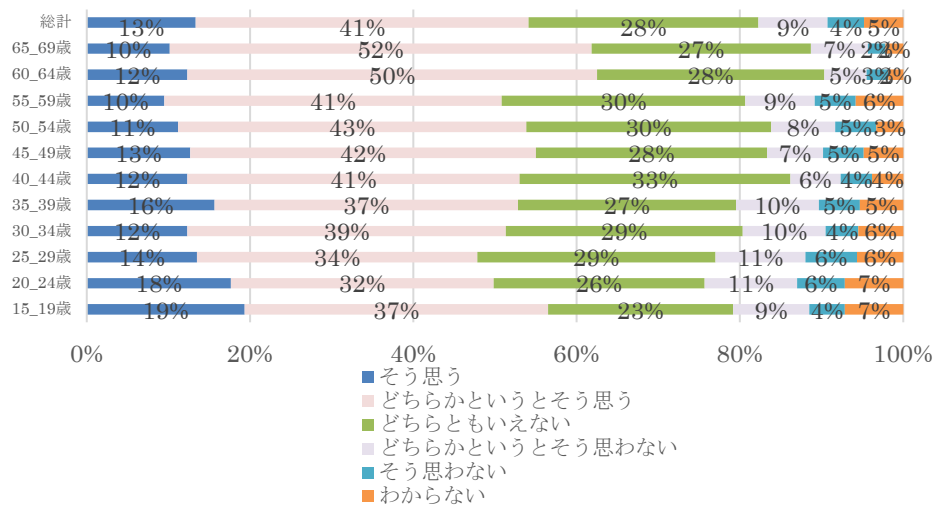
概要図表1-4 q9_5科学技術進歩_健康状態（税込世帯年収別）

経済成長の集計結果を「性別」および「年齢別」で見たところ、「性別」（概要図表 1-5）では男性（（どちらかというと思う 53%）と女性（（どちらかというと思う 54%）はあまり変わらない。わからない、については男性が 4%、女性が 5%該当している。

一方、「年齢別」（概要図表 1-6）では若い世代（19 歳以下）とシニア世代（60 歳以上）で「（どちらかというと思う）」が高いことが判明した。

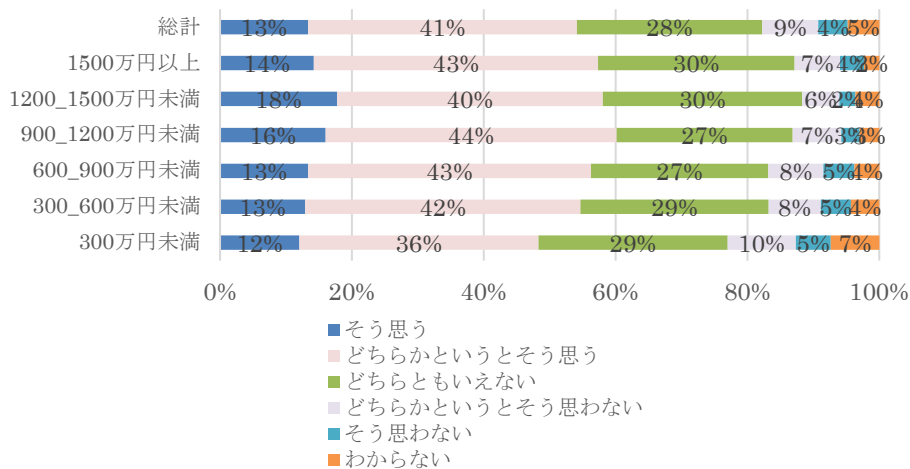


概要図表1-5 q10_6科学技術進歩_経済成長（性別）



概要図表1-6 q10_6科学技術進歩_経済成長（年齢別）

加えて、「税込世帯年収別」で見ると、概要図表 1-7 となり、年収「900-1200 万円未満」階級をトップに年収が高くなる、また低くなるにつれて「（どちらかという）と思う」が概ね単調に少なくなっている。



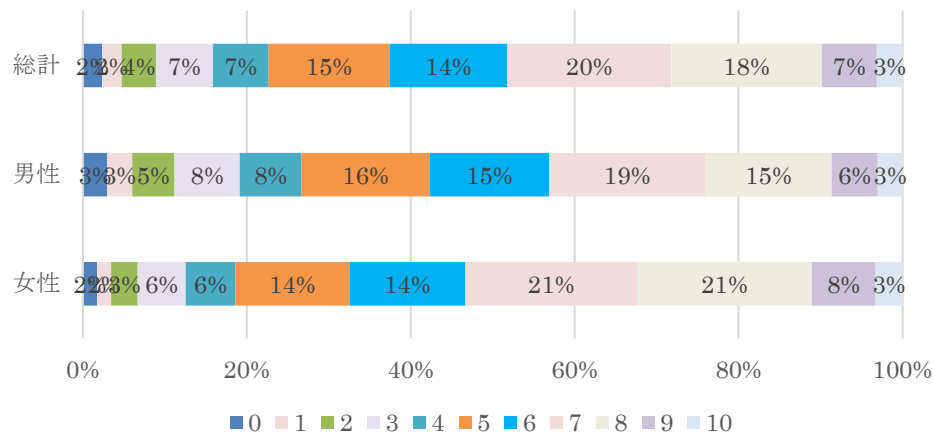
概要図表1-7 q10_6科学技術進歩_経済成長（税込世帯年収別）

2) ウェルビーイング測定項目についての調査結果

本調査では幸福度等をウェルビーイングの測定項目として設定しているが、これらは「文化に関する世論調査—ウェルビーイングと文化芸術活動の関連—（2022 年 3 月文化庁）」^[2]においてウェルビーイング測定項目として設定されているものに準拠した。

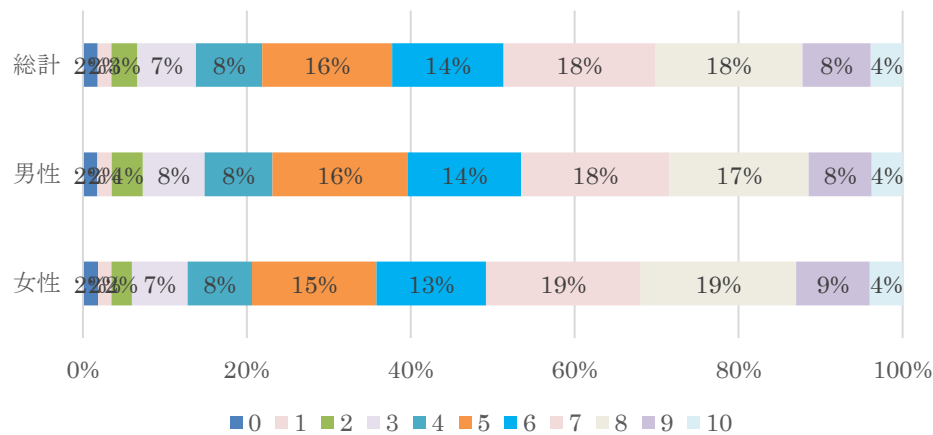
① 幸福度・健康状態

幸福度について訊いた（「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とする）。全体として 6 点以上の回答割合が 62%となった。「性別」（概要図表 2-1）に関して、男性の幸福度が女性に比べて低くなっていることが分かる。



概要図表2-1 q11幸福度p(性別)

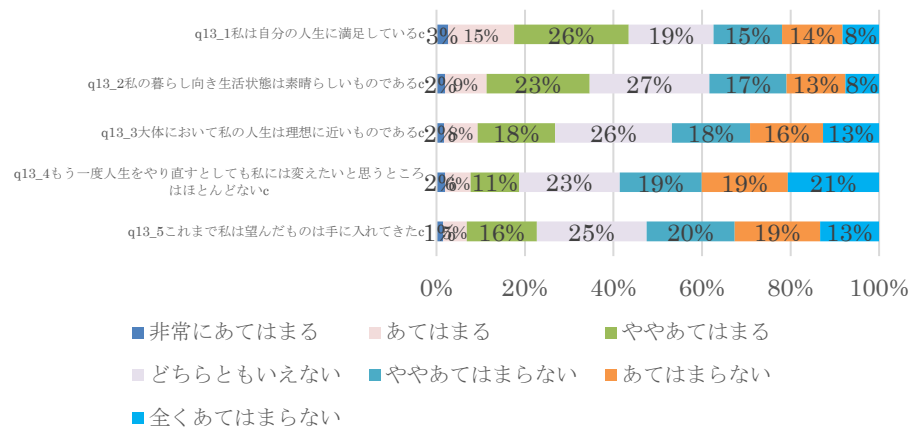
他方、健康状態について訊いた(「とても良い」を10点、「良くない」を0点とする)。全体として6点以上の回答割合が62%となった。「性別」(概要図表2-2)では男性より女性の方が状態が良い。



概要図表2-2 q12健康状態p(性別)

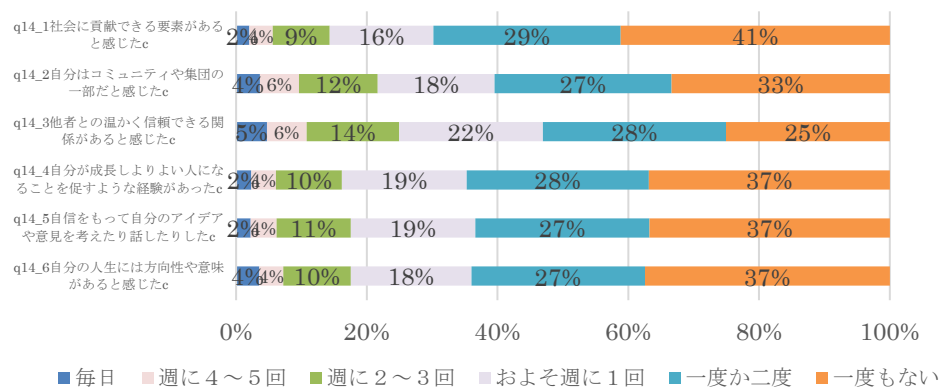
② 人生満足度・人生の意義・協調的幸福感・畏怖畏敬体験

まず人生満足度の項目について、概要図表3では「(非常に、やや)あてはまる」で「私は自分の人生に満足している」が最も高く、44%程度となっている。



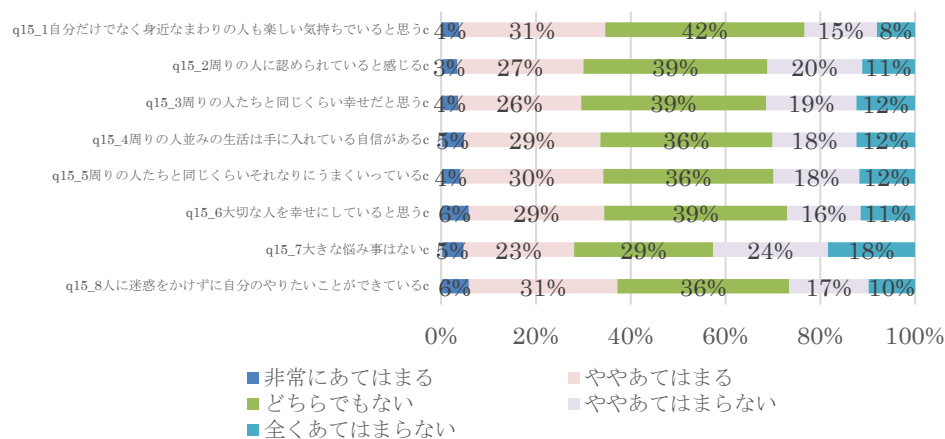
概要図表3 q13人生満足度_総計比較

次に人生の意義の項目について、概要図表 4 では「週に 2～3 回」以上で「他者との温かく信頼できる関係があると感じた」が最も高く、25%程度となっている。



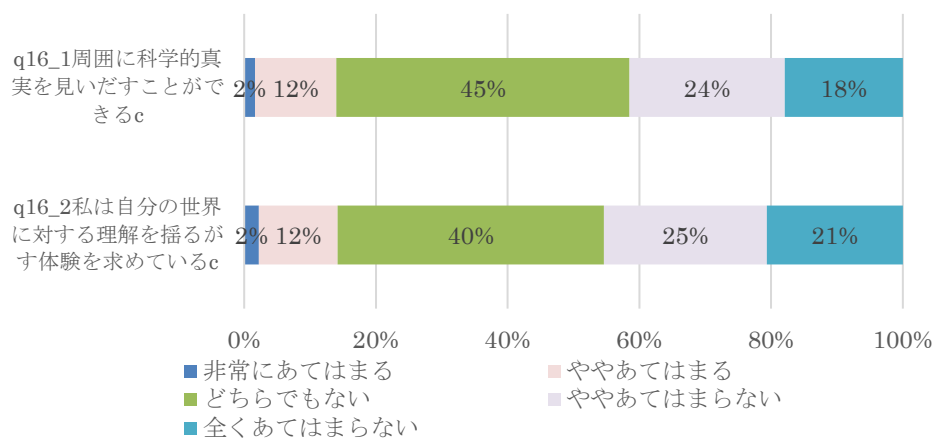
概要図表4 q14人生の意義_総計比較

次に協調的幸福感の項目について、概要図表 5 では「(非常に、やや)あてはまる」と回答した人が多いのは、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている」で 37%、「自分だけでなく身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う」で 35%、「大切な人を幸せにしていると思う」で 35%などとなっており、項目間の差が小さい。



概要図表5 q15協調的幸福感_総計比較

次に畏怖畏敬体験の項目について、概要図表 6 では「(非常に、やや)あてはまる」と回答した人は 2 問とも 14%となっている。



概要図表6 q16畏怖畏敬体験_総計比較

3) 各ウェルビーイング分野における増進と満足度との間の相関分析

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と幸福度、健康状態、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験との相関は概要図表 7 となる。科学技術の進歩が各々の増進につながると回答した者は幸福度等が高いという相関関係がある。本節の議論は相関関係のみであり、因果関係は判定できない。(判定はクラスカル・ワリスの順位和検定(H 検定)による、有意性水準 1%、以下同じ)。

		YY の水準が高い					
		幸福度	健康状態	人生満足度*	人生の意義*	協調的幸福感*	畏怖畏敬体験*
科学技術進歩が XX の増進につながる	家計と資産	○	○	○	○	○	○
	雇用環境と賃金	○	○	○	○	○	○
	住宅	○	○	○	○	○	○
	仕事と生活（ワークライフバランス）	○	○	○	○	○	○
	健康状態	○	○	○	○	○	○
	あなた自身の教育水準・教育環境	○	○	○	○	○	○
	交友関係やコミュニティなど社会とのつながり	○	○	○	○	○	○
	生活を取り巻く空気や水などの自然環境	○	○	○	○	○	○
	身の周りの安全	○	○	○	○	○	○
	子育てのしやすさ	○	○	○	○	○	○
	介護のしやすさ・されやすさ	○	○	○	○	○	○

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば、左上の「○」は科学技術進歩が家計と資産の増進につながると考えている人ほど幸福度の水準が高い傾向にあることを示す。

(注)横軸項目中の「*」は当該項目中の小項目の平均データを用いたことを示す。

概要図表 7 q9 科学技術進歩_増進と幸福度等との相関

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と幸福度、健康状態、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験との相関は概要図表 8 となる。科学技術の進歩が各々の増進につながると回答した者は幸福度等が高いという相関関係がある(H 検定)。

		YY の水準が高い					
		幸福度	健康状態	人生満足度*	人生の意義*	協調的幸福感*	畏怖畏敬体験*
科学技術進歩が XX の増進につながる	多様性	○	○	○	○	○	○
	公平公正	○	○	○	○	○	○
	社会正義	○	○	○	○	○	○
	マイノリティの包摂	○	○	○	○	○	○
	ジェンダー平等	○	○	○	○	○	○
	経済成長	○	○	○	○	○	○
	格差是正	○	○	○	○	○	○
	日本の伝統技術	○	○	○	○	○	○
	脱炭素	○	○	○	○	○	○
	政治・行政・裁判所への信頼性	○	○	○	○	○	○
	生活の楽しさ・面白さ	○	○	○	○	○	○

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば、左上の「○」は科学技術進歩が多様性の増進につながると考えている人ほど幸福度の水準が高い傾向にあることを示す。

(注)横軸項目中の「*」は当該項目中の小項目の平均データを用いたことを示す。

概要図表 8 q10 科学技術進歩_増進と幸福度等との相関

4) 科学技術の発展にともなう不安と満足度との間の相関分析

「科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。」と各項目について訊いたところ、その回答と幸福度、健康状態との相関は概要図表 9 となる。

		YY の水準が <u>高い</u> (<u>*低い</u>)	
		幸福度	健康状態
科学技術の発展に伴い XX について不安が高まっている	サイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪	×	×
	遺伝子組換え食品の安全性	○	×
	原子力発電の安全性	×	×
	資源やエネルギーの無駄遣いが増えること	×	×
	地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題	○	×
	身近に自然を感じる事が少なくなる事	×	×
	情報が氾濫しどれを信じればよいかわかりにくくなること	×	○
	人間的なふれあいが減少すること	×	×
	クローン人間を生み出すこと・兵器への利用などに関する倫理的な問題	○	×
	人間が怠惰になること	×	×
	科学技術の進歩が速すぎて自分がそれについていけなくなる事	×	○
	人工知能（AI）などの発達により人間の仕事が奪われること	×	×
	新たな医療技術などが普及しても一部の人は恩恵を受けられないこと	○*	○*

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば左上の「×」は、科学技術の発展に伴いサイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪について不安が高まっている人ほど幸福度の水準が高いとは言えないことを示す。

概要図表 9 q4 科学技術の発展に伴う不安と幸福度等の相関

本文

1. はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2023 年度調査(2023 年 6 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 6,600 人にインターネットを使って調査したものである。

2. 調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

(1)調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

(2)調査期間及び調査方法

2023 年 6 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=6,600 で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数(男性 3,300 名、女性 3,300 名)、15-19 歳、20-24 歳、25-29 歳…60-64 歳、65-69 歳で同数(11 の年齢層、1 年齢層当たり 600 名)とした。

(3)調査時点

2023 年 6 月 7 日から 6 月 21 日にかけて実施した。

(4)調査項目

今般の調査では特に科学技術とウェルビーイングとの関係を把握することが目的である。

3. 調査結果

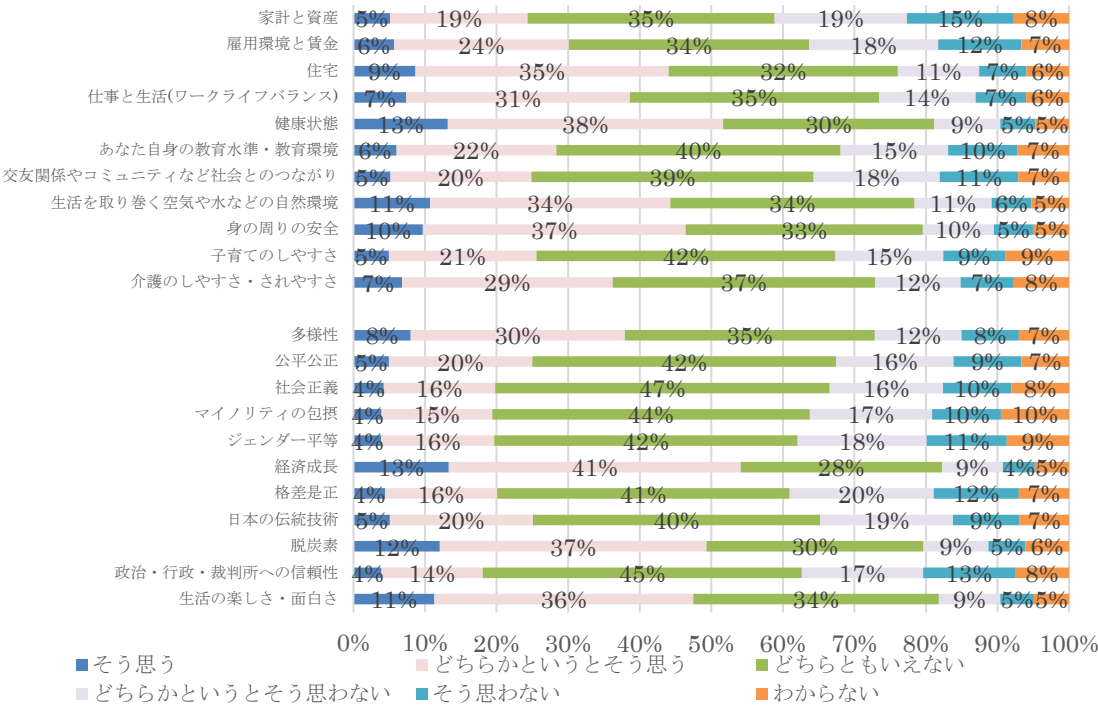
調査結果のうち、科学技術とウェルビーイングの関係に関する国民の意識に関する調査結果の主な結果について示すとともに、科学技術とウェルビーイングに関する相関分析、科学技術とウェルビーイングの関係以外の科学技術政策に関する意識についても紹介する。

本調査では一人ひとりの多様な幸せ(以下において「ウェルビーイング」という)をもたらす分野として「満足度・生活の質に関する調査報告書 2022(内閣府)」^[1]において満足度が調べられている 11 分野に準拠して設定した(図表 1-1 の上段 11 分野)。さらに、NISTEP が検討し設定した 11 分野を加えた(図表 1-1 の下段 11 分野)。

(1) 科学技術とウェルビーイングの関係に関する国民の意識に関する調査結果

① 科学技術の進歩が各ウェルビーイング分野の増進に繋がっているかについての国民の意識

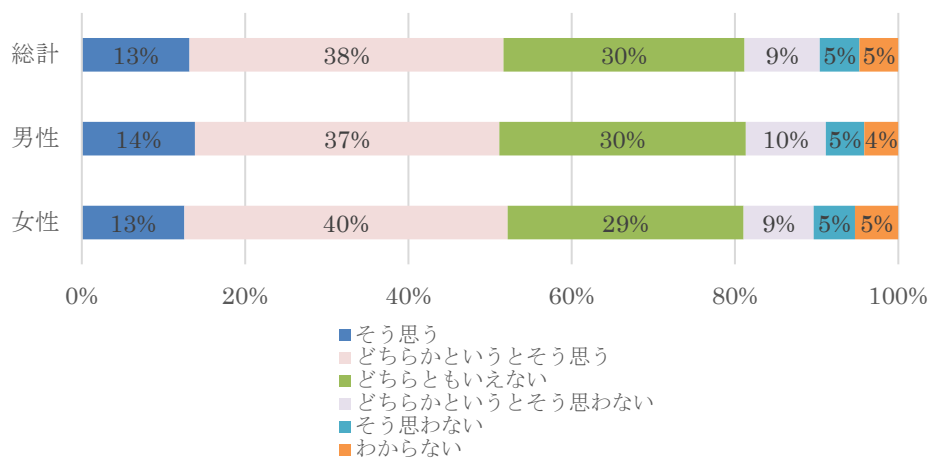
科学技術の進歩がウェルビーイング 22 分野の増進に繋がっているか国民の意識を調べたところ、図表 1-1 となり、「(どちらかというと)そう思う」が 50%を超えるのは、健康状態、経済成長の 2 つとなる。



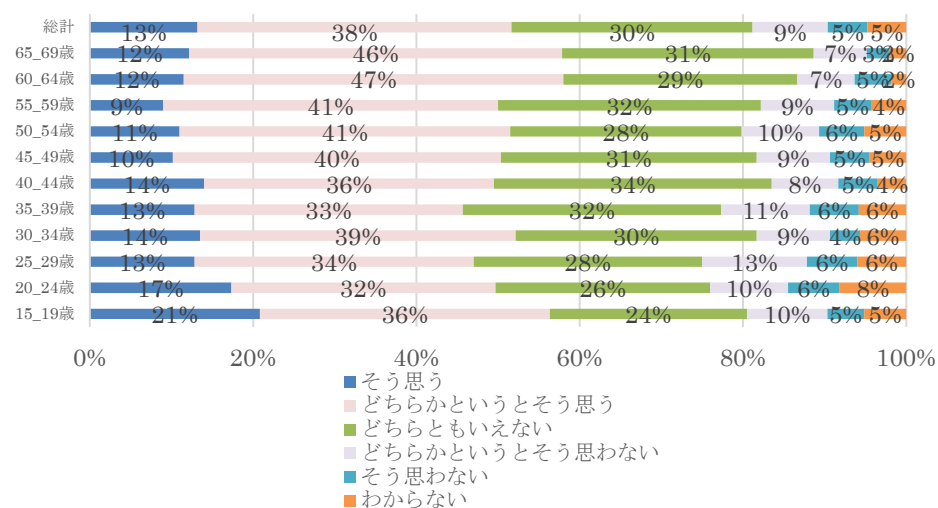
図表 1-1 q9,q10 科学技術進歩の総計比較

健康状態の集計結果を「性別」および「年齢別」で見たところ、「性別」(図表 1-2)では男性((どちらかというと)そう思う 51%)と女性((どちらかというと)そう思う 53%)はあまり変わらない。わからない、については男性が 4%、女性が 5%該当している。

一方、「年齢別」(図表 1-3)では「19 歳以下」と「60 歳以上」で「(どちらかというと)そう思う」が高いことが判明した。

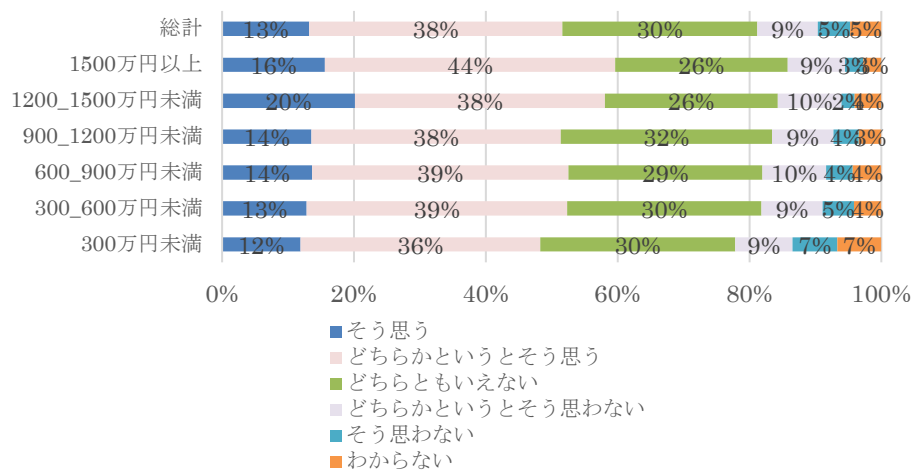


図表1-2 q9_5科学技術進歩_健康状態（性別）



図表1-3 q9_5科学技術進歩_健康状態（年齢別）

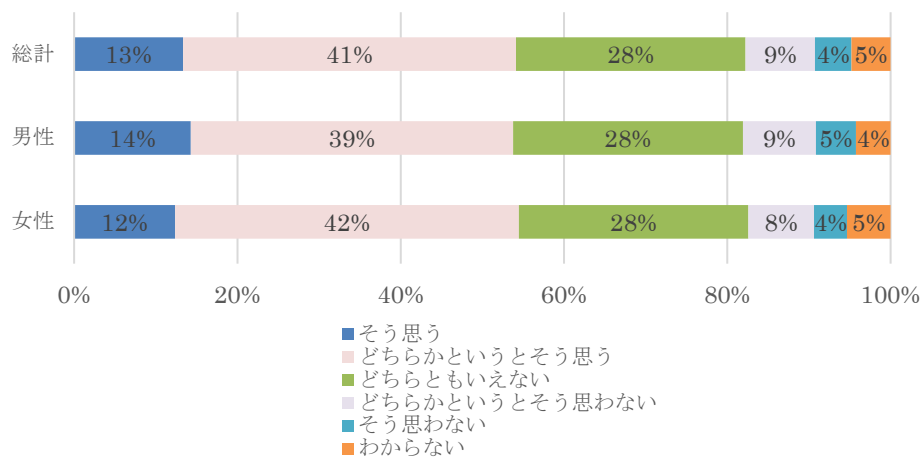
加えて、「税込世帯年収別」で見ると、図表 1-4 となり、年収「1500 万円以上」の階級をトップに年収が高くなるにつれて「(どちらかという)と思う」が概ね単調に多くなっている。



図表1-4 q9_5科学技術進歩_健康状態（税込世帯年収別）

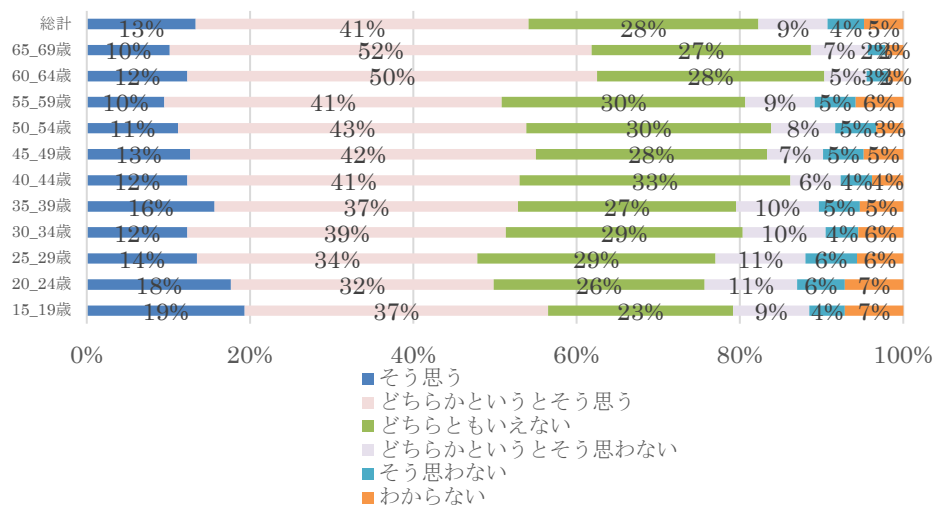
経済成長の集計結果を「性別」および「年齢別」で見たところ、「性別」（図表 1-5）では男性（（どちらかという）と思う 53%）と女性（（どちらかという）と思う 54%）はあまり変わらない。わからない、については男性が 4%、女性が 5%該当している。

一方、「年齢別」（図表 1-6）では若い世代（19 歳以下）とシニア世代（60 歳以上）で「（どちらかという）と思う」が高いことが判明した。

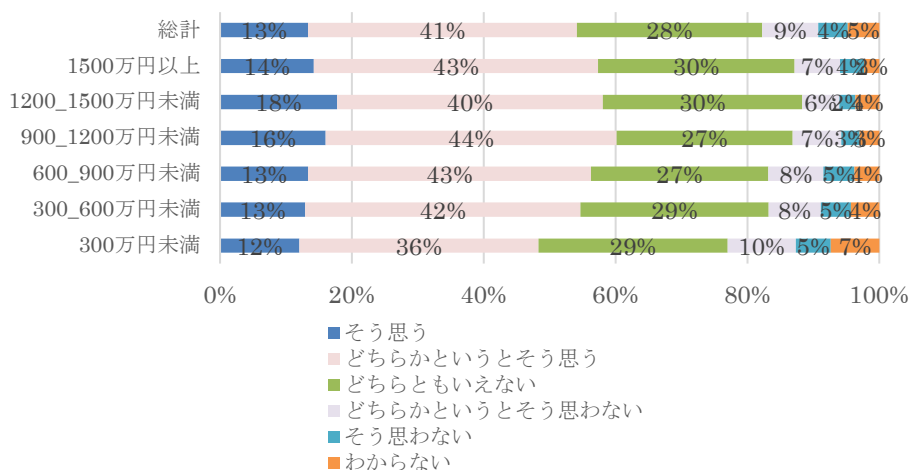


図表1-5 q10_6科学技術進歩_経済成長（性別）

加えて、「税込世帯年収別」で見ると、図表 1-7 となり、年収「900-1200 万円未満」階級をトップに年収が高くなる、また低くなるにつれて「（どちらかという）と思う」が概ね単調に少なくなっている。



図表1-6 q10_6科学技術進歩_経済成長（年齢別）



図表1-7 q10_6科学技術進歩_経済成長（税込世帯年収別）

上記と同様に、q9_1 科学技術進歩_家計と資産から q10_11 科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さまでの分析結果を図表 1-8 から図表 1-67 までにまとめた。

性別分析の結果、以下が判明した。（括弧内は該当項目数）

○男性が女性より「（どちらかという）と思う」が多い

・家計と資産、あなた自身の教育水準・教育環境、脱炭素(3)

○女性が男性より「（どちらかという）と思う」が多い

・住宅、仕事と生活（ワークライフバランス）、生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、生活の楽しさ・面白さ(9)

○男女・女性ともに「（どちらかという）と思う」が同じくらい

・雇用環境と賃金、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、子育てのしやすさ、公平公正、社会正義、格差是正、日本の伝統技術、政治・行政・裁判所への信頼性(8)

以上から、男性より女性の方が多い項目数が多い。

年齢分析の結果、以下が判明した。

○「15-19 歳以下」、「60 歳-64 歳」以上の階級において「(どちらかというと)そう思う」が高い

・生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、介護のしやすさ・されやすさ、生活の楽しさ・面白さ(5)

○概ね若くなるほど「(どちらかというと)そう思う」が高い

・家計と資産、あなた自身の教育水準・教育環境、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、子育てのしやすさ、公平公正、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、格差是正、日本の伝統技術、政治・行政・裁判所への信頼性(11)

○「60-64 歳」以上の階級で「(どちらかというと)そう思う」が高い

・多様性、脱炭素(2)

○上述以外

・雇用環境と賃金、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス) (3)

以上から、概ね若くなるほど「(どちらかというと)そう思う」が高いものが多いことが分かる。

税込世帯年収別分析の結果、以下が判明した。

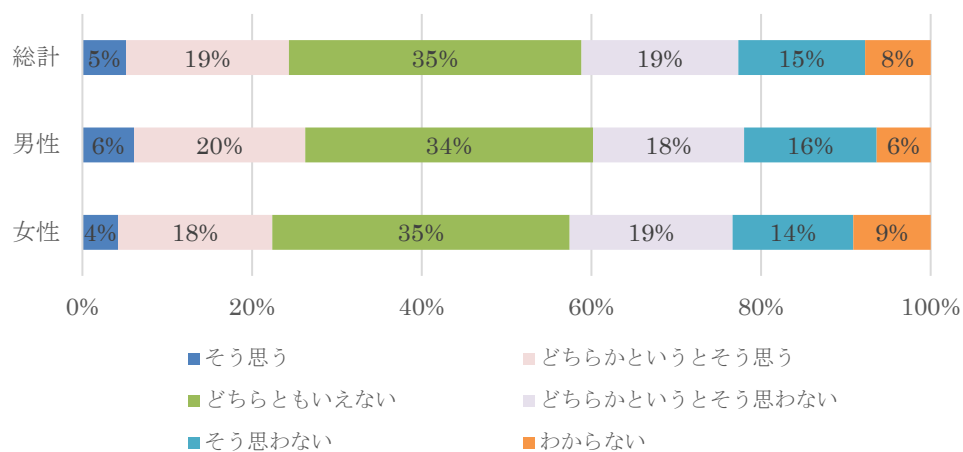
○年収が増大するに伴い、「(どちらかというと)そう思う」の割合が「1200-1500 万円未満」(「経済成長」については「900-1200 万円未満」)の階級まで概ね単調に増大するがその上の階級で減少

・家計と資産、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス)、あなた自身の教育水準・教育環境、生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、格差是正、日本の伝統技術、脱炭素、政治・行政・裁判所への信頼性、生活の楽しさ・面白さ(16)

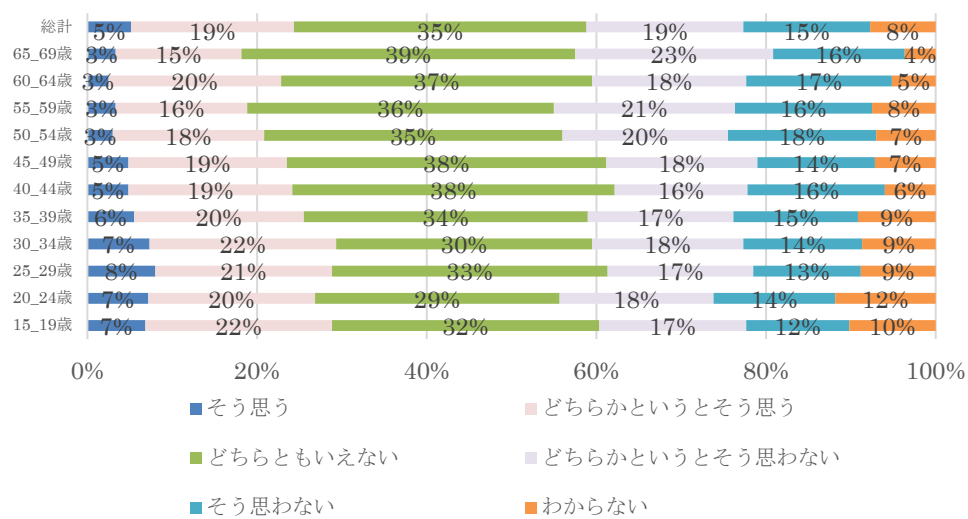
○年収が増大するに伴い、「(どちらかというと)そう思う」の割合が「1500 万円以上」の階級まで概ね単調に増大

・雇用環境と賃金、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、子育てのしやすさ、公平公正(4)

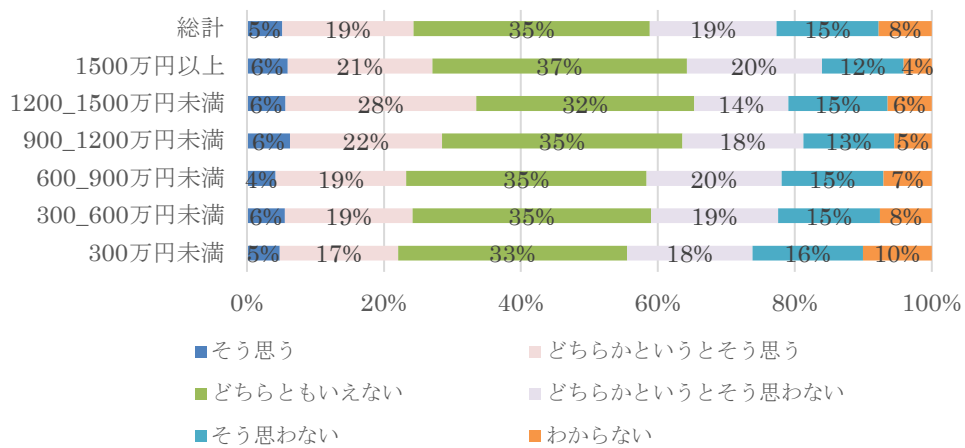
以上から、「(どちらかというと)そう思う」の割合については最高階級の「1500 万円以上」ではなく、次階級の「1200-1500 万円未満」の方が大きな寄与をもたらしていることがわかる。



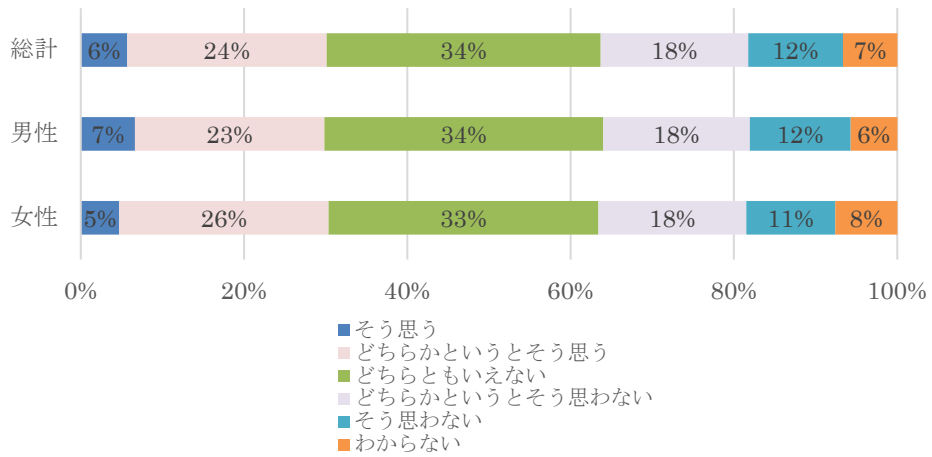
図表1-8 q9_1科学技術進歩_家計と資産（性別）



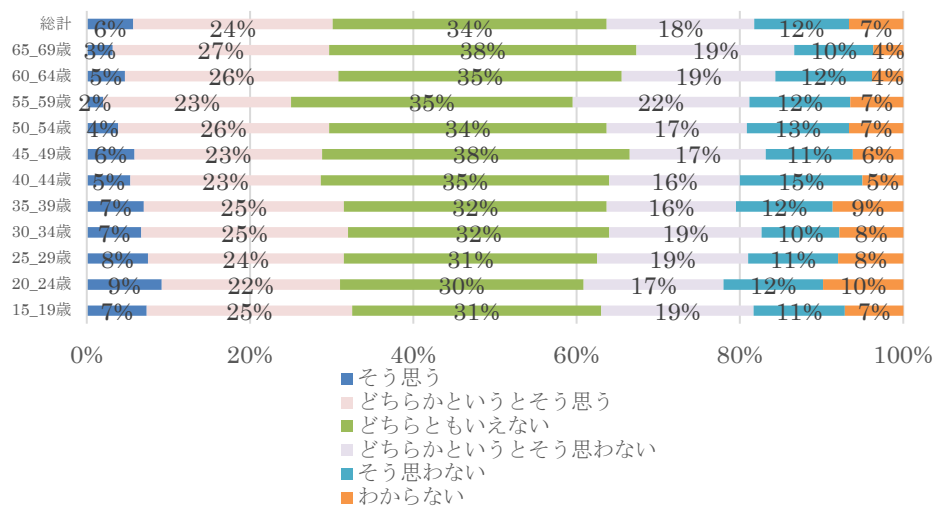
図表1-9 q9_1科学技術進歩_家計と資産（年齢別）



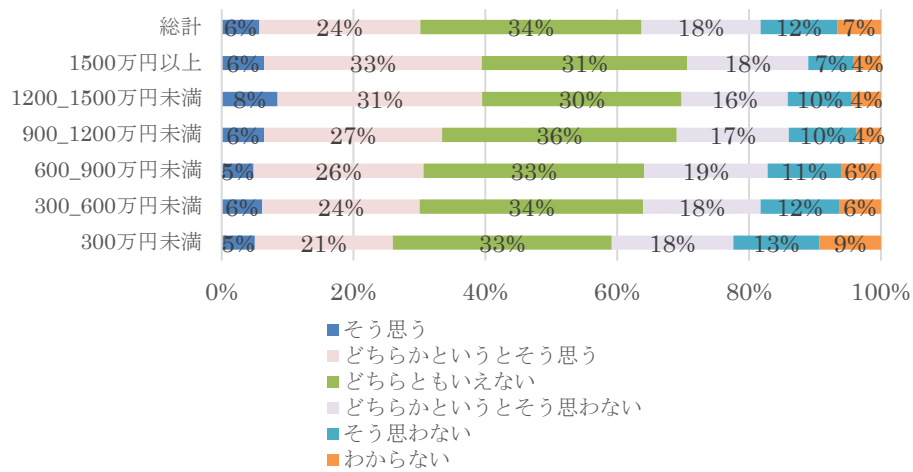
図表1-10 q9_1科学技術進歩_家計と資産（税込世帯年収別）



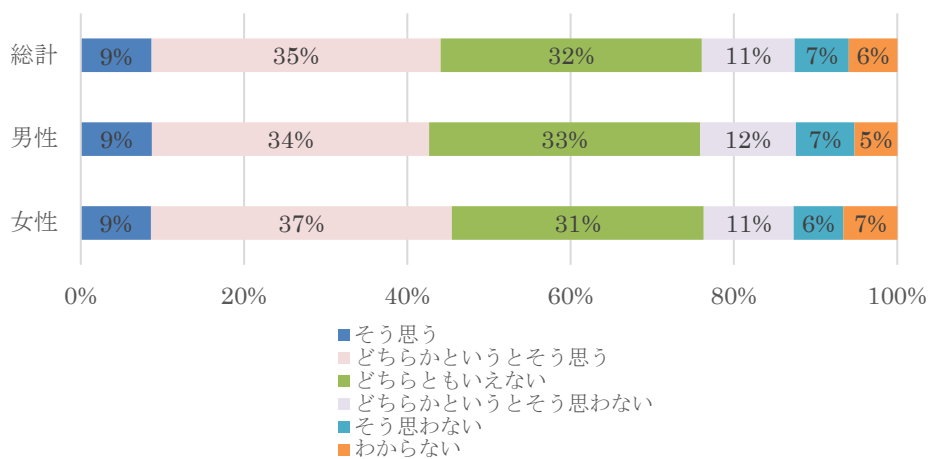
図表1-11 q9_2科学技術進歩_雇用環境と賃金（性別）



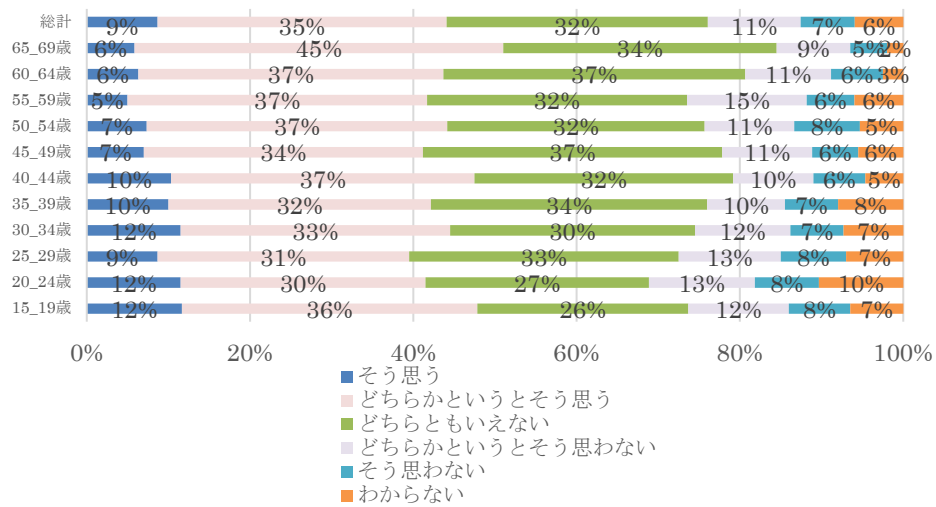
図表1-12 q9_2科学技術進歩_雇用環境と賃金（年齢別）



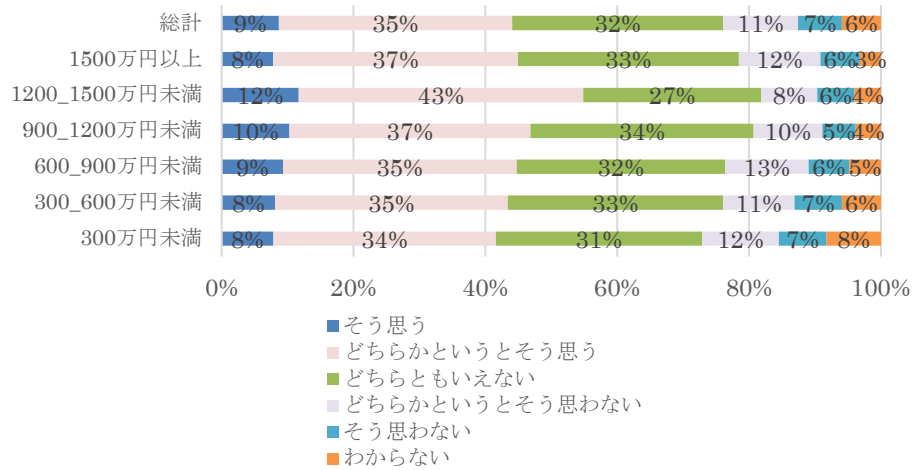
図表1-13 q9_2科学技術進歩_雇用環境と賃金（税込世帯年収別）



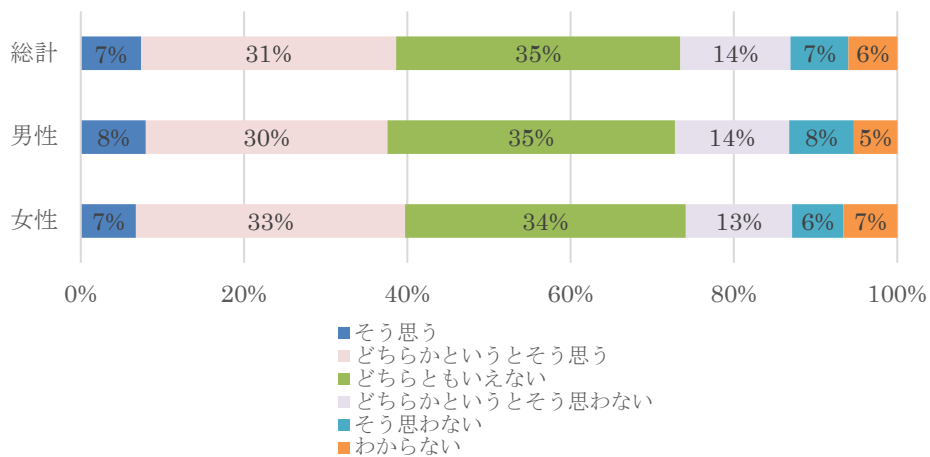
図表1-14 q9_3科学技術進歩_住宅（性別）



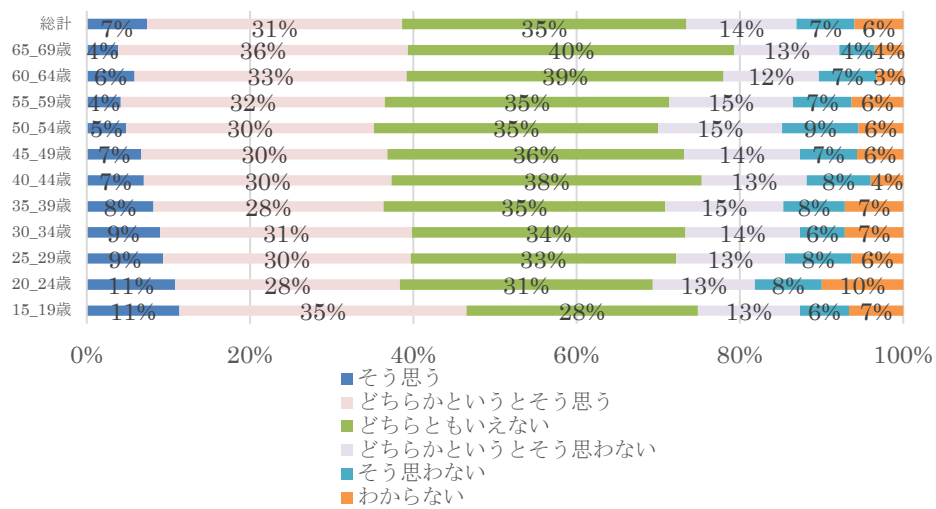
図表1-15 q9_3科学技術進歩_住宅（年齢別）



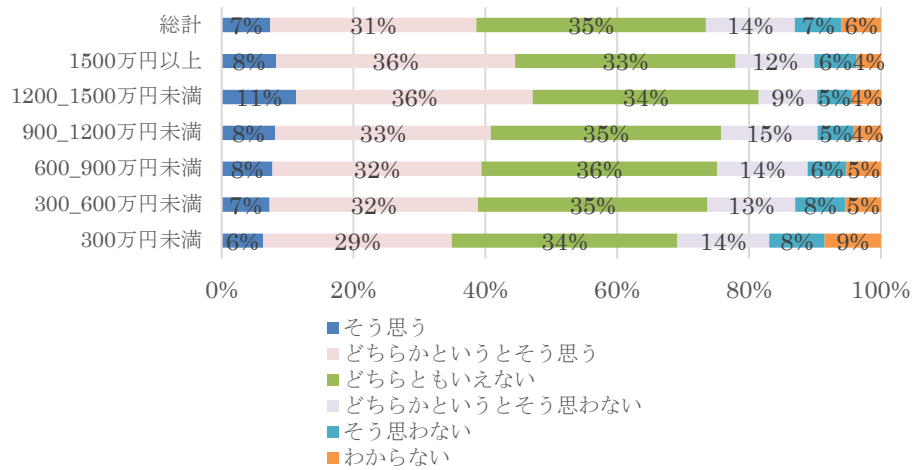
図表1-16 q9_3科学技術進歩_住宅（税込世帯年収別）



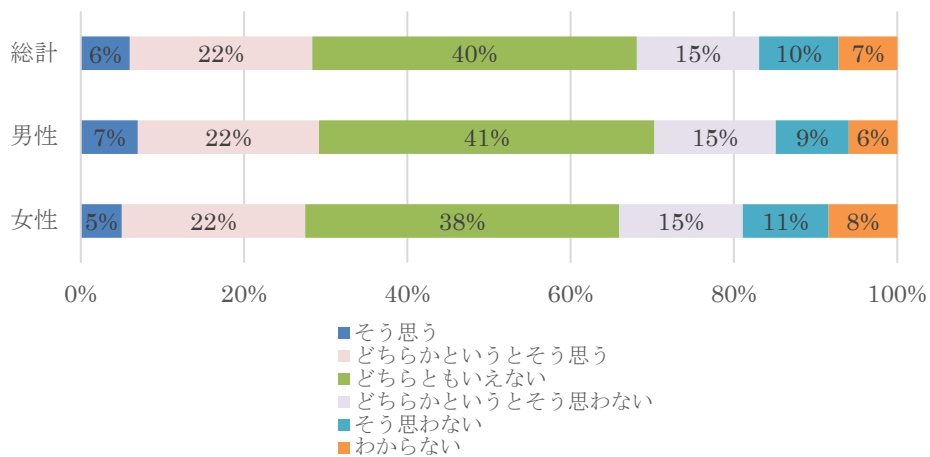
図表1-17 q9_4科学技術進歩_仕事と生活（ワークライフバランス）（性別）



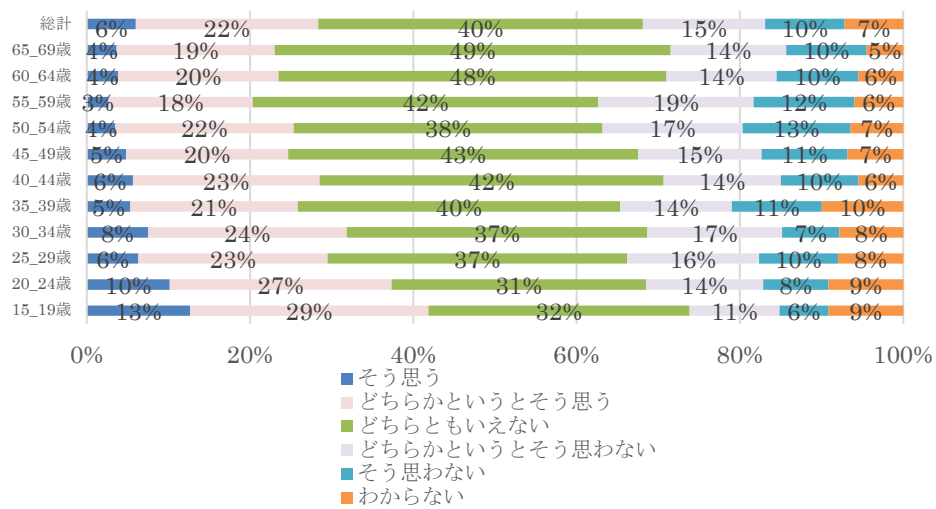
図表1-18 q9_4科学技術進歩_仕事と生活（ワークライフバランス）（年齢別）



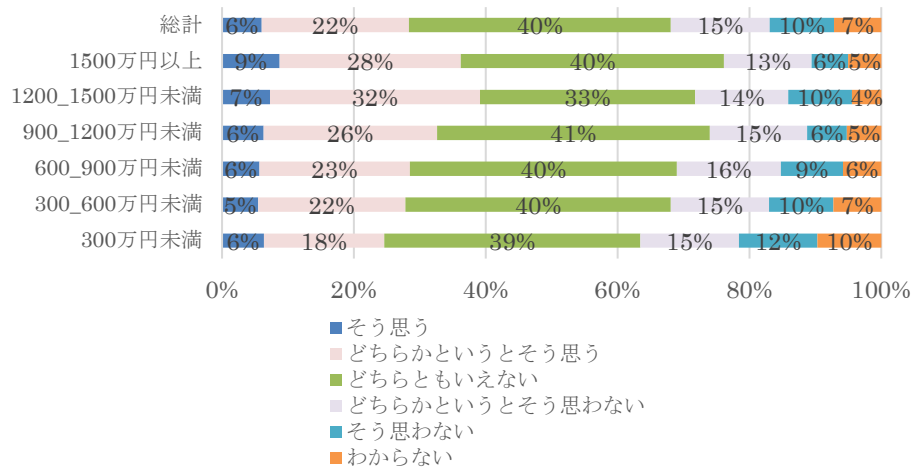
図表1-19 q9_4科学技術進歩_仕事と生活（ワークライフバランス）（税込世帯年収別）



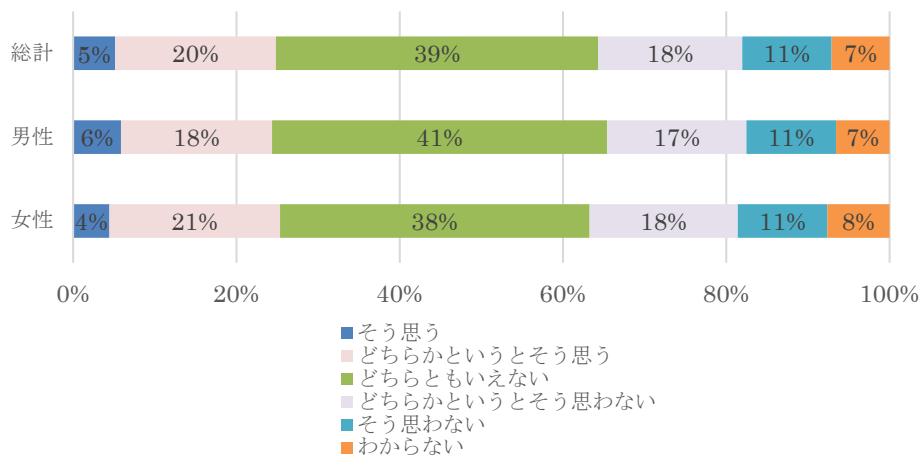
図表1-20 q9_6科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境（性別）



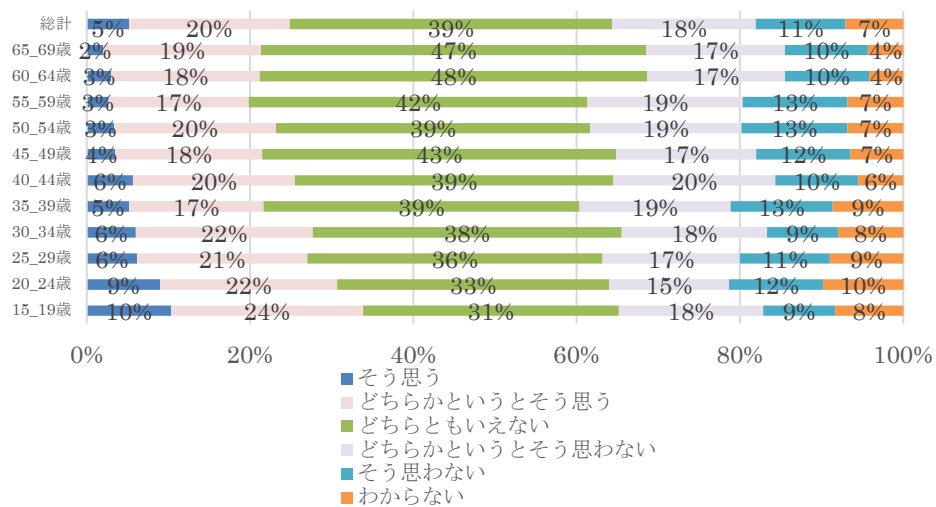
図表1-21 q9_6科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境（年齢別）



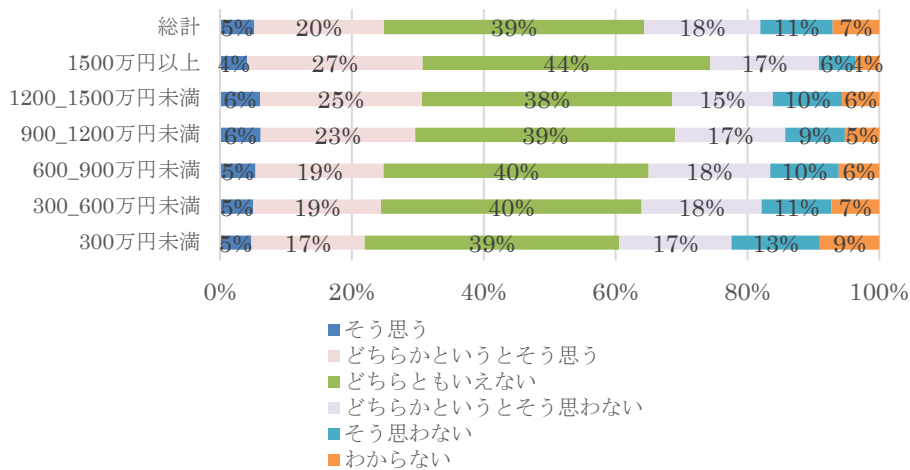
図表1-22 q9_6科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境（税込世帯年収別）



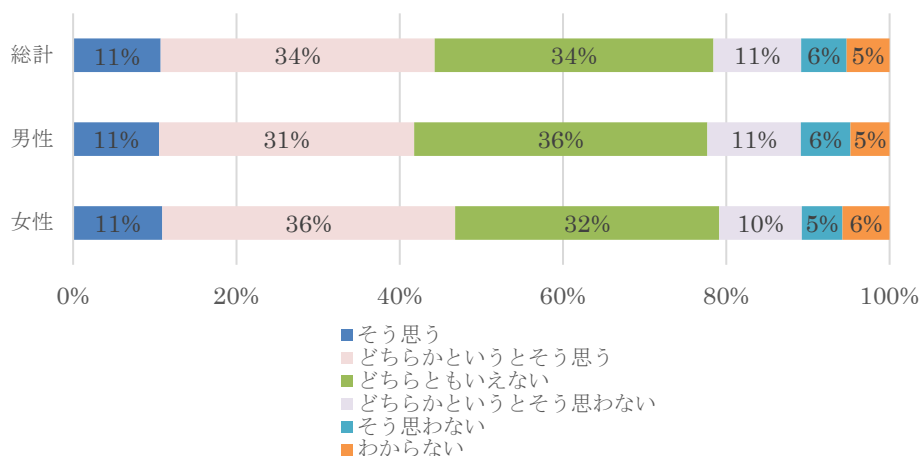
図表1-23 q9_7科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながり（性別）



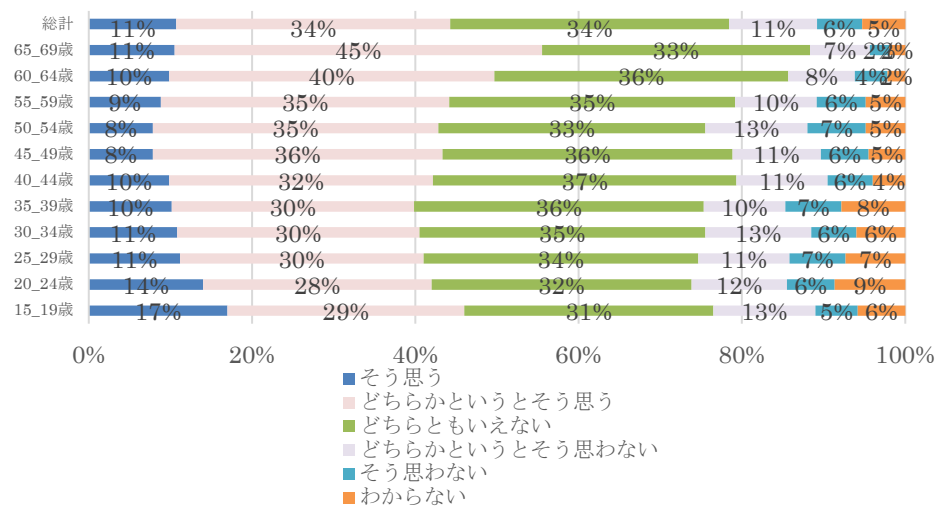
図表1-24 q9_7科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
(年齢別)



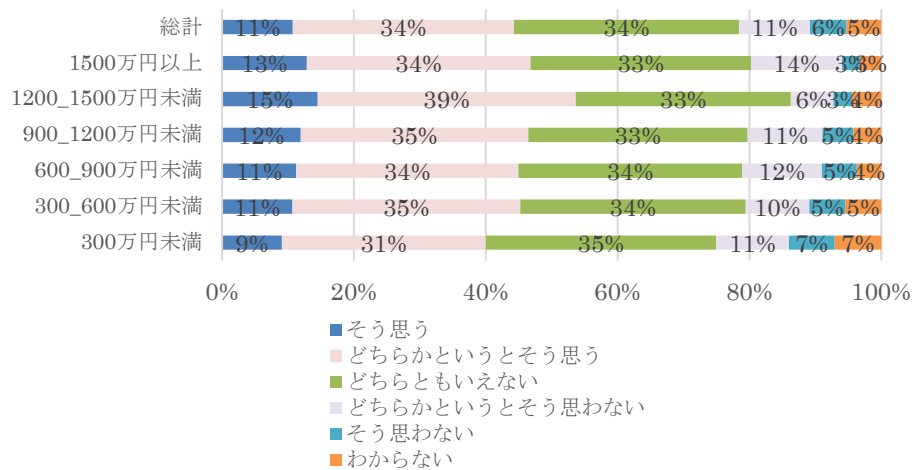
図表1-25 q9_7科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
(税込世帯年収別)



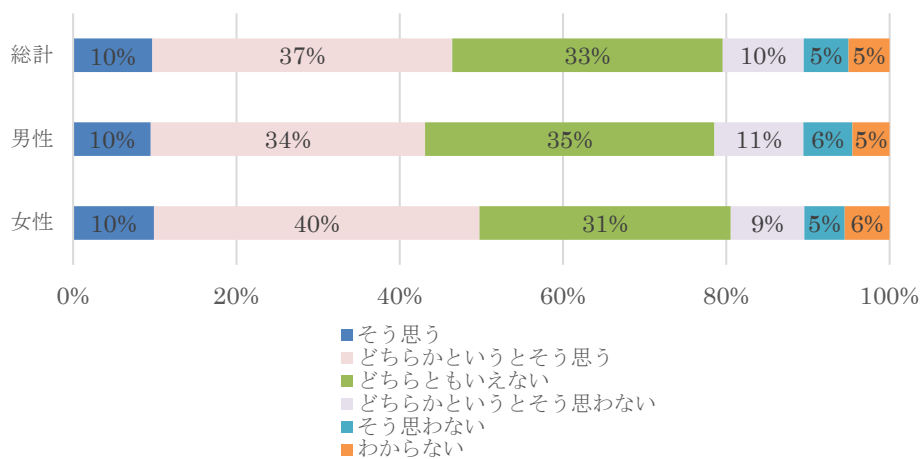
図表1-26 q9_8科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境 (性別)



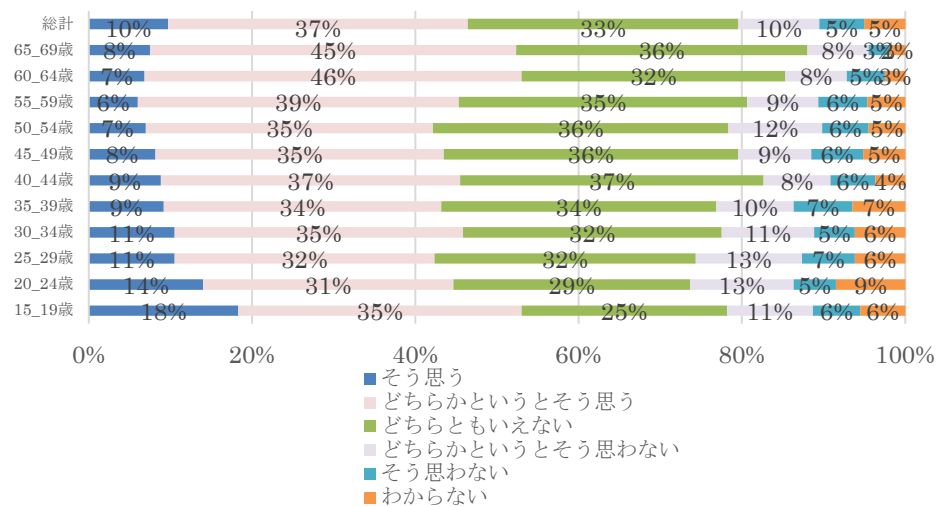
図表1-27 q9_8科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境（年齢別）



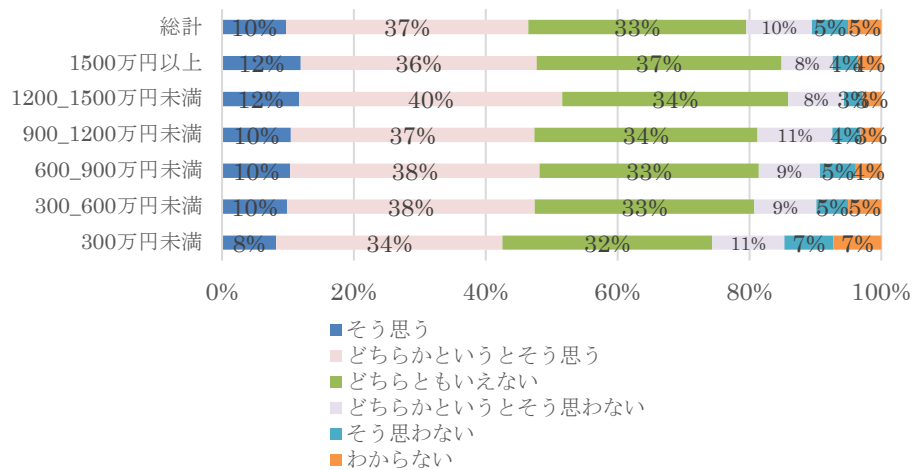
図表1-28 q9_8科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境（税込世帯年収別）



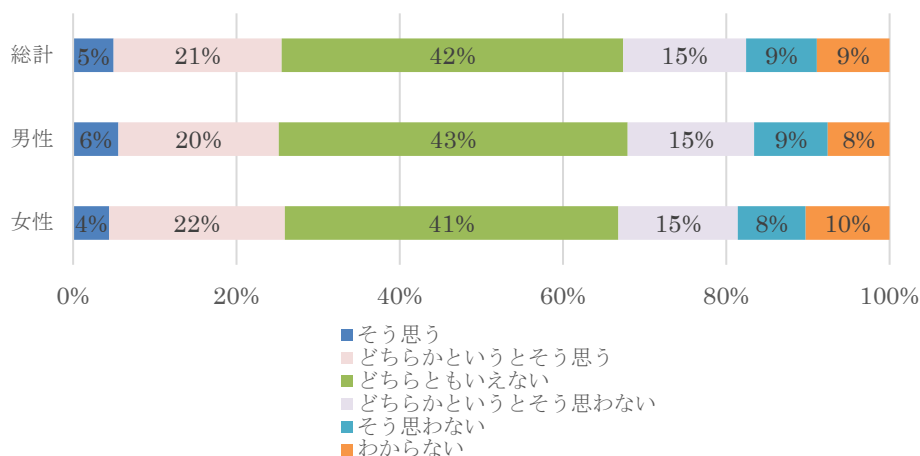
図表1-29 q9_9科学技術進歩_身の周りの安全（性別）



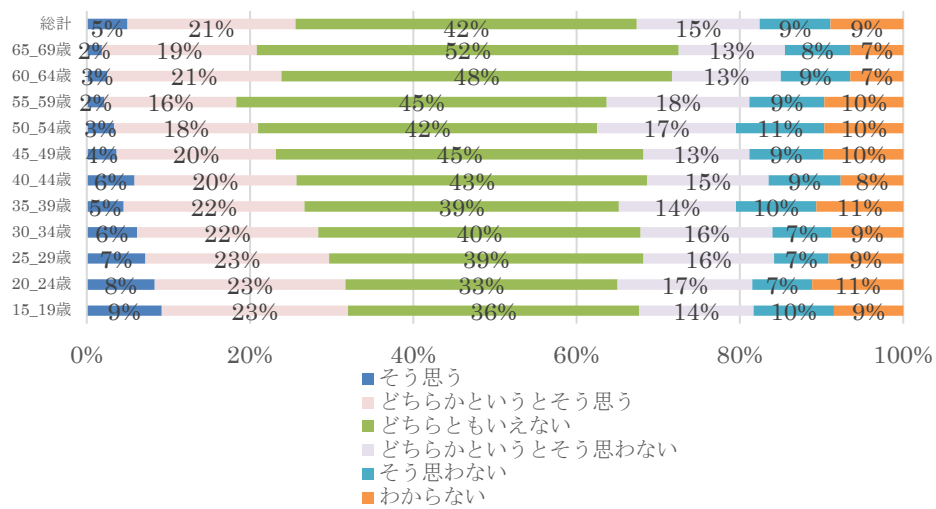
図表1-30 q9_9科学技術進歩_身の周りの安全（年齢別）



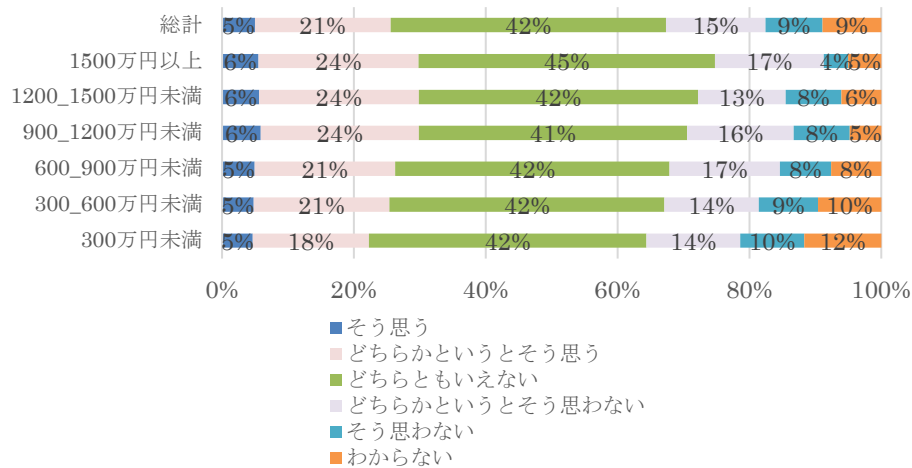
図表1-31 q9_9科学技術進歩_身の周りの安全（税込世帯年収別）



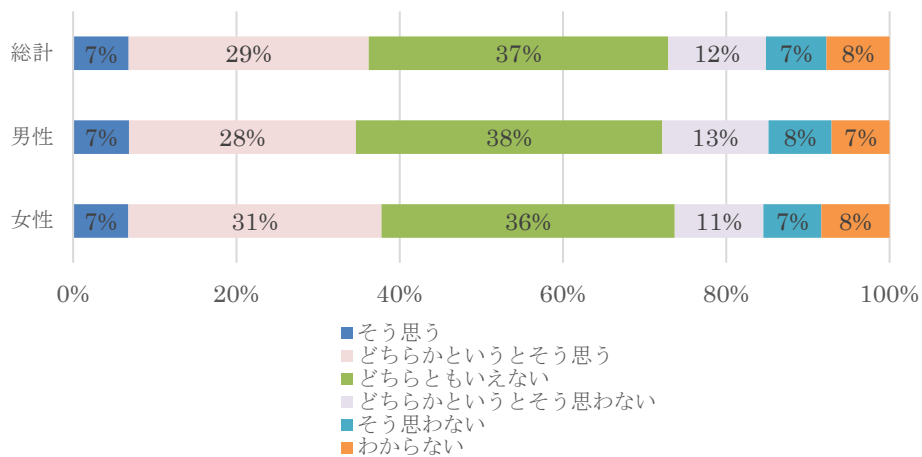
図表1-32 q9_10科学技術進歩_子育てのしやすさ（性別）



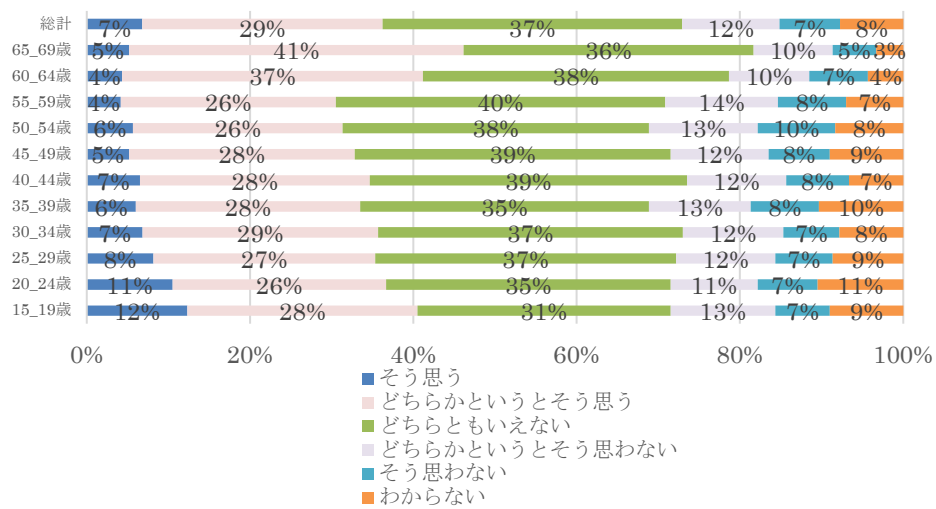
図表1-33 q9_10科学技術進歩_子育てのしやすさ（年齢別）



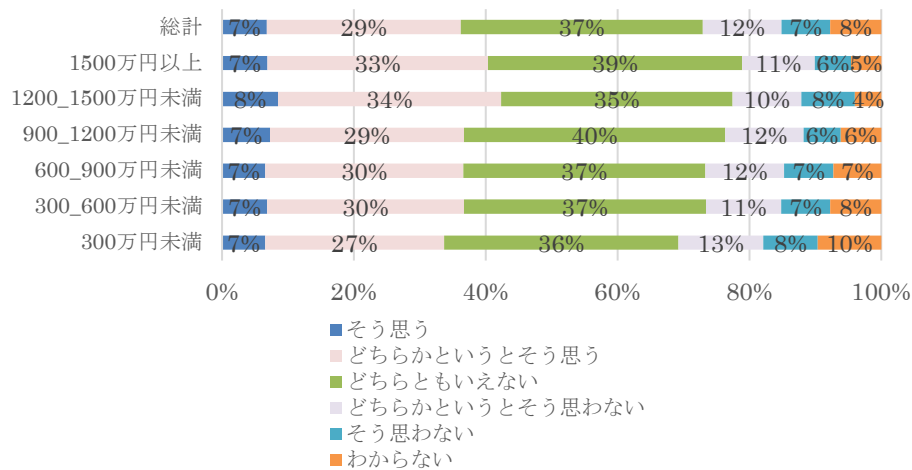
図表1-34 q9_10科学技術進歩_子育てのしやすさ（税込世帯年収別）



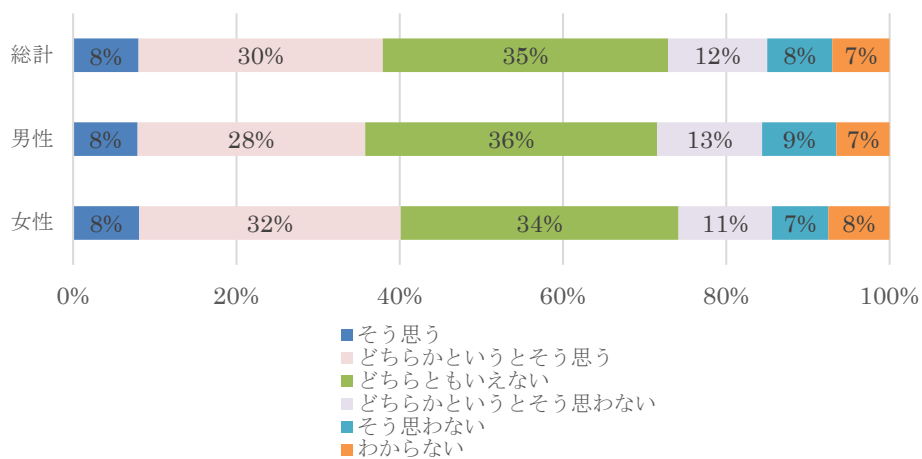
図表1-35 q9_11科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさ（性別）



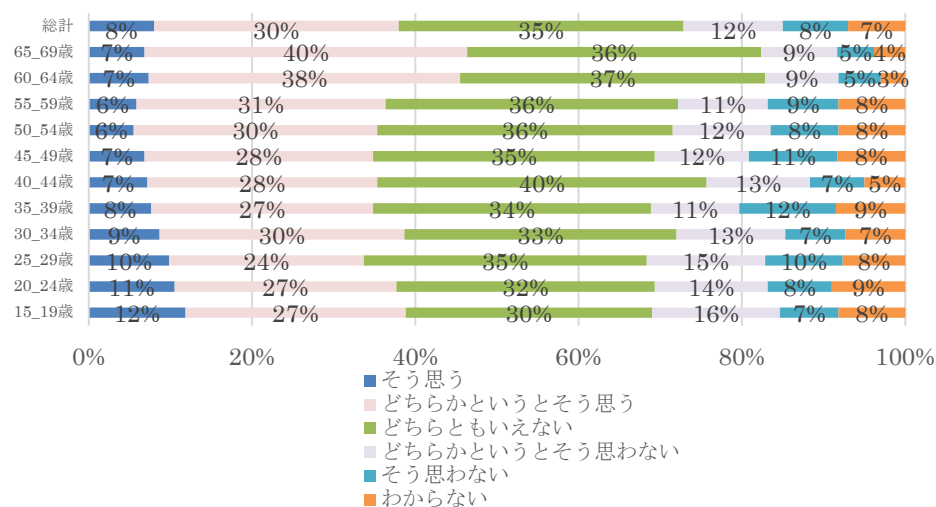
図表1-36 q9_11科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさ（年齢別）



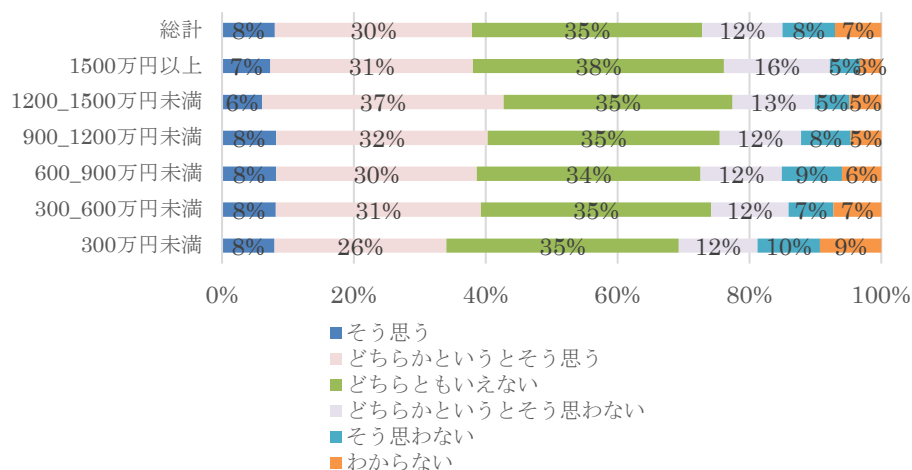
図表1-37 q9_11科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさ（税込世帯年収別）



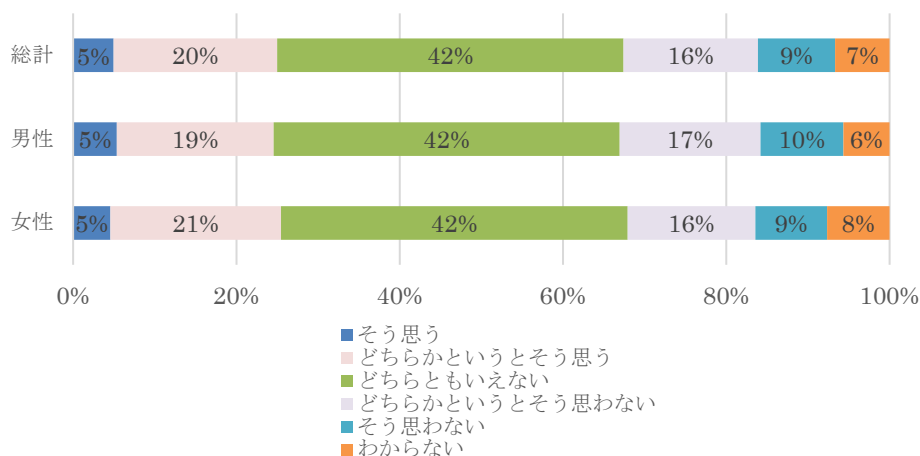
図表1-38 q10_1科学技術進歩_多様性（性別）



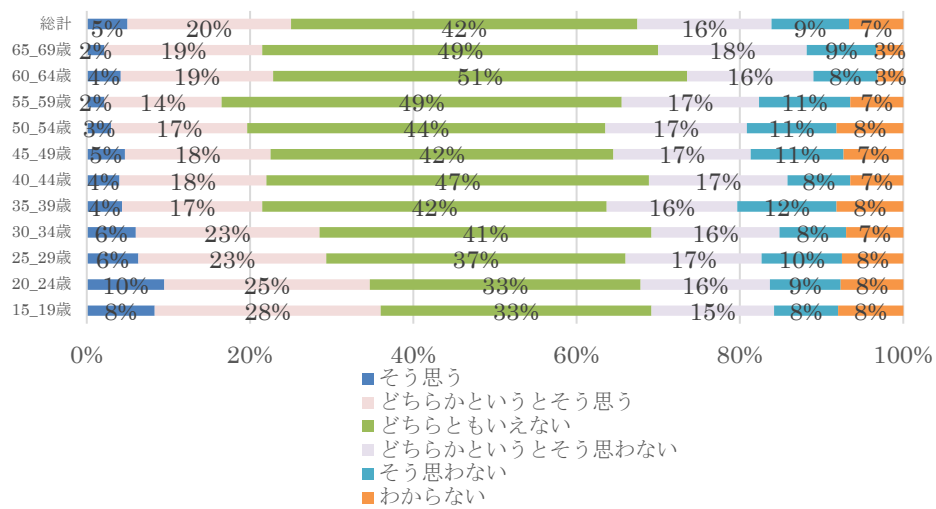
図表1-39 q10_1科学技術進歩_多様性（年齢別）



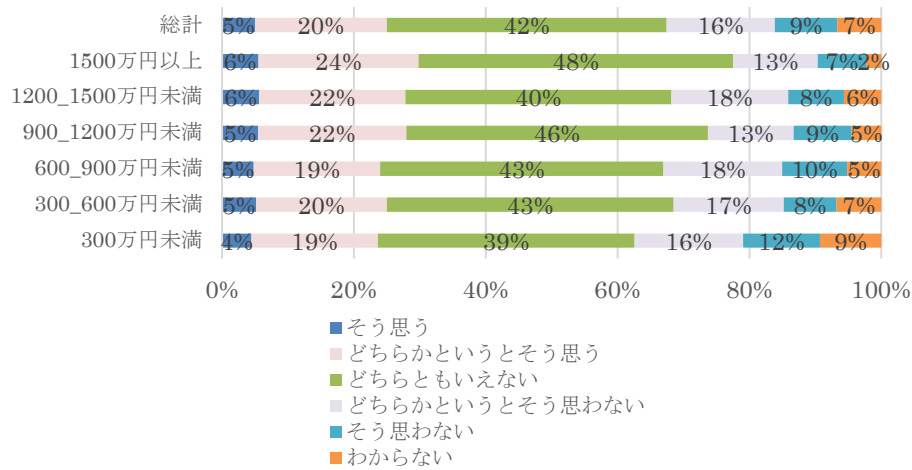
図表1-40 q10_1科学技術進歩_多様性（税込世帯年収別）



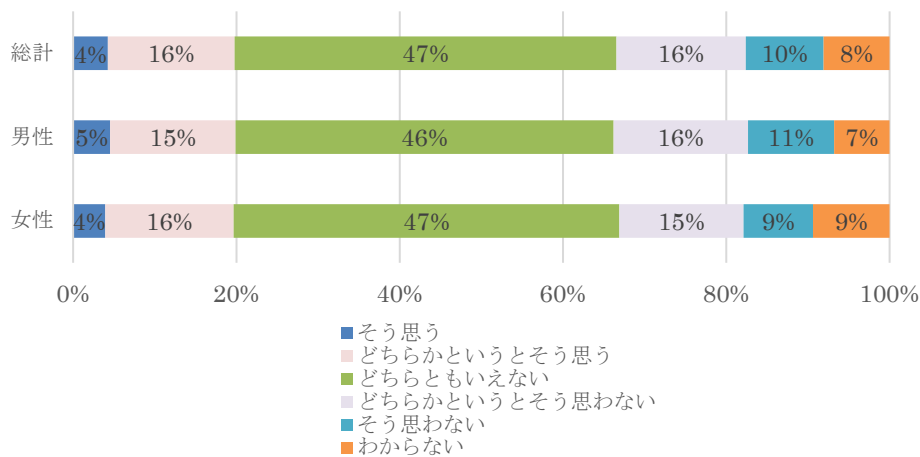
図表1-41 q10_2科学技術進歩_公平公正（性別）



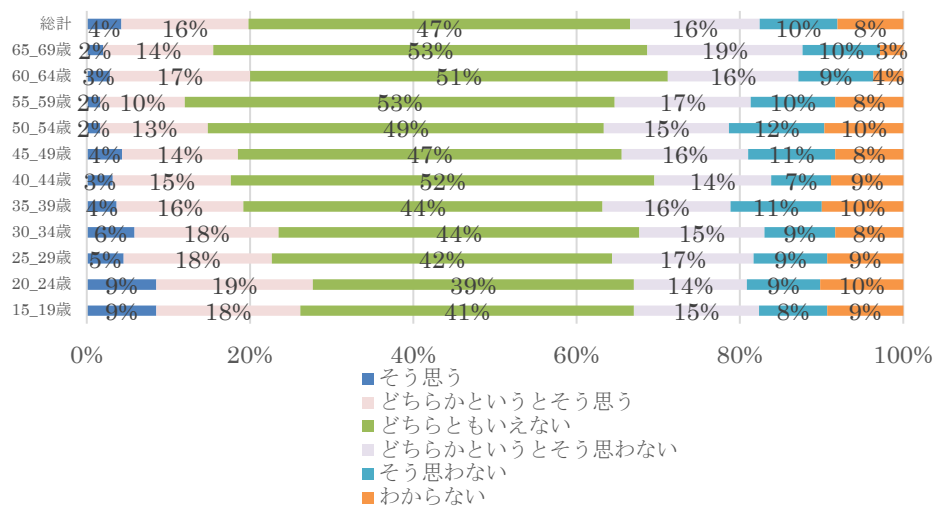
図表1-42 q10_2科学技術進歩_公平公正（年齢別）



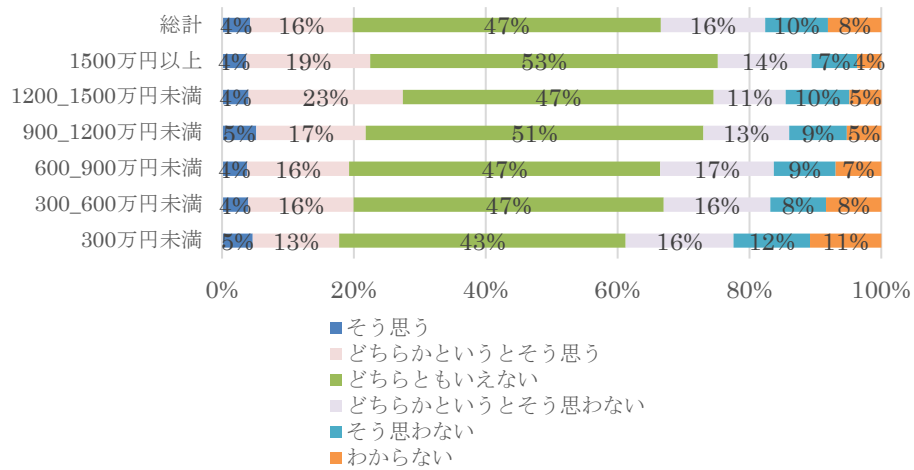
図表1-43 q10_2科学技術進歩_公平公正（税込世帯年収別）



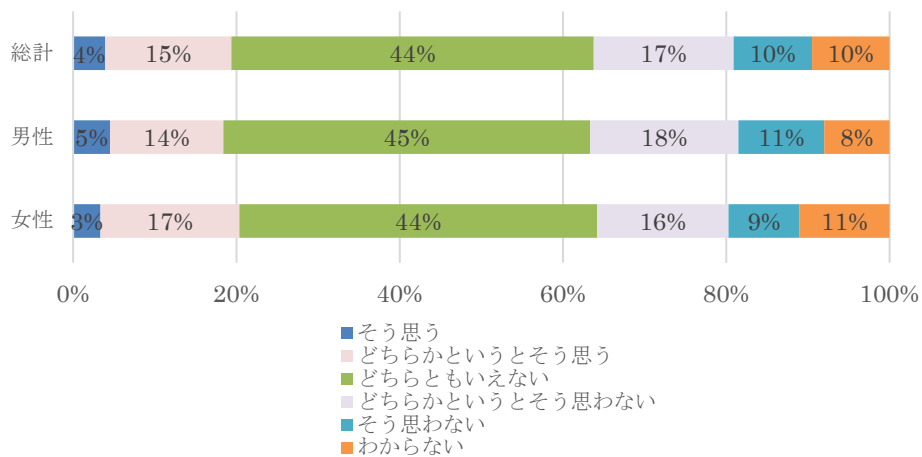
図表1-44 q10_3科学技術進歩_社会正義（性別）



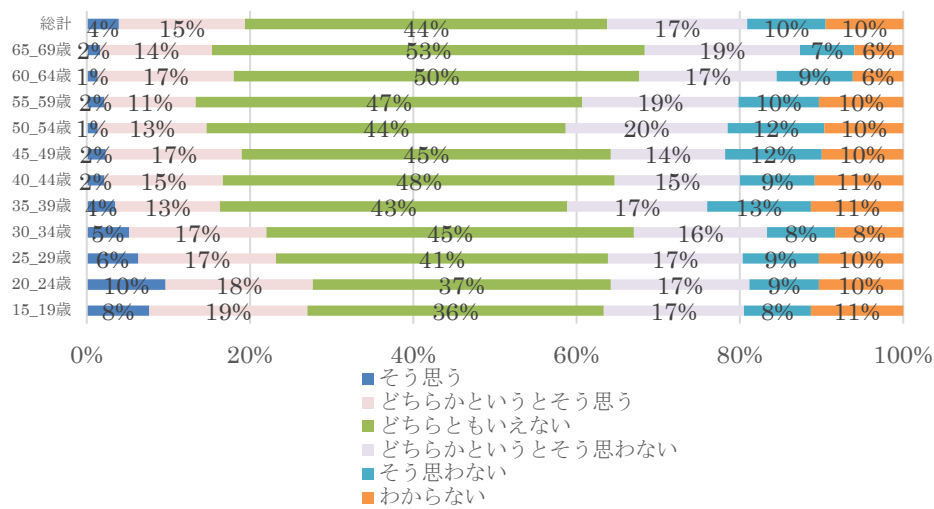
図表1-45 q10_3科学技術進歩_社会正義（年齢別）



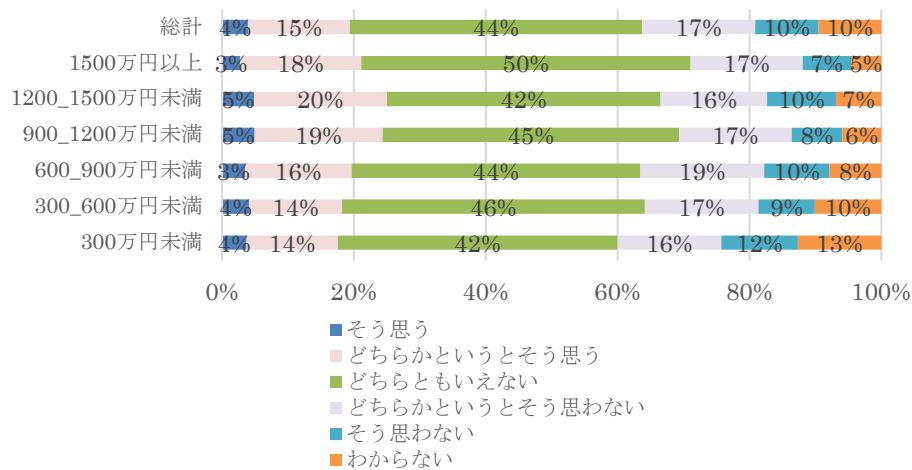
図表1-46 q10_3科学技術進歩_社会正義（税込世帯年収別）



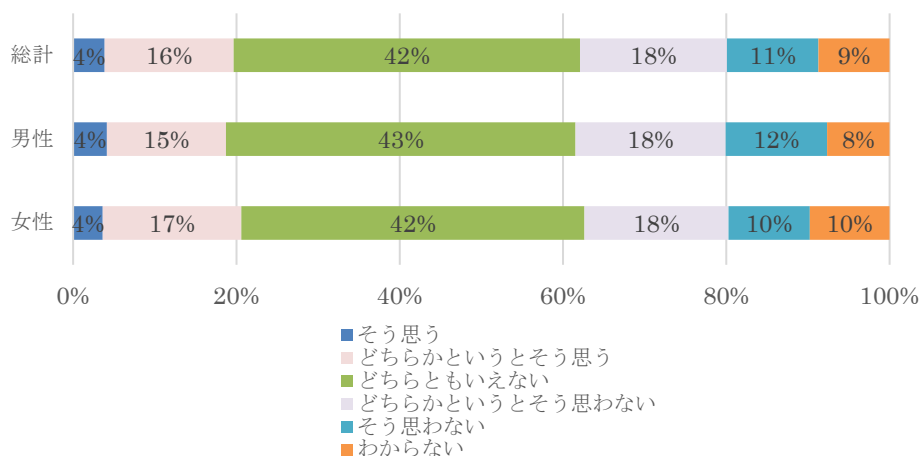
図表1-47 q10_4科学技術進歩_マイノリティの包摂（性別）



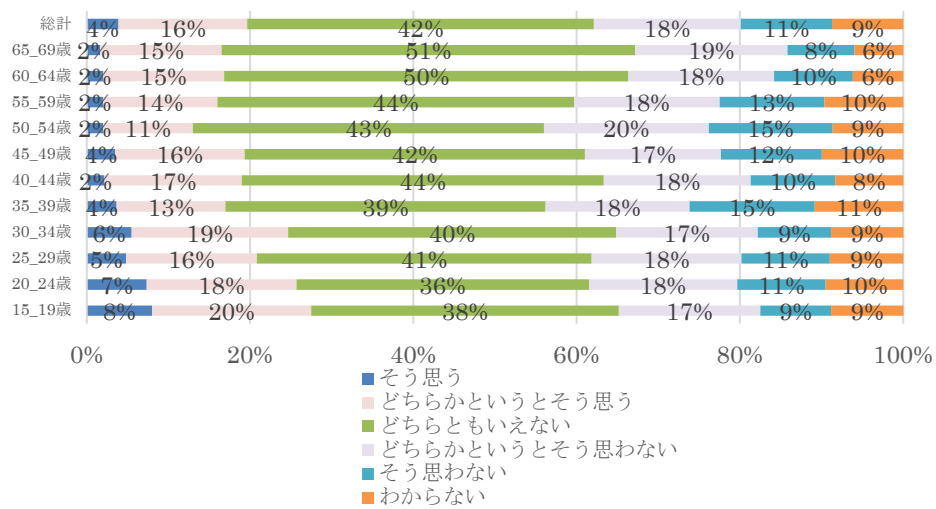
図表1-48 q10_4科学技術進歩_マイノリティの包摂（年齢別）



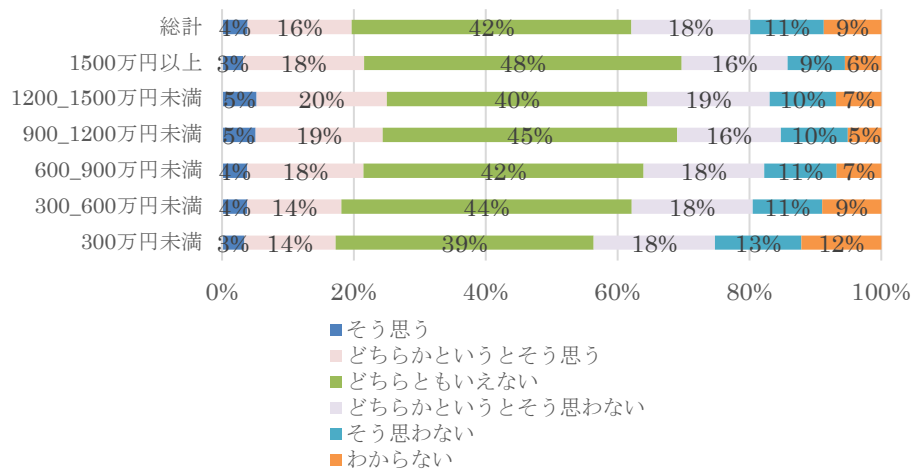
図表1-49 q10_4科学技術進歩_マイノリティの包摂（税込世帯年収別）



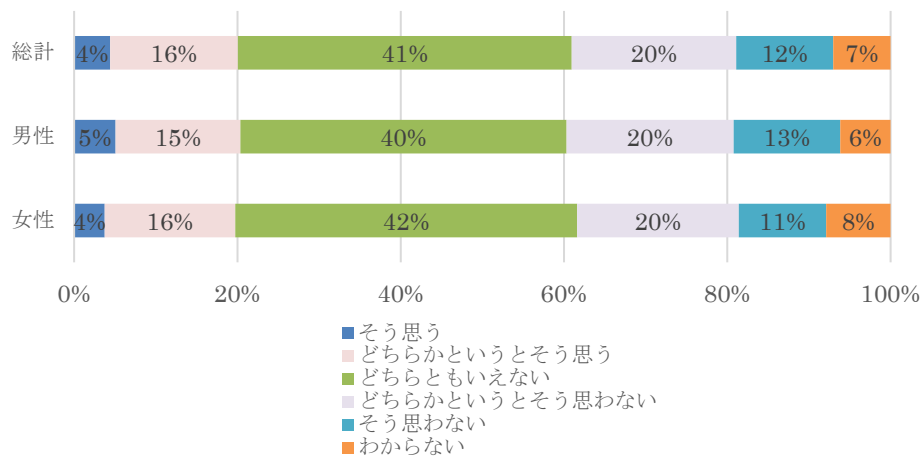
図表1-50 q10_5科学技術進歩_ジェンダー平等（性別）



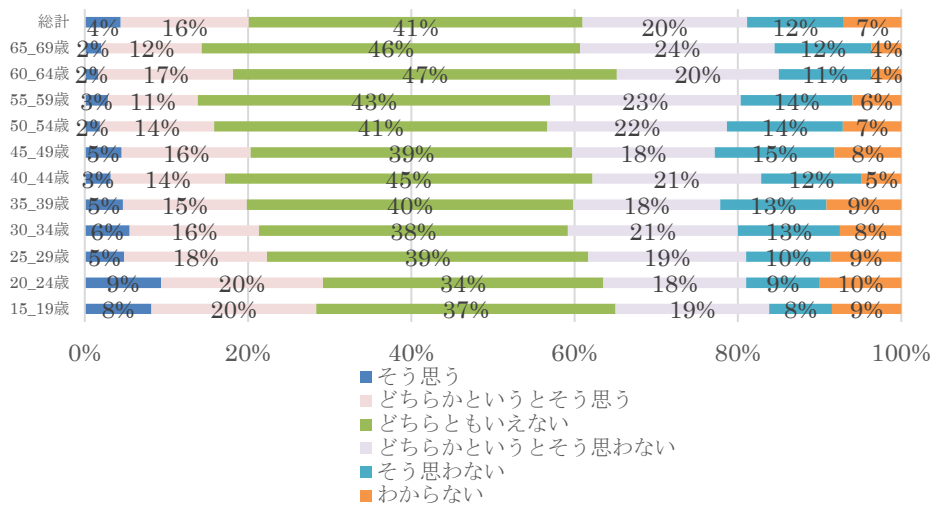
図表1-51 q10_5科学技術進歩_ジェンダー平等（年齢別）



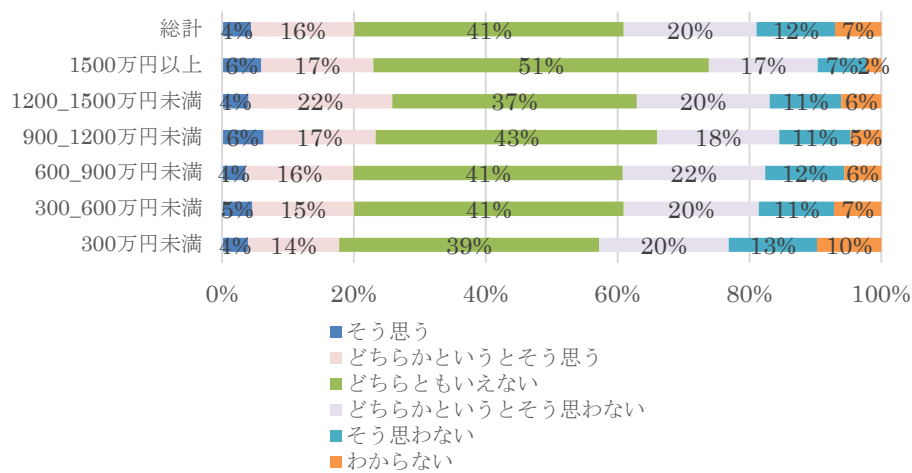
図表1-52 q10_5科学技術進歩_ジェンダー平等（税込世帯年収別）



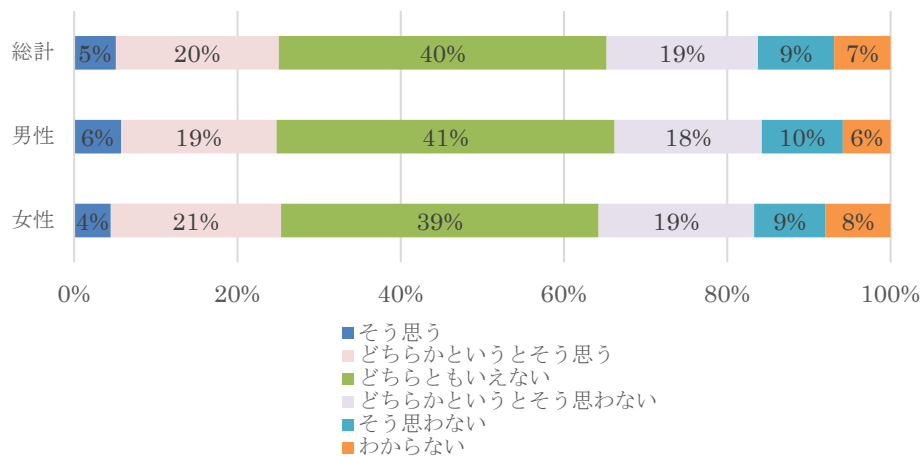
図表1-53 q10_7科学技術進歩_格差是正（性別）



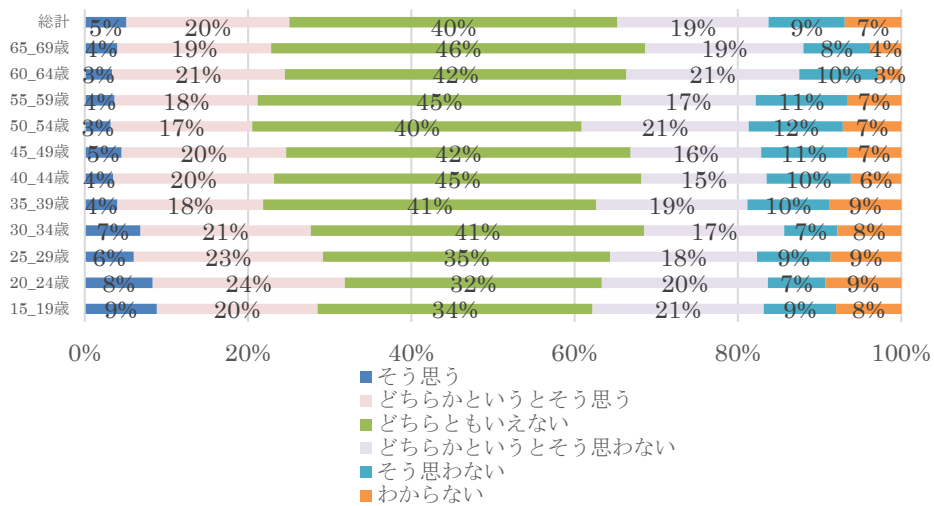
図表1-54 q10_7科学技術進歩_格差是正（年齢別）



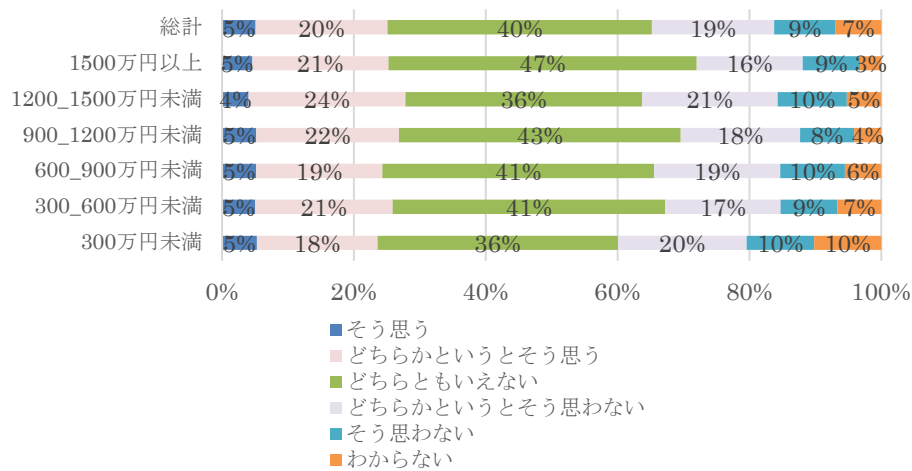
図表1-55 q10_7科学技術進歩_格差是正（税込世帯年収別）



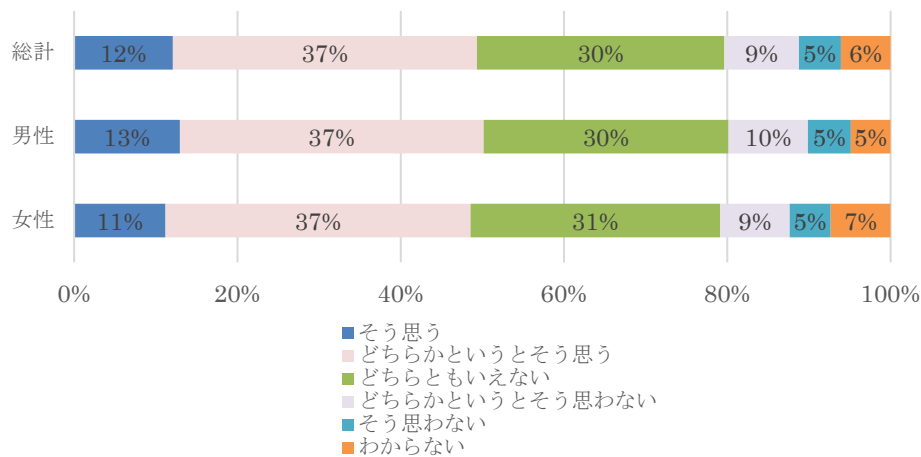
図表1-56 q10_8科学技術進歩_日本の伝統技術（性別）



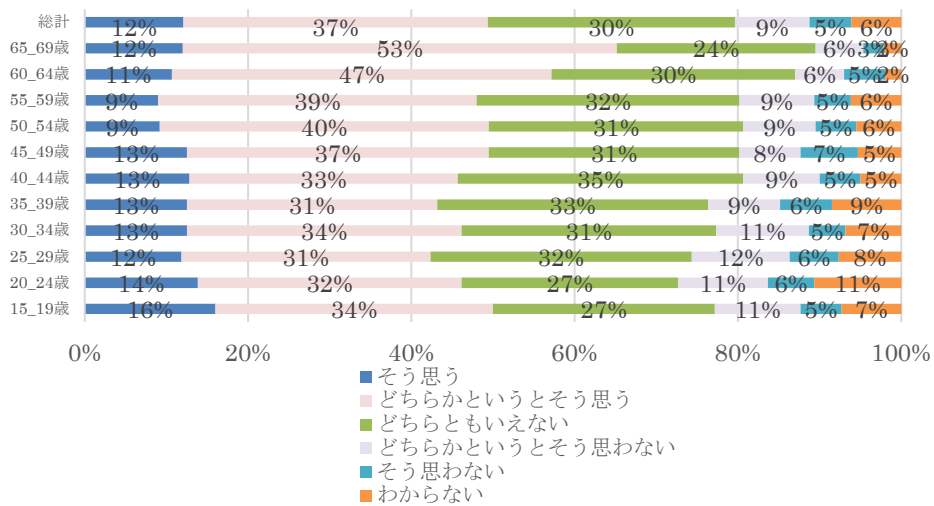
図表1-57 q10_8科学技術進歩_日本の伝統技術（年齢別）



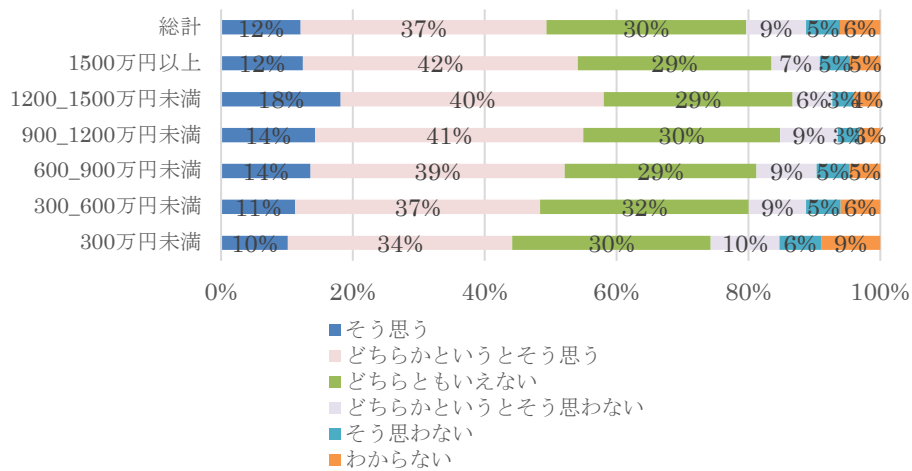
図表1-58 q10_8科学技術進歩_日本の伝統技術（税込世帯年収別）



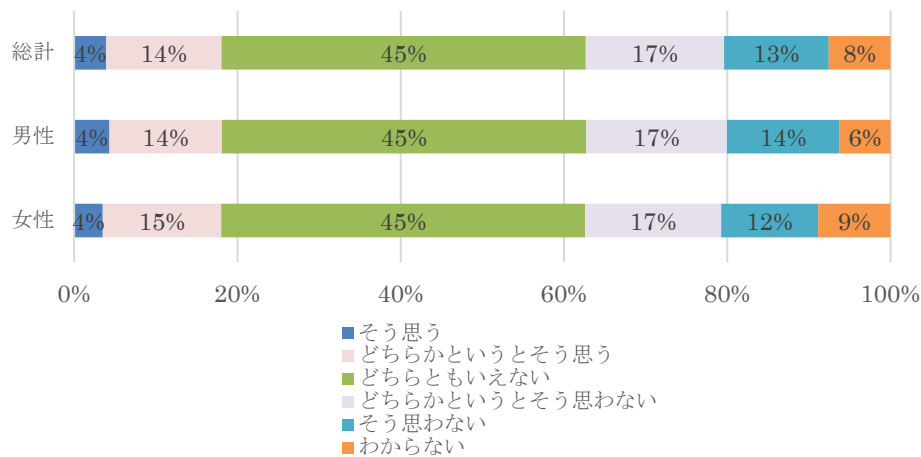
図表1-59 q10_9科学技術進歩_脱炭素（性別）



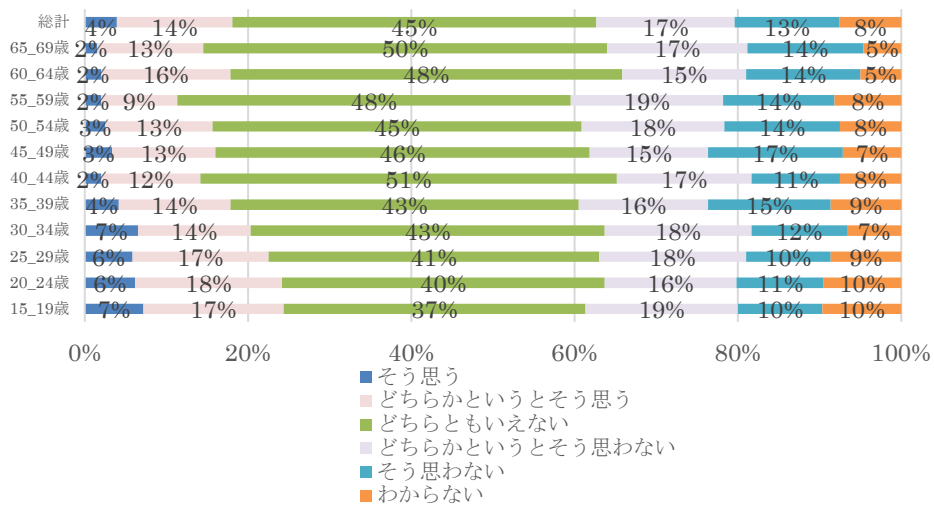
図表1-60 q10_9科学技術進歩_脱炭素（年齢別）



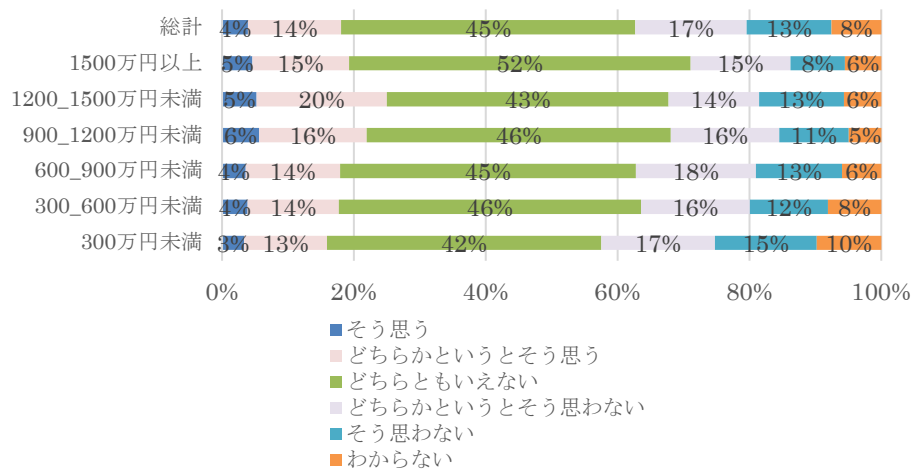
図表1-61 q10_9科学技術進歩_脱炭素（税込世帯年収別）



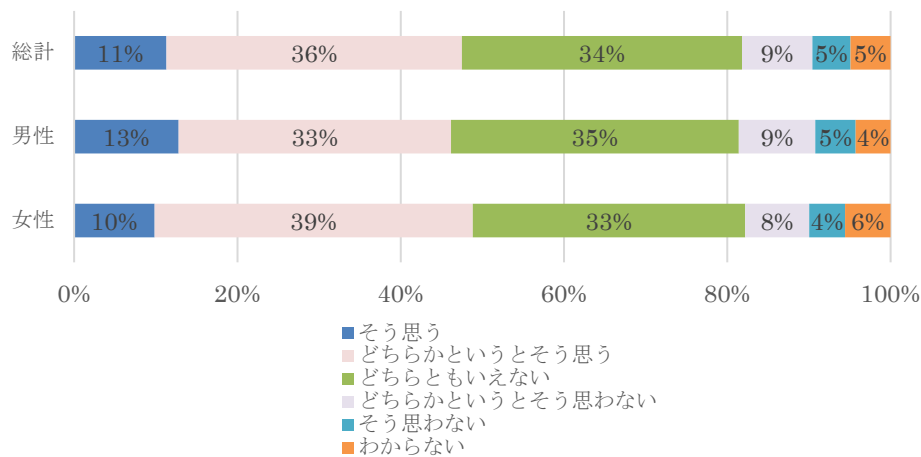
図表1-62 q10_10科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性（性別）



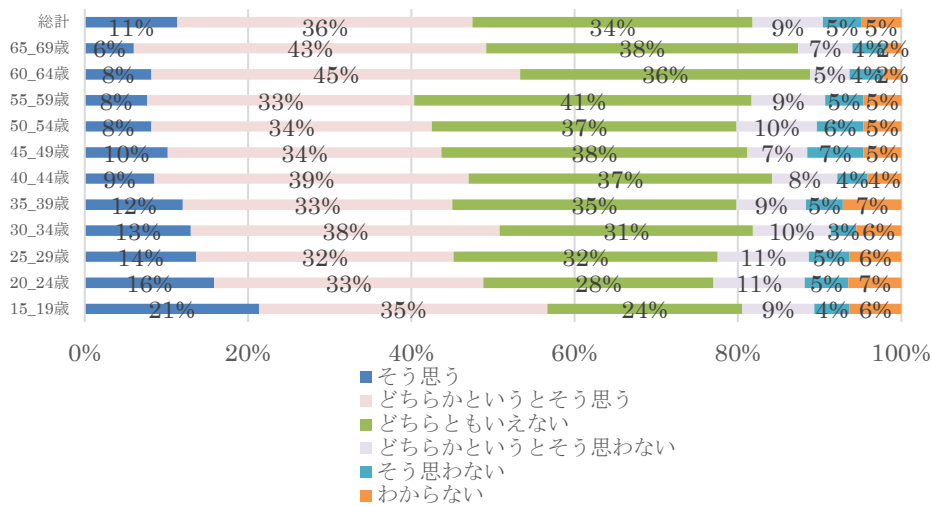
図表1-63 q10_10科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性（年齢別）



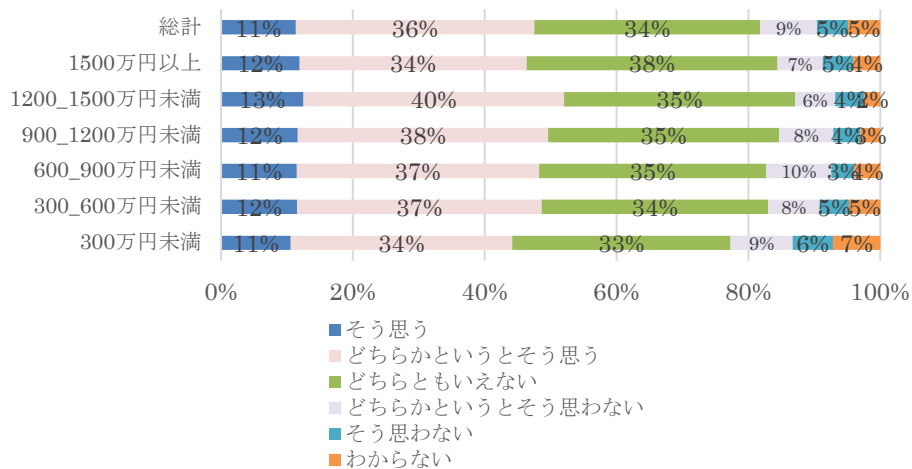
図表1-64 q10_10科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性（税込世帯年収別）



図表1-65 q10_11科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さ（性別）



図表1-66 q10_11科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さ（年齢別）



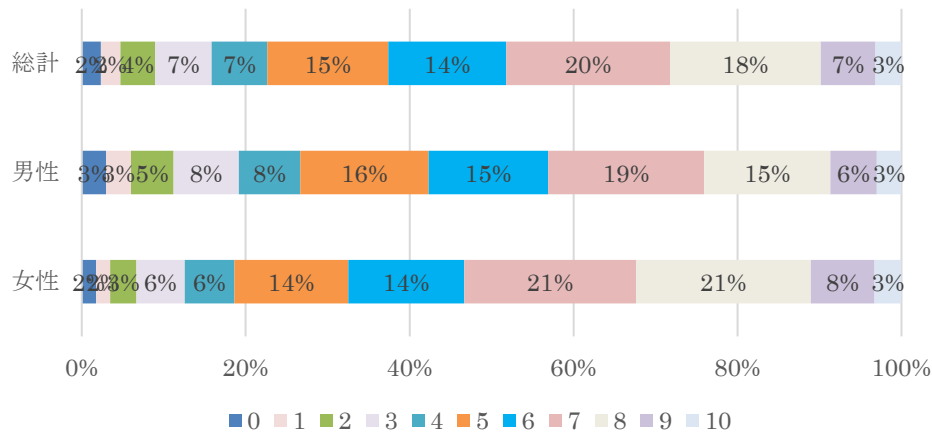
図表1-67 q10_11科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さ（税込世帯年収別）

(2) ウェルビーイング測定項目についての調査結果

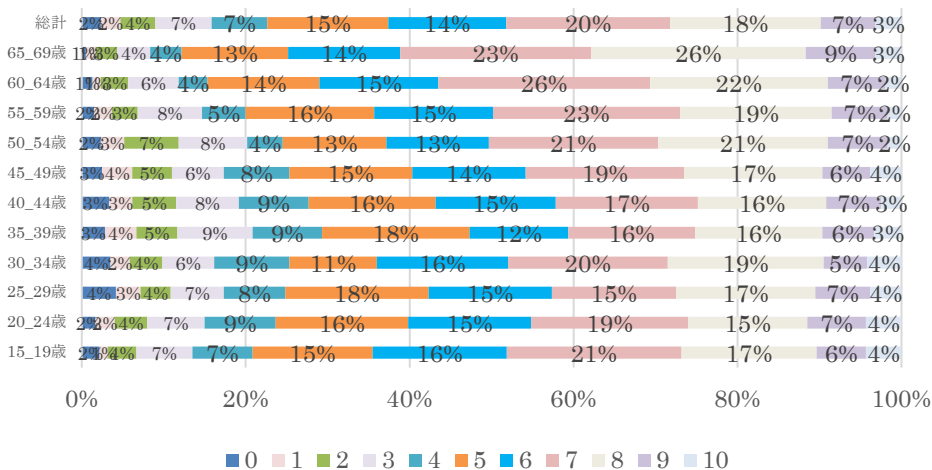
本調査では幸福度等をウェルビーイングの測定項目として設定しているが、これらは「文化に関する世論調査—ウェルビーイングと文化芸術活動の関連—(2022年3月文化庁)」[2]においてウェルビーイング測定項目として設定されているものに準拠した。

(ア) 幸福度・健康状態

幸福度について訊いた(「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とする)。全体として6点以上の回答割合が62%となった。「性別」(図表2-1)に関して、男性の幸福度が女性に比べて低くなっていることが分かる。一方、「年齢別」(図表2-2)に関しては、「35-39歳」の階級の幸福度が低く、それより年齢が増大していくに伴い、またそれより年齢が減少していくに伴い幸福度が増大していくことが分かる。



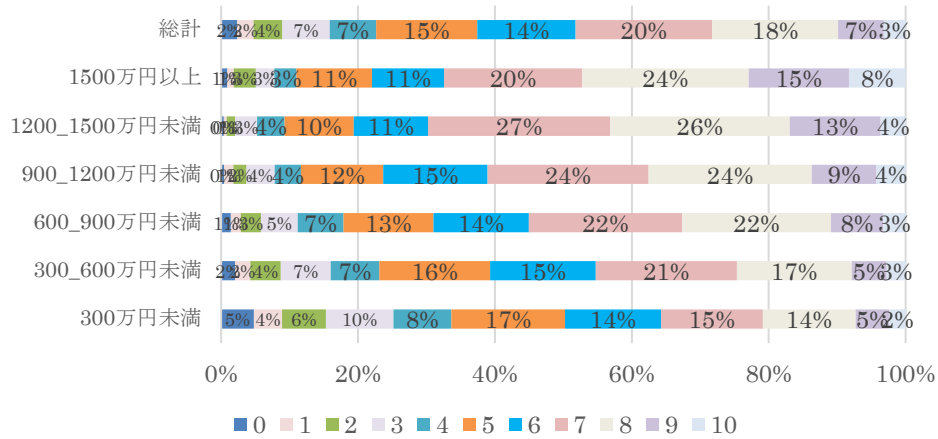
図表2-1 q11幸福度p(性別)



図表2-2 q11幸福度p(年齢別)

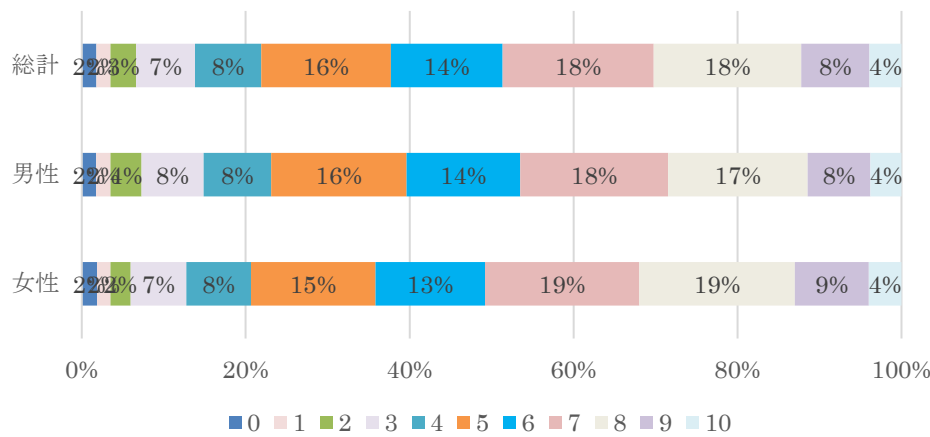
一方、「税込世帯年収別」(図表2-3)を見ると、年収が増大するに伴い概ね単調に幸福度が

増大していくことが分かる。



図表2-3 q11幸福度p (税込世帯年収別)

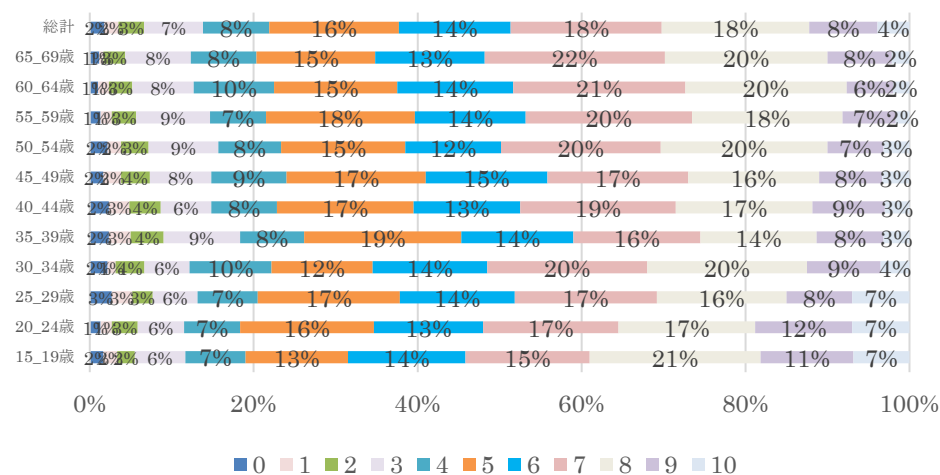
他方、健康状態について訊いた(「とても良い」を10点、「良くない」を0点とする)。全体として6点以上の回答割合が62%となった。「性別」(図表2-4)では男性より女性の方が状態が良い。



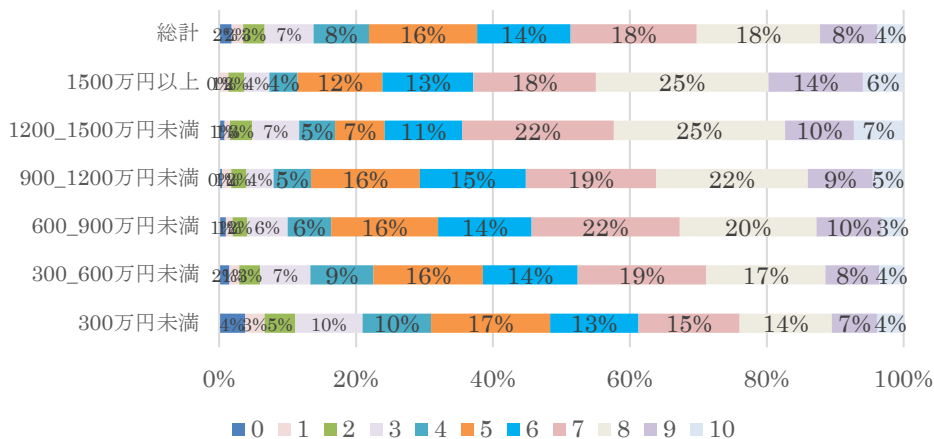
図表2-4 q12健康状態p(性別)

年齢別に訊いたところ(図表2-5)、健康状態は年齢によって違いは少ないが、「30-34歳」の階級以下はやや状態が良い。

加えて、「税込世帯年収別」で訊いたところ(図表2-6)年収が増大するに伴い概ね単調に状態が良くなっていることが分かる。



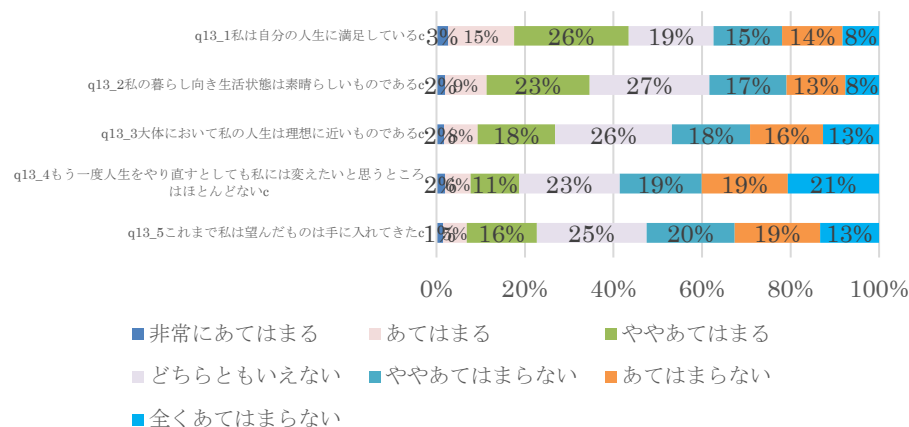
図表2-5 q12健康状態p(年齢別)



図表2-6 q12健康状態p(税込世帯年収別)

(イ) 人生満足度・人生の意義・協調的幸福感・畏怖畏敬体験

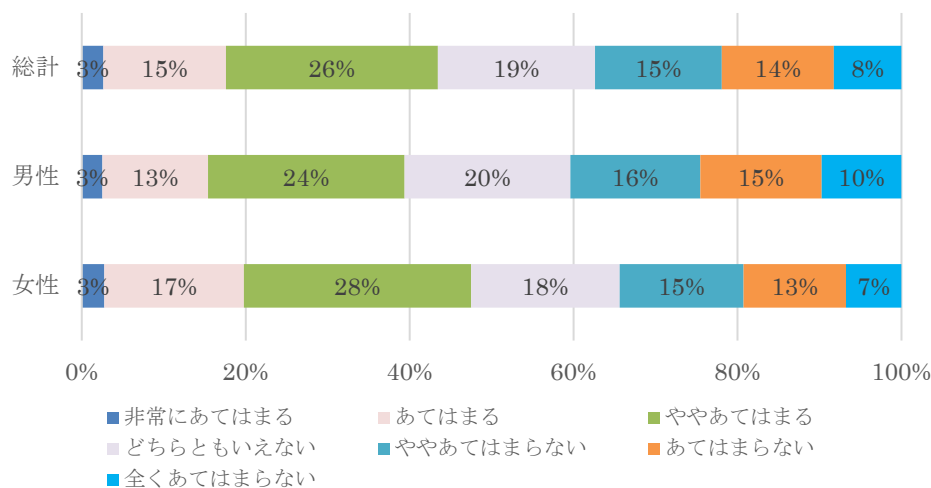
人生満足度の項目について、図表 3-1 では「(非常に、やや)あてはまる」で「私は自分の人生に満足している」が最も高く、44%程度となっている。



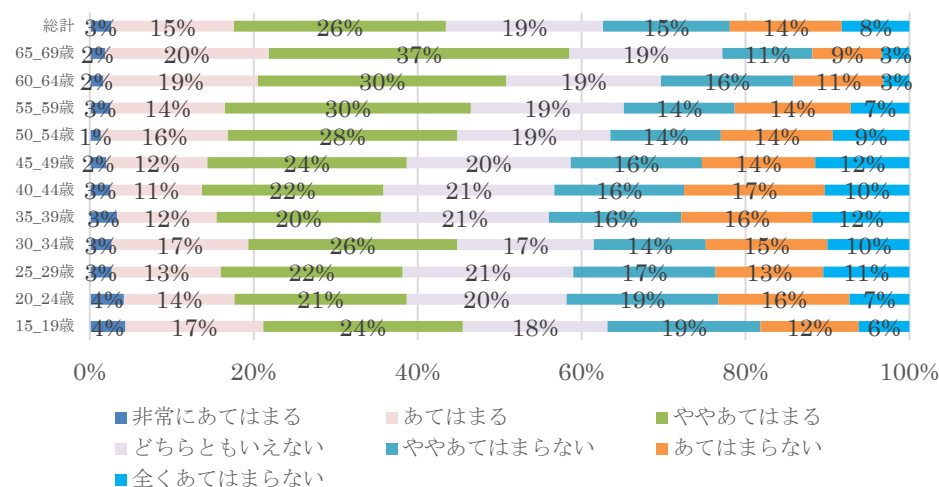
図表3-1 q13人生満足度_総計比較

次に、人生満足度「私は自分の人生に満足している」について訊くと、「性別」(図表 3-2)では男性より女性の方が満足している。「(非常に、やや)あてはまる」で男性では 40%、女性では 48%が回答している。年齢別で見ると、図表 3-3 となり、「35-39 歳」以上の階級においては年齢が増大するに伴い概ね単調に満足度が高くなっている。

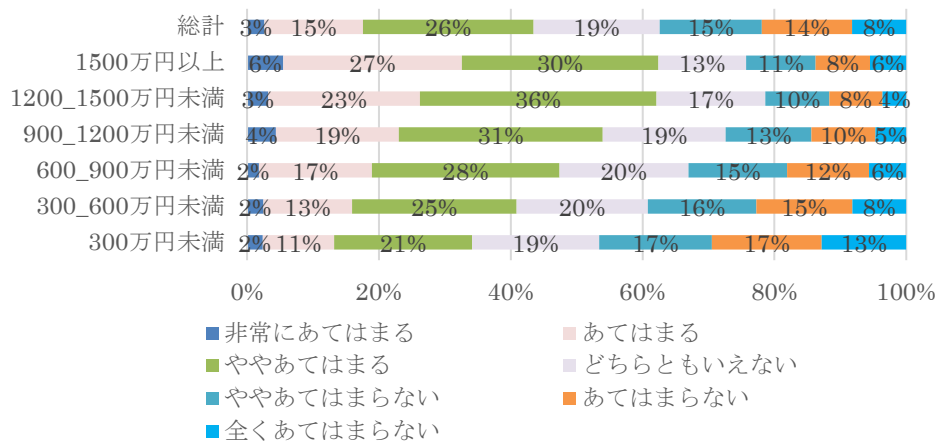
また、税込世帯年収別で見ると、図表 3-4 となり、年収が増大するに伴い概ね単調に満足度が高くなっている。



図表3-2 q13_1人生満足度_私は自分の人生に満足している(性別)



図表3-3 q13_1人生満足度_私は自分の人生に満足している(年齢別)



図表3-4 q13_1人生満足度_私は自分の人生に満足している(税込世帯年収別)

上記と同様に、q13.2 人生満足度_私の暮らし向き(生活状態)は素晴らしいものであるから q13.5 人生満足度_これまで私は望んだものは手に入れてきたまでの分析結果を図表 3-5 から図表 3-16 までにまとめた。

性別分析の結果、以下が判明した。(括弧内は該当項目数)

○女性の方が男性より「(非常に、やや)あてはまる」が多い

・私の暮らし向き(生活状態)は素晴らしいものである、大体において私の人生は理想に近いものである、これまで私は望んだものは手に入れてきた(3)

○男性・女性ともに「(非常に、やや)あてはまる」が差がない

・もう一度人生をやり直すとしても私には変えたいと思うところはほとんどない(1)

これらより概ね女性の方が男性より「(非常に、やや)あてはまる」が多いことが判明した。

年齢分析の結果、以下が判明した。

○「30-34 歳」以下の階級において「(非常に、やや)あてはまる」が多い

・もう一度人生をやり直すとしても私には変えたいと思うところはほとんどない(1)

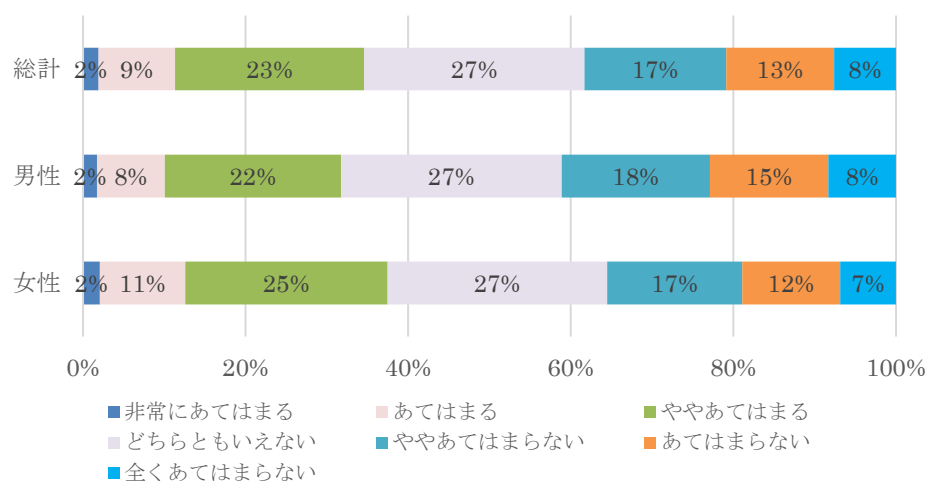
○「30-34 歳」以下の階級、「60-64 歳」以上の階級において「(非常に、やや)あてはまる」が多い

・私の暮らし向き(生活状態)は素晴らしいものである、大体において私の人生は理想に近いものである、これまで私は望んだものは手に入れてきた(3)

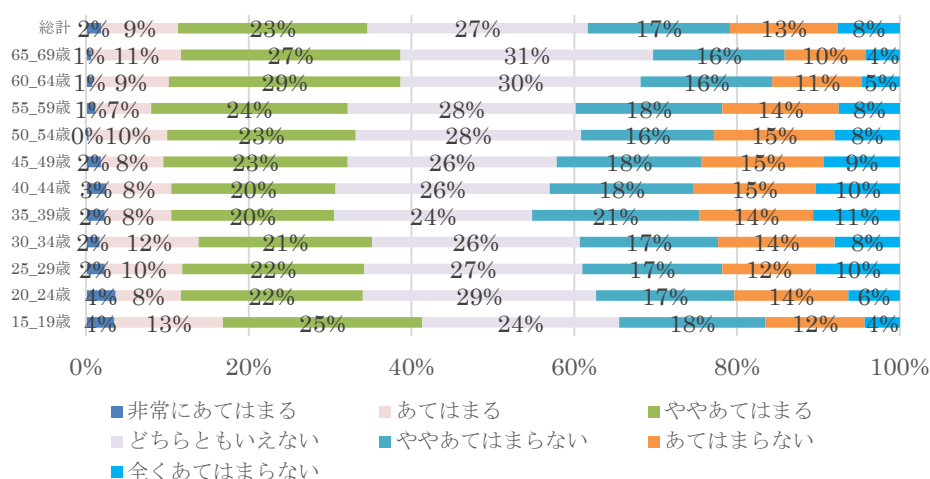
税込世帯年収分析の結果、以下が判明した。

○年収が増大するに伴い概ね単調に「(非常に、やや)あてはまる」の割合が大きくなっている

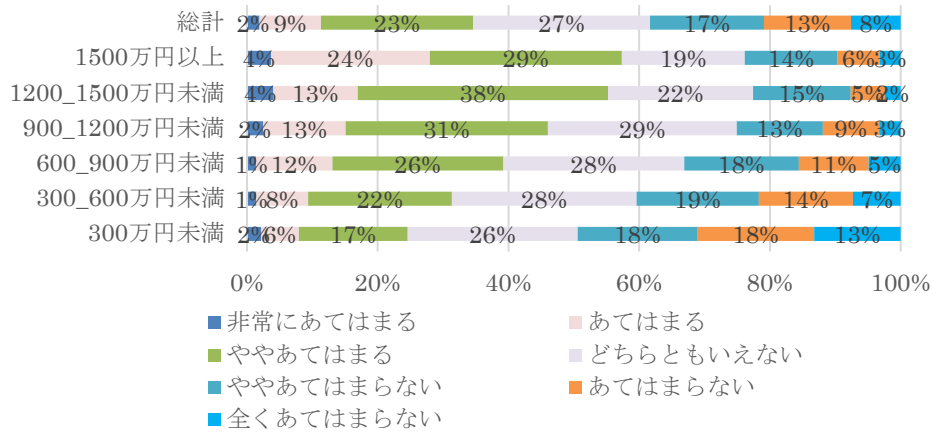
・私の暮らし向き(生活状態)は素晴らしいものである、大体において私の人生は理想に近いものである、もう一度人生をやり直すとしても私には変えたいと思うところはほとんどない、これまで私は望んだものは手に入れてきた(4)



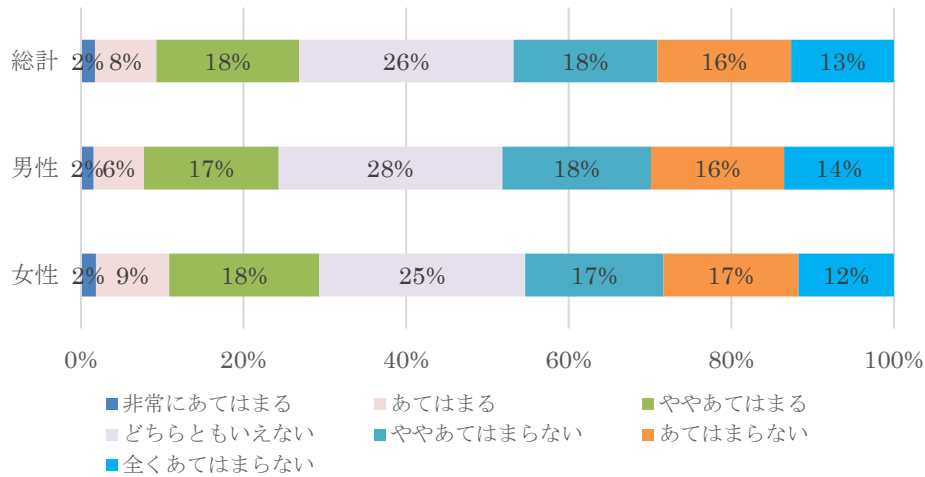
図表3-5 q13_2人生満足度_私の暮らし向き（生活状態）は素晴らしいものである(性別)



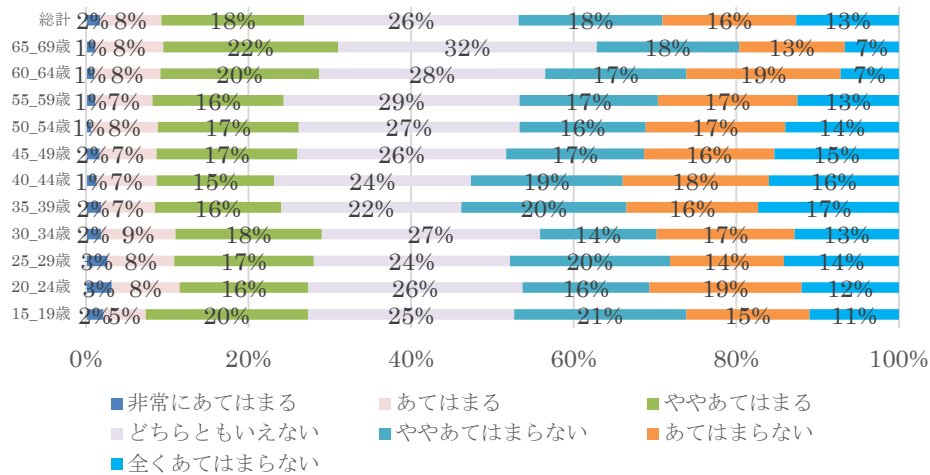
図表3-6 q13_2人生満足度_私の暮らし向き（生活状態）は素晴らしいものである(年齢別)



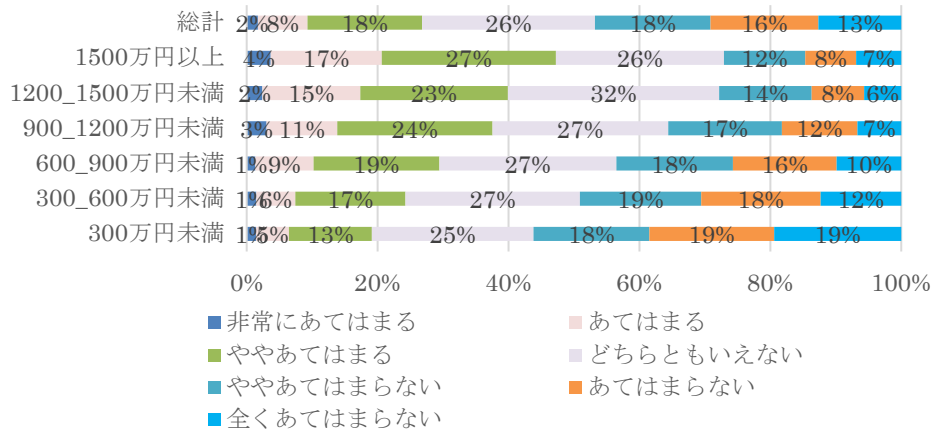
図表3-7 q13_2人生満足度_私の暮らし向き（生活状態）は素晴らしいものである(税込世帯年収別)



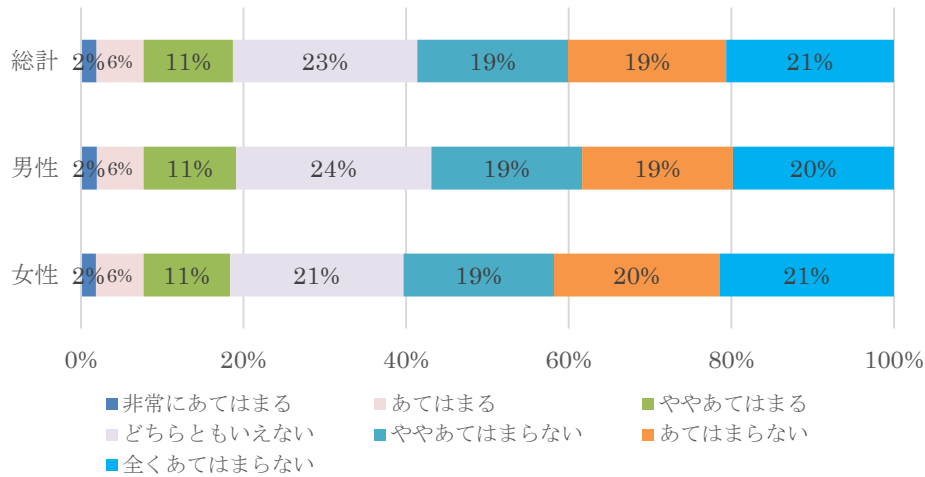
図表3-8 q13_3人生満足度_大体において私の人生は理想に近いものである(性別)



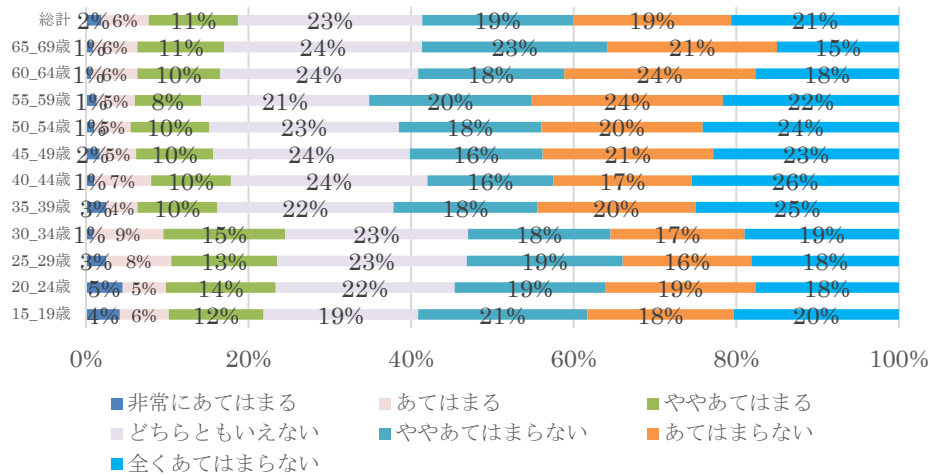
図表3-9 q13_3人生満足度_大体において私の人生は理想に近いものである(年齢別)



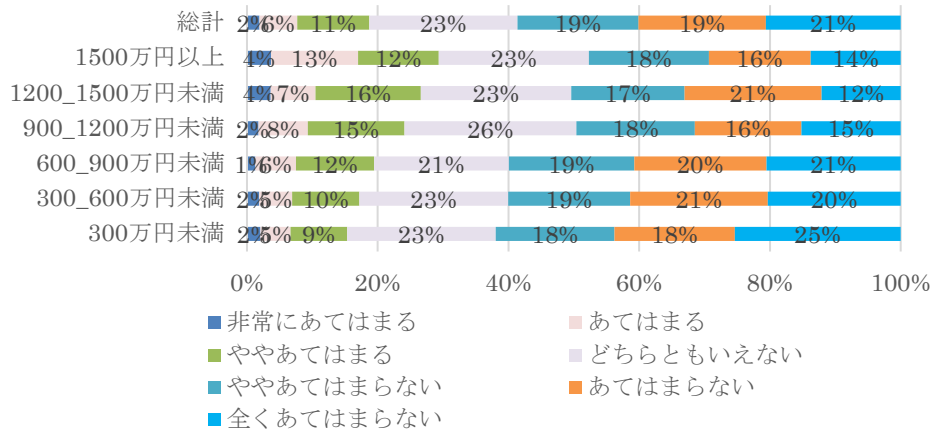
図表3-10 q13_3人生満足度_大体において私の人生は理想に近いものである
(税込世帯年収別)



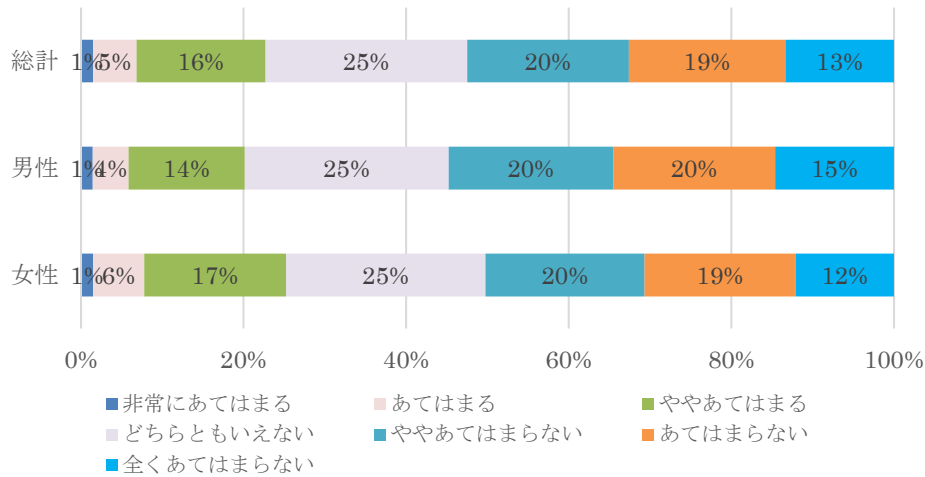
図表3-11 q13_4人生満足度_もう一度人生をやり直すとしても私には変えたい
と思うところはほとんどない(性別)



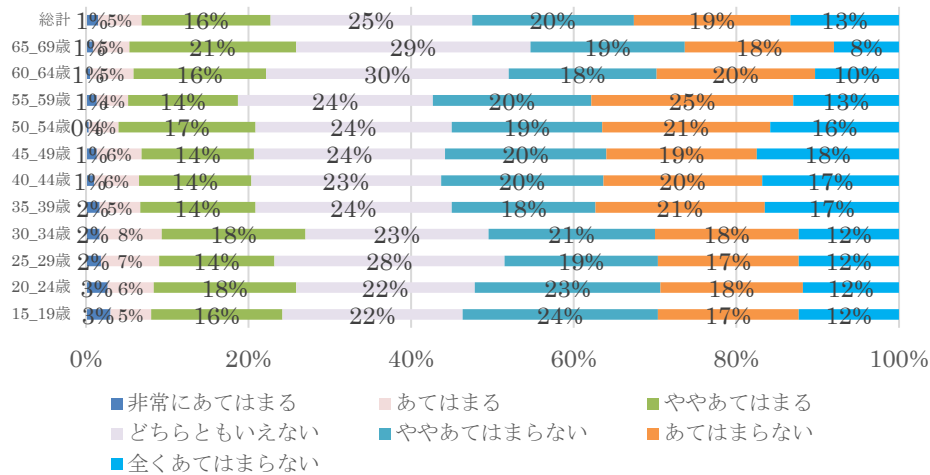
図表3-12 q13_4人生満足度_もう一度人生をやり直すとしても私には変えたい
と思うところはほとんどない(年齢別)



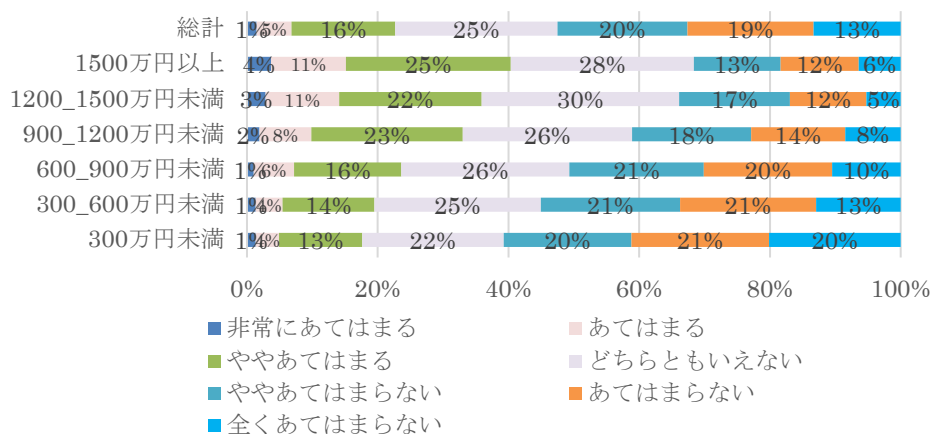
図表3-13 q13_4人生満足度_もう一度人生をやり直すともし私には変えたいと思うところはほとんどない(税込世帯年収別)



図表3-14 q13_5人生満足度_これまで私は望んだものは手に入ってきた(性別)

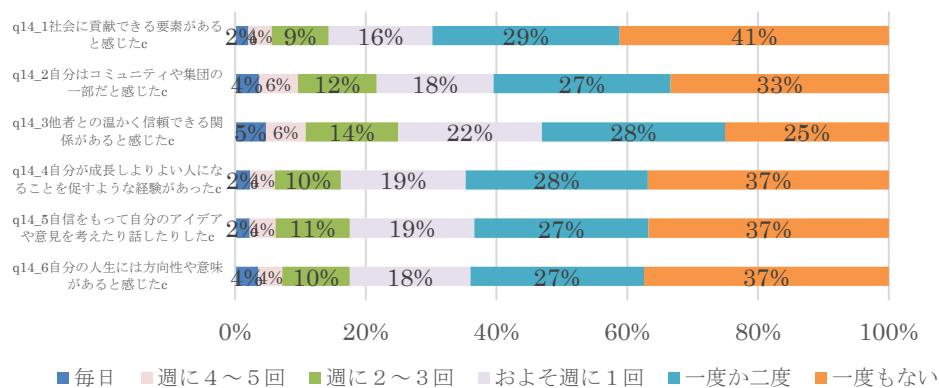


図表3-15 q13_5人生満足度_これまで私は望んだものは手に入ってきた(年齢別)



図表3-16 q13_5人生満足度_これまで私は望んだものは手に入れてきた(税込世帯年収別)

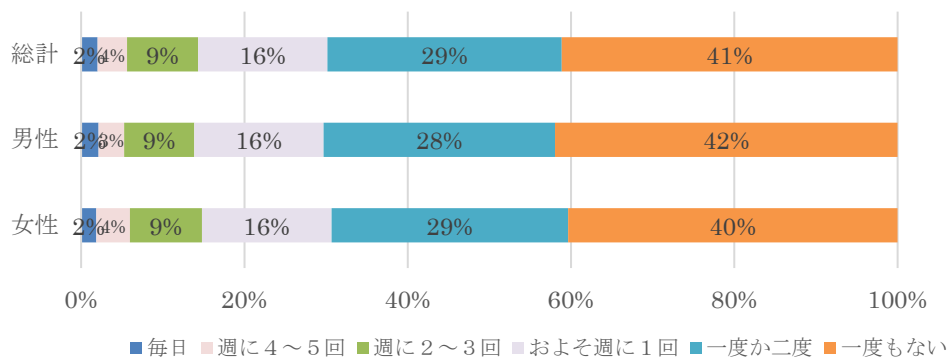
次に人生の意義の項目について、図表 4-1 では「週に 2～3 回」以上で「他者との温かく信頼できる関係があると感じた」が最も高く、25%程度となっている。



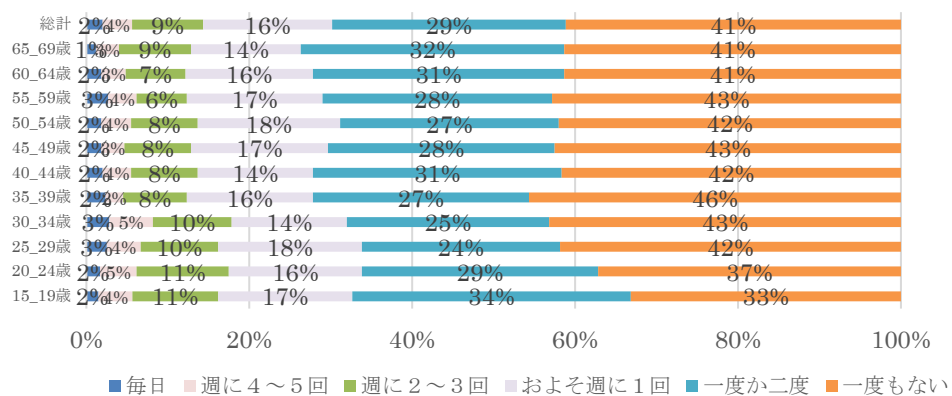
図表4-1 q14人生の意義_総計比較

また、人生の意義「社会に貢献できる要素があると感じた」について訊くと、「性別」(図表 4-2)では男女の差はあまりないと考えられる。「年齢別」で見ると(図表 4-3)、年齢によって大きく異なる傾向はないが、「30-34 歳」の階級以下は週2～3回以上と回答する割合が少し大きかった。

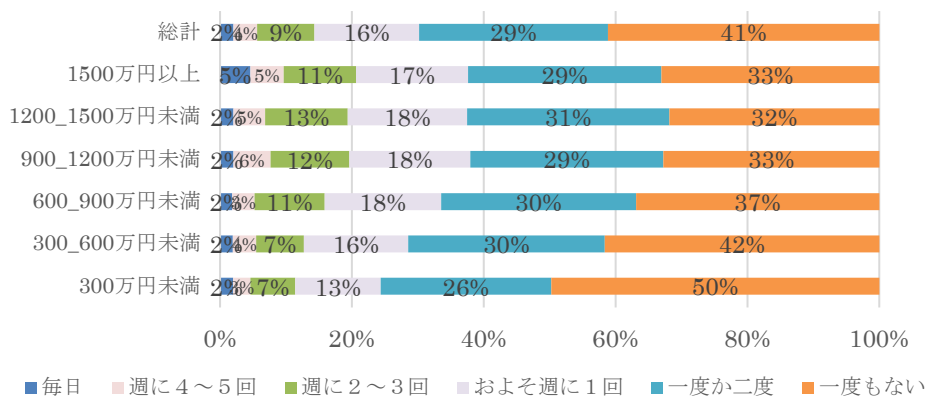
また、税込世帯年収別で見ると、図表 4-4 となり、「900-1200 万円」の階級までは年収が増大するに伴い週2～3回以上と回答する割合が概ね単調に増大していく大きくなっていく。



図表4-2 q14_1人生の意義_社会に貢献できる要素があると感じた(性別)



図表4-3 q14_1人生の意義_社会に貢献できる要素があると感じた (年齢別)



図表4-4 q14_1人生の意義_社会に貢献できる要素があると感じた (税込世帯年収別)

上記と同様に、q14.2 人生の意義_自分はコミュニティや集団の一部だと感じたから q14.6 人生の意義_自分の人生には方向性や意味があると感じたまでの分析結果を図表 4-5 から図表 4-19 までにまとめた。

性別分析の結果、以下が判明した。(括弧内は該当項目数)

○男性の方が女性より週2～3回以上と回答する割合が大きい

・自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり話したりした(1)

○女性の方が男性より週2～3回以上と回答する割合が大きい

・自分はコミュニティや集団の一部だと感じた、他者との温かく信頼できる関係があると感じた、自分が成長しよりよい人になることを促すような経験があった、自分の人生には方向性や意味があると感じた(4)

概ね女性の方が男性より多いことが判明した。

年齢分析の結果、以下が判明した。

○「20-24 歳」以下の階級において週2～3回以上と回答する割合が大きい

・自分はコミュニティや集団の一部だと感じた、他者との温かく信頼できる関係があると感じた、自分が成長しよりよい人になることを促すような経験があった、自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり話したりした、自分の人生には方向性や意味があると感じた(5)

税込世帯年収分析の結果、以下が判明した。

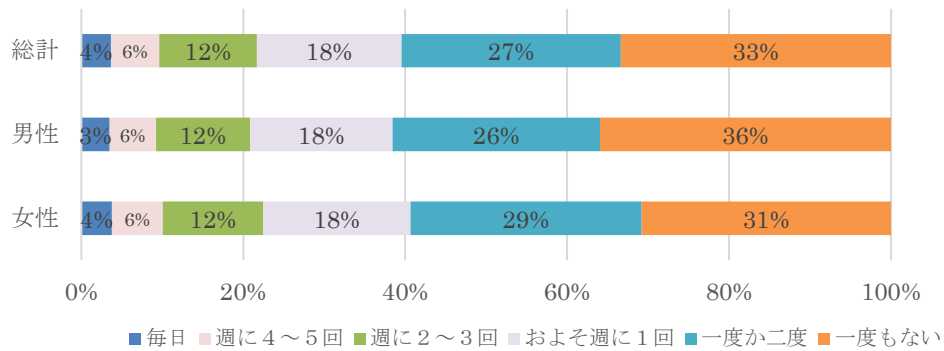
○年収が増大するに伴い、週2～3回以上と回答する割合が「1200-1500 万円未満」の階級まで単調に増大するがその上の階級で減少

・自分はコミュニティや集団の一部だと感じた、他者との温かく信頼できる関係があると感じた、自分が成長しよりよい人になることを促すような経験があった、自分の人生には方向性や意味があると感じた(4)

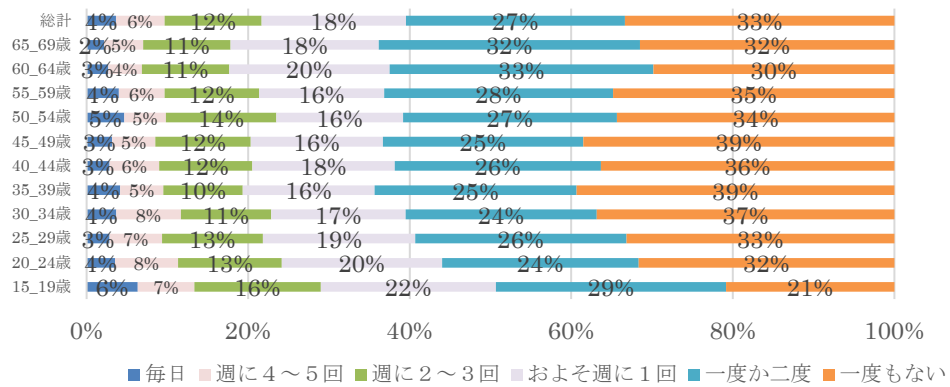
○年収が増大するに伴い、週2～3回以上と回答する割合が「1500 万円以上」の階級まで単調に増大

・自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり話したりした(1)

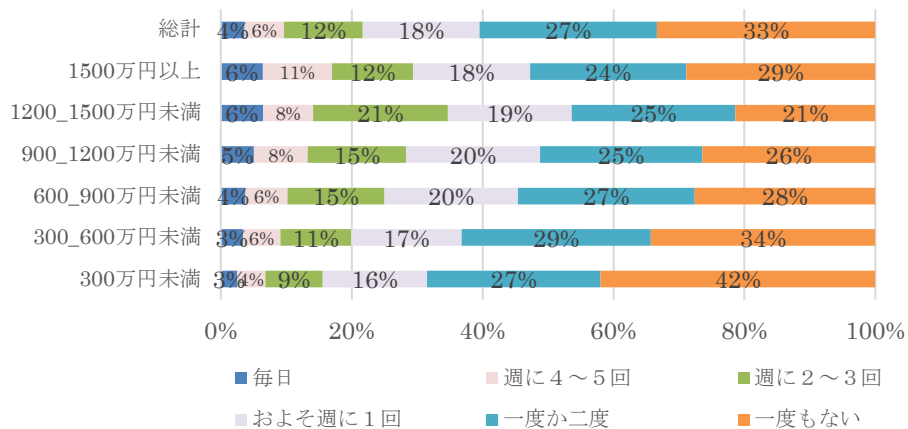
大勢としては、年収が増大するに伴い、週2～3回以上と回答する割合が「1200-1500 万円未満」の階級まで単調に増大するがその上の階級で減少していることが分かった。



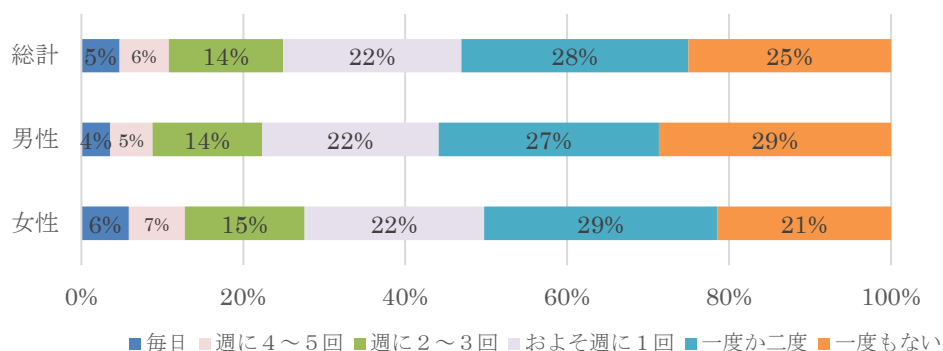
図表4-5 q14_2人生の意義_自分はコミュニティや集団の一部だと感じた(性別)



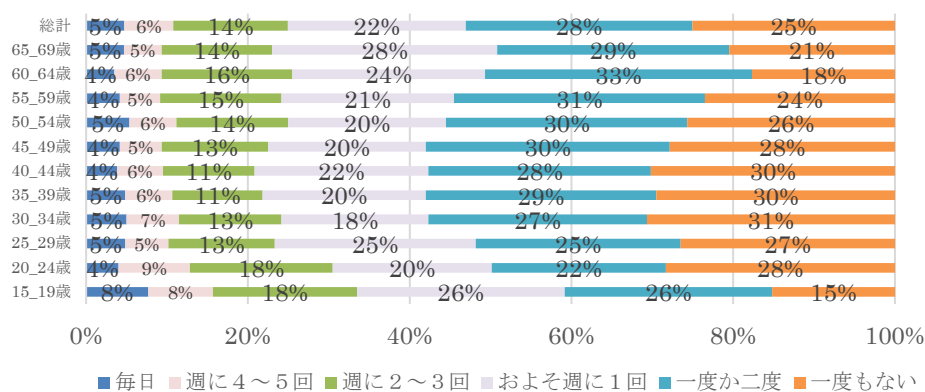
図表4-6 q14_2人生の意義_自分はコミュニティや集団の一部だと感じた (年齢別)



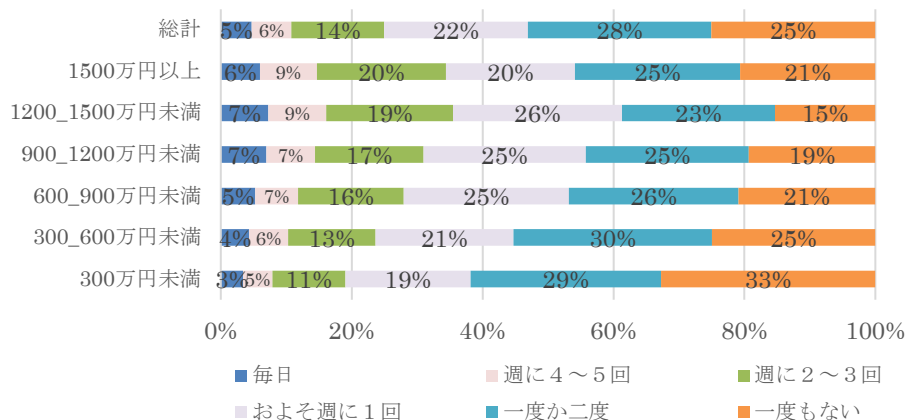
図表4-7 q14_2人生の意義_自分はコミュニティや集団の一部だと感じた (税込世帯年収別)



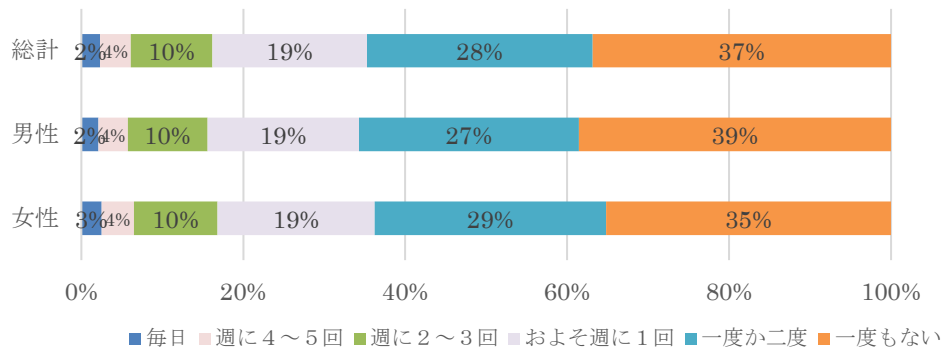
図表4-8 q14_3人生の意義_他者との温かく信頼できる関係があると感じた(性別)



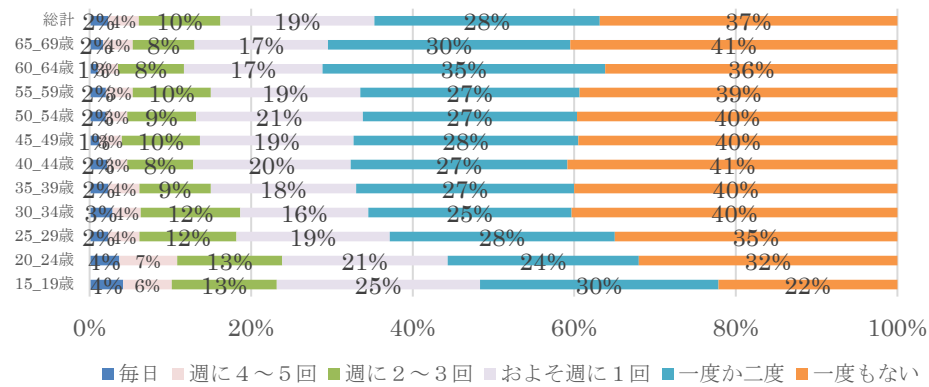
図表4-9 q14_3人生の意義_他者との温かく信頼できる関係があると感じた(年齢別)



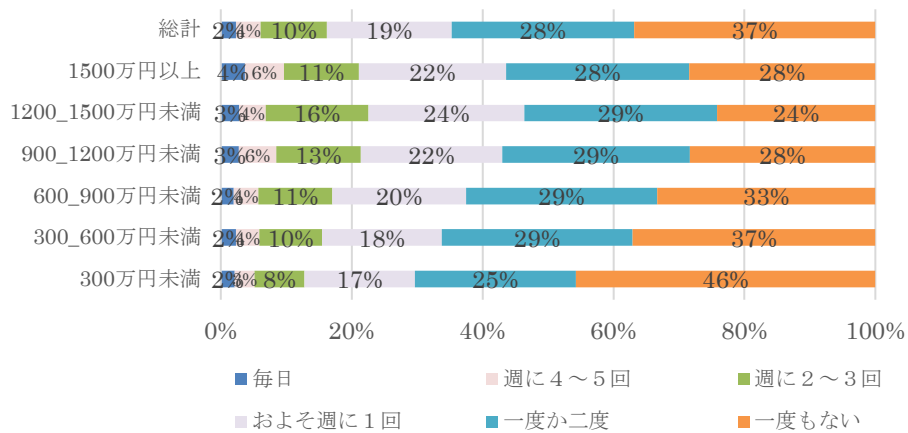
図表4-10 q14_3人生の意義_他者との温かく信頼できる関係があると感じた(税込世帯年収別)



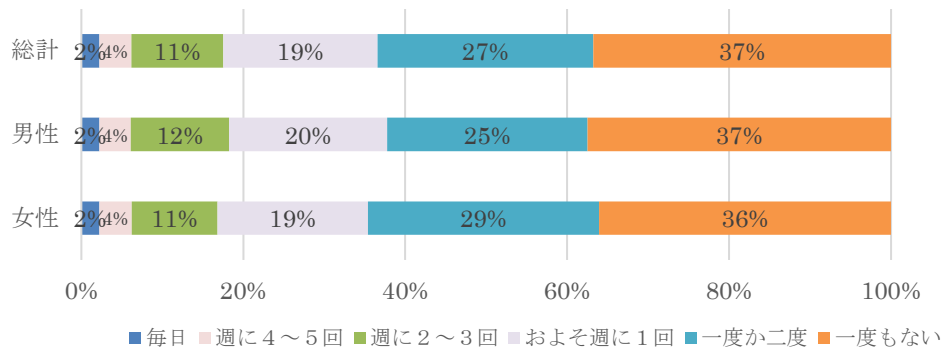
図表4-11 q14_4人生の意義_自分が成長しよりよい人になることを促すような経験があった(性別)



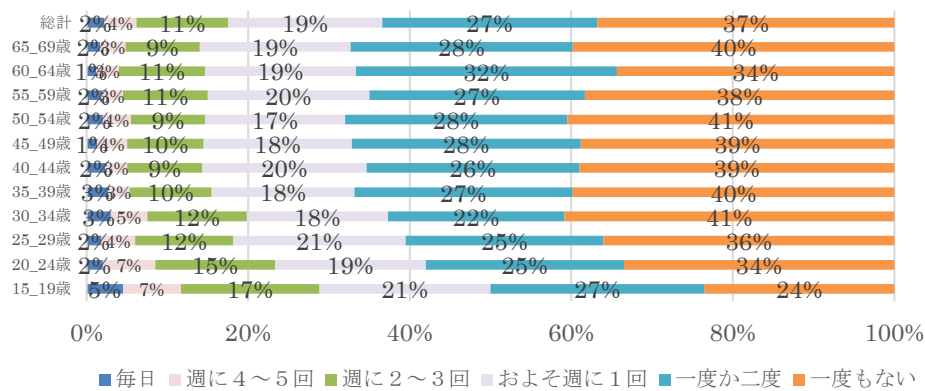
図表4-12 q14_4人生の意義_自分が成長しよりよい人になることを促すような経験があった (年齢別)



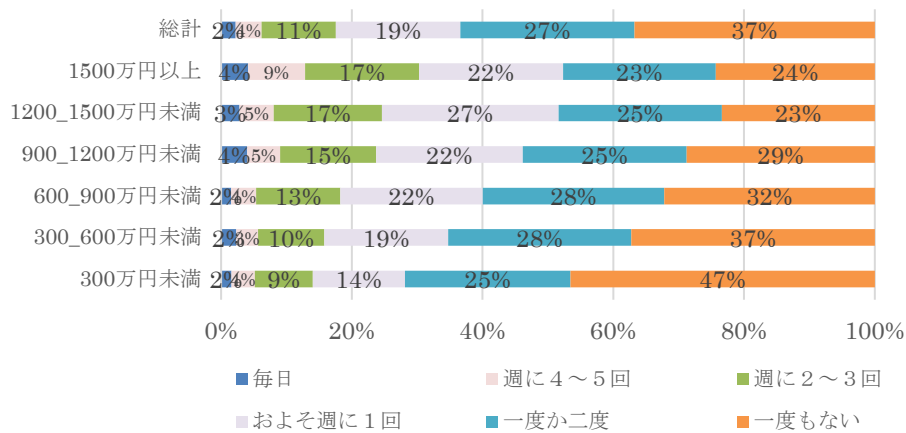
図表4-13 q14_4人生の意義_自分が成長しよりよい人になることを促すような経験があった (税込世帯年収別)



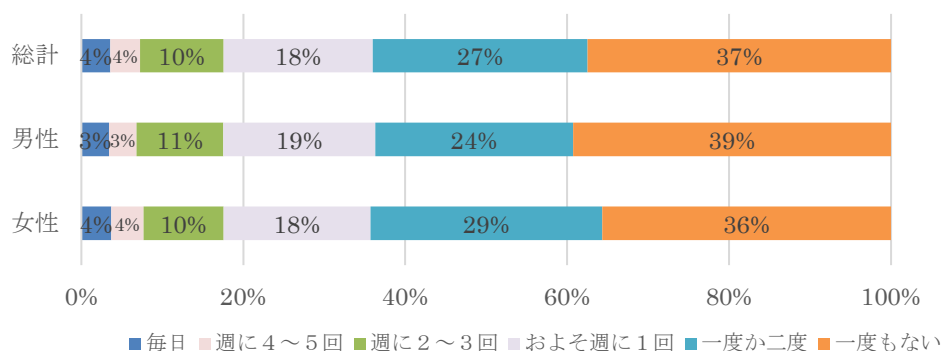
図表4-14 q14_5人生の意義_自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり話したりした(性別)



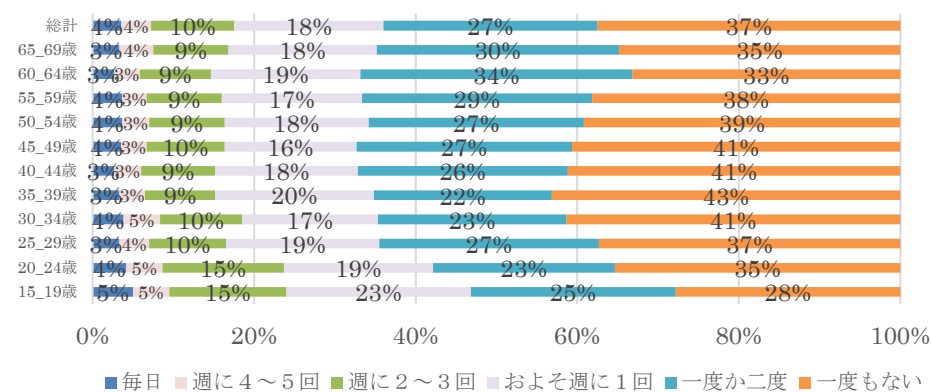
図表4-15 q14_5人生の意義_自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり話したりした (年齢別)



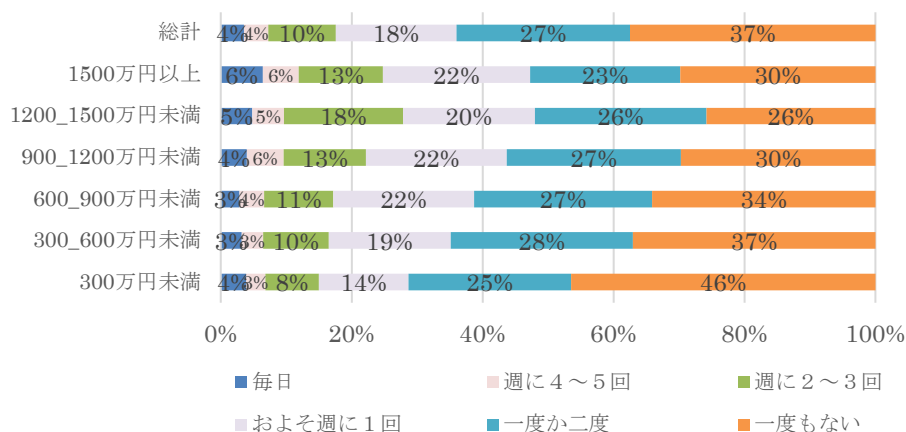
図表4-16 q14_5人生の意義_自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり話したりした (税込世帯年収別)



図表4-17 q14_6人生の意義_自分の人生には方向性や意味があると感じた(性別)

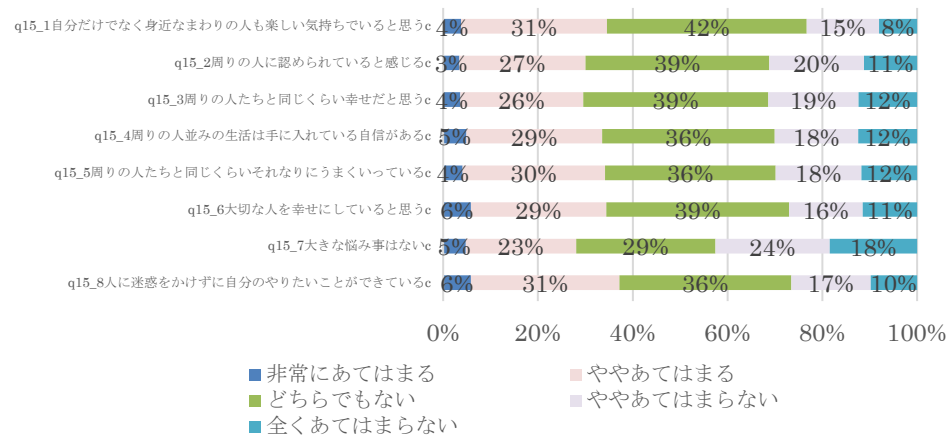


図表4-18 q14_6人生の意義_自分の人生には方向性や意味があると感じた (年齢別)



図表4-19 q14_6人生の意義_自分の人生には方向性や意味があると感じた (税込世帯年収別)

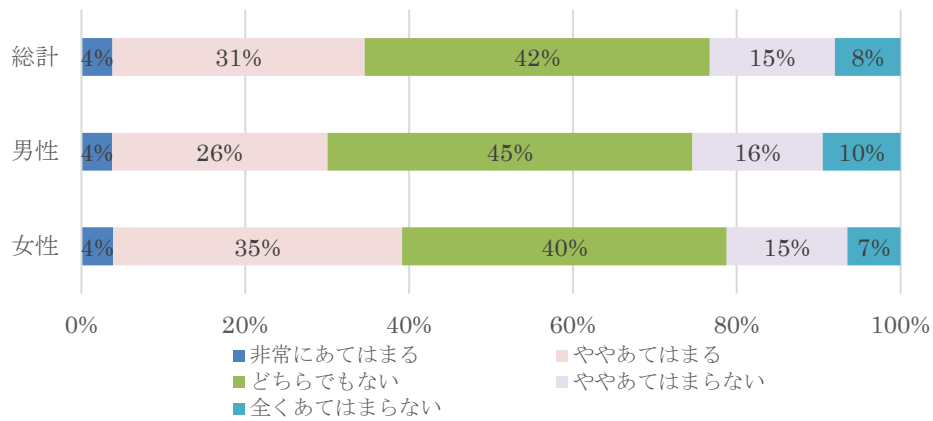
次に協調的幸福感の項目について、図表 5-1 では「(非常に、やや)あてはまる」と回答した人が多いのは、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている」で 37%、「自分だけでなく身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う」で 35%、「大切な人を幸せにしていると思う」で 35%などとなっており、項目間の差が小さい。



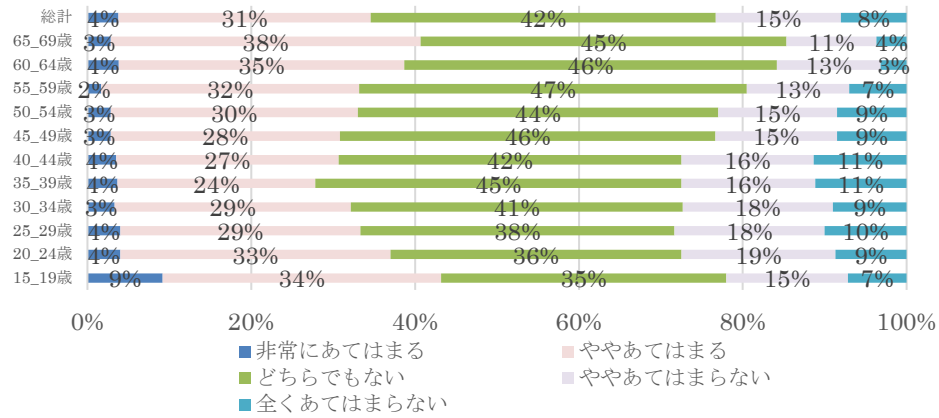
図表5-1 q15協調的幸福感_総計比較

次に協調的幸福感「自分だけでなく身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う」について訊くと、「性別」(図表 5-2)では女性の方が男性より「(非常に、やや)あてはまる」とする傾向が大きい。一方、「年齢別」で見ると(図表 5-3)、「35-39 歳」の階級において「(非常に、やや)あてはまる」とする傾向が小さく、それより年齢が増大していくに伴い、またそれより年齢が減少していくに伴い「(非常に、やや)あてはまる」とする傾向が大きくなっていく。

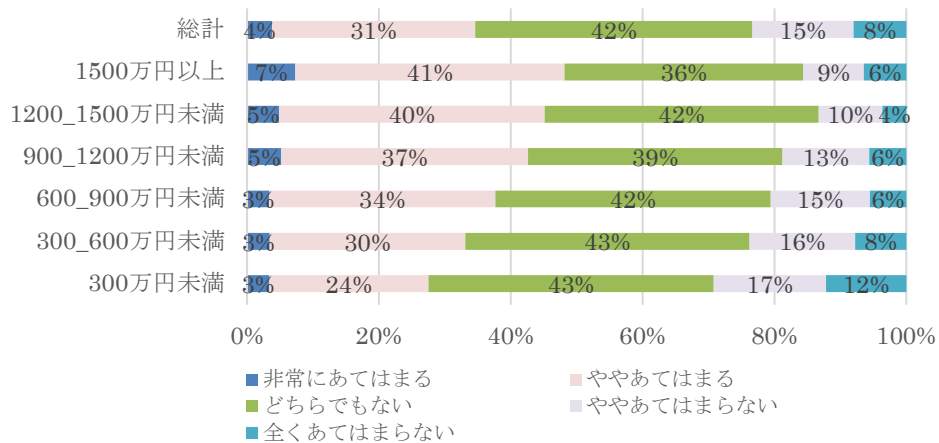
また、税込世帯年収別で見ると(図表 5-4)、年収が増大するに伴い単調に「(非常に、やや)あてはまる」とする傾向が大きくなっていく。



図表5-2 q15_1協調的幸福感_自分だけでなく身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う (性別)



図表5-3 q15_1協調的幸福感_自分だけでなく身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う (年齢別)



図表5-4 q15_1協調的幸福感_自分だけでなく身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う (税込世帯年収別)

上記と同様に、q15.2 協調的幸福感_周りの人に認められていると感じるから q15.8 協調的幸福感_人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていくまでの分析結果を図表 5-5 から図表 5-25 までにまとめた。

性別分析の結果、以下が判明した。(括弧内は該当項目数)

○女性の方が男性より「(非常に、やや)あてはまる」が多い

・周りの人に認められていると感じる、周りの人たちと同じくらい幸せだと思う、周りの人並みの生活は手に入れている自信がある、周りの人たちと同じくらいそれなりにうまくいっている、大切な人を幸せにしていると思う、大きな悩み事はない、人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていく(7)

女性の方が男性より「(非常に、やや)あてはまる」が多いことが判明した。

年齢分析の結果、以下が判明した。

○「35-39 歳」、「40-44 歳」の階級において「(非常に、やや)あてはまる」と回答する割合が小さく、それより年齢が増大していくに伴い、またそれより年齢が減少していくに伴い「(非常に、やや)あてはまる」と回答する割合が概ね単調に増大

・周りの人に認められていると感じる、周りの人たちと同じくらい幸せだと思う、周りの人並みの生活は手に入れている自信がある、周りの人たちと同じくらいそれなりにうまくいっている、大切な人を幸せにしていると思う、大きな悩み事はない、人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていく(7)

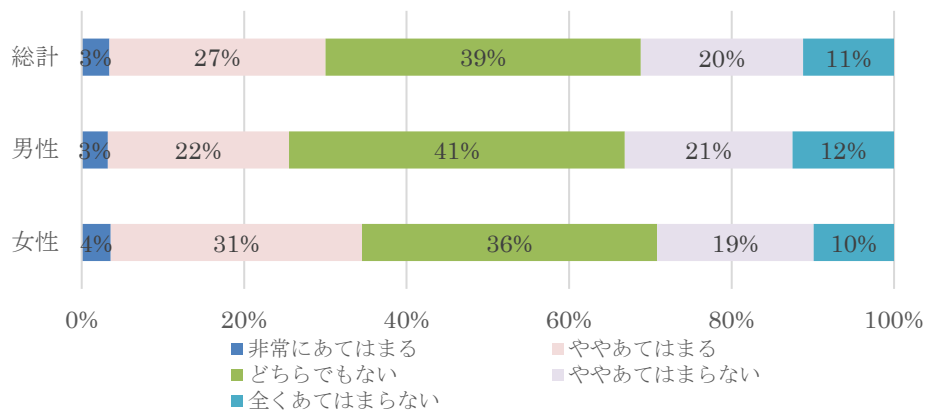
税込世帯年収分析の結果、以下が判明した。

○年収が増大するに伴い単調に「(非常に、やや)あてはまる」と回答する割合が大きくなっていく

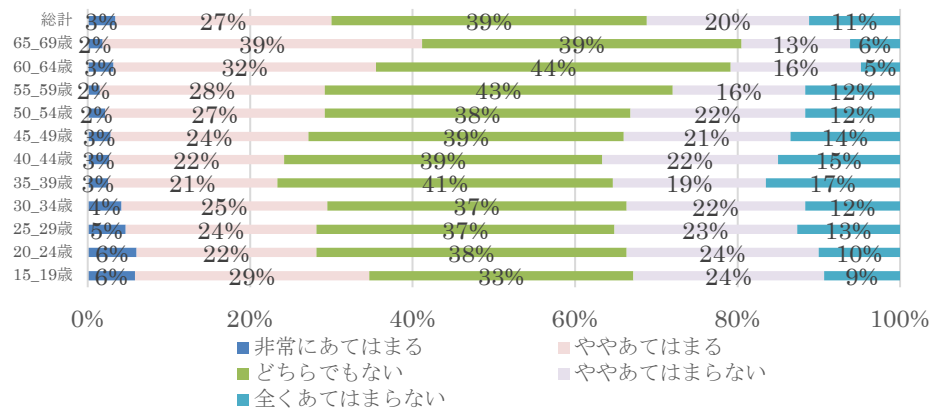
・周りの人たちと同じくらい幸せだと思う、周りの人並みの生活は手に入れている自信がある、周りの人たちと同じくらいそれなりにうまくいっている、人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていく(4)

○年収が増大するに伴い「1200-1500 万円未満」の階級まで「(非常に、やや)あてはまる」と回答する割合が増大するがその上の階級で減少

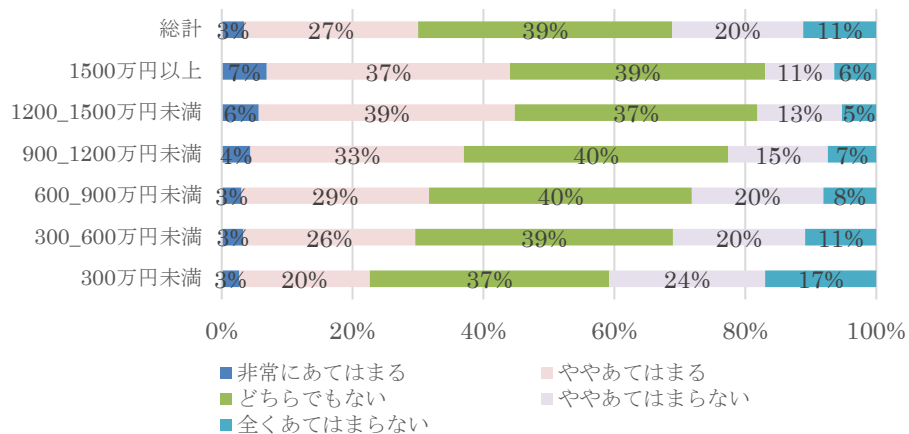
・周りの人に認められていると感じる、大切な人を幸せにしていると思う、大きな悩み事はない(3)



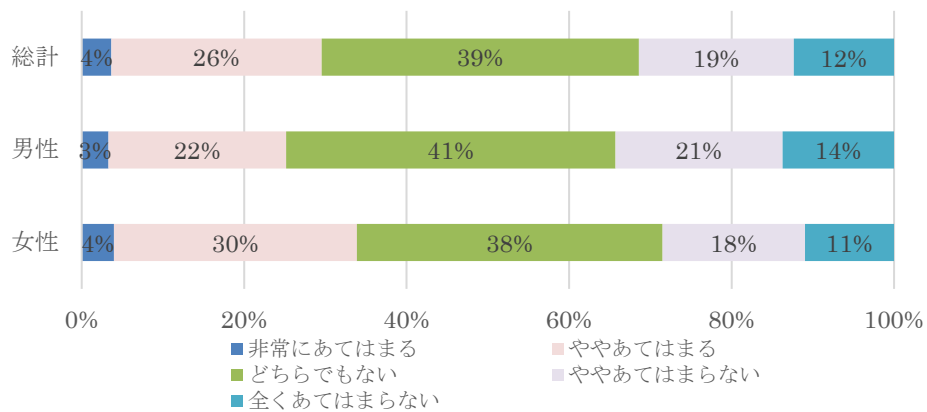
図表5-5 q15_2協調的幸福感_周りの人に認められていると感じる（性別）



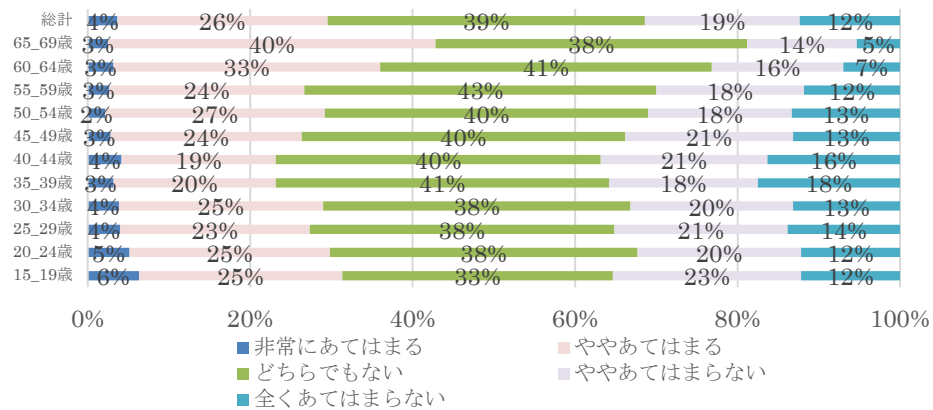
図表5-6 q15_2協調的幸福感_周りの人に認められていると感じる（年齢別）



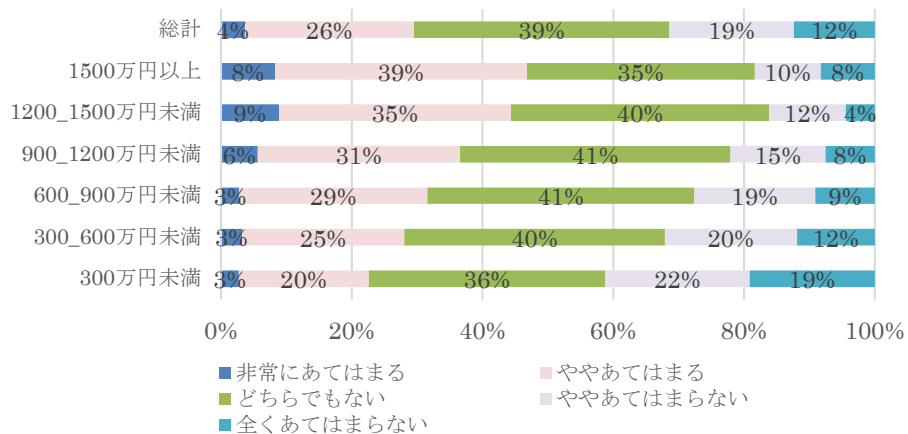
図表5-7 q15_2協調的幸福感_周りの人に認められていると感じる（税込世帯年収別）



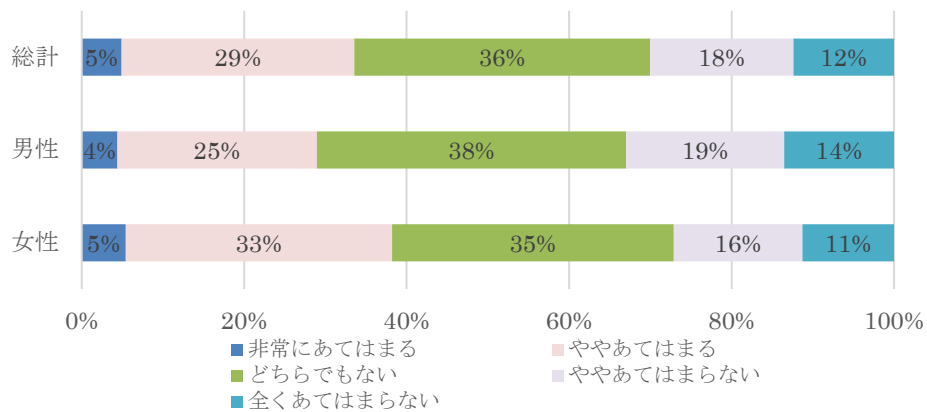
図表5-8 q15_3協調的幸福感_周りの人たちと同じくらい幸せだと思う（性別）



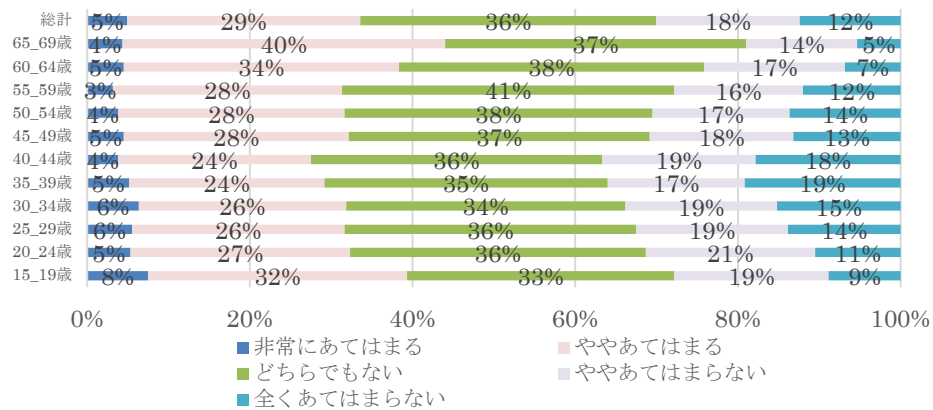
図表5-9 q15_3協調的幸福感_周りの人たちと同じくらい幸せだと思う（年齢別）



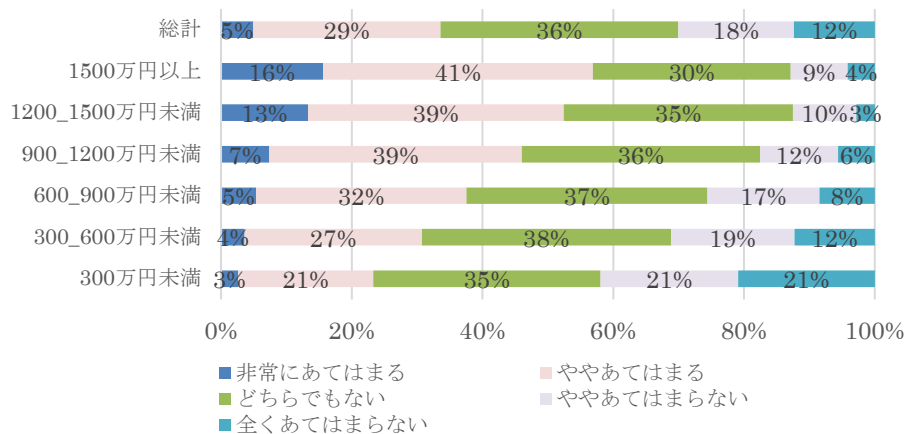
図表5-10 q15_3協調的幸福感_周りの人たちと同じくらい幸せだと思う（税込世帯年収別）



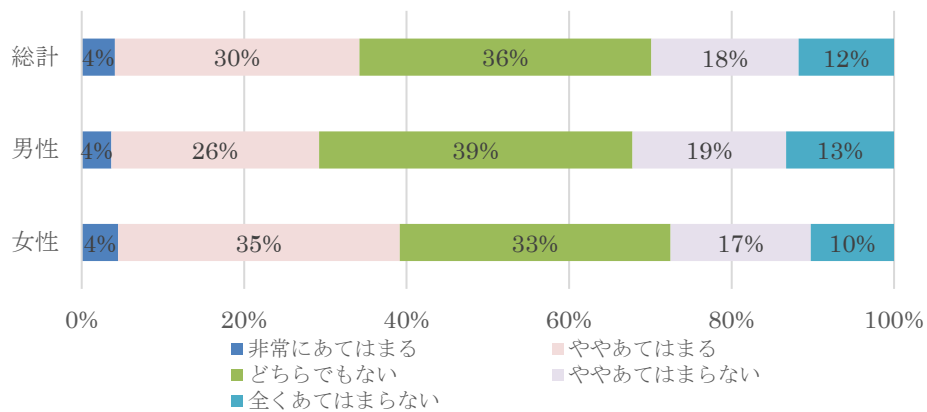
図表5-11 q15_4協調的幸福感_周りの人並みの生活は手に入れている自信がある（性別）



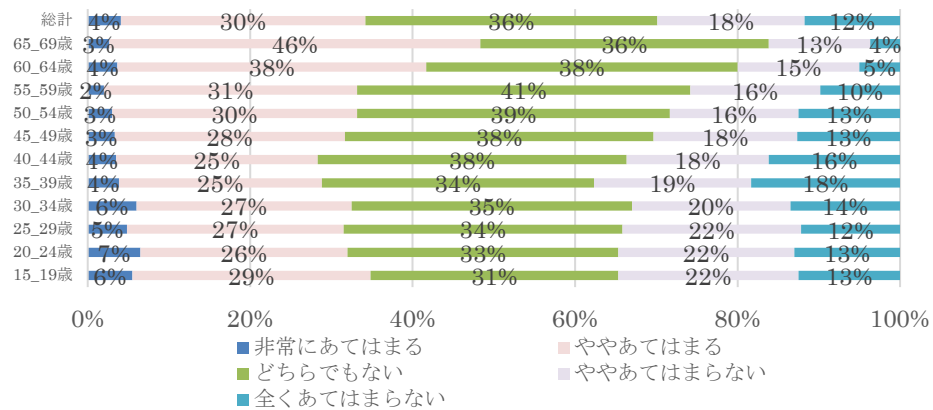
図表5-12 q15_4協調的幸福感_周りの人並みの生活は手に入れている自信がある（年齢別）



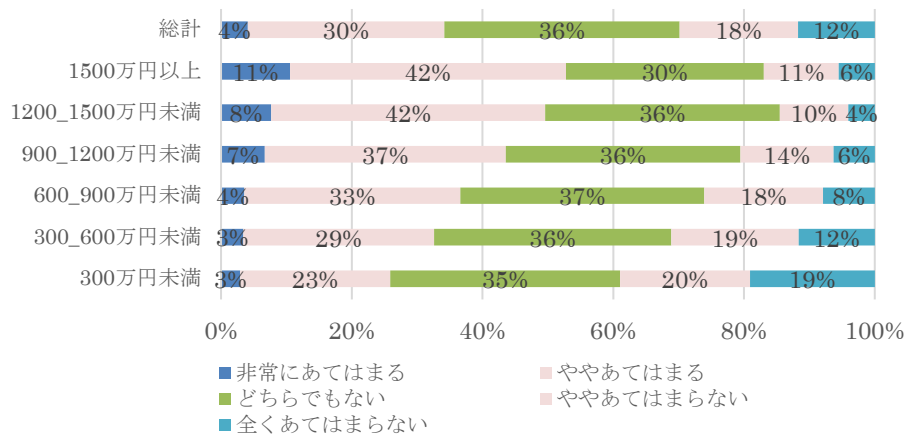
図表5-13 q15_4協調的幸福感_周りの人並みの生活は手に入れている自信がある（税込世帯年収別）



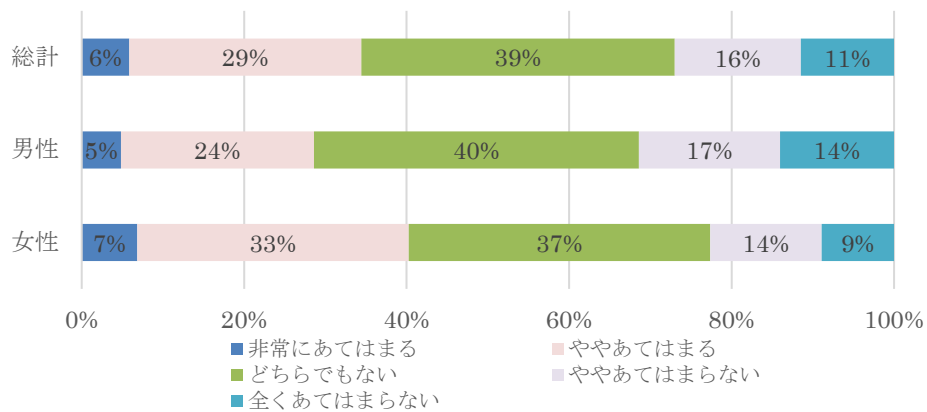
図表5-14 q15_5協調的幸福感_周りの人たちと同じくらいそれなりにうまくいっている（性別）



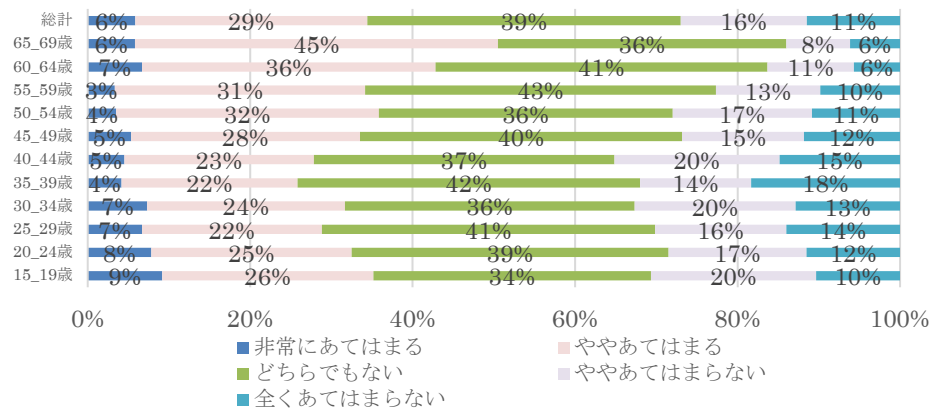
図表5-15 q15_5協調的幸福感_周りの人たちと同じくらいそれなりにうまくいっている（年齢別）



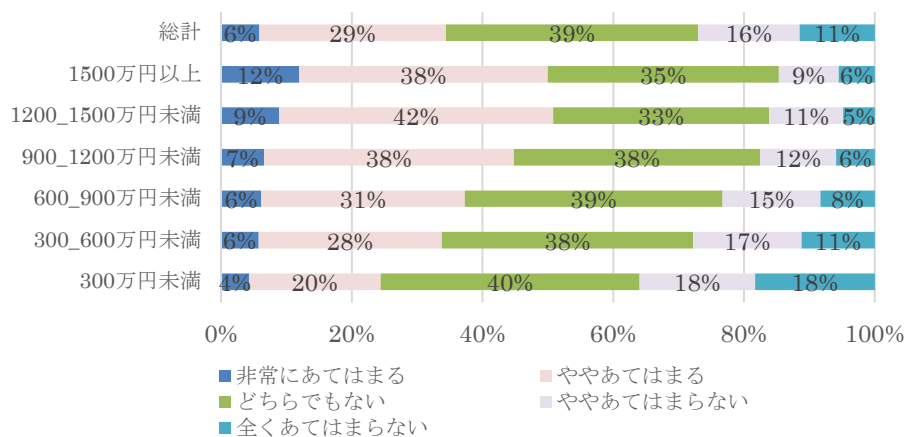
図表5-16 q15_5協調的幸福感_周りの人たちと同じくらいそれなりにうまくいっている（税込世帯年収別）



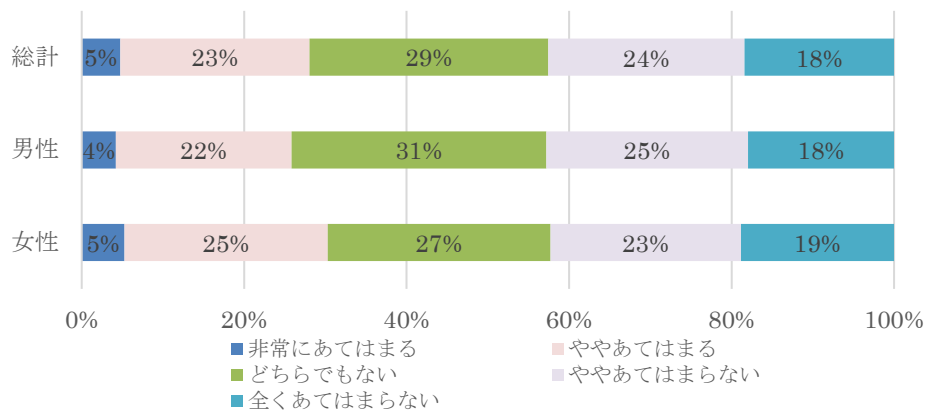
図表5-17 q15_6協調的幸福感_大切な人を幸せにしていると思う (性別)



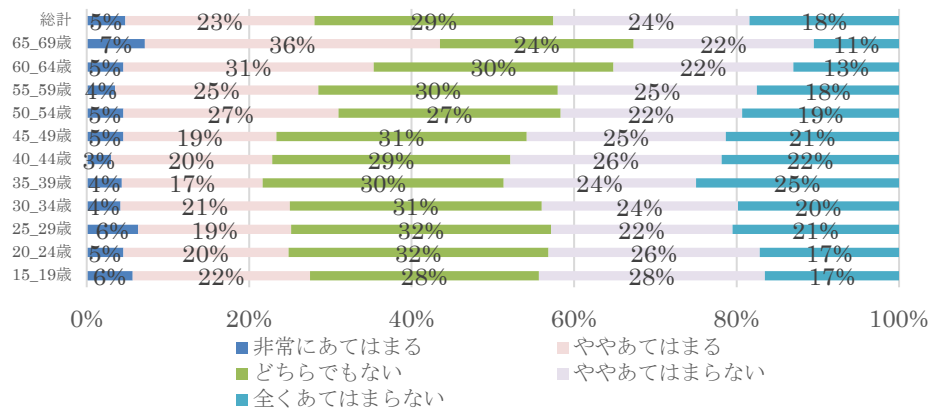
図表5-18 q15_6協調的幸福感_大切な人を幸せにしていると思う (年齢別)



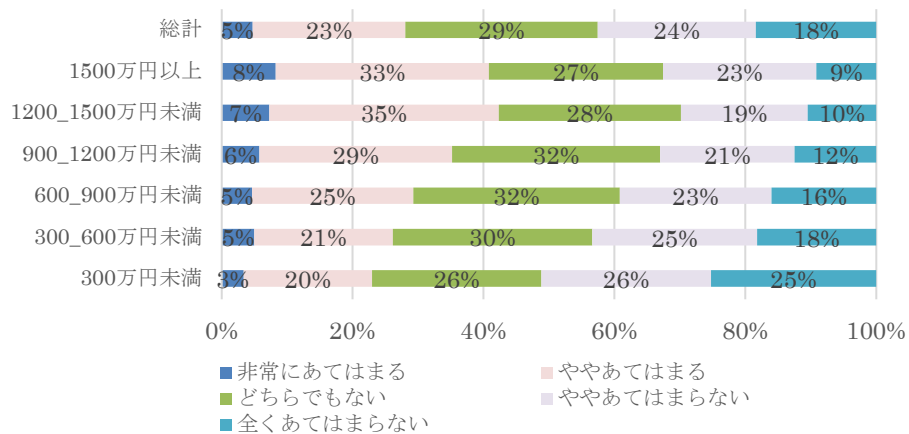
図表5-19 q15_6協調的幸福感_大切な人を幸せにしていると思う (税込世帯年収別)



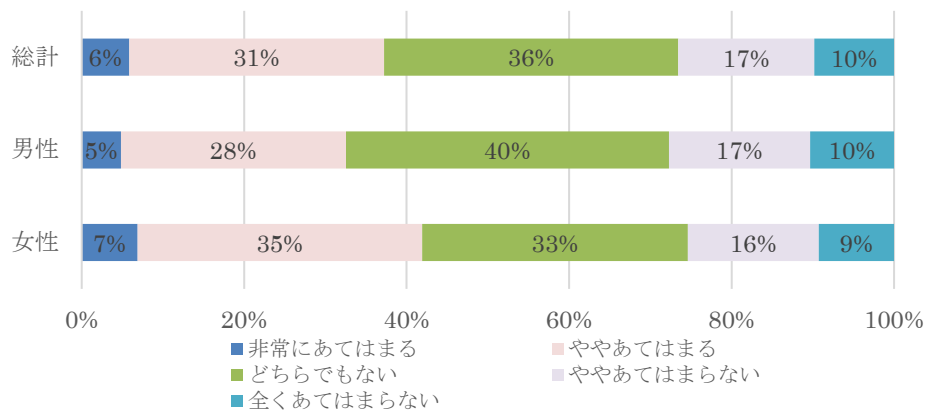
図表5-20 q15_7協調的幸福感_大きな悩み事はない (性別)



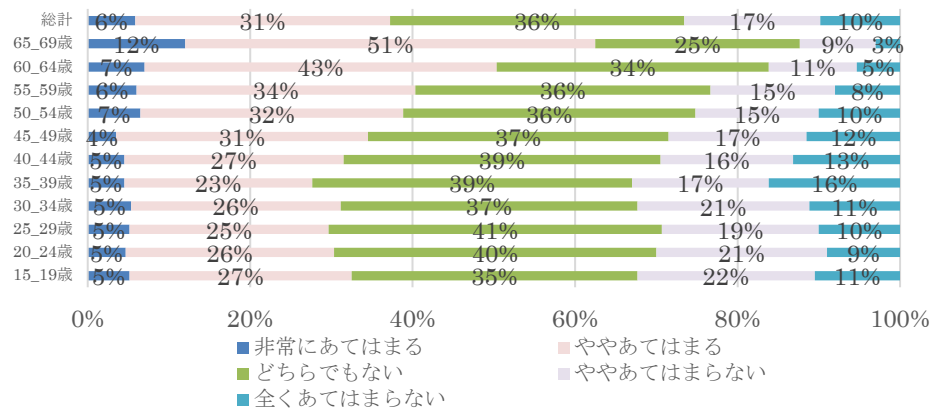
図表5-21 q15_7協調的幸福感_大きな悩み事はない (年齢別)



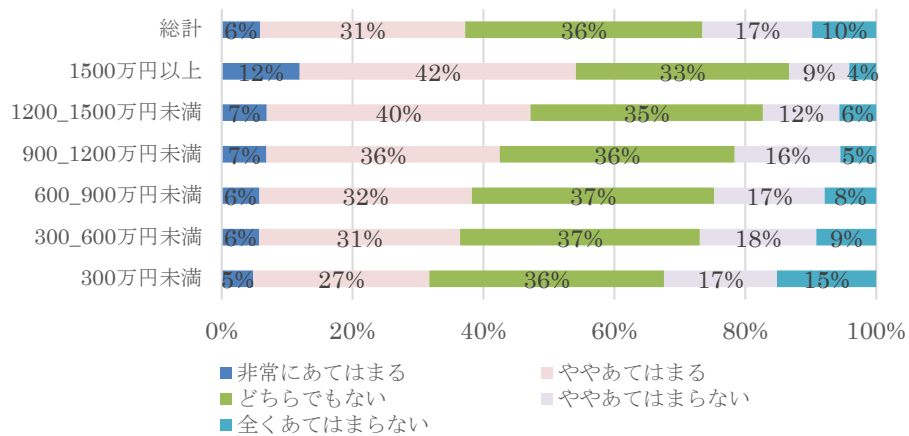
図表5-22 q15_7協調的幸福感_大きな悩み事はない (税込世帯年収別)



図表5-23 q15_8協調的幸福感_人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができる (性別)

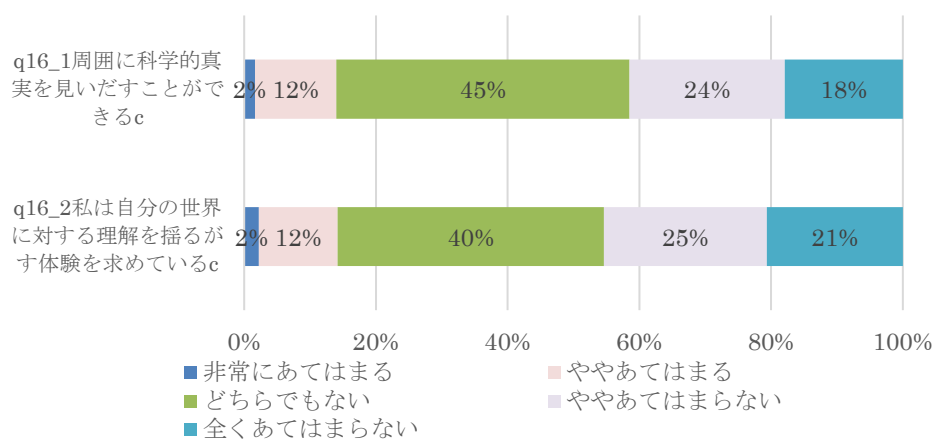


図表5-24 q15_8協調的幸福感_人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができる (年齢別)



図表5-25 q15_8協調的幸福感_人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができる (税込世帯年収別)

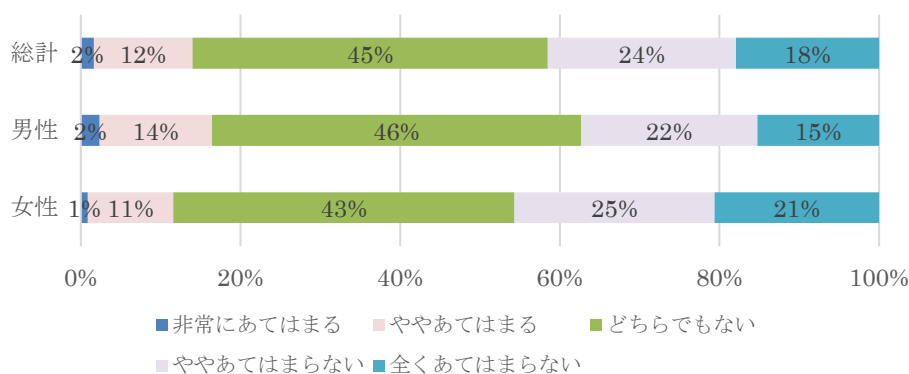
次に畏怖畏敬体験の項目について、図表 6-1 では「(非常に、やや)あてはまる」と回答した人は 2 問とも 14%となっている。



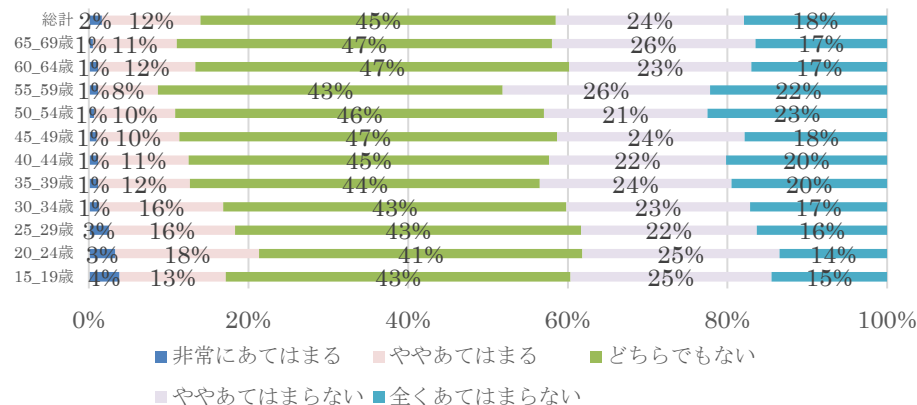
図表6-1 q16畏怖畏敬体験_総計比較

次に畏怖畏敬体験「周囲に科学的真実を見出すことができる」について訊くと、「性別」(図表 6-2)では男性の方が女性より「(非常に、やや)あてはまる」と回答した割合が大きい。一方、「年齢別」で見ると(図表 6-3)、「30-34 歳」以下の階級において「(非常に、やや)あてはまる」と回答した割合がやや大きい。

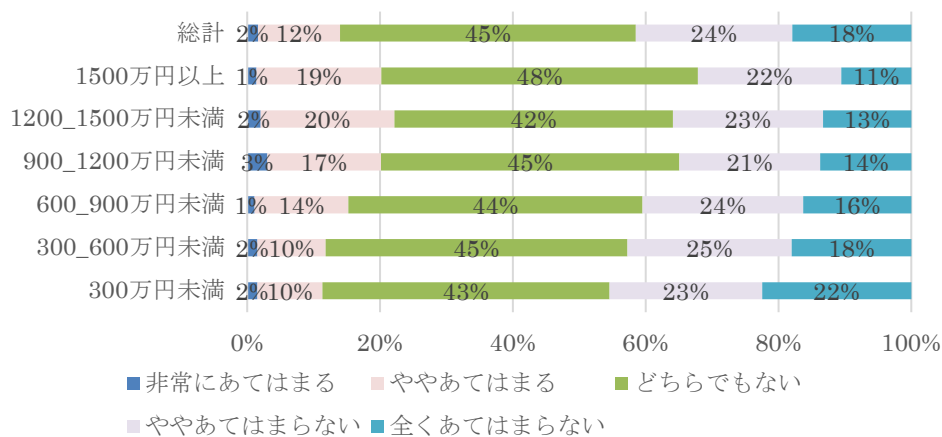
また、税込世帯年収別で見ると(図表 6-4)、「1200-1500 万円未満」の階級以下においては年収が増大するに伴い「(非常に、やや)あてはまる」と回答した割合が概ね単調に増大している。



図表6-2 q16_1畏怖畏敬体験_周囲に科学的真実を見いだすことができる (性別)



図表6-3 q16_1 畏怖畏敬体験_周囲に科学的真実を見いだすことができる (年齢別)



図表6-4 q16_1 畏怖畏敬体験_周囲に科学的真実を見いだすことができる (税込世帯年収別)

上記と同様に、q16_2 畏怖畏敬体験_私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めているの分析結果を図表 6-5 から図表 6-7 までにまとめた。

性別分析の結果、以下が判明した。(括弧内は該当項目数)

○男性の方が女性より「(非常に、やや)あてはまる」と回答した割合が大きい

・私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている(1)

年齢分析の結果、以下が判明した。

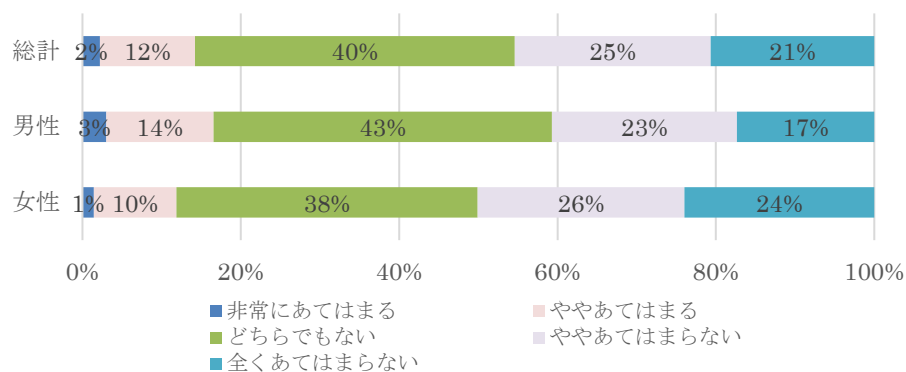
○年齢が下がるに伴い「(非常に、やや)あてはまる」と回答した割合が概ね単調に増大している

・私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている(1)

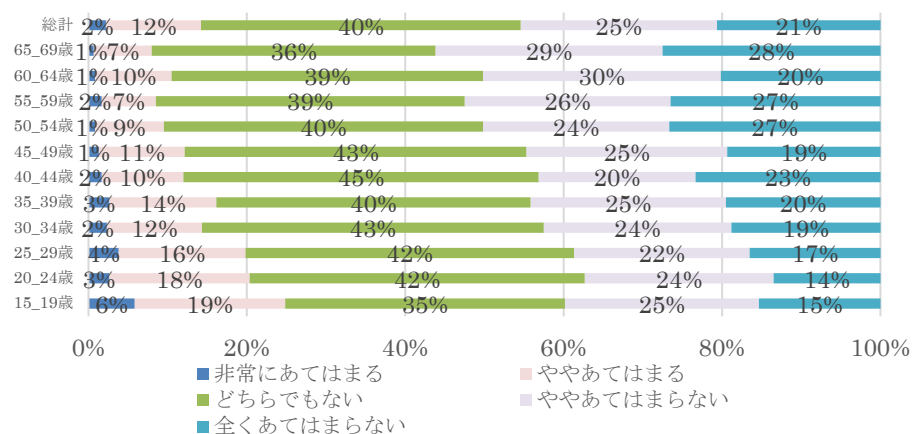
税込世帯年収分析の結果、以下が判明した。

○特段の傾向は見られない

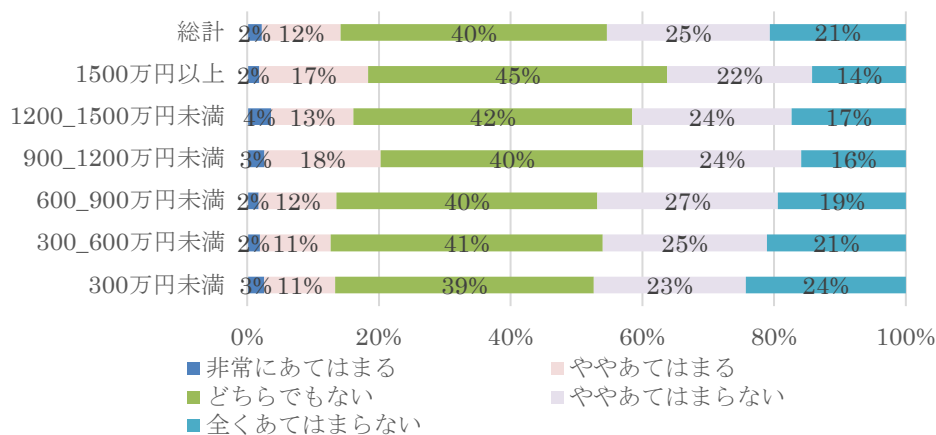
・私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている(1)



図表6-5 q16_2 畏怖畏敬体験_私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている (性別)



図表6-6 q16_2 畏怖畏敬体験_私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている (年齢別)

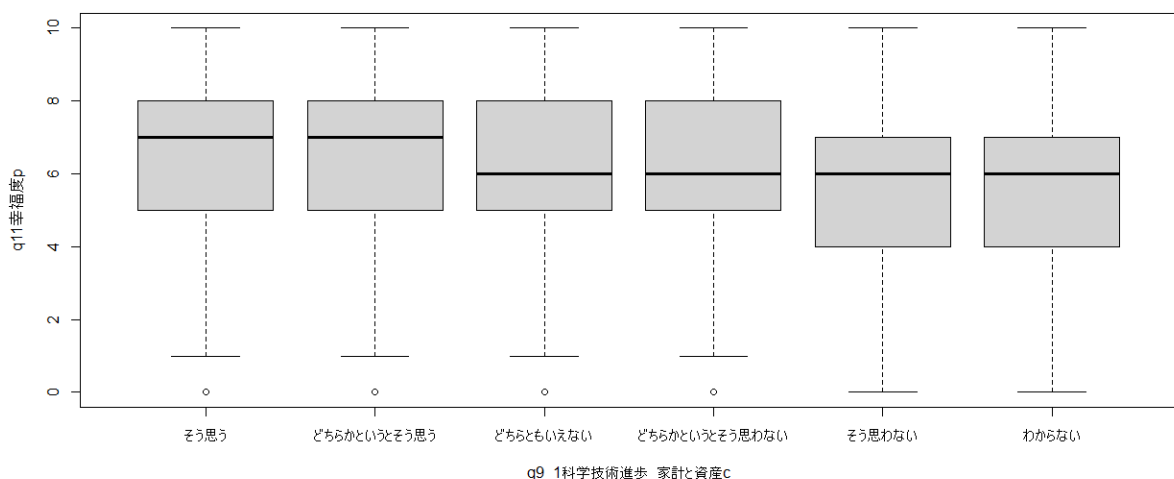


図表6-7 q16_2 畏怖畏敬体験_私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている (税込世帯年収別)

(3) 各ウェルビーイング分野における増進と満足度との間の相関分析

① 幸福度との相関分析

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、「家計と資産」について問うたところ、回答と幸福度との相関を箱ひげ図で示すと図表 7-1 となる。基本的にそう思う(該当)方がそう思わない(非該当)よりも幸福度が高くなる。両者の差を調べるためにクラスカル・ワリスの順位和検定(H 検定)を用いる(有意性水準 1%、以下同じ)。科学技術の進歩が家計と資産の増進につながると回答した者は幸福度が高いという相関関係がある。本節の議論は相関関係のみであり、因果関係は判定できない。



図表 7-1 q9_1 科学技術進歩_家計と資産と幸福度の相関

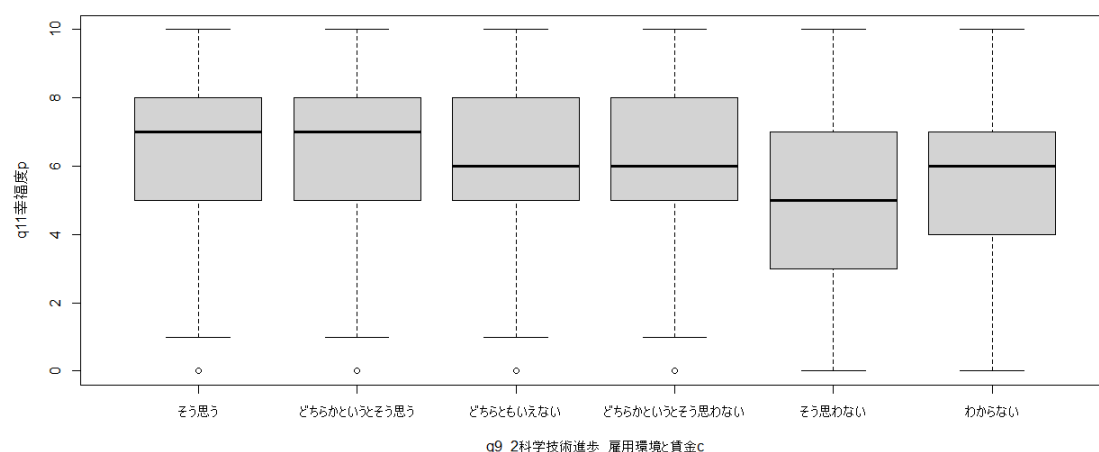
「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と幸福度と

の相関は図表 7-2 から図表 7-22 となる。科学技術の進歩が各項目の増進につながると回答した者は幸福度が高いという相関関係がある(H 検定)。

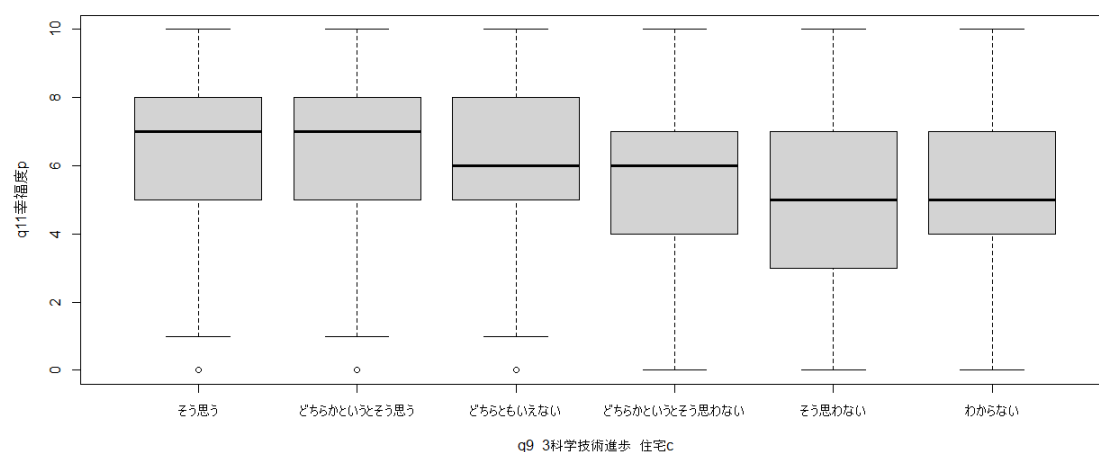
○H 検定の帰無仮説が棄却される(分布が異なる)

・雇用環境と賃金、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス)、健康状態、あなた自身の教育水準・教育環境、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、子育てのしやすさ、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、公平公正、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、経済成長、格差是正、日本の伝統技術、脱炭素、政治・行政・裁判所への信頼性、生活の楽しさ・面白さ(21)

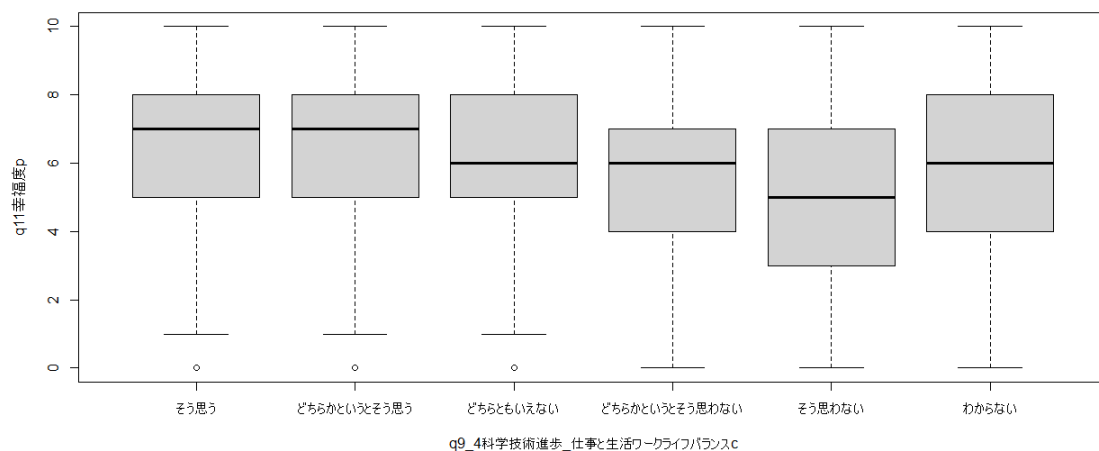
ここでは帰無仮説が棄却される、即ち科学技術の進歩に応じて分布が異なるものである。



図表 7-2 q9_2 科学技術進歩_雇用環境と賃金と幸福度の相関

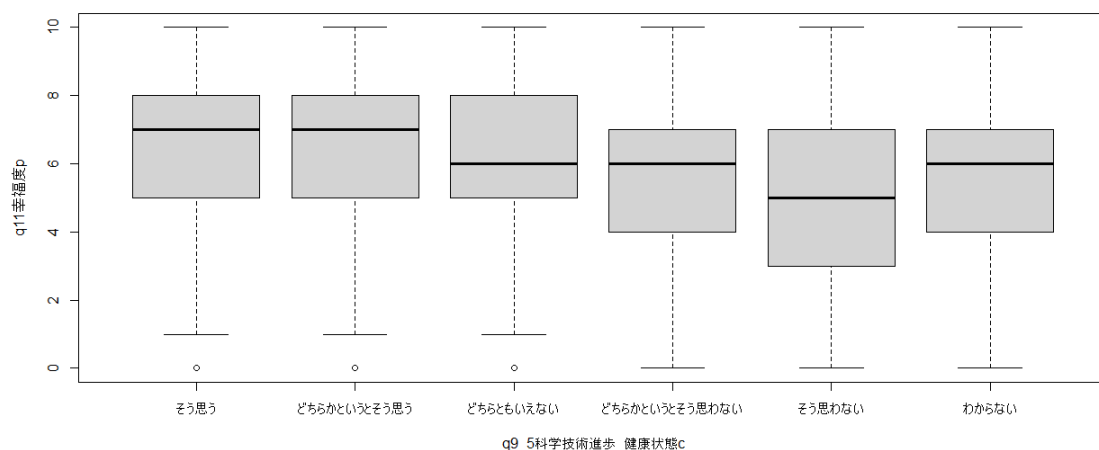


図表 7-3 q9_3 科学技術進歩_住宅と幸福度の相関

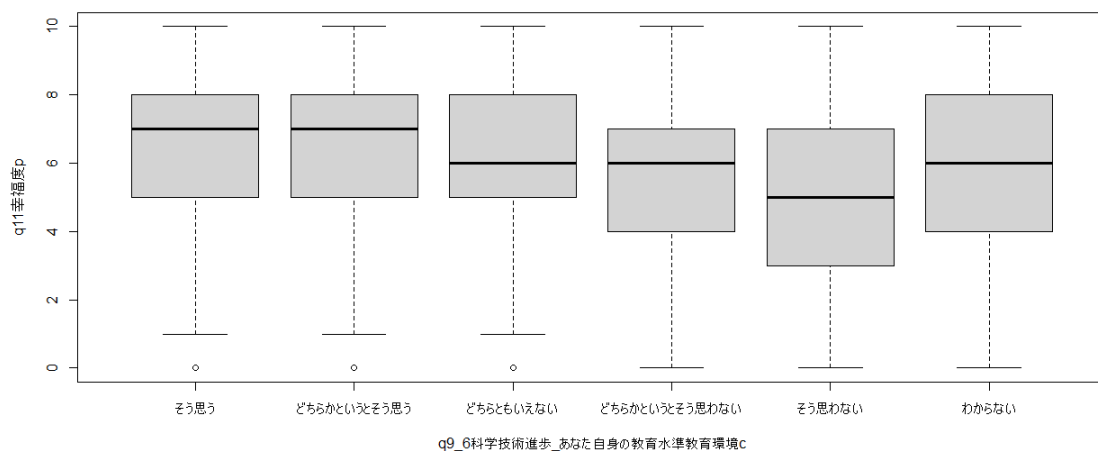


図表 7-4 q9_4 科学技術進歩_仕事と生活 (ワークライフバランス) と幸福度の相関

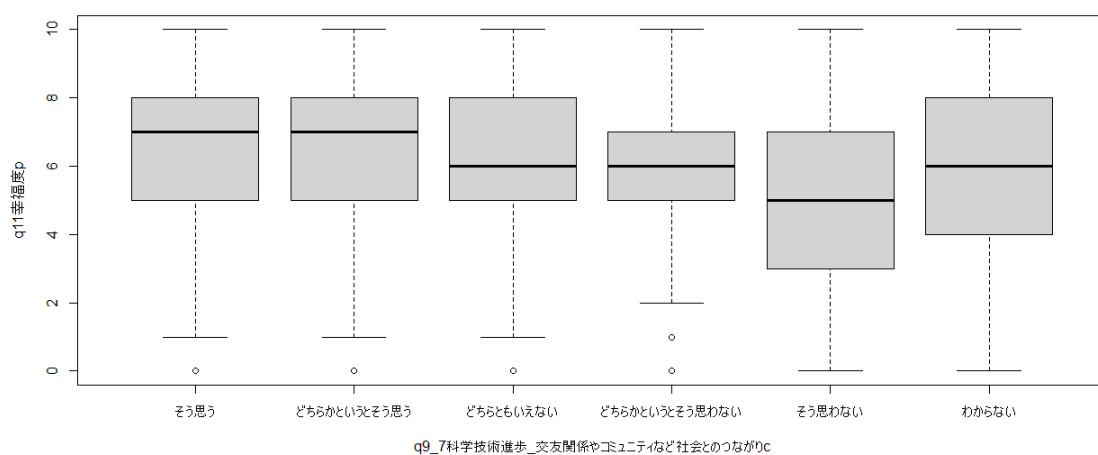
「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、「健康状態」について問うたところ、回答と幸福度との相関は図表 7-5 となる。科学技術の進歩が健康状態の増進につながると回答した者は幸福度が高いという相関関係がある (H 検定)。本節の議論は相関関係のみであり、因果関係は判定できない。



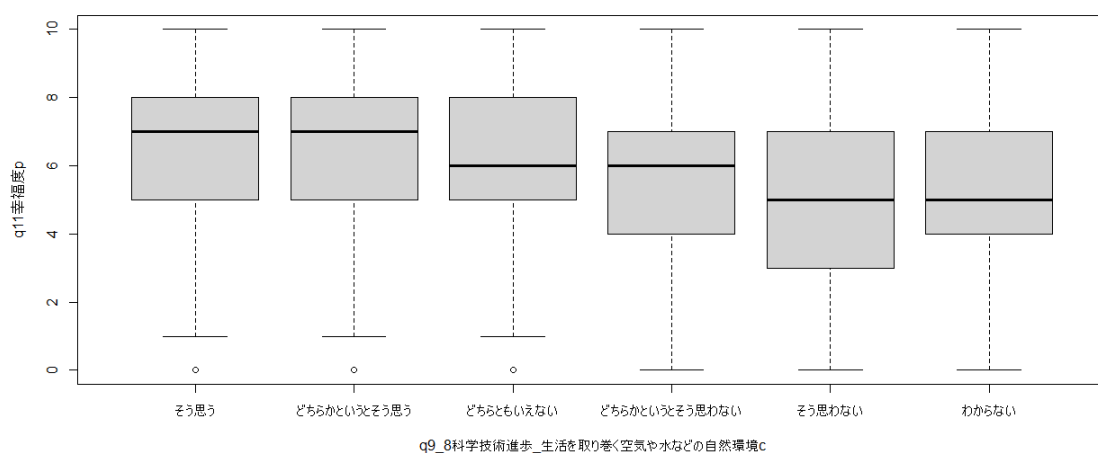
図表 7-5 q9_5 科学技術進歩_健康状態と幸福度の相関



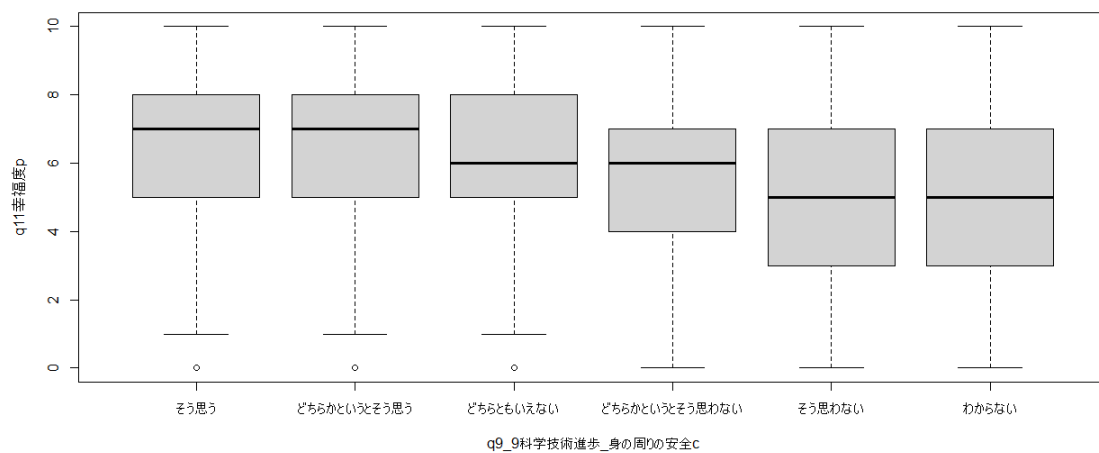
図表 7-6 q9_6 科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境と幸福度の相関



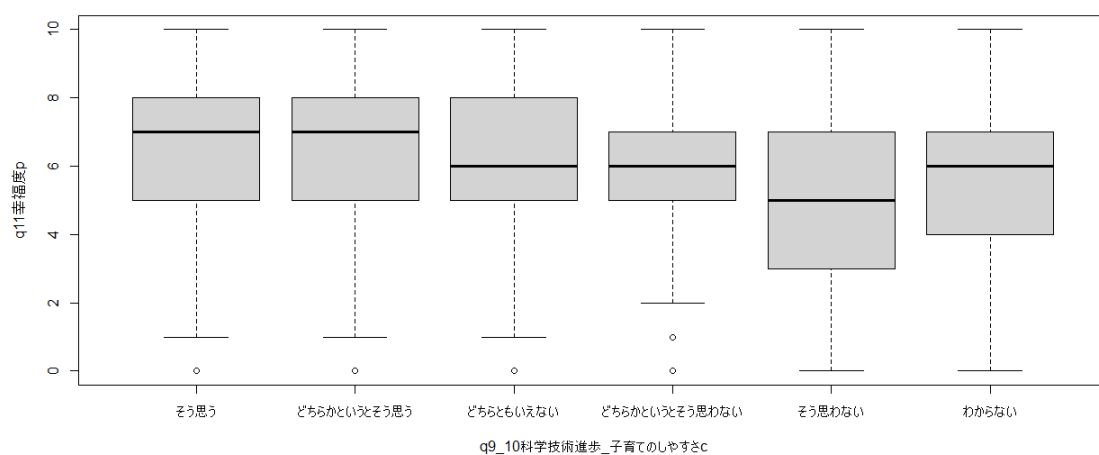
図表 7-7 q9_7 科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながりと幸福度の相関



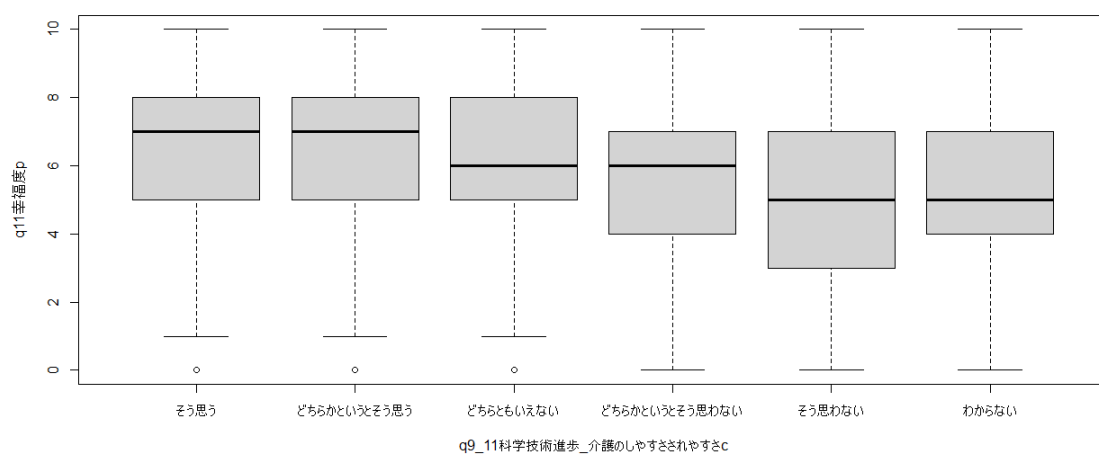
図表 7-8 q9_8 科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境と幸福度の相関



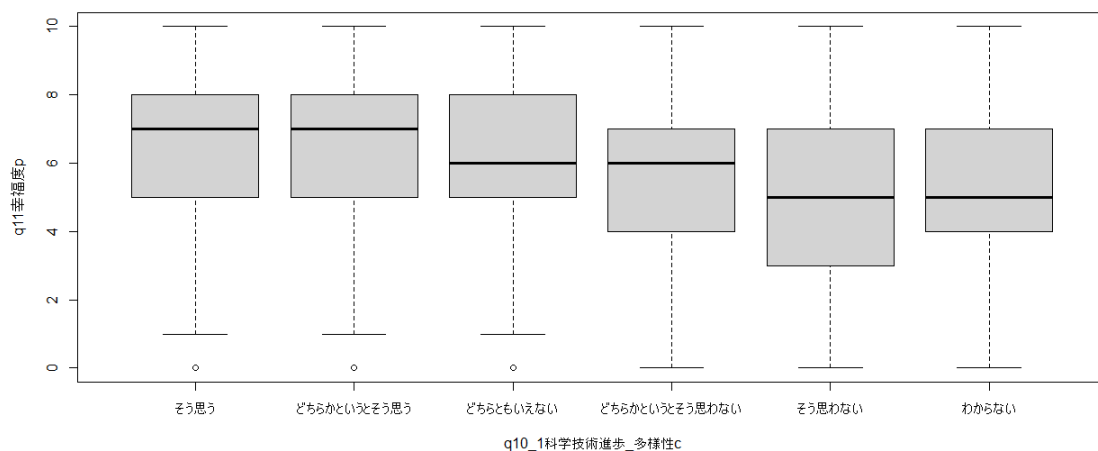
図表 7-9 q9_9 科学技術進歩_身の周りの安全と幸福度の相関



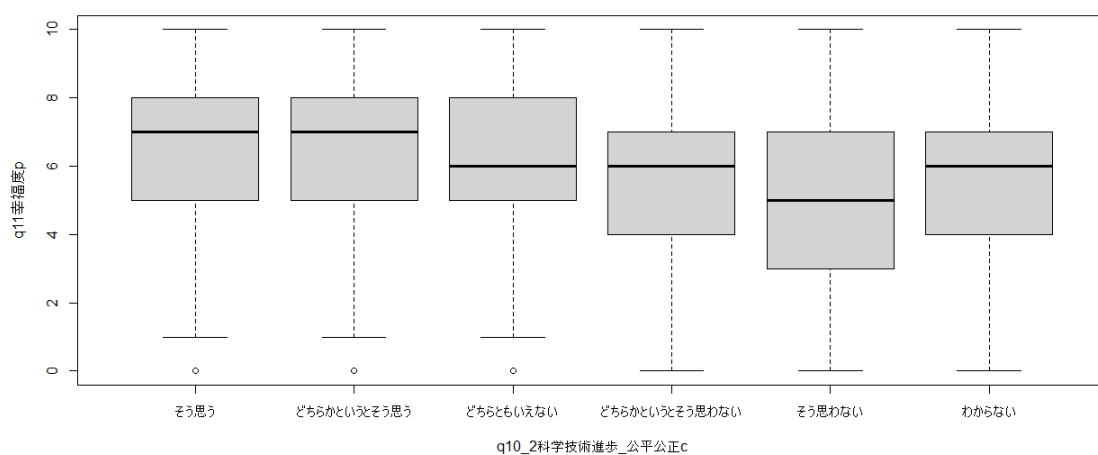
図表 7-10 q9_10 科学技術進歩_子育てのしやすさと幸福度の相関



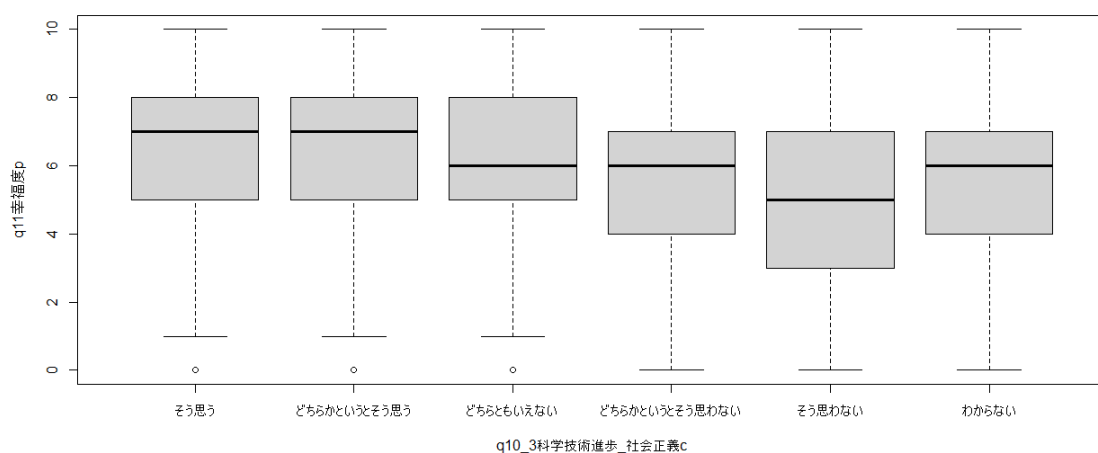
図表 7-11 q9_11 科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさと幸福度の相関



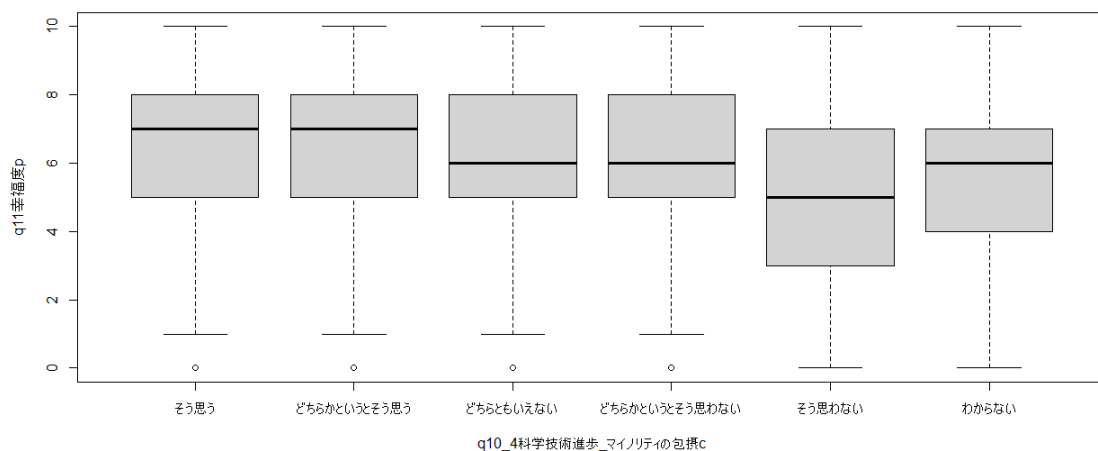
図表 7-12 q10_1 科学技術進歩_多様性と幸福度の相関



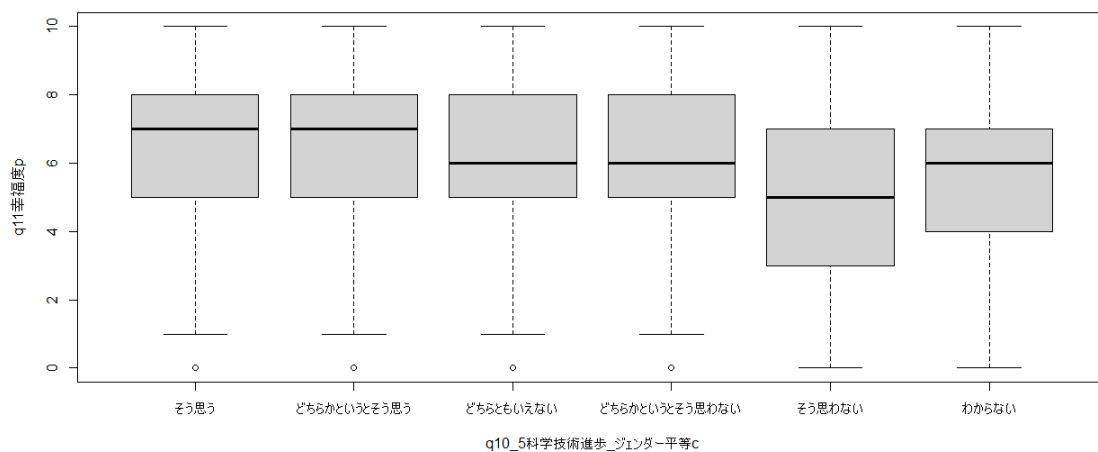
図表 7-13 q10_2 科学技術進歩_公平公正と幸福度の相関



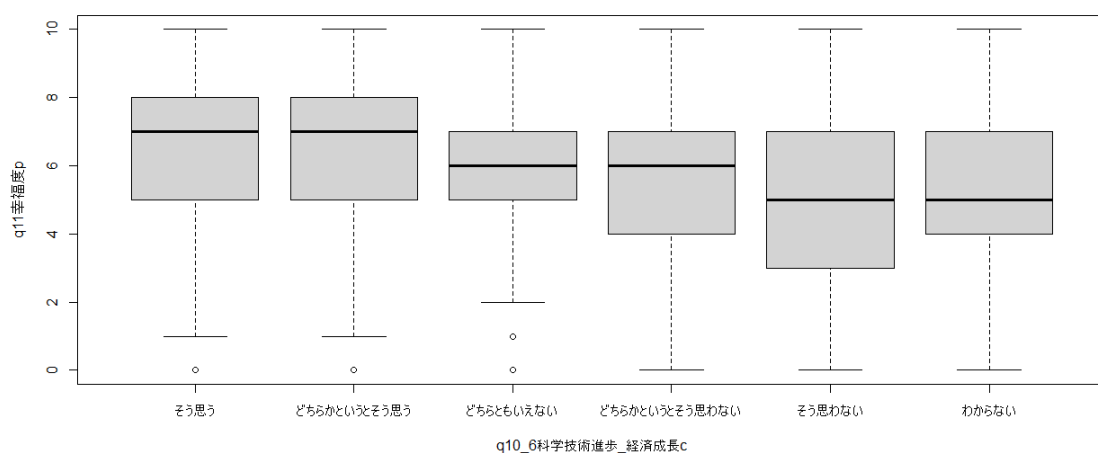
図表 7-14 q10_3 科学技術進歩_社会正義と幸福度の相関



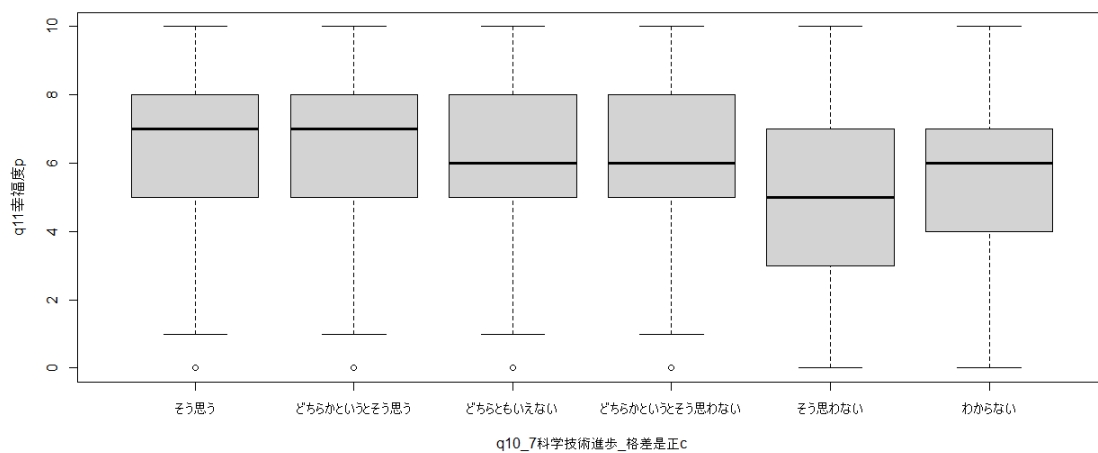
図表 7-15 q10_4 科学技術進歩_マイノリティの包摂と幸福度の相関



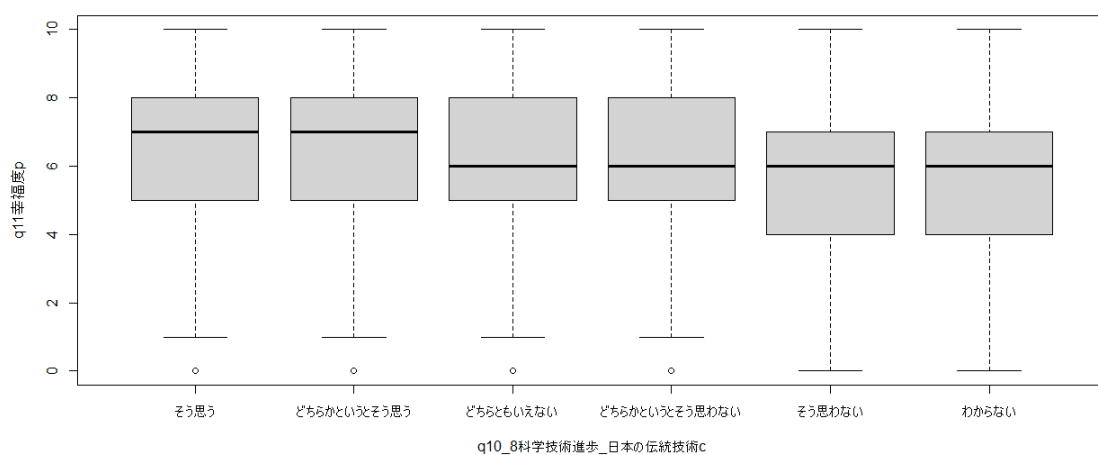
図表 7-16 q10_5 科学技術進歩_ジェンダー平等と幸福度の相関



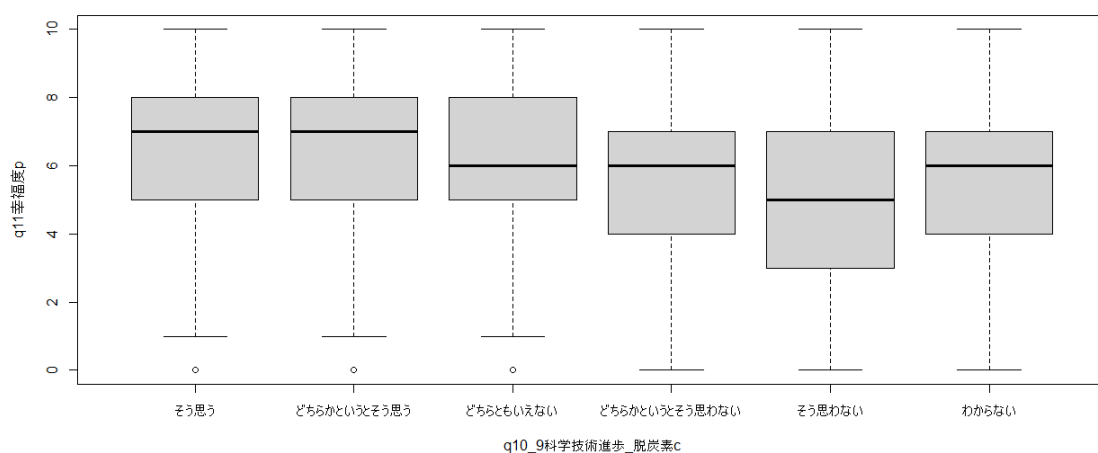
図表 7-17 q10_6 科学技術進歩_経済成長と幸福度の相関



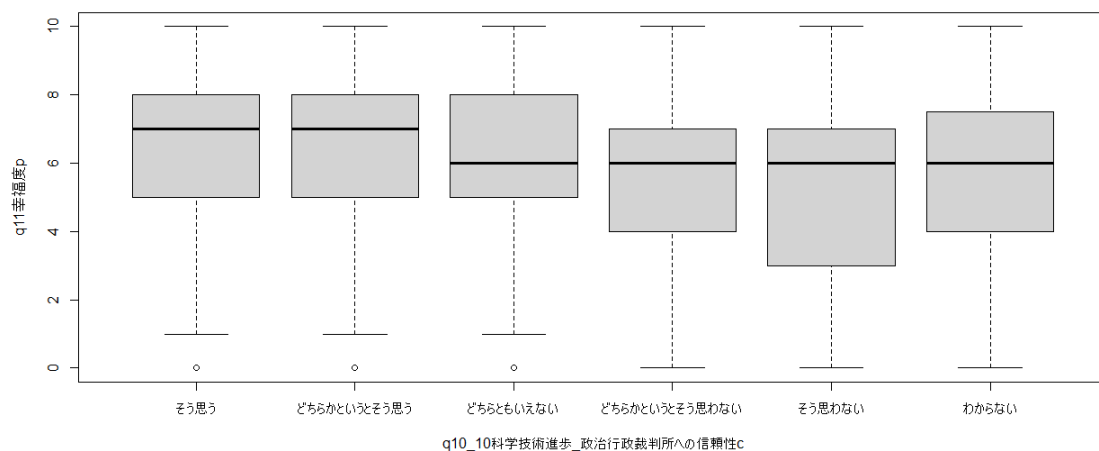
図表 7-18 q10_7 科学技術進歩_格差是正と幸福度の相関



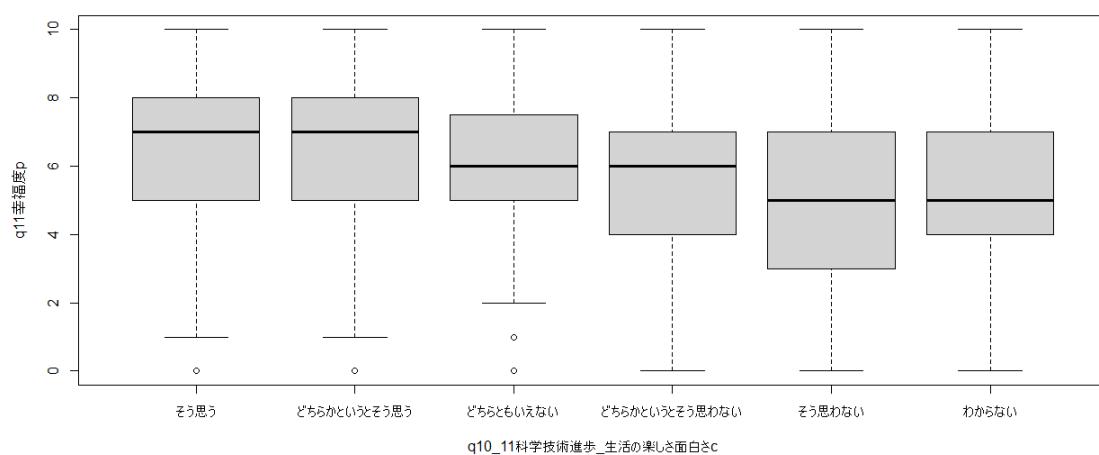
図表 7-19 q10_8 科学技術進歩_日本の伝統技術と幸福度の相関



図表 7-20 q10_9 科学技術進歩_脱炭素と幸福度の相関



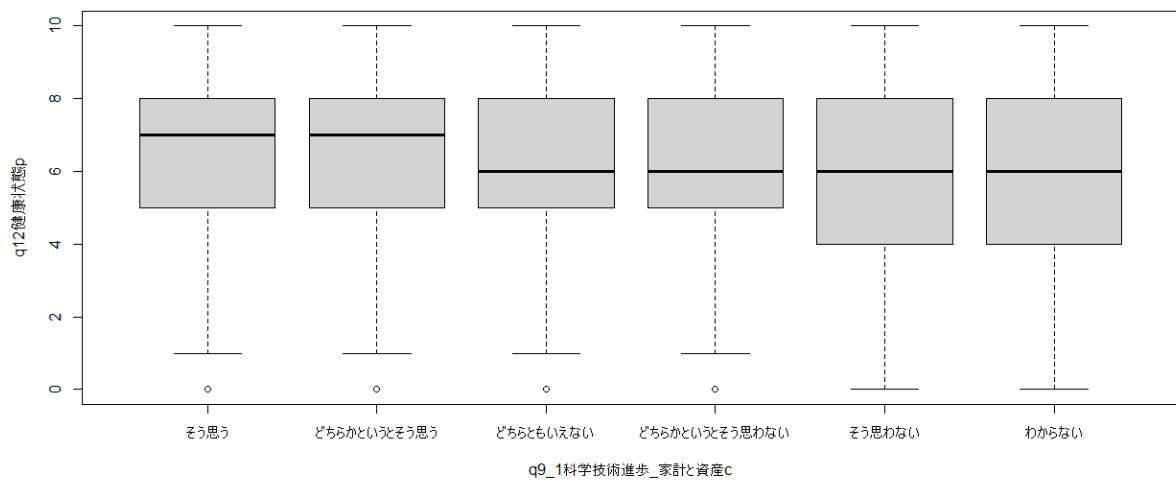
図表 7-21 q10_10 科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性と幸福度の相関



図表 7-22 q10_11 科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さと幸福度の相関

(ウ) 健康状態との相関分析

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、「家計と資産」について問うたところ、回答と健康状態との相関は図表 8-1 となる。科学技術の進歩が家計と資産の増進につながると回答した者は健康状態が良いという相関関係がある(H 検定)。



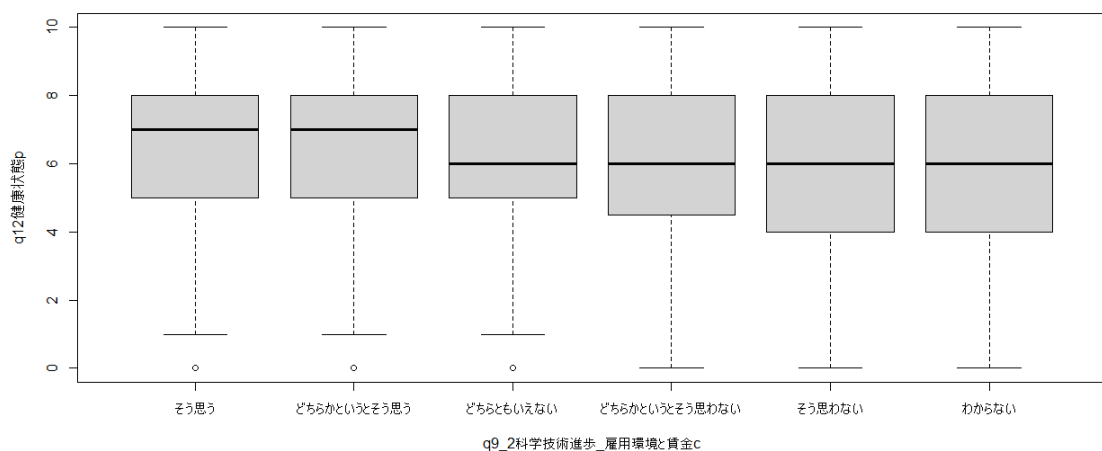
図表 8-1 q9_1 科学技術進歩_家計と資産と健康状態の相関

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と健康状態との相関は図表 8-2 から図表 8-22 となる。科学技術の進歩が各項目の増進につながると回答した者は健康状態が高いという相関関係がある(H 検定)。

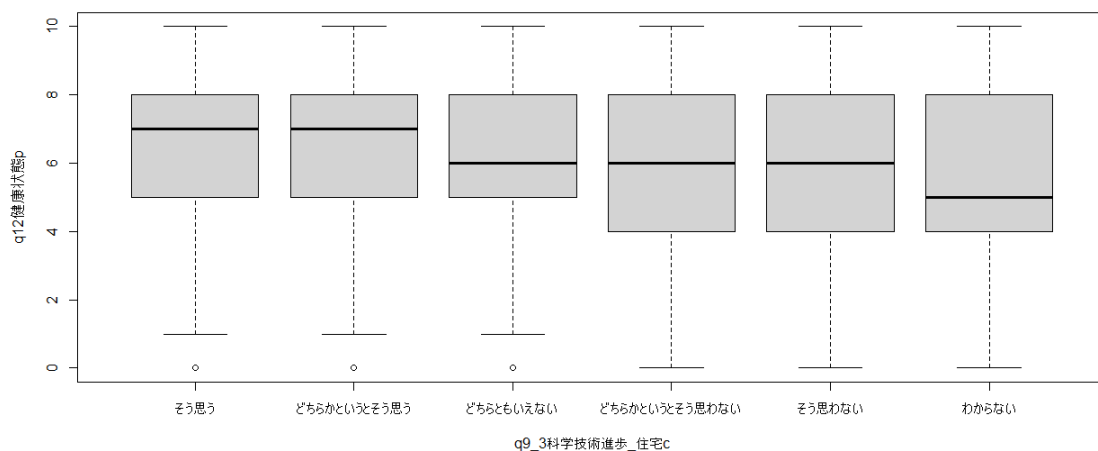
○H 検定の帰無仮説が棄却される(分布が異なる)

・雇用環境と賃金、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス)、健康状態、あなた自身の教育水準・教育環境、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、子育てのしやすさ、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、公平公正、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、経済成長、格差是正、日本の伝統技術、脱炭素、政治・行政・裁判所への信頼性、生活の楽しさ・面白さ(21)

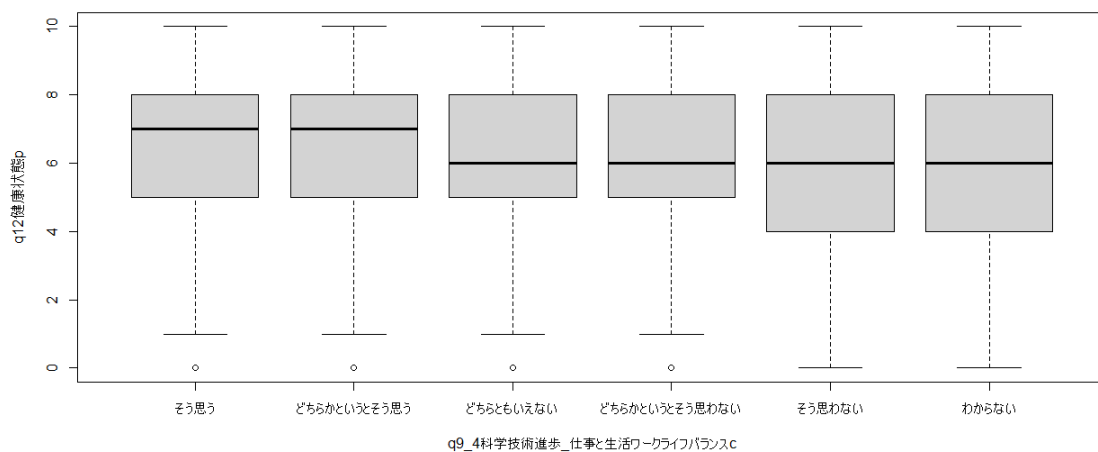
ここでは帰無仮説が棄却される、即ち科学技術の進歩に応じて分布が異なるものである。



図表 8-2 q9_2 科学技術進歩_雇用環境と賃金と健康状態の相関

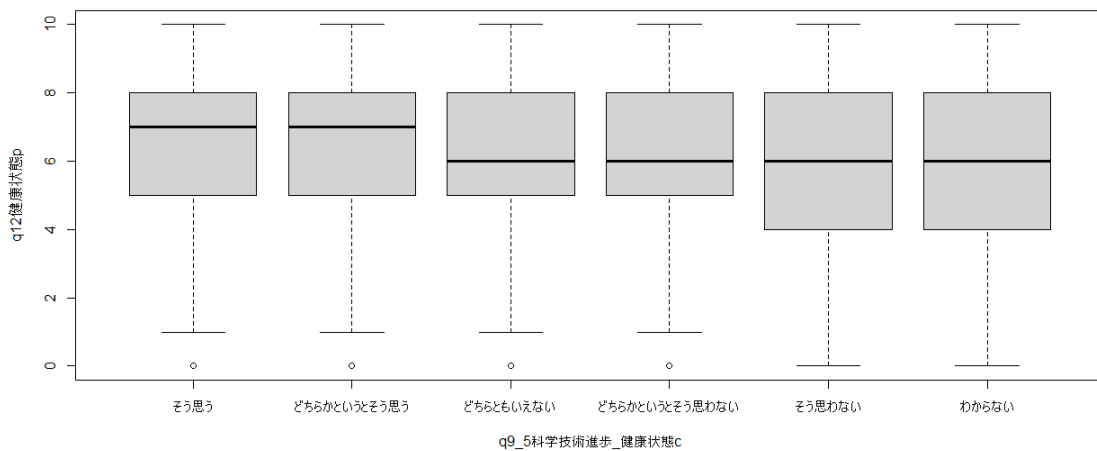


図表 8-3 q9_3 科学技術進歩_住宅と健康状態の相関

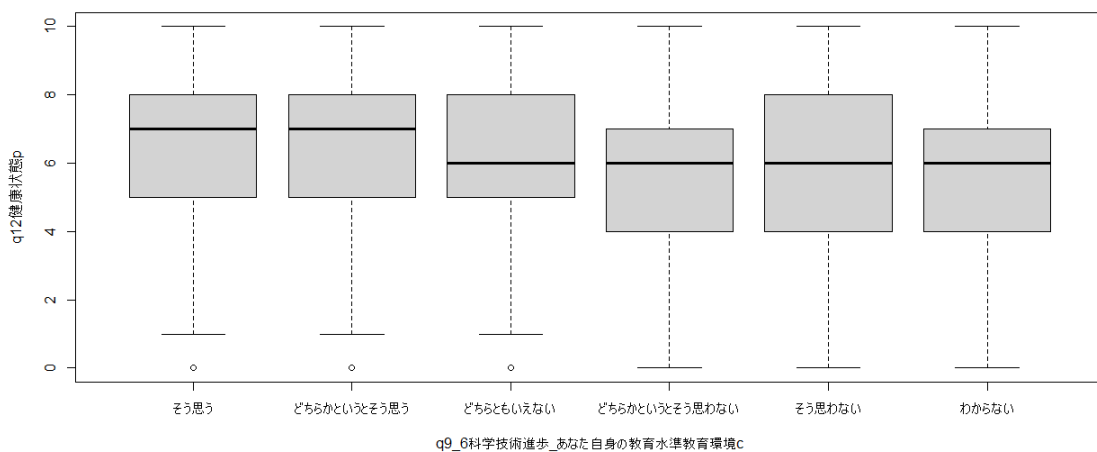


図表 8-4 q9_4 科学技術進歩_仕事と生活 (ワークライフバランス) と健康状態の相関

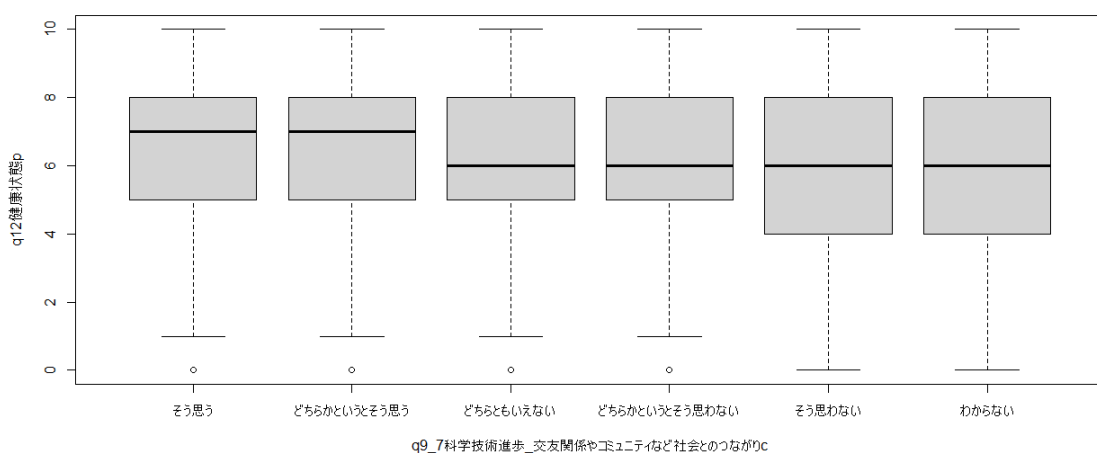
「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、「健康状態」について問うたところ、回答と健康状態との相関は図表 8-5 となる。科学技術の進歩が健康状態の増進につながると回答した者は健康状態が良いという相関関係がある(H 検定)。



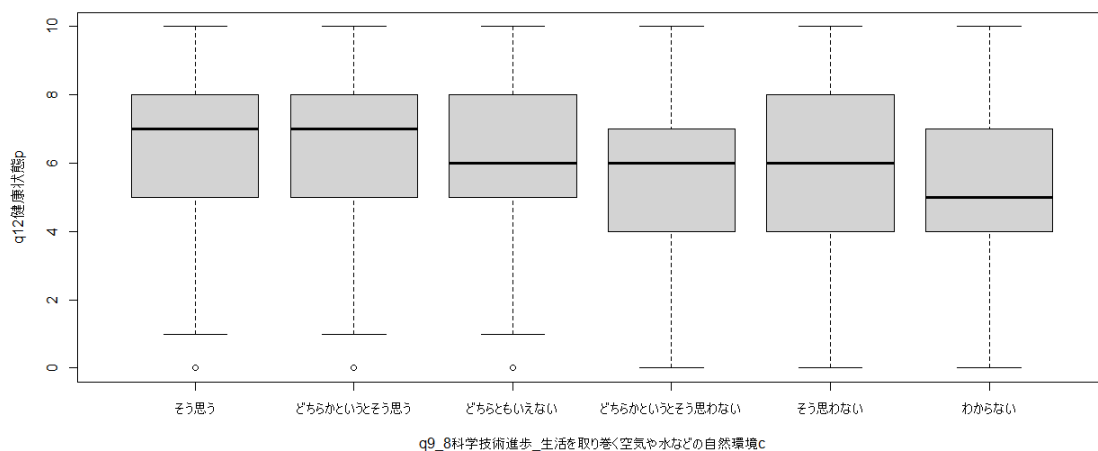
図表 8-5 q9_5 科学技術進歩_健康状態と健康状態の相関



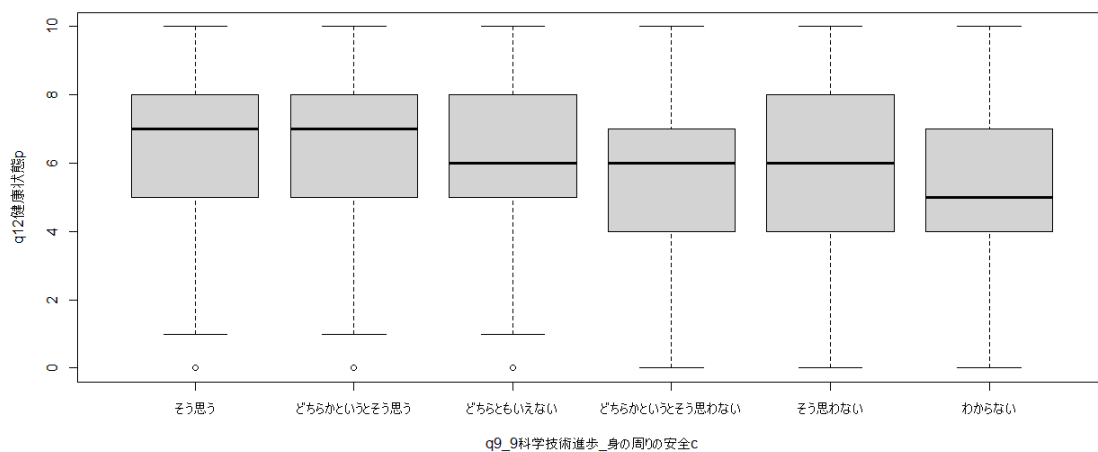
図表 8-6 q9_6 科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境と健康状態の相関



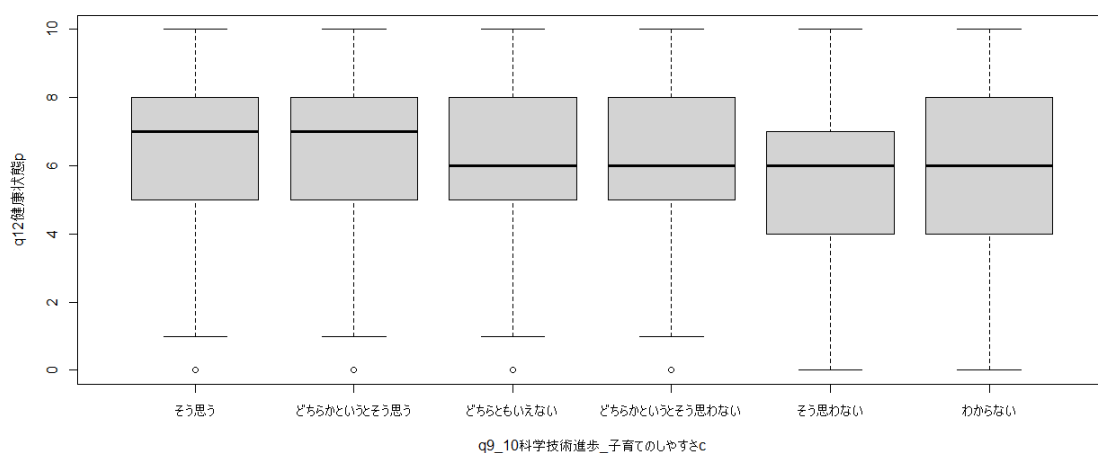
図表 8-7 q9_7 科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながりと健康状態の相関



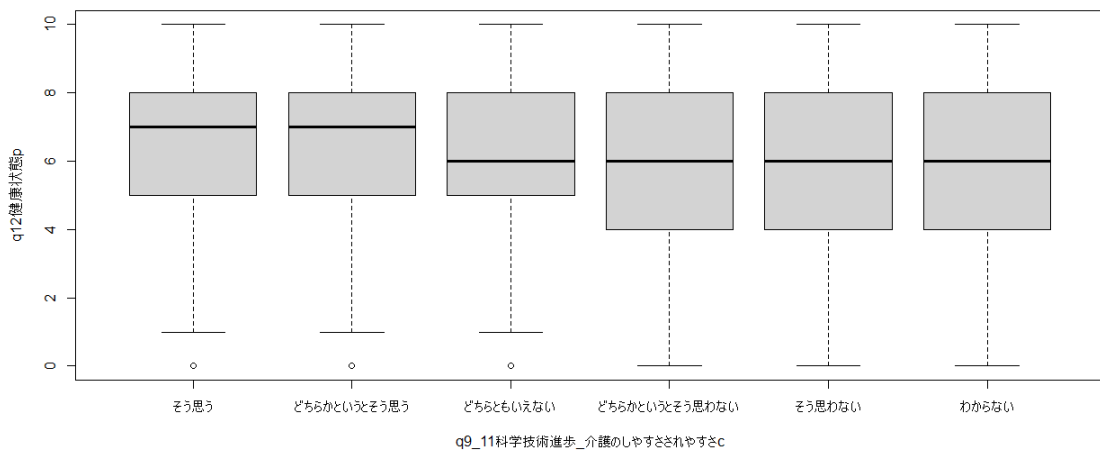
図表 8-8 q9_8 科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境と健康状態の相関



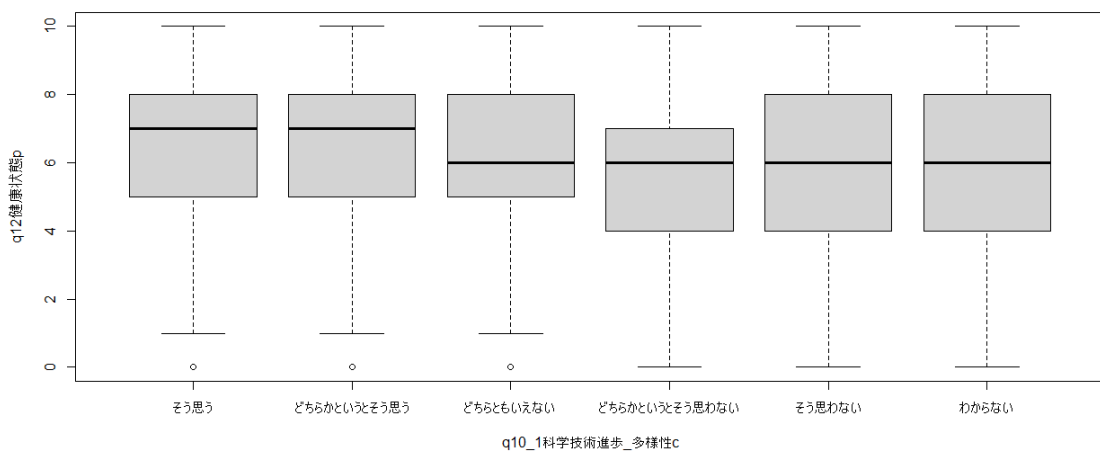
図表 8-9 q9_9 科学技術進歩_身の周りの安全と健康状態の相関



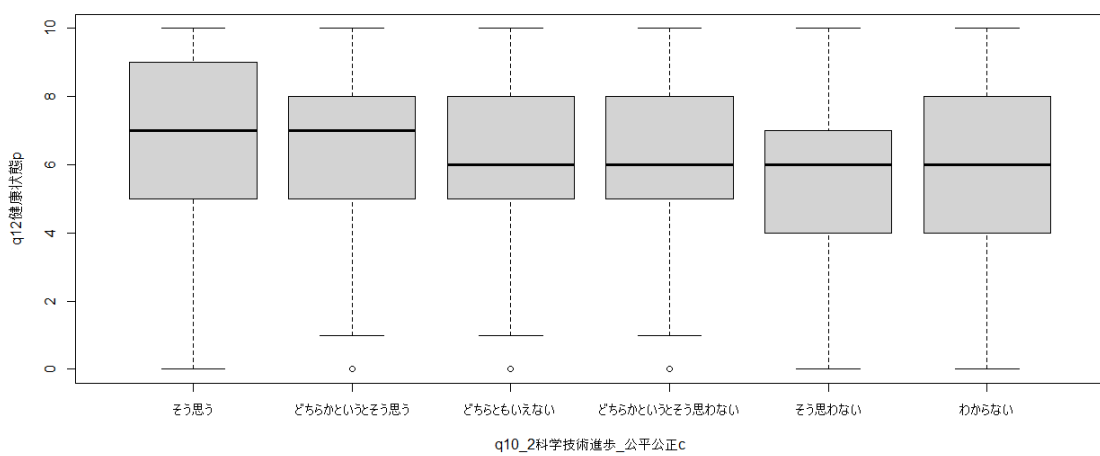
図表 8-10 q9_10 科学技術進歩_子育てのしやすさと健康状態の相関



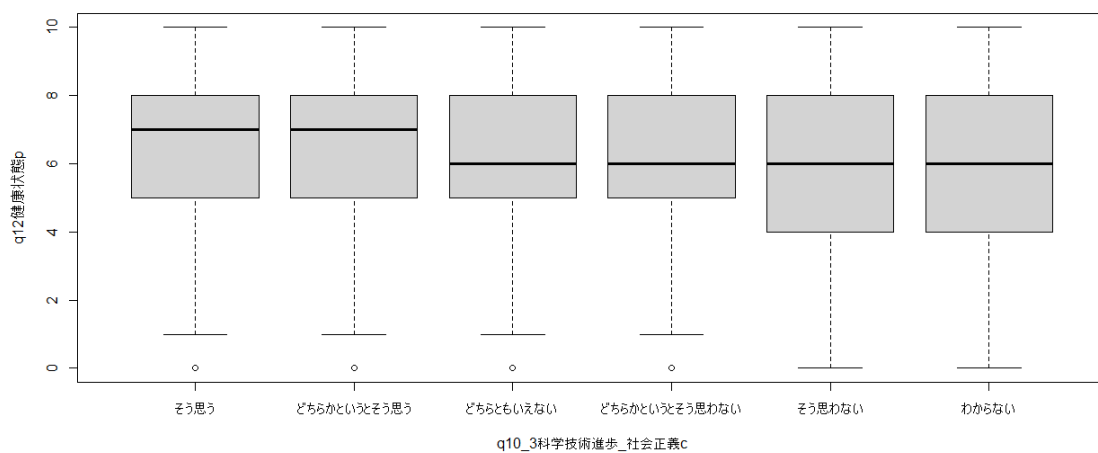
図表 8-11 q9_11 科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさと健康状態の相関



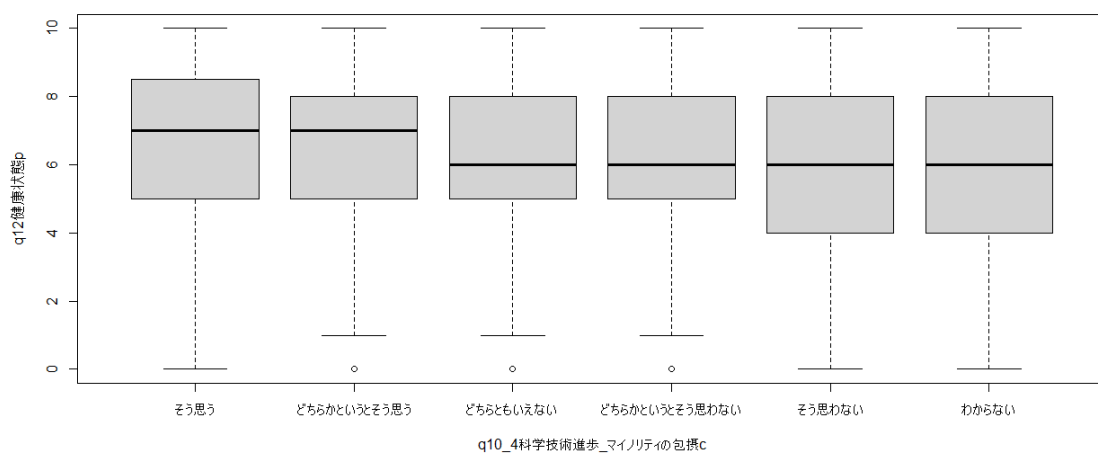
図表 8-12 q10_1 科学技術進歩_多様性と健康状態の相関



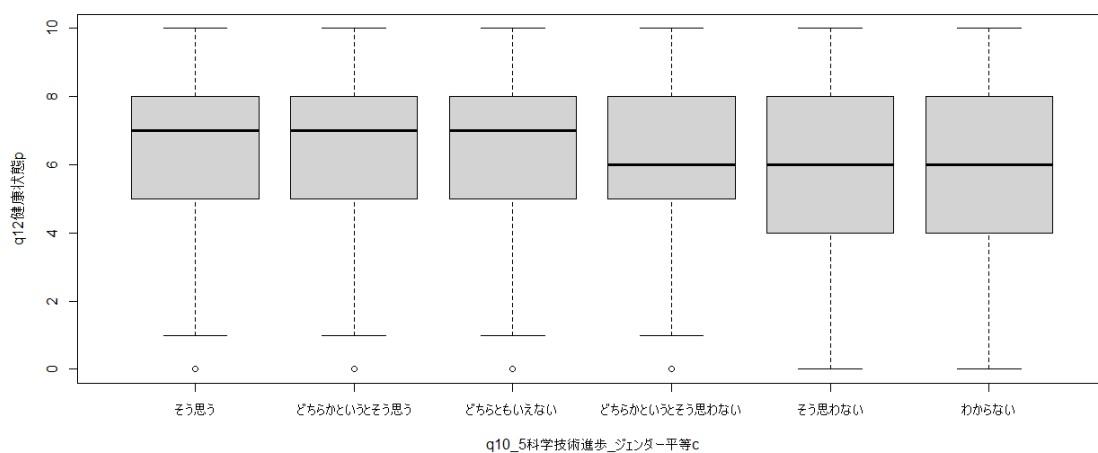
図表 8-13 q10_2 科学技術進歩_公平公正と健康状態の相関



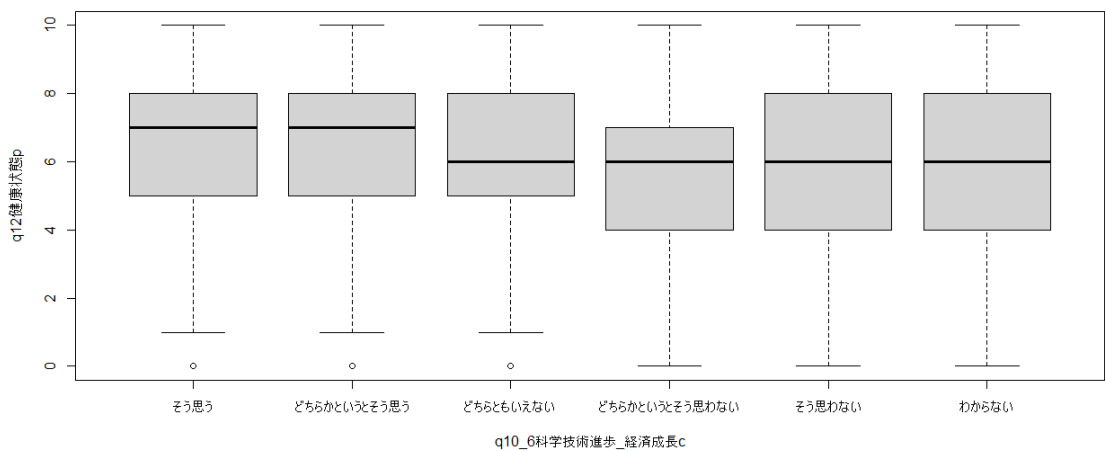
図表 8-14 q10_3 科学技術進歩_社会正義と健康状態の相関



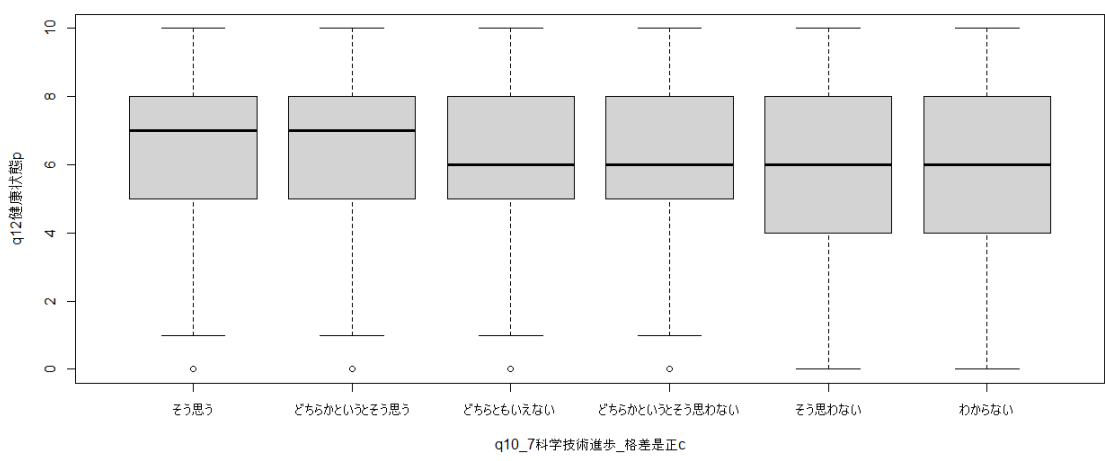
図表 8-15 q10_4 科学技術進歩_マイノリティの包摂と健康状態の相関



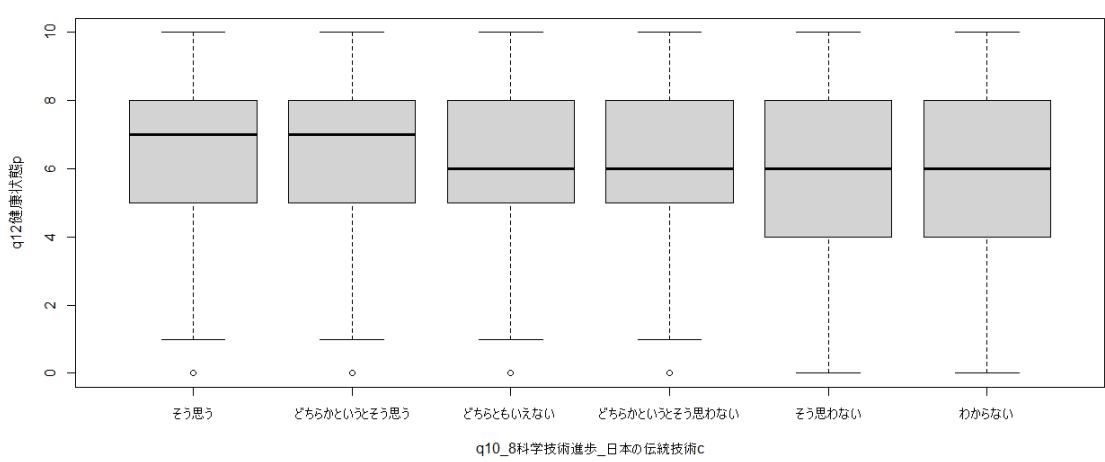
図表 8-16 q10_5 科学技術進歩_ジェンダー平等と健康状態の相関



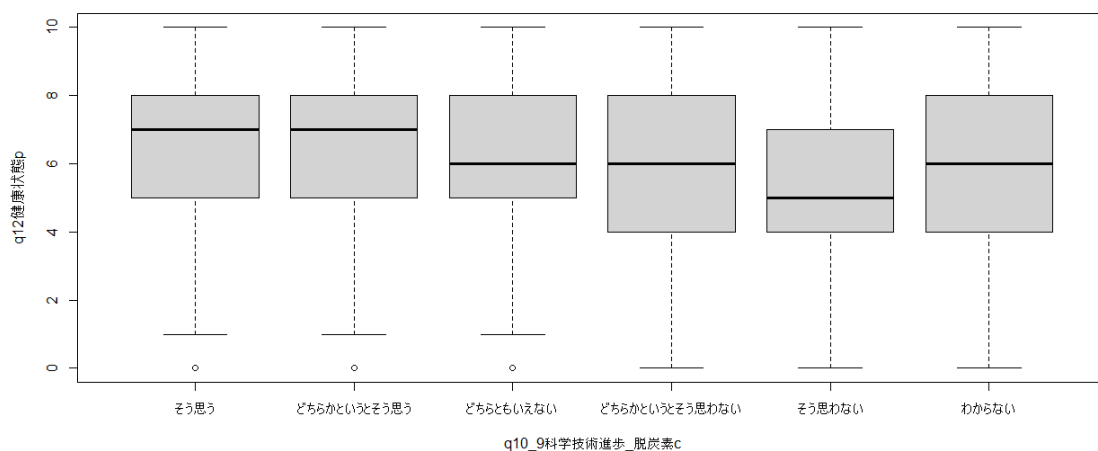
図表 8-17 q10_6 科学技術進歩_経済成長と健康状態の相関



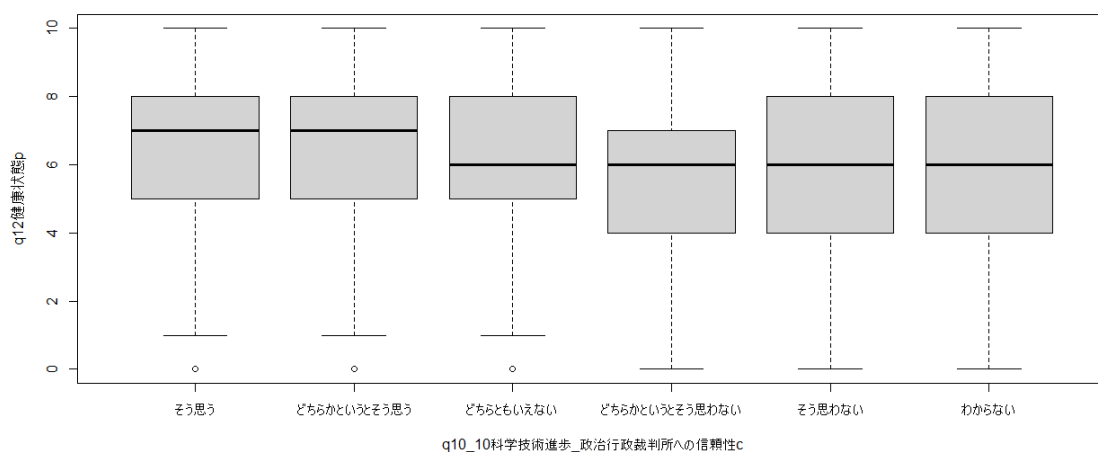
図表 8-18 q10_7 科学技術進歩_格差是正と健康状態の相関



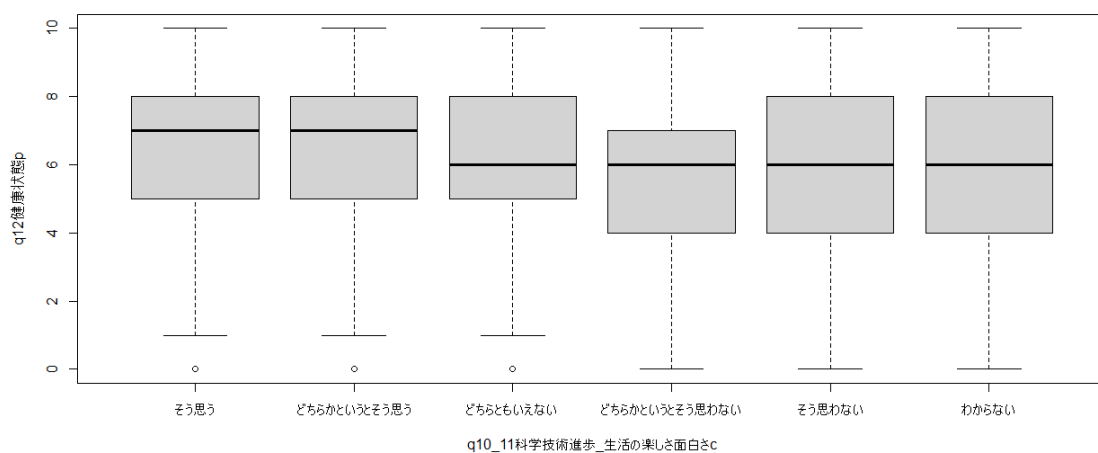
図表 8-19 q10_8 科学技術進歩_日本の伝統技術と健康状態の相関



図表 8-20 q10_9 科学技術進歩_脱炭素と健康状態の相関



図表 8-21 q10_10 科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性と健康状態の相関



図表 8-22 q10_11 科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さと健康状態の相関

③ クロンバックの α (信頼性係数)

・人生満足度:0.909

q13_1 人生満足度_私は自分の人生に満足している

q13_2 人生満足度_私の暮らし向き生活状態は素晴らしいものである

q13_3 人生満足度_大体において私の人生は理想に近いものである

q13_4 人生満足度_もう一度人生をやり直すとしても私には変えたいと思うところはほとんどない

q13_5 人生満足度_これまで私は望んだものは手に入れてきた

・人生の意義:0.917

q14_1 人生の意義_社会に貢献できる要素があると感じた

q14_2 人生の意義_自分はコミュニティや集団の一部だと感じた

q14_3 人生の意義_他者との温かく信頼できる関係があると感じた

q14_4 人生の意義_自分が成長しよりよい人になることを促すような経験があった

q14_5 人生の意義_自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり話したりした

q14_6 人生の意義_自分の人生には方向性や意味があると感じた

・協調的幸福感:0.918

q15_1 協調的幸福感_自分だけでなく身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う

q15_2 協調的幸福感_周りの人に認められていると感じる

q15_3 協調的幸福感_周りの人たちと同じくらい幸せだと思う

q15_4 協調的幸福感_周りの人並みの生活は手に入れている自信がある

q15_5 協調的幸福感_周りの人たちと同じくらいそれなりにうまくいっている

q15_6 協調的幸福感_大切な人を幸せにしていると思う

q15_7 協調的幸福感_大きな悩み事はない

q15_8 協調的幸福感_人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている

・畏怖畏敬体験:0.794

q16_1 畏怖畏敬体験_周囲に科学的真実を見いだすことができる

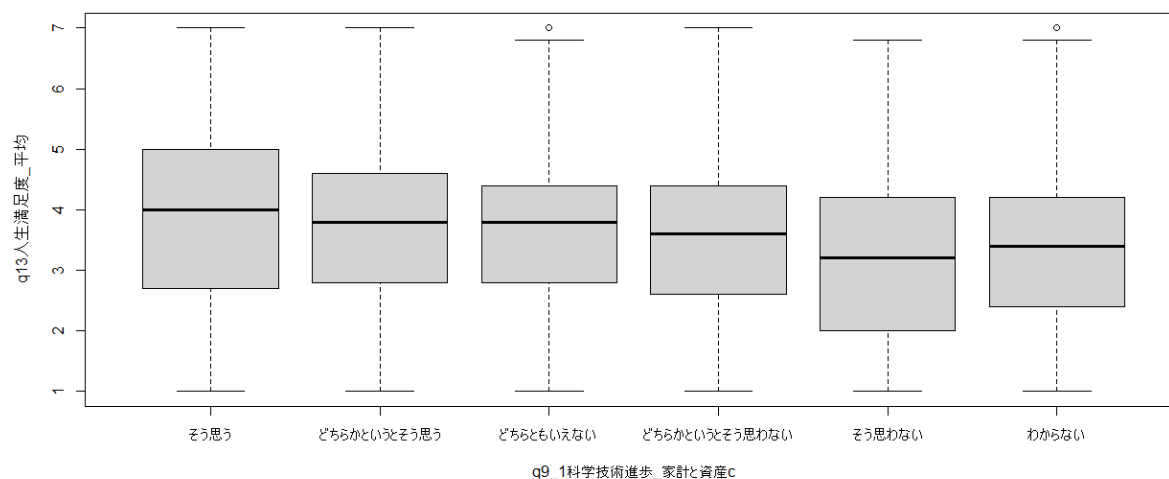
q16_2 畏怖畏敬体験_私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている

以上の通り、総じて信頼性係数は高いことが分かる。

④ 人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験との相関分析

前節の分析結果を踏まえて、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験内の平均をとり、それらと q9,q10 との相関分析を行う。

例えば、q9_1 科学技術進歩_家計と資産と人生満足度(平均)との相関を調べると図表 9-1 となり、科学技術の進歩が家計と資産の増進につながっていると考えている人ほど、平均された人生満足度が高くなっている。



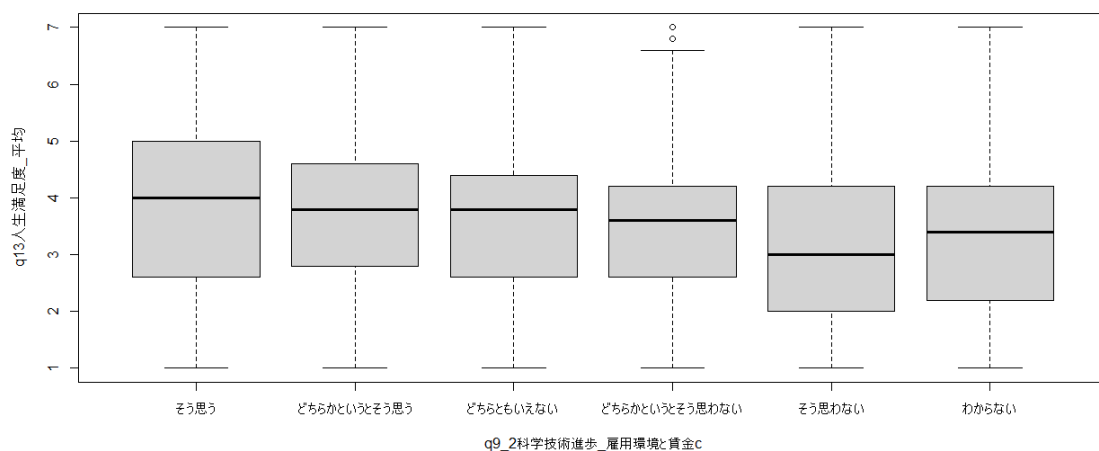
図表 9-1 q9_1 科学技術進歩_家計と資産と人生満足度(平均)との相関

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と人生満足度(平均)との相関は図表 9-2 から図表 9-22 となる。科学技術の進歩が各項目の増進につながると回答した者は人生満足度(平均)が高いという相関関係がある(H 検定)。

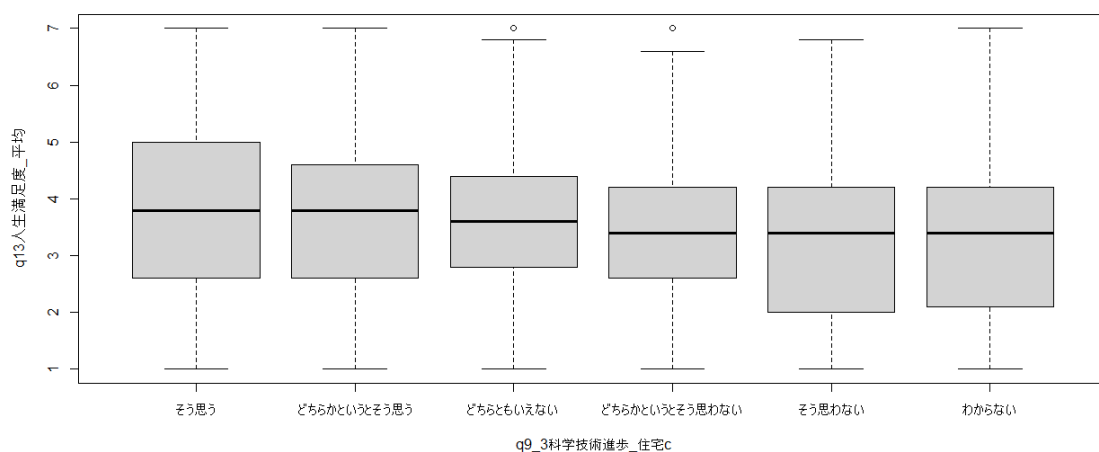
○H 検定の帰無仮説が棄却される(分布が異なる)

・雇用環境と賃金、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス)、健康状態、あなた自身の教育水準・教育環境、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、子育てのしやすさ、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、公平公正、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、経済成長、格差是正、日本の伝統技術、脱炭素、政治・行政・裁判所への信頼性、生活の楽しさ・面白さ(21)

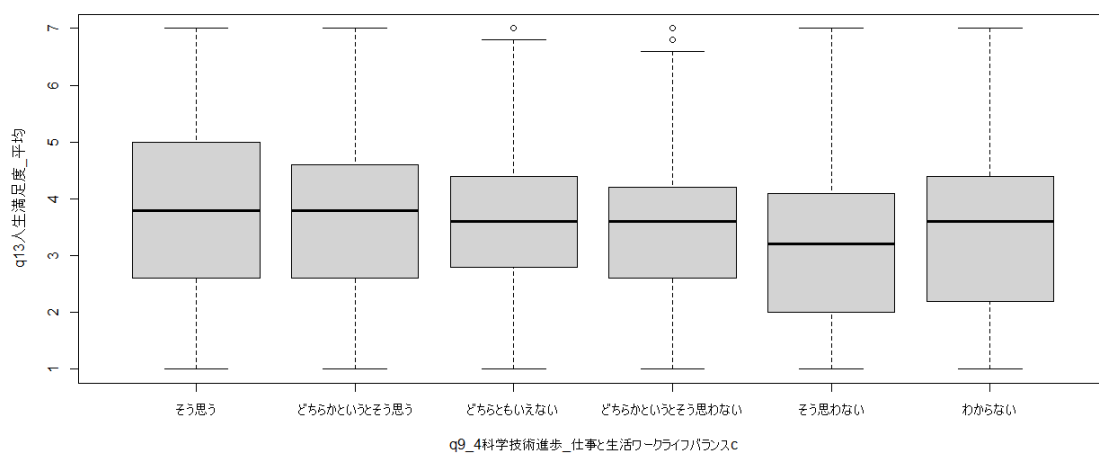
ここでは帰無仮説が棄却される、即ち科学技術の進歩に応じて分布が異なるものである。



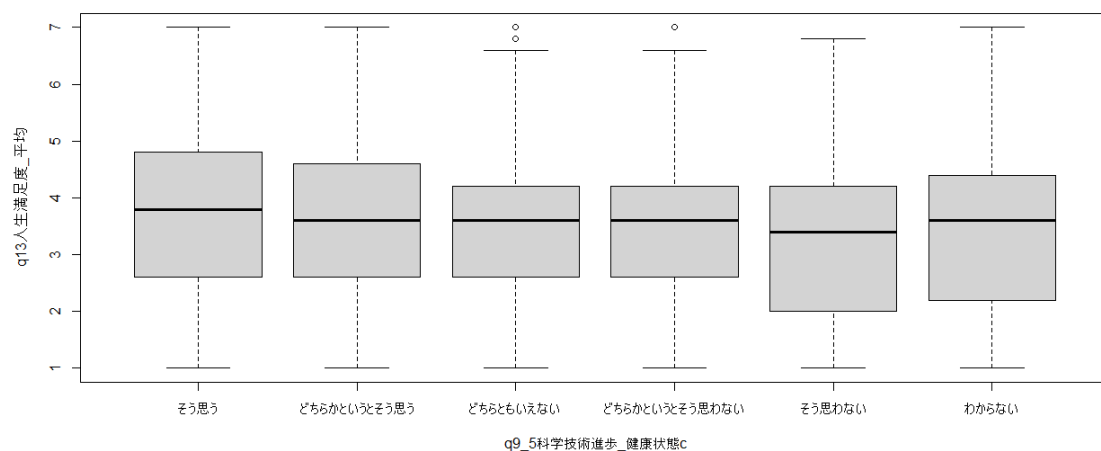
図表 9-2 q9_2 科学技術進歩_雇用環境と賃金と人生満足度(平均)との相関



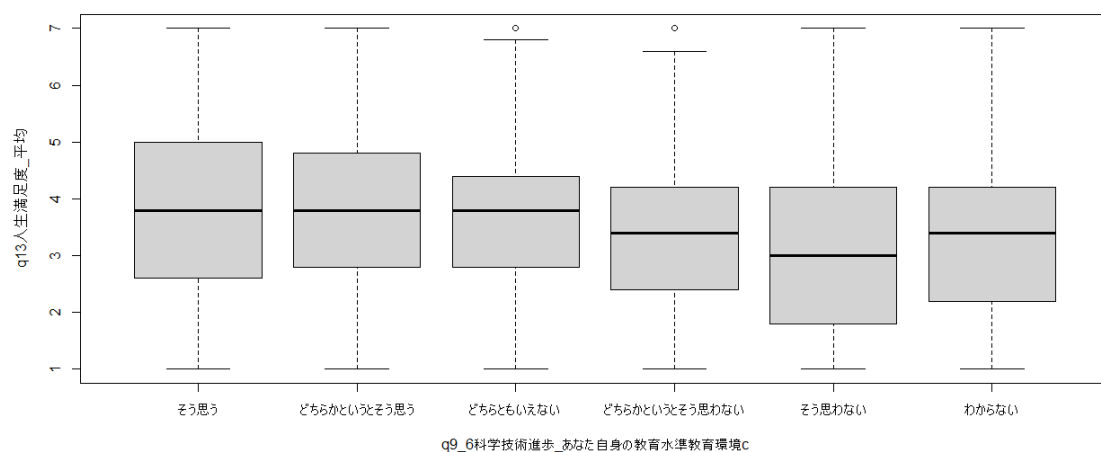
図表 9-3 q9_3 科学技術進歩_住宅と人生満足度(平均)との相関



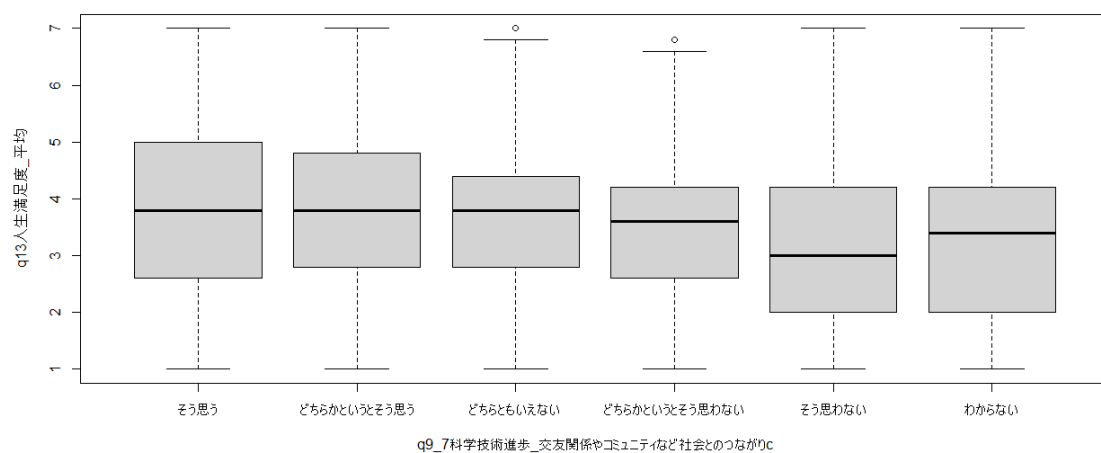
図表 9-4 q9_4 科学技術進歩_仕事と生活(ワークライフバランス)と人生満足度(平均)との相関



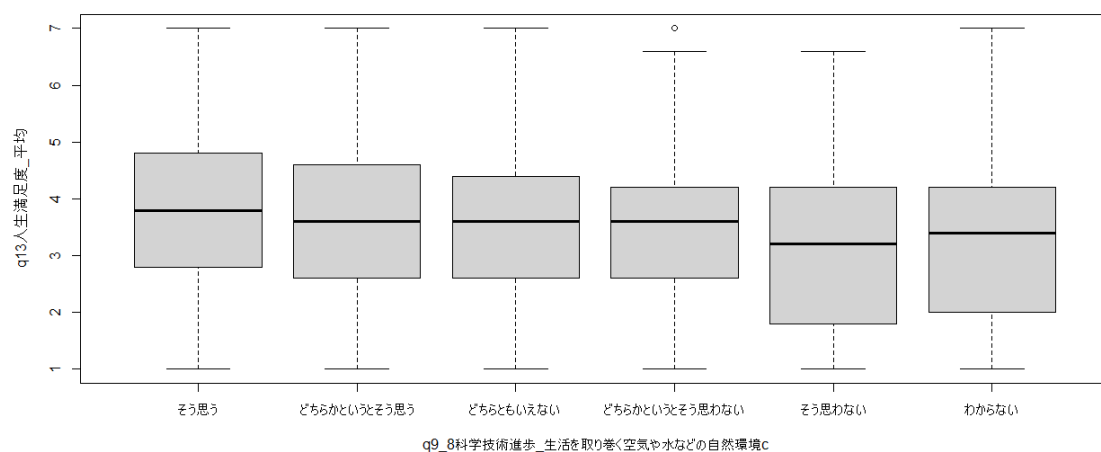
図表 9-5 q9_5 科学技術進歩_健康状態と人生満足度(平均)との相関



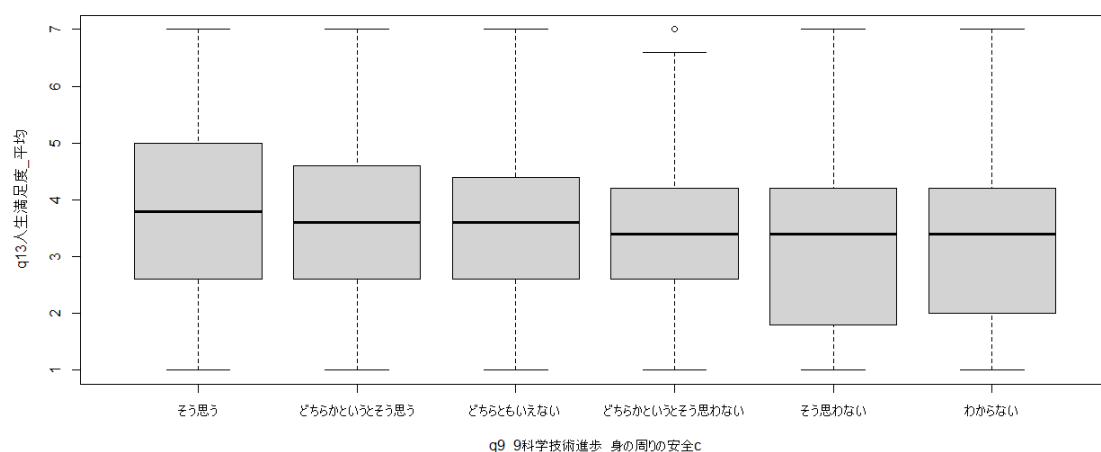
図表 9-6 q9_6 科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境と人生満足度(平均)との相関



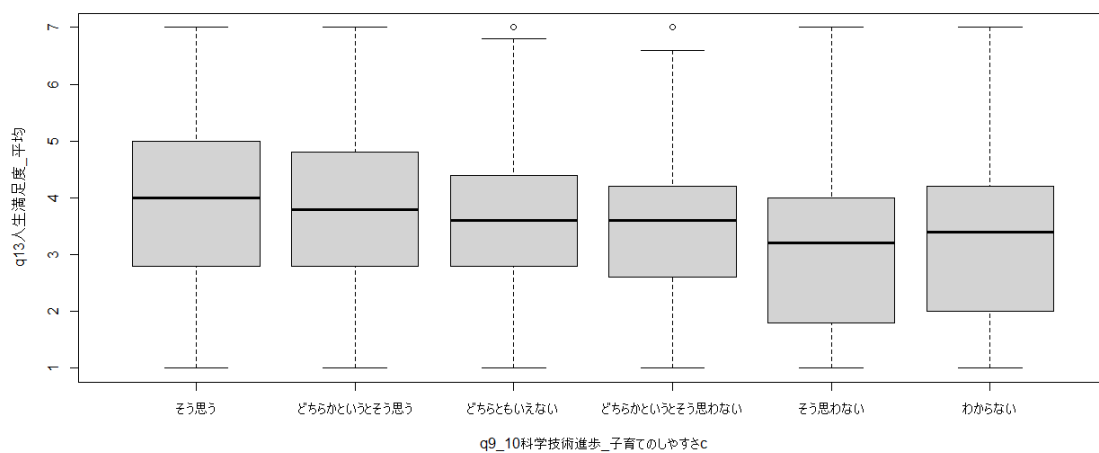
図表 9-7 q9_7 科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながりと人生満足度(平均)との相関



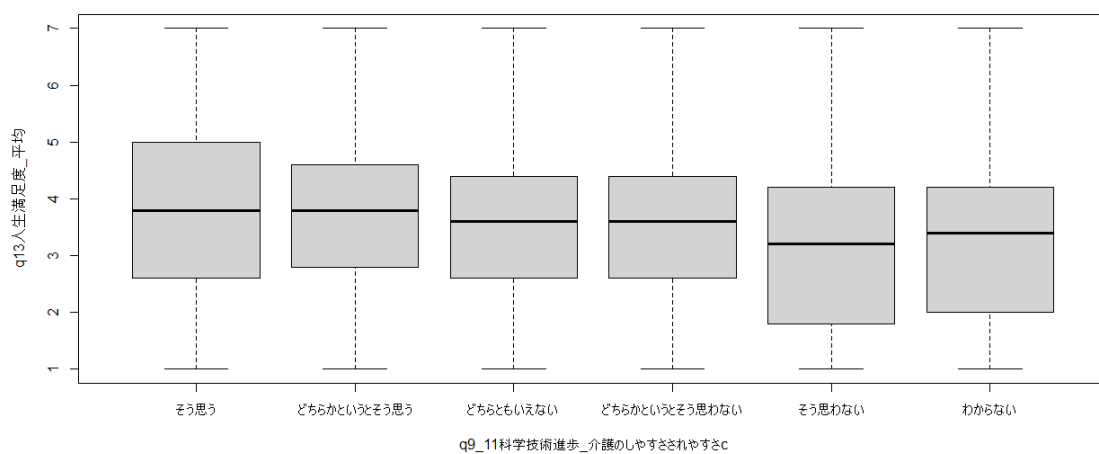
図表 9-8 q9_8 科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境と人生満足度(平均)との相関



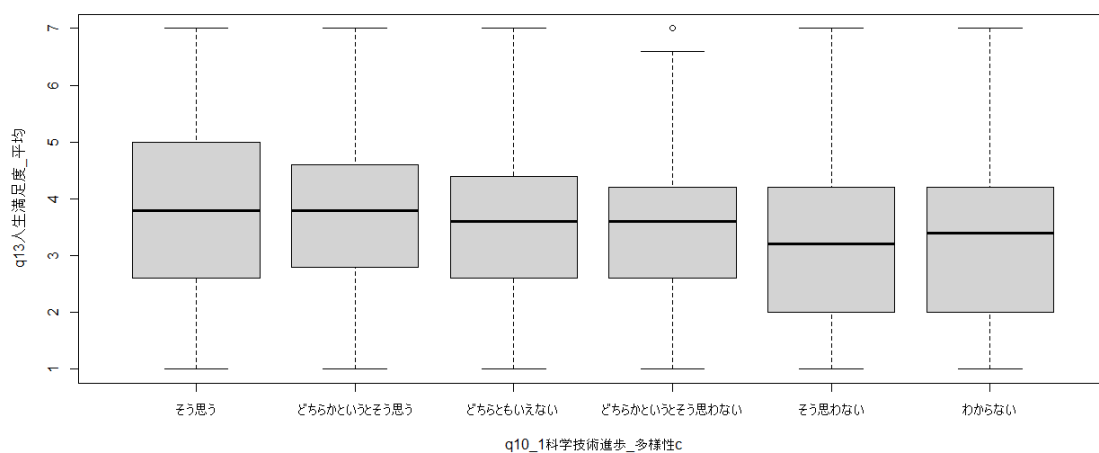
図表 9-9 q9_9 科学技術進歩_身の周りの安全と人生満足度(平均)との相関



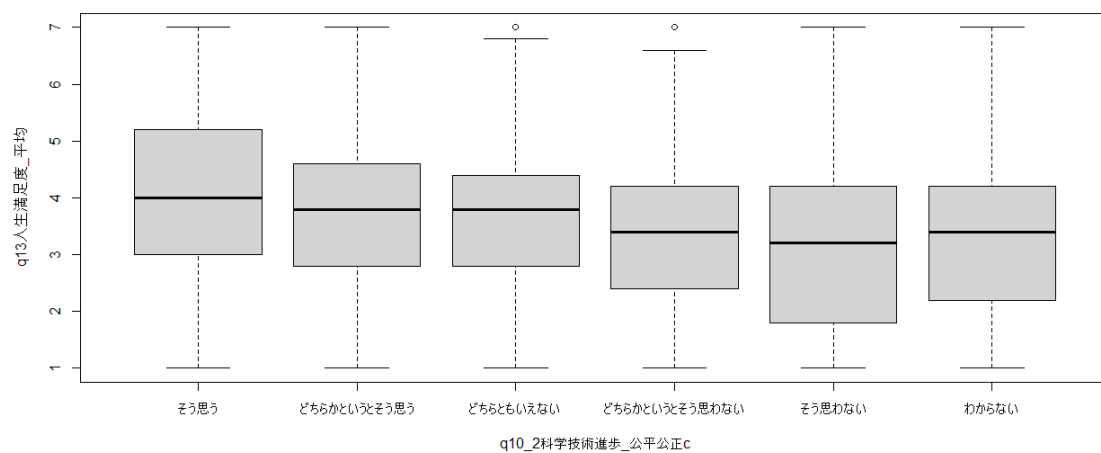
図表 9-10 q9_10 科学技術進歩_子育てのしやすさと人生満足度(平均)との相関



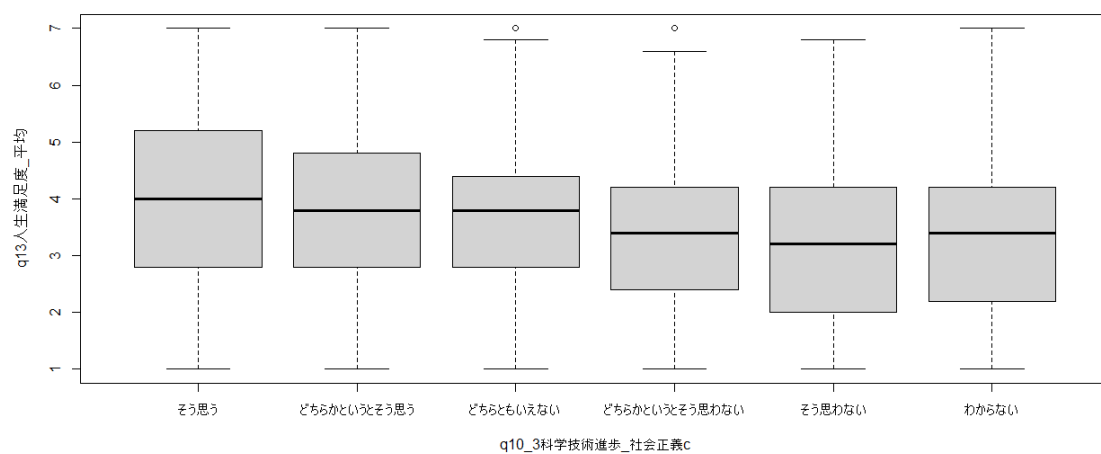
図表 9-11 q9_11 科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさと人生満足度(平均)との相関



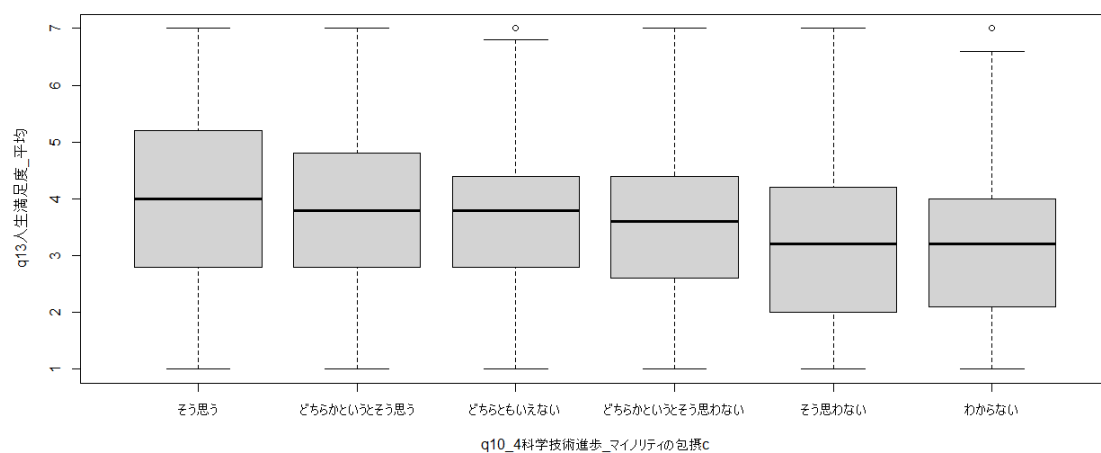
図表 9-12 q10_1 科学技術進歩_多様性と人生満足度(平均)との相関



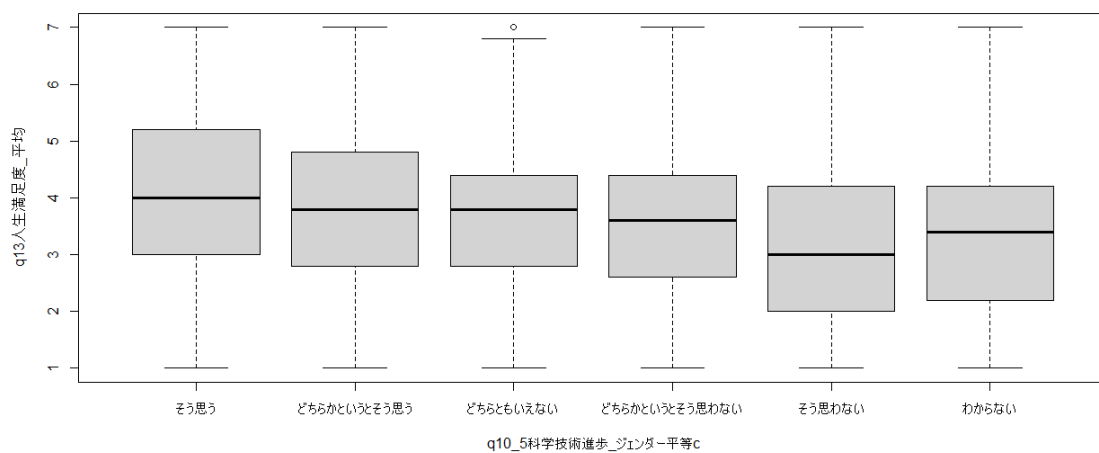
図表 9-13 q10_2 科学技術進歩_公平公正と人生満足度(平均)との相関



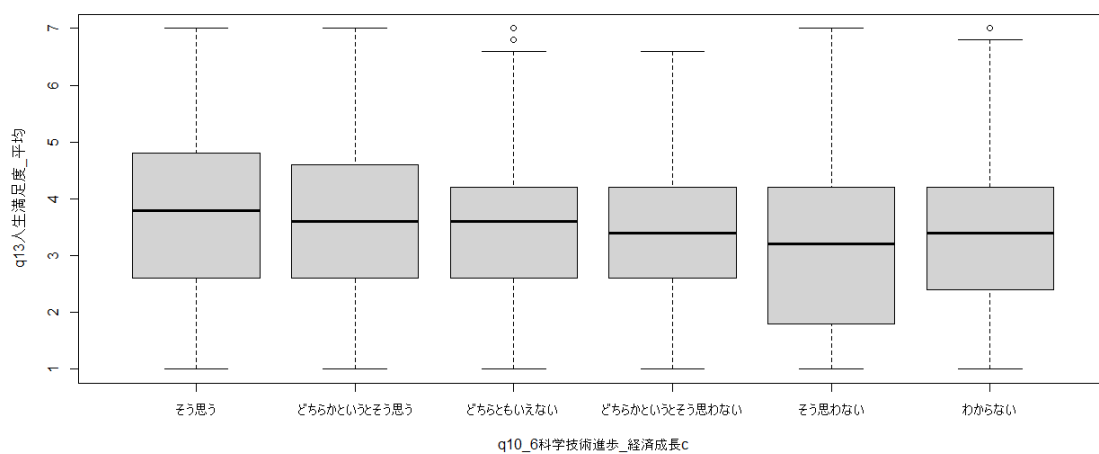
図表 9-14 q10_3 科学技術進歩_社会正義と人生満足度(平均)との相関



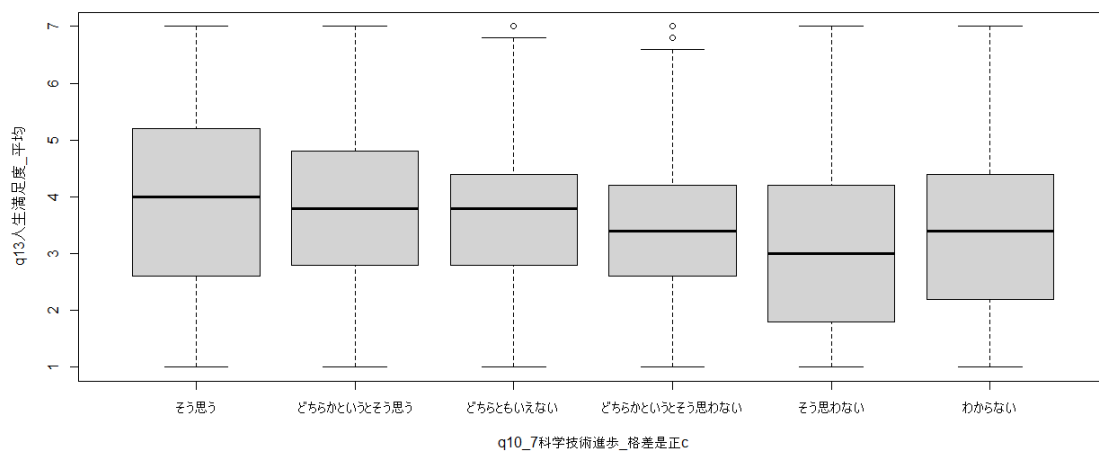
図表 9-15 q10_4 科学技術進歩_マイノリティの包摂と人生満足度(平均)との相関



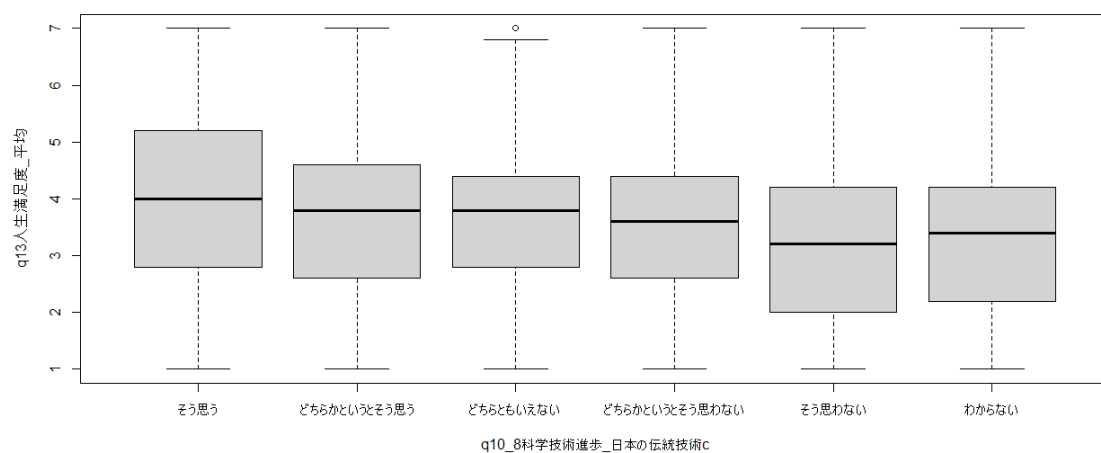
図表 9-16 q10_5 科学技術進歩_ジェンダー平等と人生満足度(平均)との相関



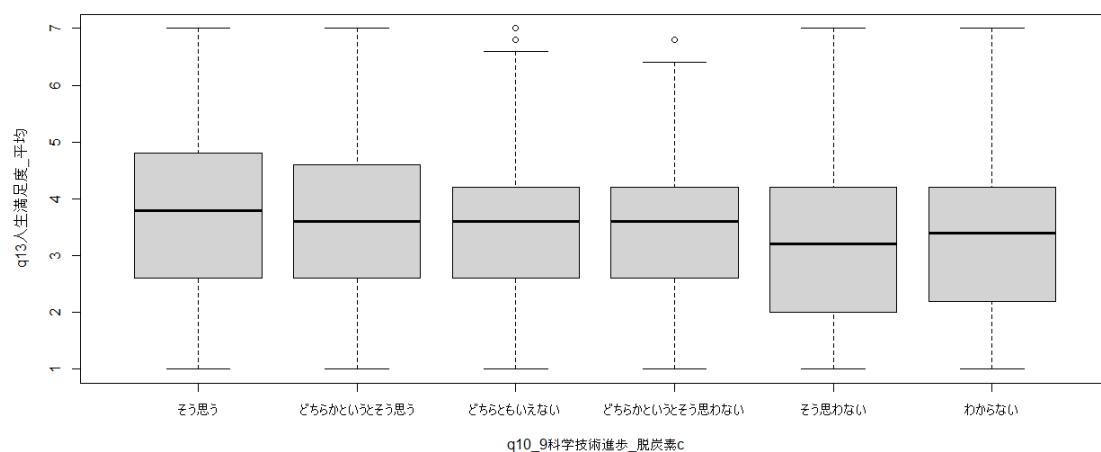
図表 9-17 q10_6 科学技術進歩_経済成長と人生満足度(平均)との相関



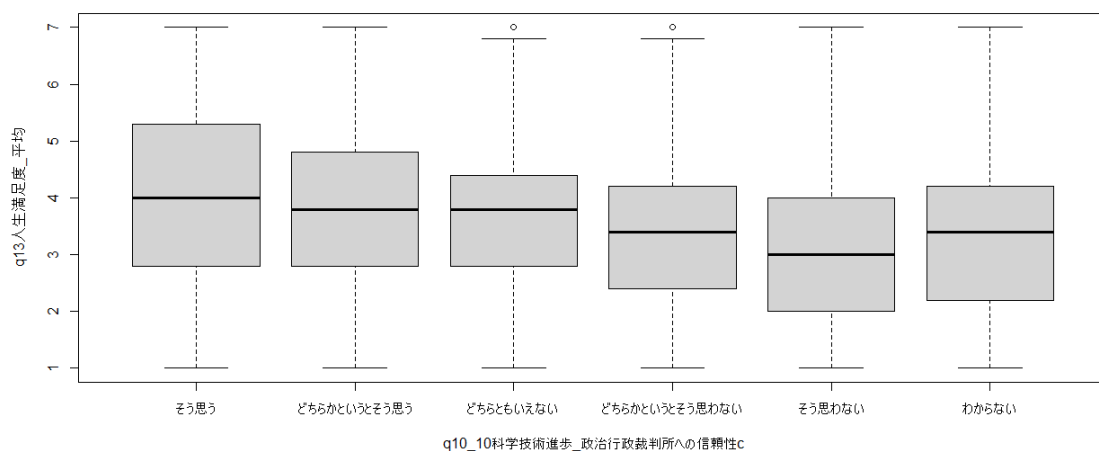
図表 9-18 q10_7 科学技術進歩_格差是正と人生満足度(平均)との相関



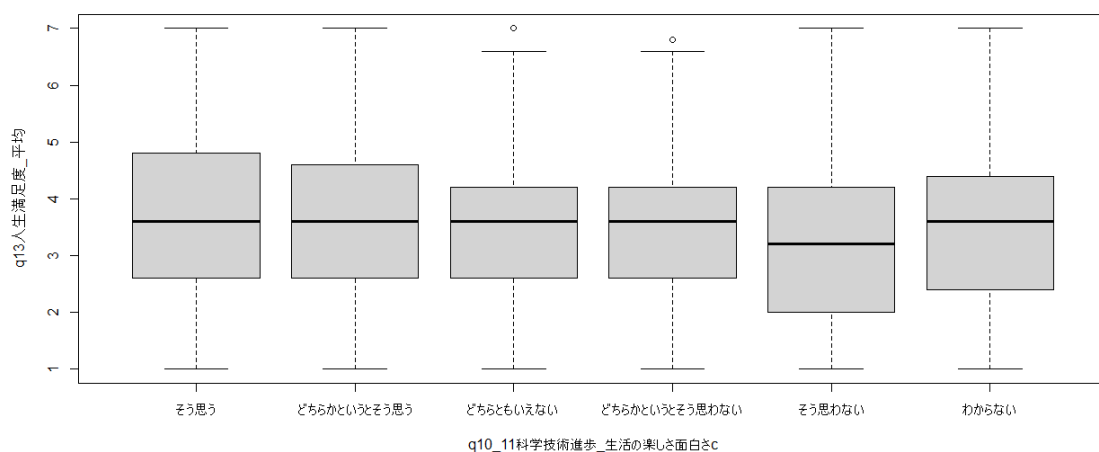
図表 9-19 q10_8 科学技術進歩_日本の伝統技術と人生満足度(平均)との相関



図表 9-20 q10_9 科学技術進歩_脱炭素と人生満足度(平均)との相関

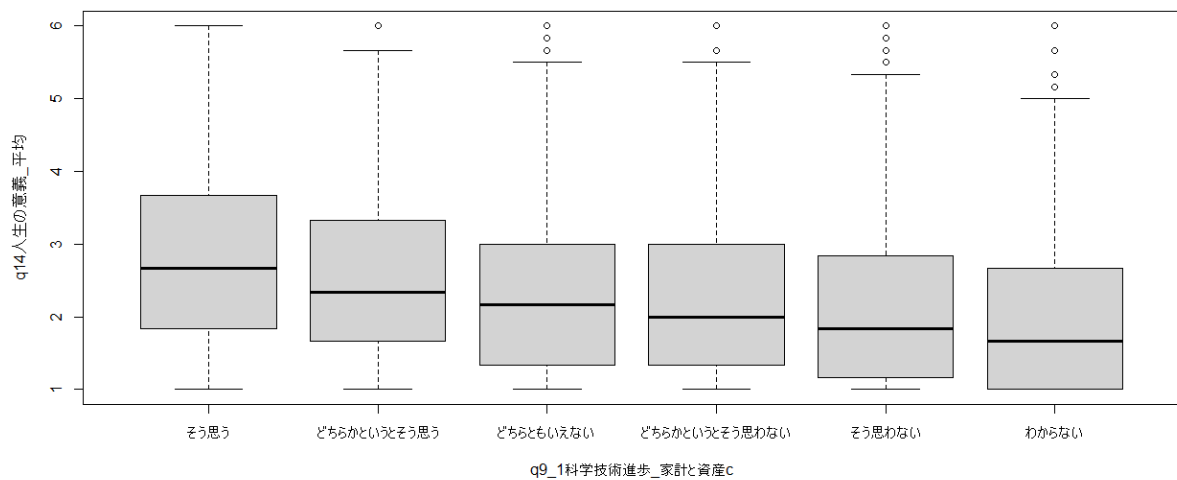


図表 9-21 q10_10 科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性と人生満足度(平均)との相関



図表 9-22 q10_11 科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さと人生満足度(平均)との相関

次に、q9_1 科学技術進歩_家計と資産と人生の意義(平均)との相関を調べると図表 10-1 となり、科学技術の進歩が家計と資産の増進につながっていると考えている人ほど、平均された人生の意義が高くなっている。



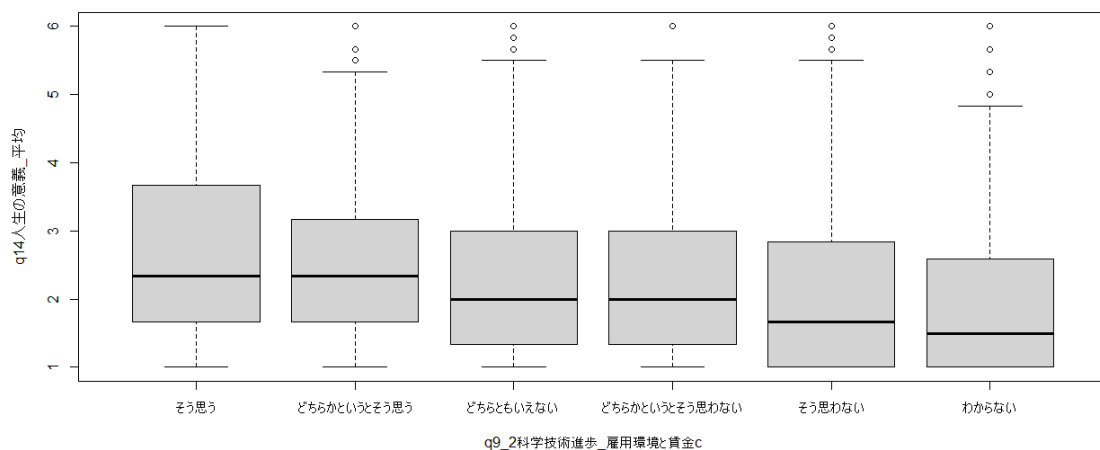
図表 10-1 q9_1 科学技術進歩_家計と資産と人生の意義(平均)との相関

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と人生の意義(平均)との相関は図表 10-2 から図表 10-22 となる。科学技術の進歩が各項目の増進につながると回答した者は人生の意義(平均)が高いという相関関係がある(H 検定)。

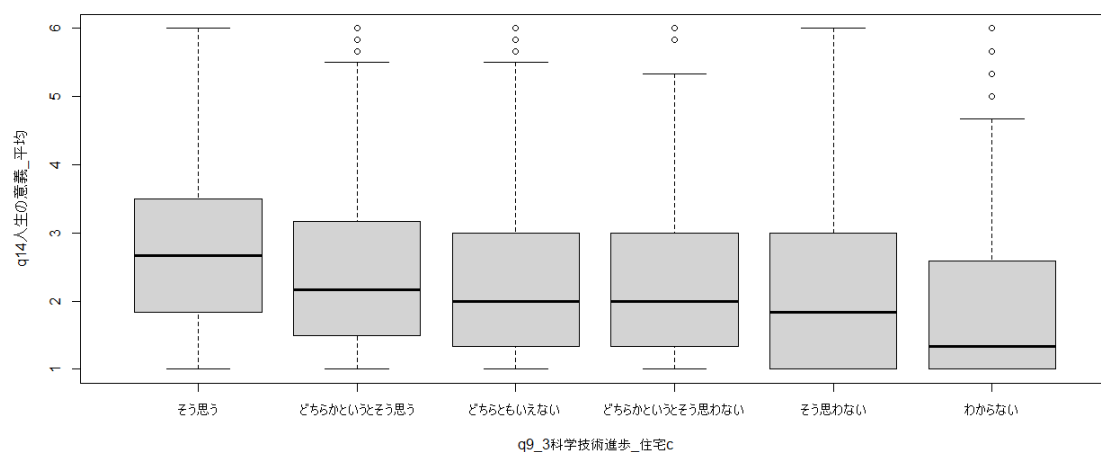
○H 検定の帰無仮説が棄却される(分布が異なる)

・雇用環境と賃金、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス)、健康状態、あなた自身の教育水準・教育環境、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、子育てのしやすさ、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、公平公正、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、経済成長、格差是正、日本の伝統技術、脱炭素、政治・行政・裁判所への信頼性、生活の楽しさ・面白さ(21)

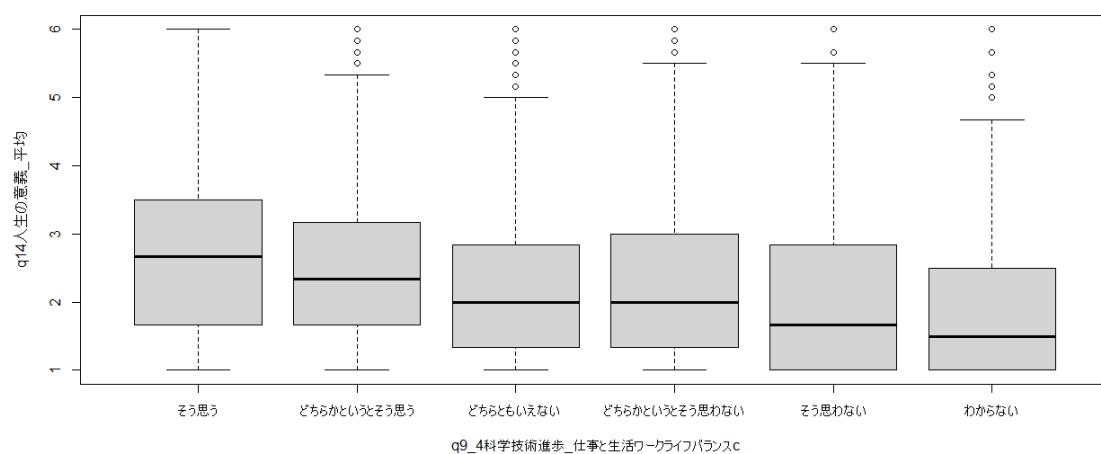
ここでは帰無仮説が棄却される、即ち科学技術の進歩に応じて分布が異なるものである。



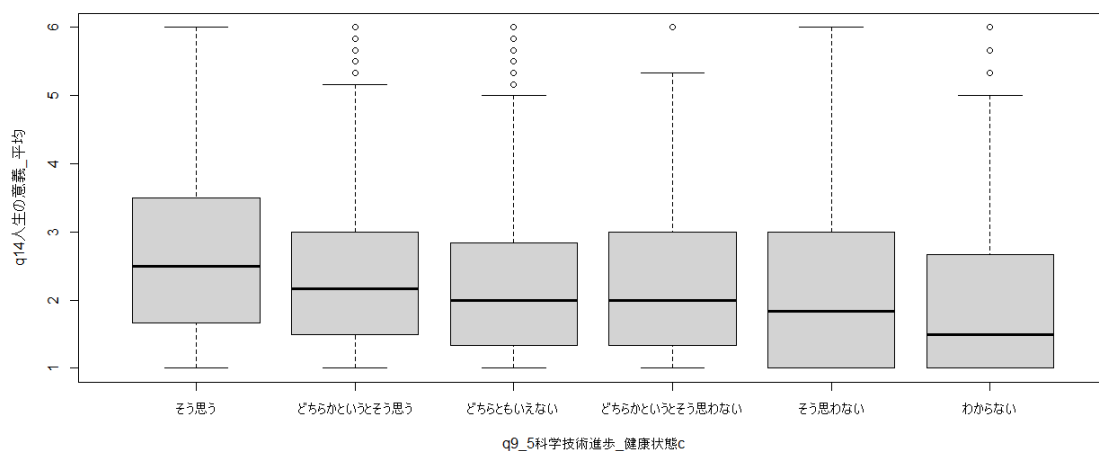
図表 10-2 q9_2 科学技術進歩_雇用環境と賃金と人生の意義(平均)との相関



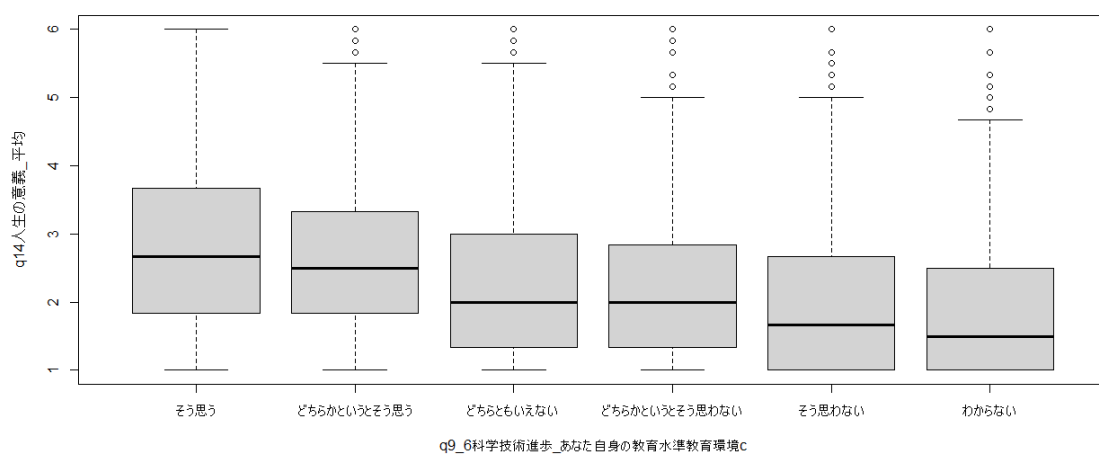
図表 10-3 q9_3 科学技術進歩_住宅と人生の意義(平均)との相関



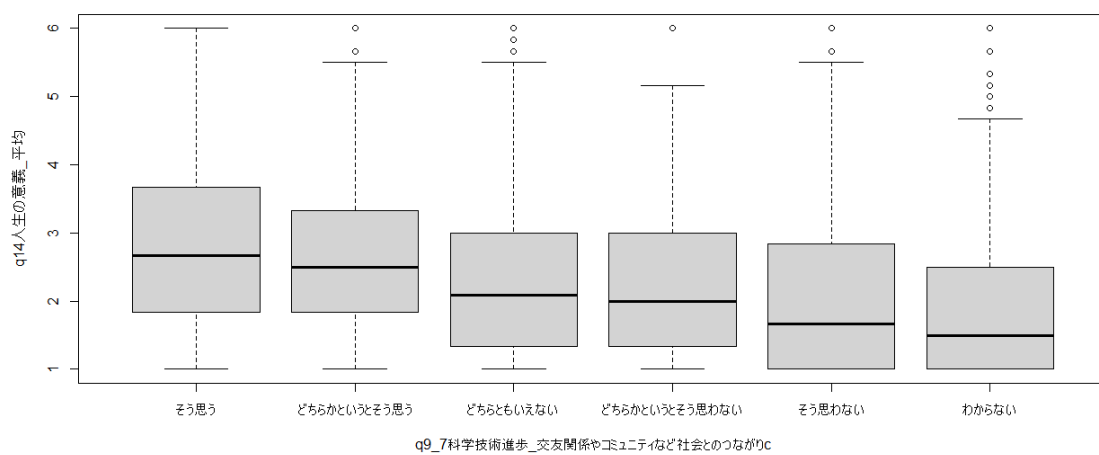
図表 10-4 q9_4 科学技術進歩_仕事と生活(ワークライフバランス)と人生の意義(平均)との相関



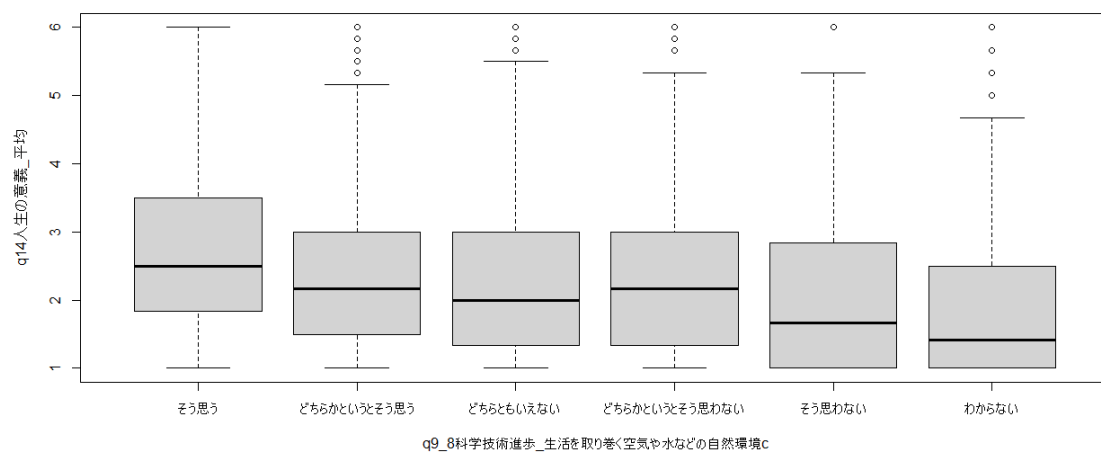
図表 10-5 q9_5 科学技術進歩_健康状態と人生の意義(平均)との相関



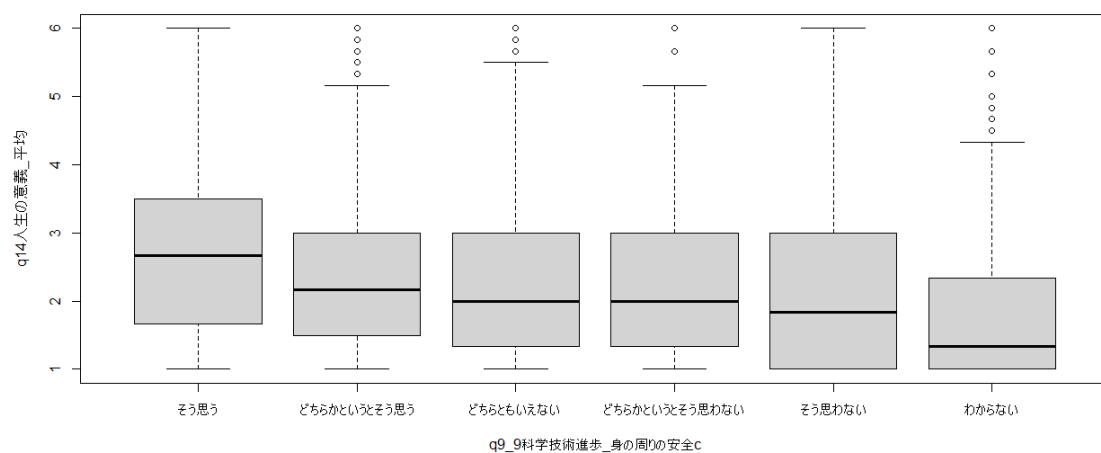
図表 10-6 q9_6 科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境と人生の意義(平均)との相関



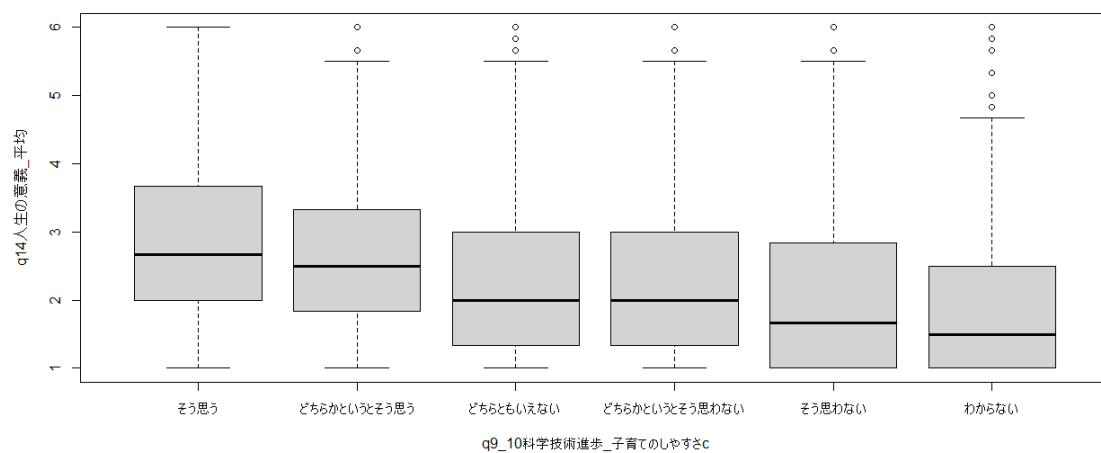
図表 10-7 q9_7 科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながりと人生の意義(平均)との相関



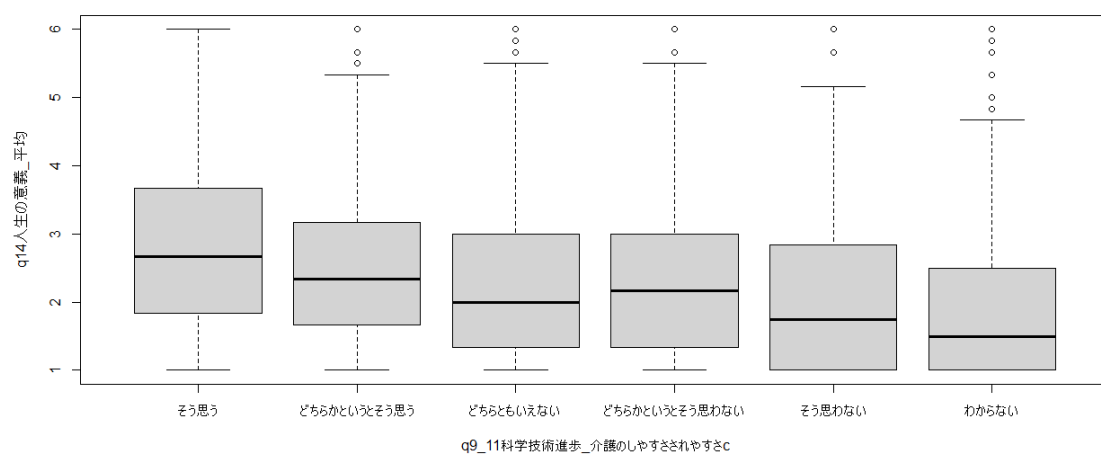
図表 10-8 q9_8 科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境と人生の意義(平均)との相関



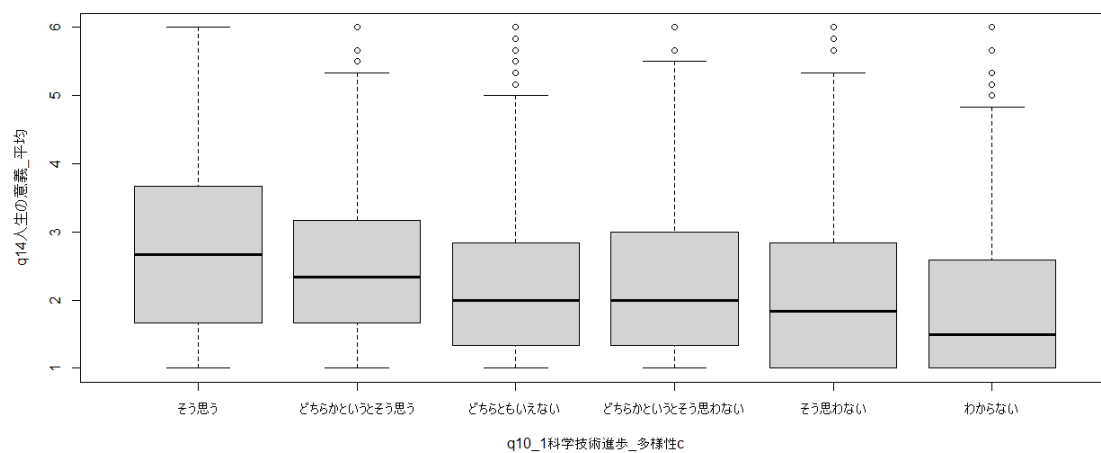
図表 10-9 q9_9 科学技術進歩_身の周りの安全と人生の意義(平均)との相関



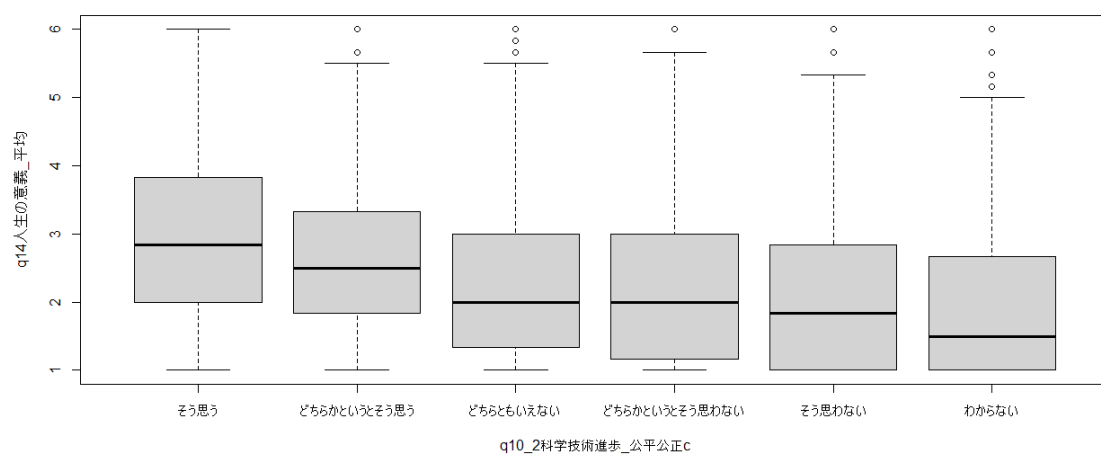
図表 10-10 q9_10 科学技術進歩_子育てのしやすさと人生の意義(平均)との相関



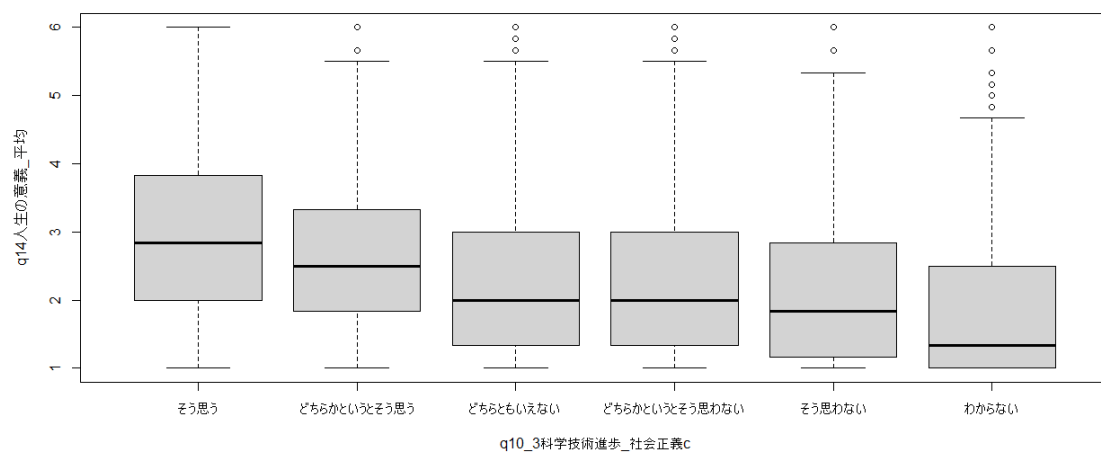
図表 10-11 q9_11 科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさと人生の意義(平均)との相関



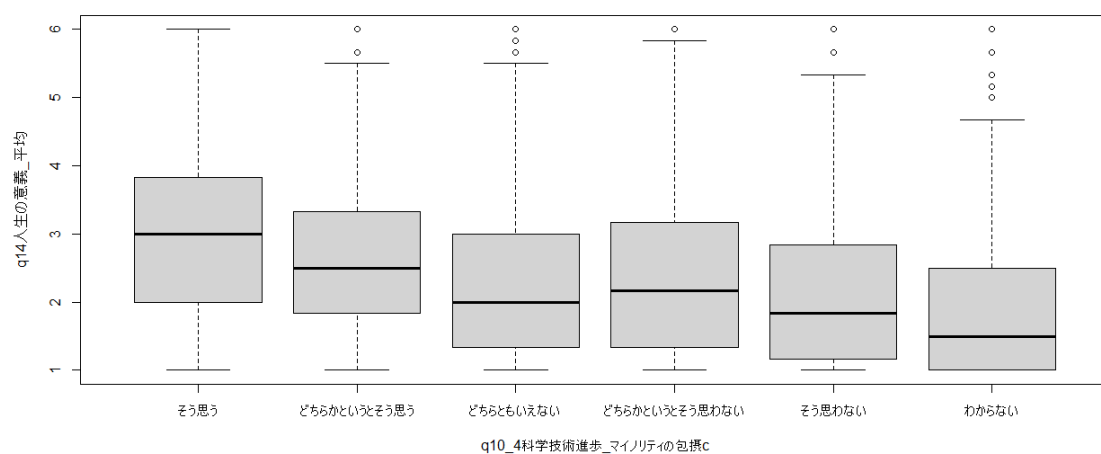
図表 10-12 q10_1 科学技術進歩_多様性と人生の意義(平均)との相関



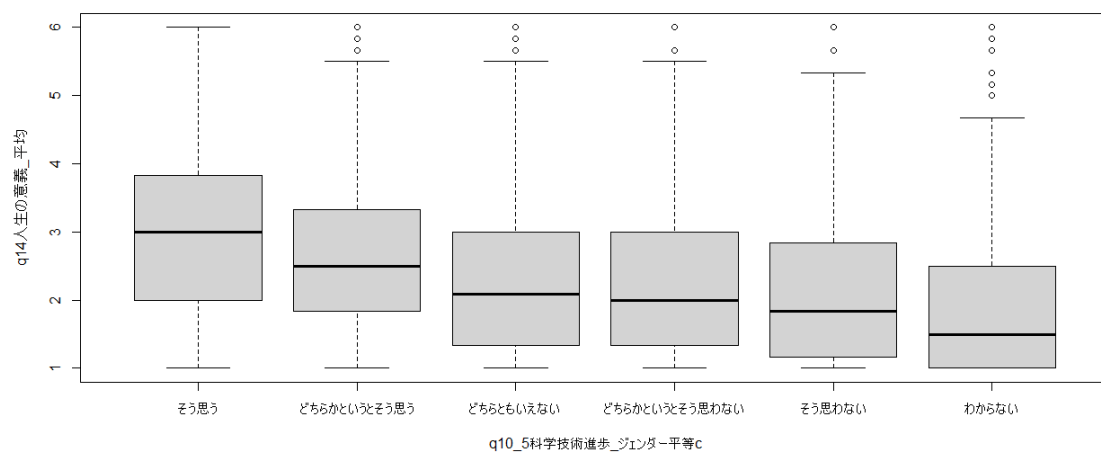
図表 10-13 q10_2 科学技術進歩_公平公正と人生の意義(平均)との相関



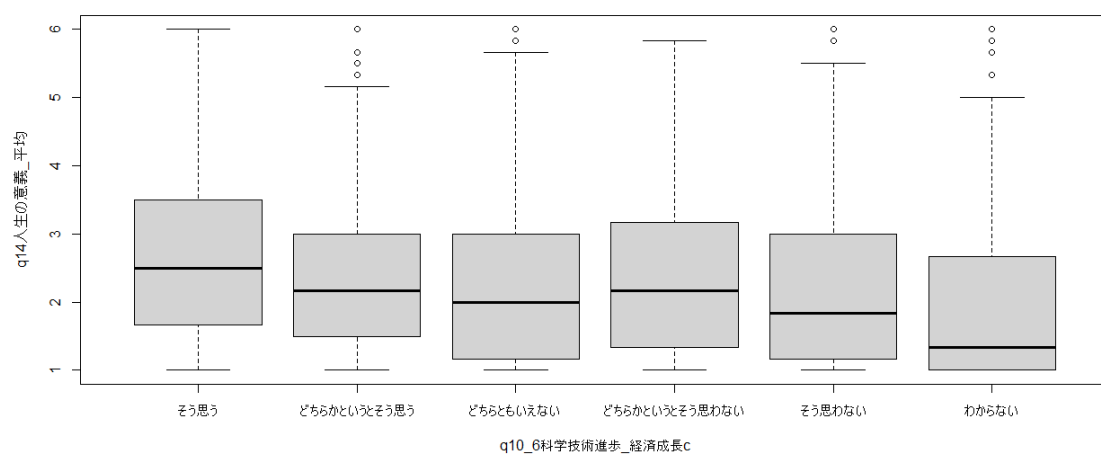
図表 10-14 q10_3 科学技術進歩_社会正義と人生の意義(平均)との相関



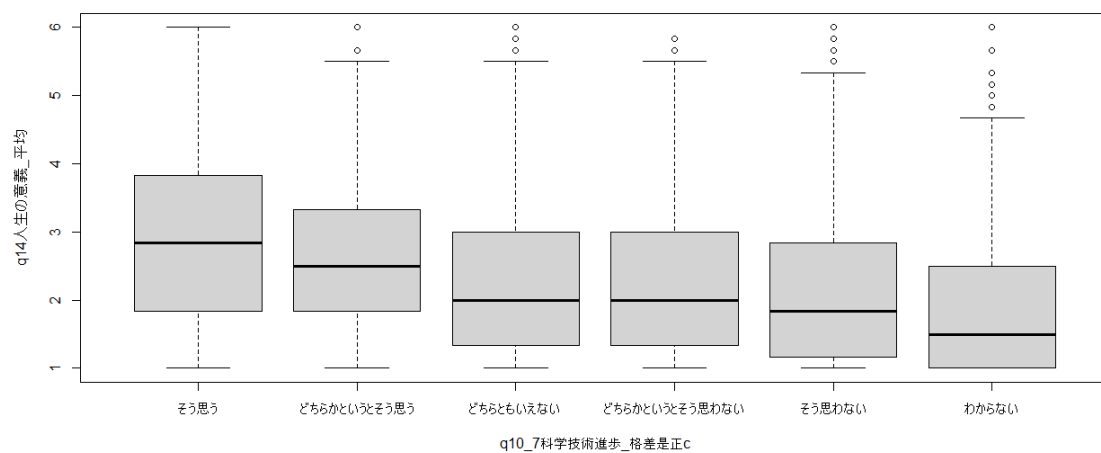
図表 10-15 q10_4 科学技術進歩_マイノリティの包摂と人生の意義(平均)との相関



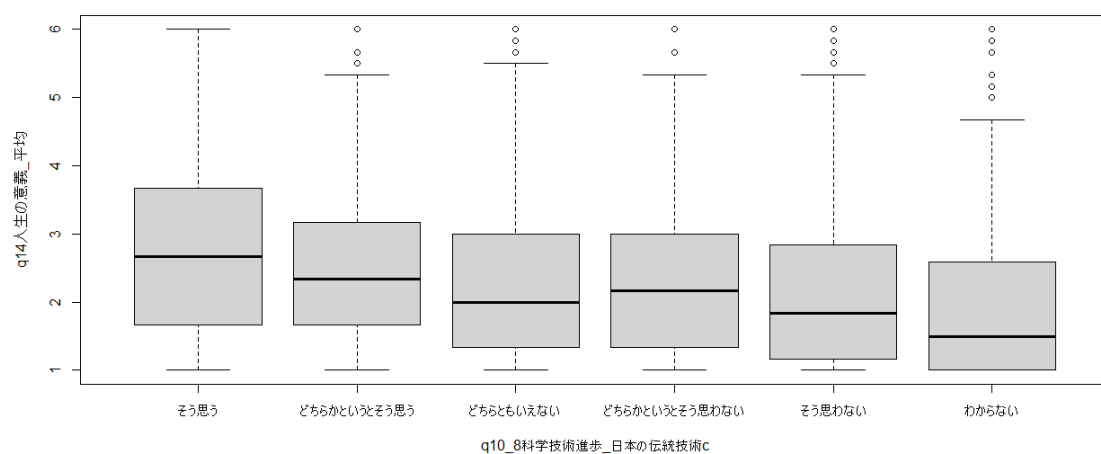
図表 10-16 q10_5 科学技術進歩_ジェンダー平等と人生の意義(平均)との相関



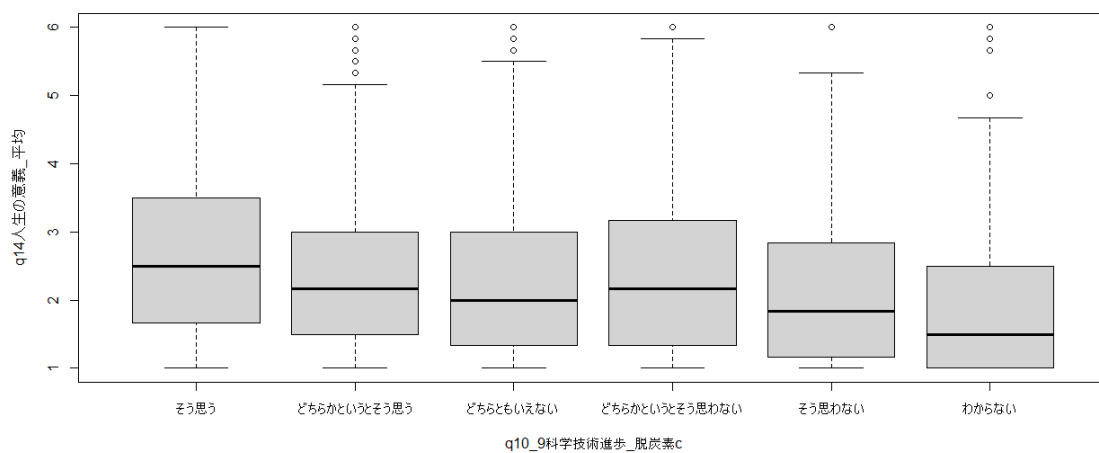
図表 10-17 q10_6 科学技術進歩_経済成長と人生の意義(平均)との相関



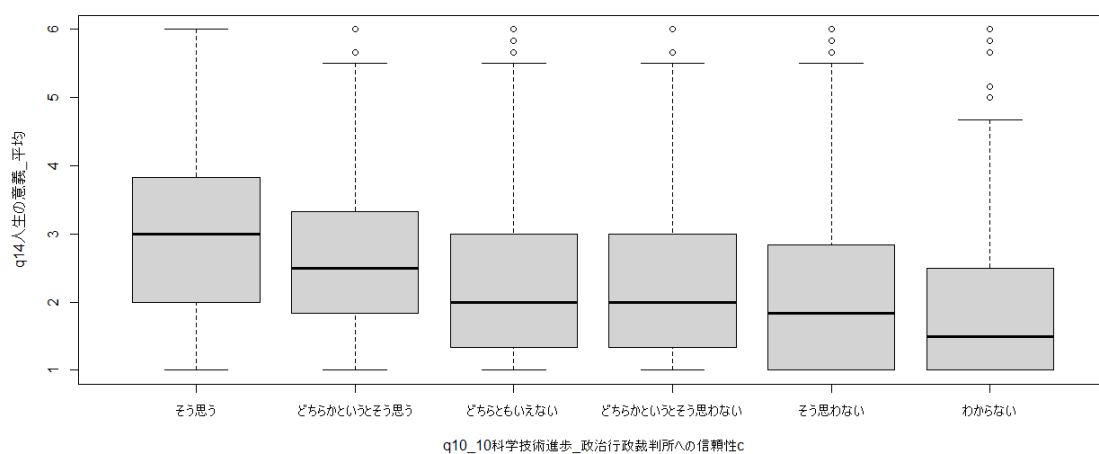
図表 10-18 q10_7 科学技術進歩_格差是正と人生の意義(平均)との相関



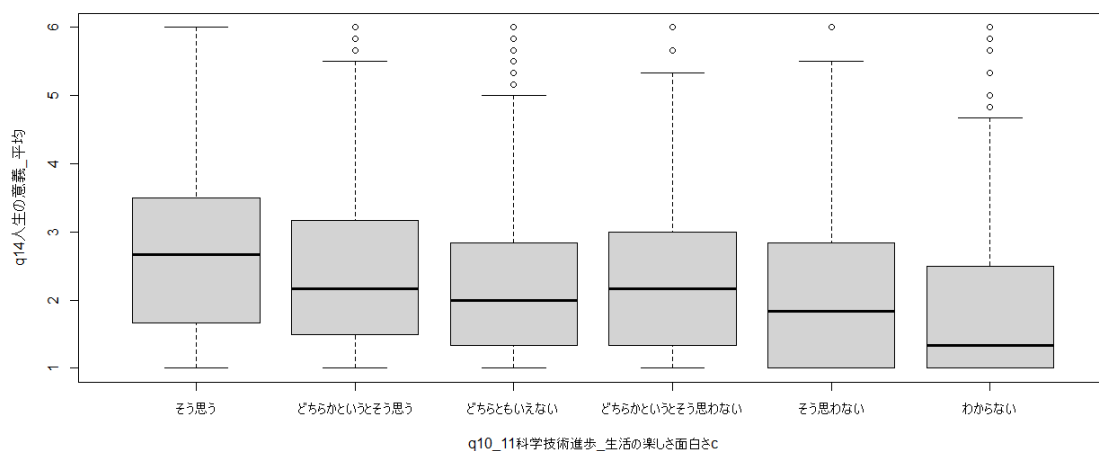
図表 10-19 q10_8 科学技術進歩_日本の伝統技術と人生の意義(平均)との相関



図表 10-20 q10_9 科学技術進歩_脱炭素と人生の意義(平均)との相関

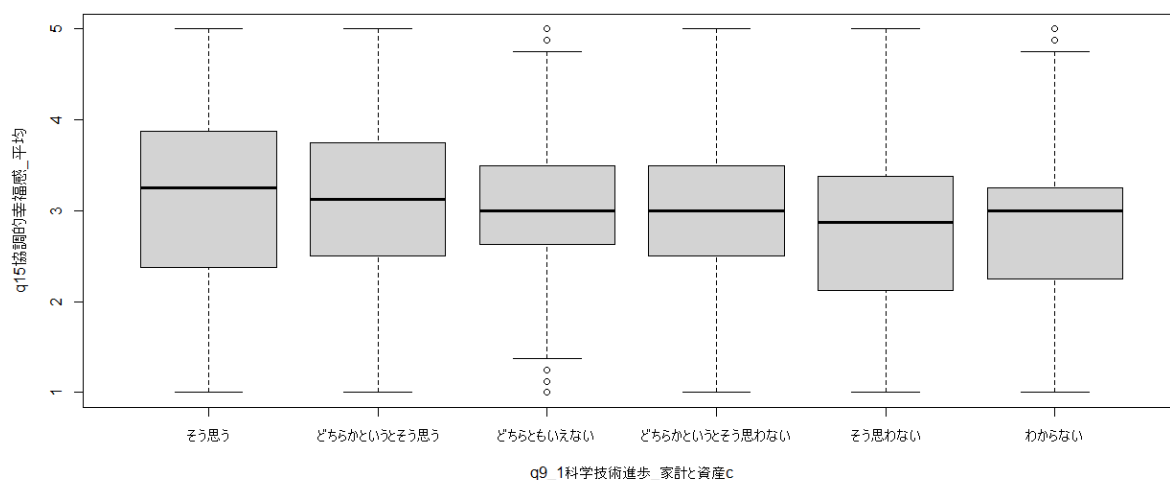


図表 10-21 q10_10 科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性と人生の意義(平均)との相関



図表 10-22 q10_11 科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さと人生の意義(平均)との相関

加えて、q9_1 科学技術進歩_家計と資産と協調的幸福感(平均)との相関を調べると図表 11-1 となり、科学技術の進歩が家計と資産の増進につながっていると考えている人ほど、平均された協調的幸福感が高くなっている。



図表 11-1 q9_1 科学技術進歩_家計と資産と協調的幸福感(平均)との相関

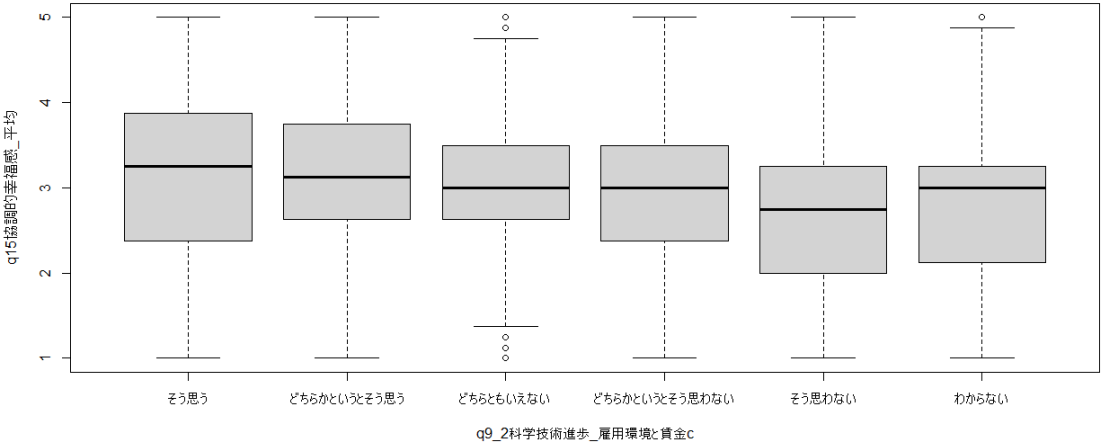
「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と協調的幸福感(平均)との相関は図表 11-2 から図表 11-22 となる。科学技術の進歩が各項目の増進につながると回答した者は協調的幸福感(平均)が高いという相関関係がある(H 検定)。

○H 検定の帰無仮説が棄却される(分布が異なる)

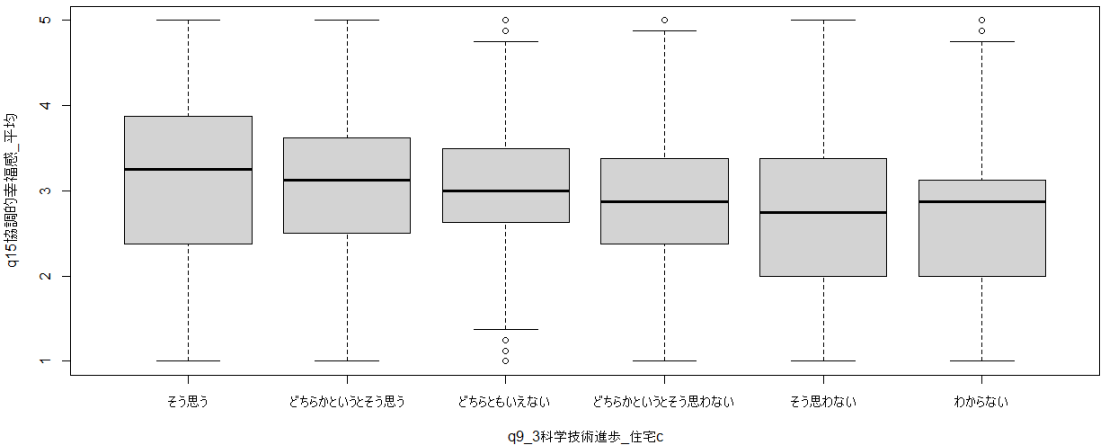
・雇用環境と賃金、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス)、健康状態、あなた自身の教育水準・教育環境、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、生活を取り巻く空気や水などの自然環境

境、身の周りの安全、子育てのしやすさ、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、公平公正、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、経済成長、格差是正、日本の伝統技術、脱炭素、政治・行政・裁判所への信頼性、生活の楽しさ・面白さ(21)

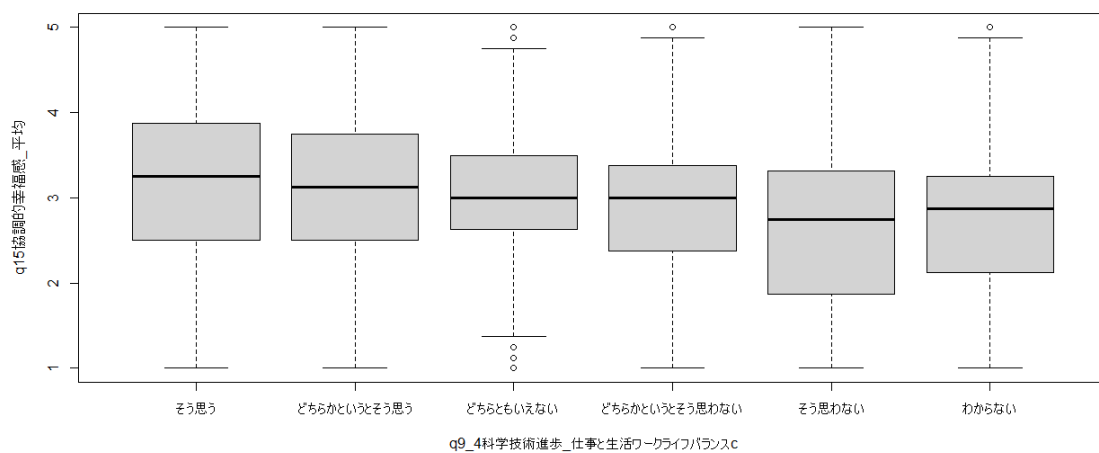
ここでは帰無仮説が棄却される、即ち科学技術の進歩に応じて分布が異なるものである。



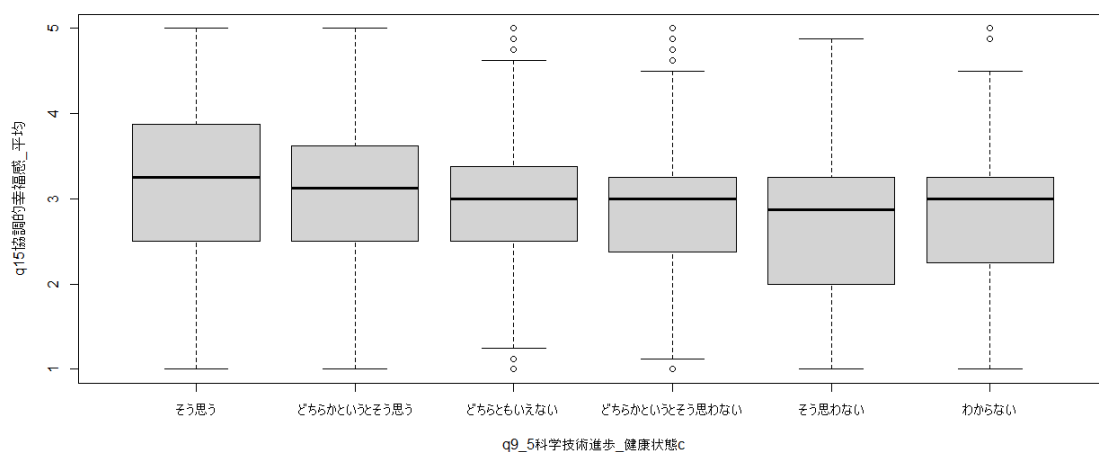
図表 11-2 q9_2 科学技術進歩_雇用環境と賃金と協調的幸福感(平均)との相関



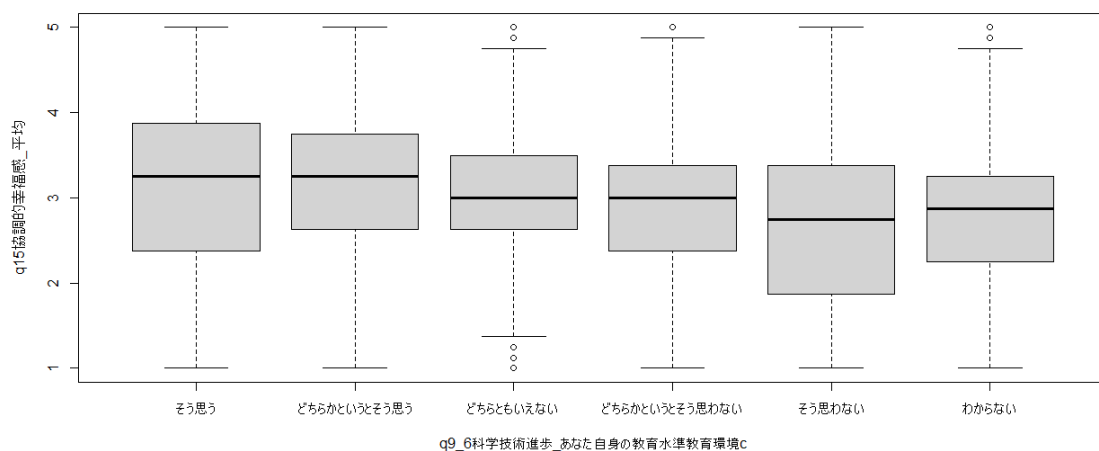
図表 11-3 q9_3 科学技術進歩_住宅と協調的幸福感(平均)との相関



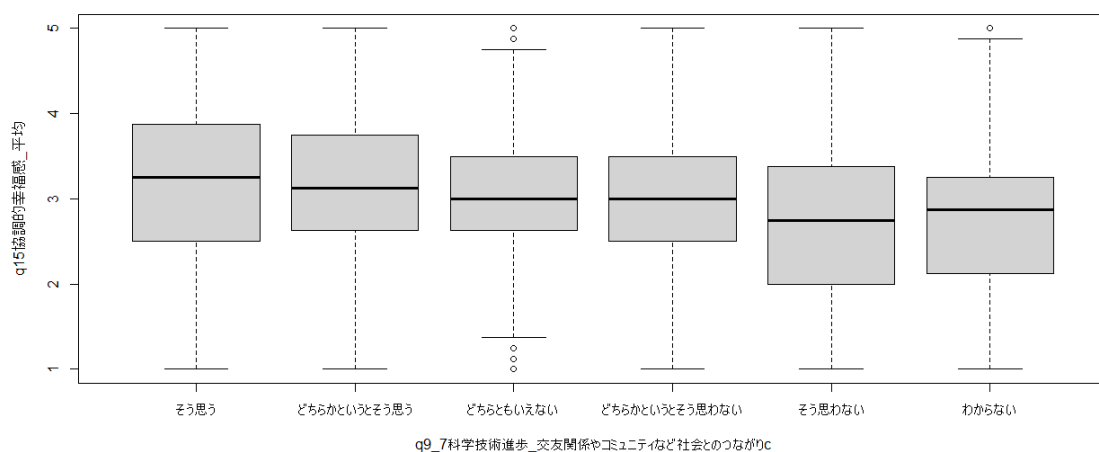
図表 11-4 q9_4 科学技術進歩_仕事と生活(ワークライフバランス)と協調的幸福感(平均)との相関



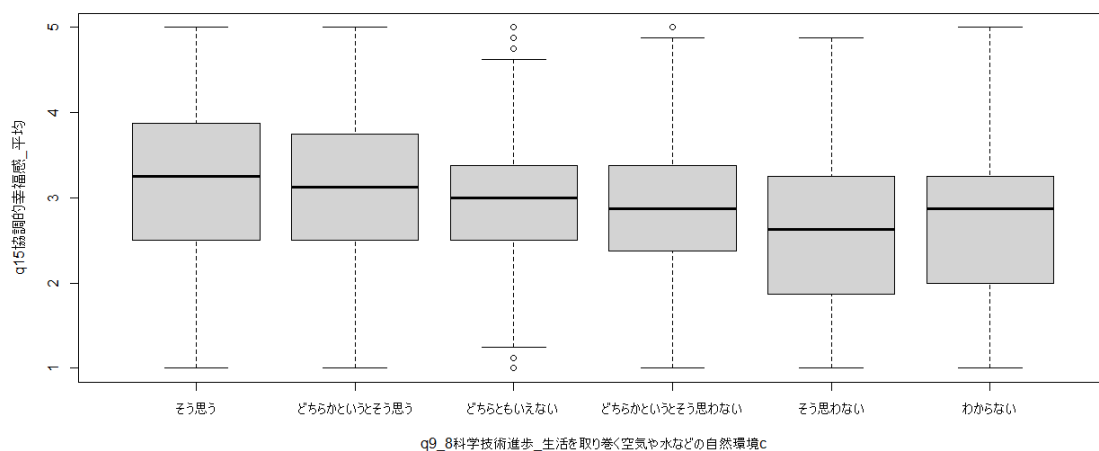
図表 11-5 q9_5 科学技術進歩_健康状態と協調的幸福感(平均)との相関



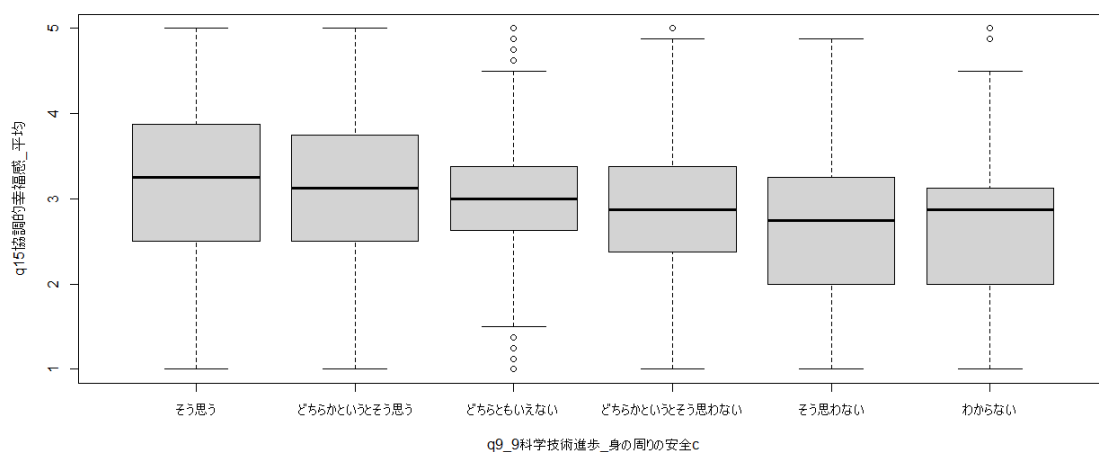
図表 11-6 q9_6 科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境と協調的幸福感(平均)との相関



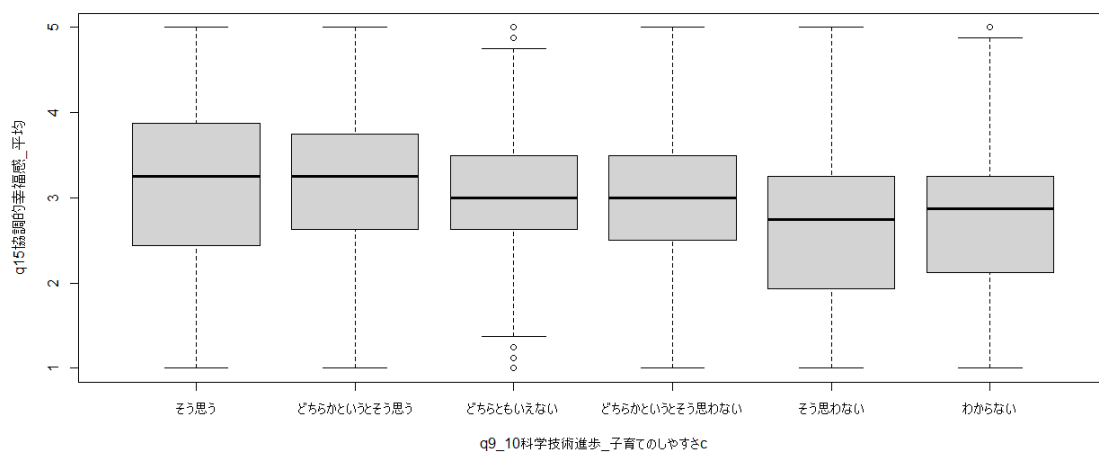
図表 11-7 q9_7 科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながりと協調的幸福感(平均)との相関



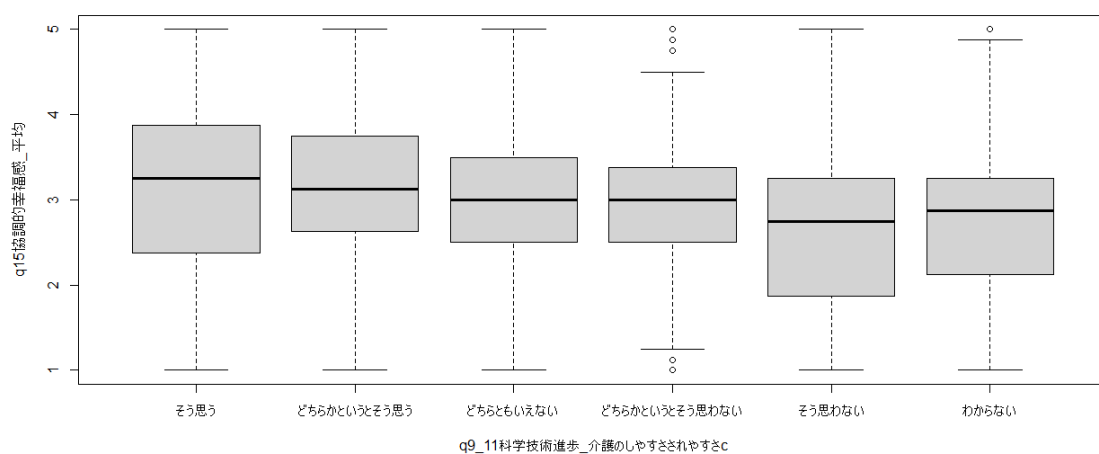
図表 11-8 q9_8 科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境と協調的幸福感(平均)との相関



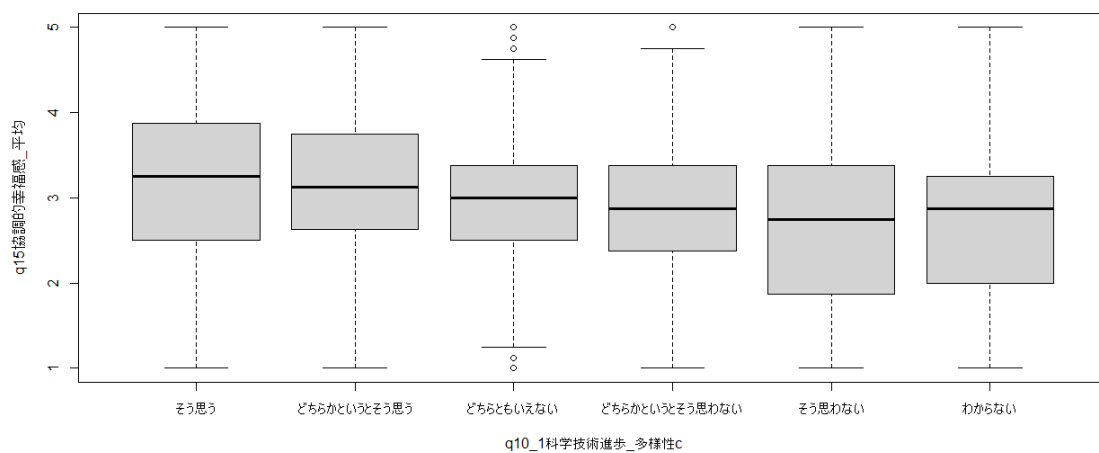
図表 11-9 q9_9 科学技術進歩_身の周りの安全と協調的幸福感(平均)との相関



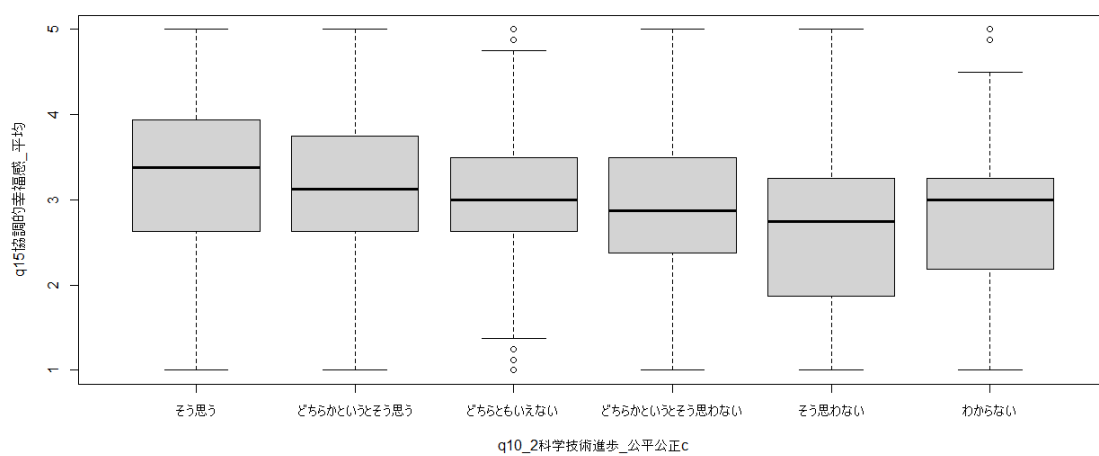
図表 11-10 q9_10 科学技術進歩_子育てのしやすさと協調的幸福感(平均)との相関



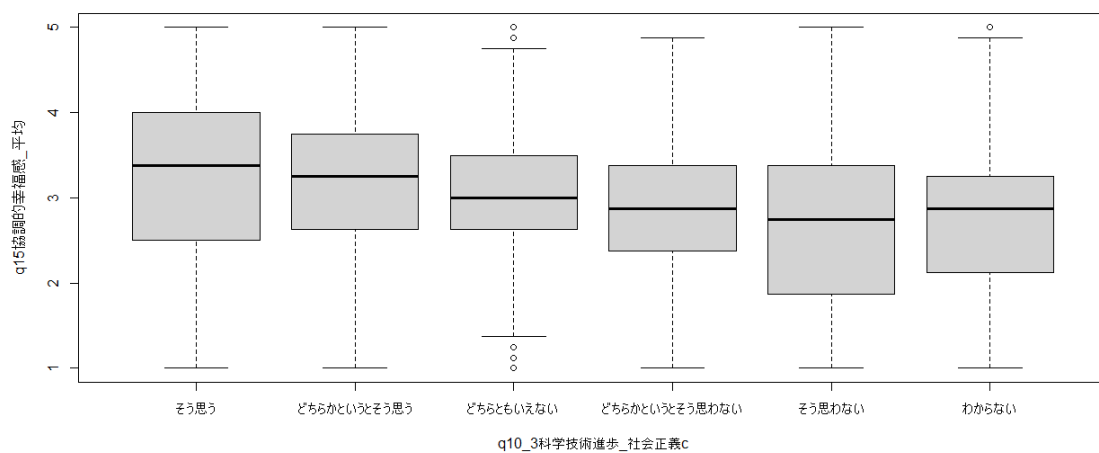
図表 11-11 q9_11 科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさと協調的幸福感(平均)との相関



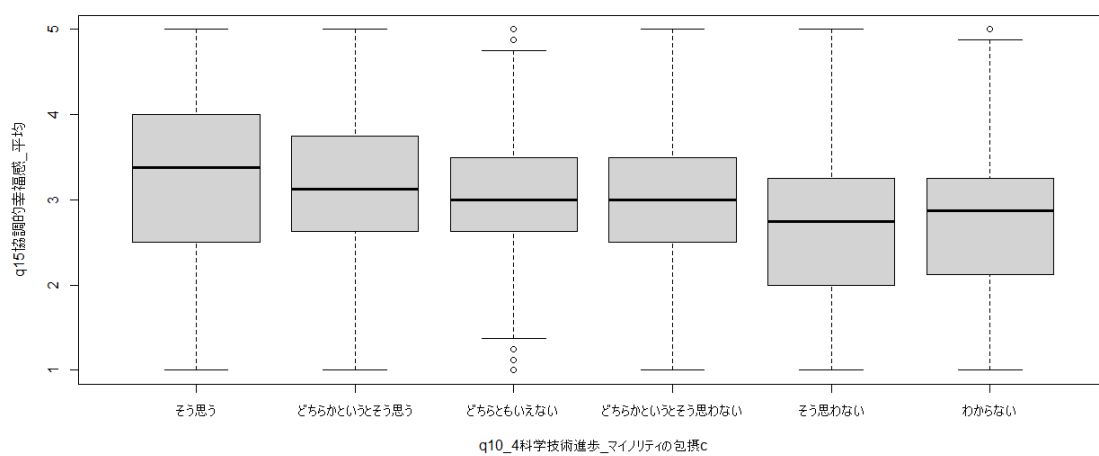
図表 11-12 q10_1 科学技術進歩_多様性と協調的幸福感(平均)との相関



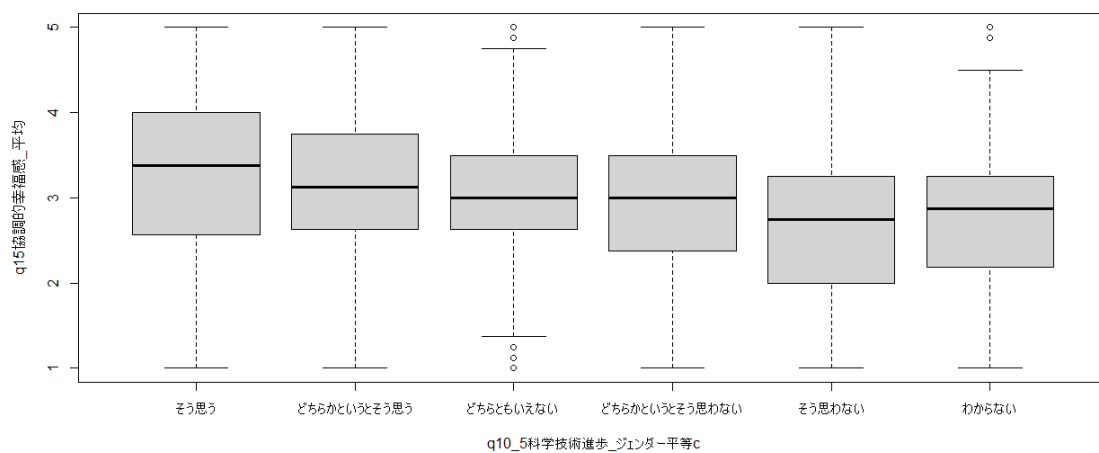
図表 11-13 q10_2 科学技術進歩_公平公正と協調的幸福感(平均)との相関



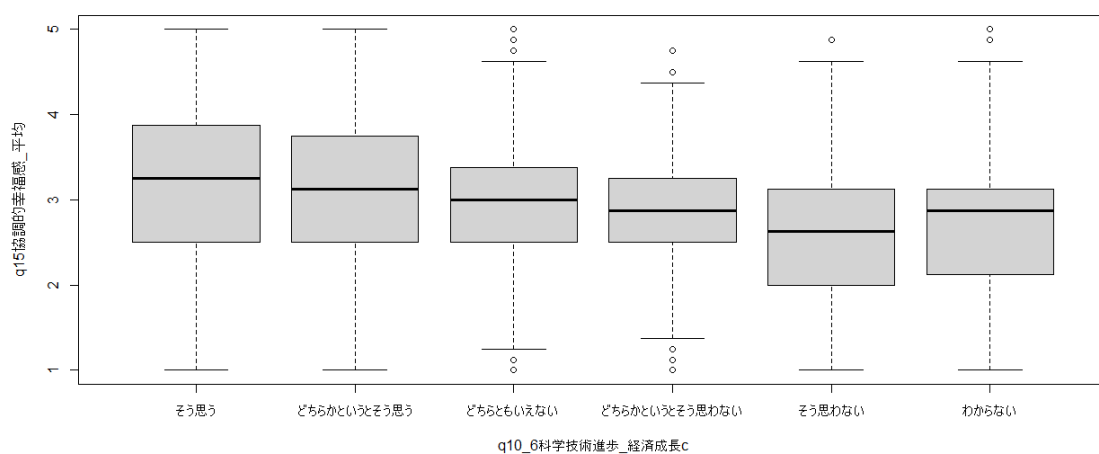
図表 11-14 q10_3 科学技術進歩_社会正義と協調的幸福感(平均)との相関



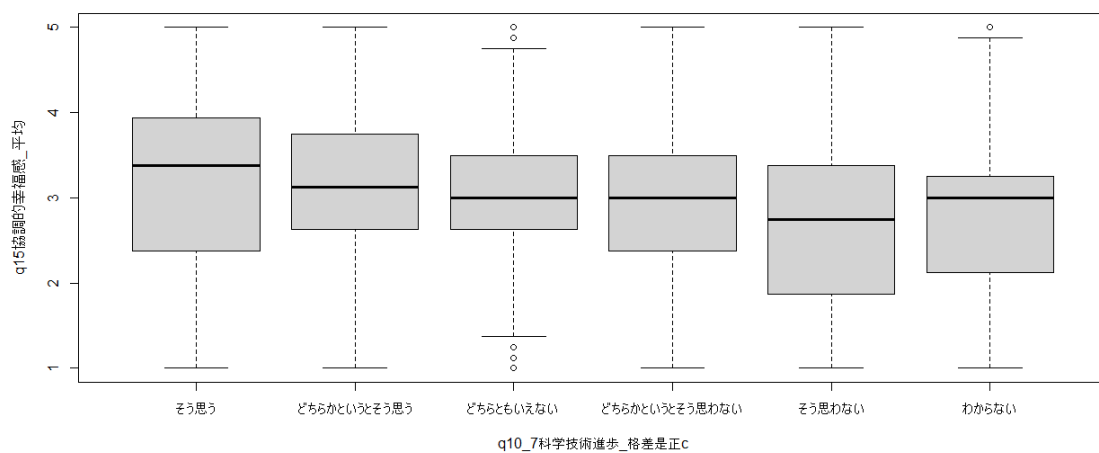
図表 11-15 q10_4 科学技術進歩_マイノリティの包摂と協調的幸福感(平均)との相関



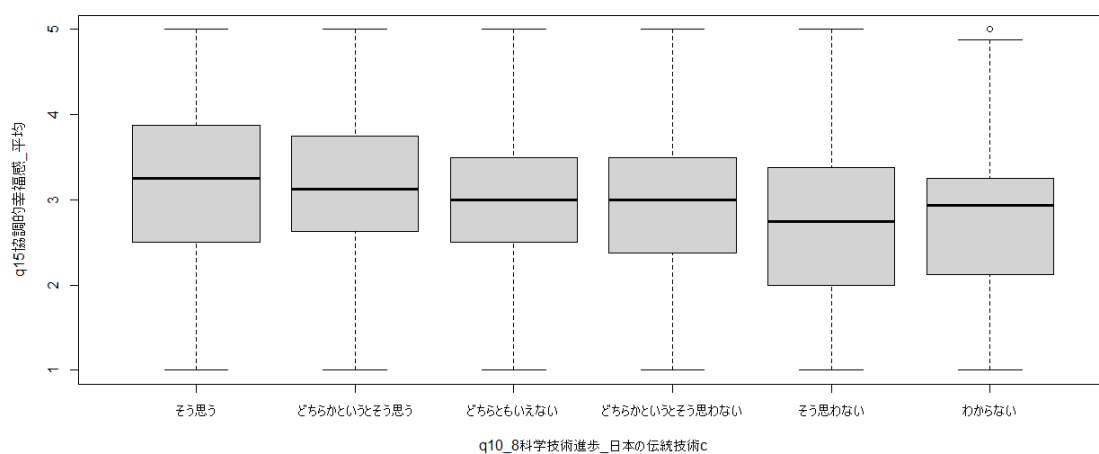
図表 11-16 q10_5 科学技術進歩_ジェンダー平等と協調的幸福感(平均)との相関



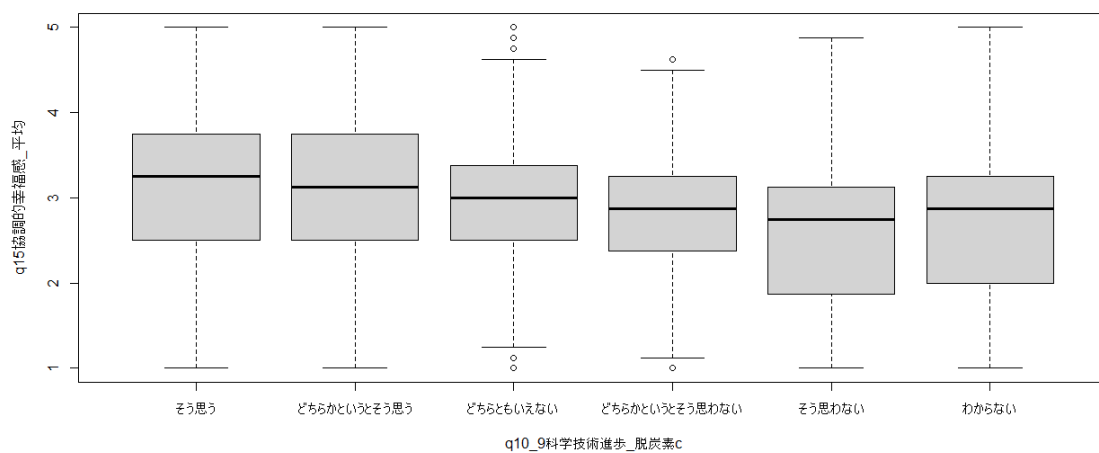
図表 11-17 q10_6 科学技術進歩_経済成長と協調的幸福感(平均)との相関



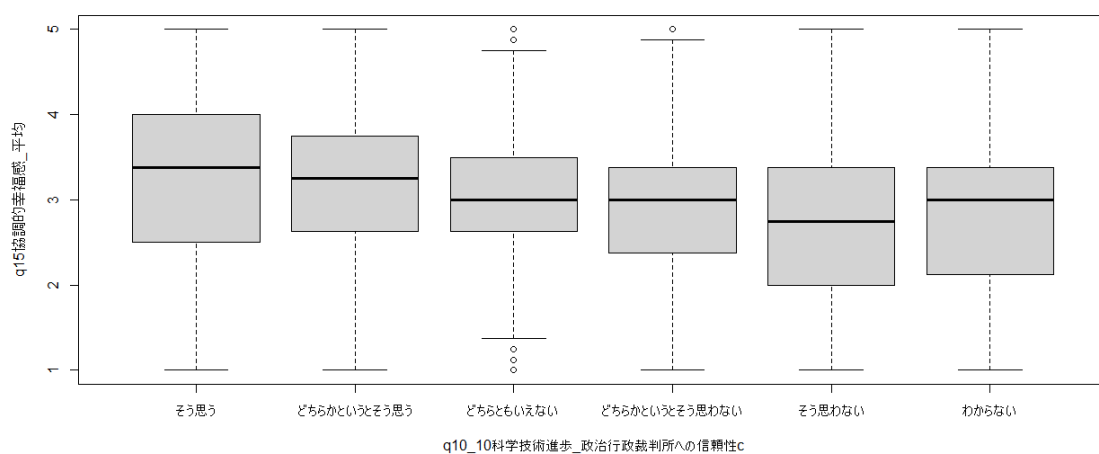
図表 11-18 q10_7 科学技術進歩_格差は正と協調的幸福感(平均)との相関



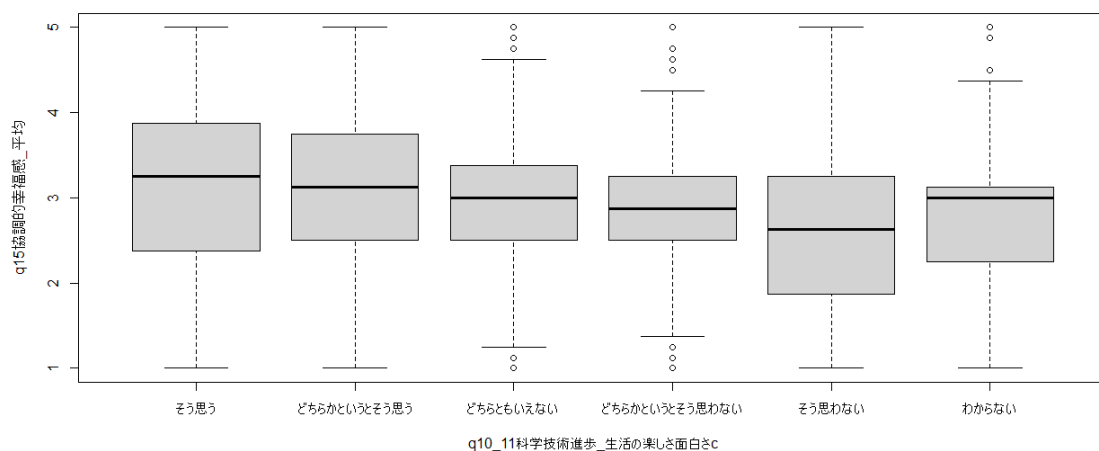
図表 11-19 q10_8 科学技術進歩_日本の伝統技術と協調的幸福感(平均)との相関



図表 11-20 q10_9 科学技術進歩_脱炭素と協調的幸福感(平均)との相関

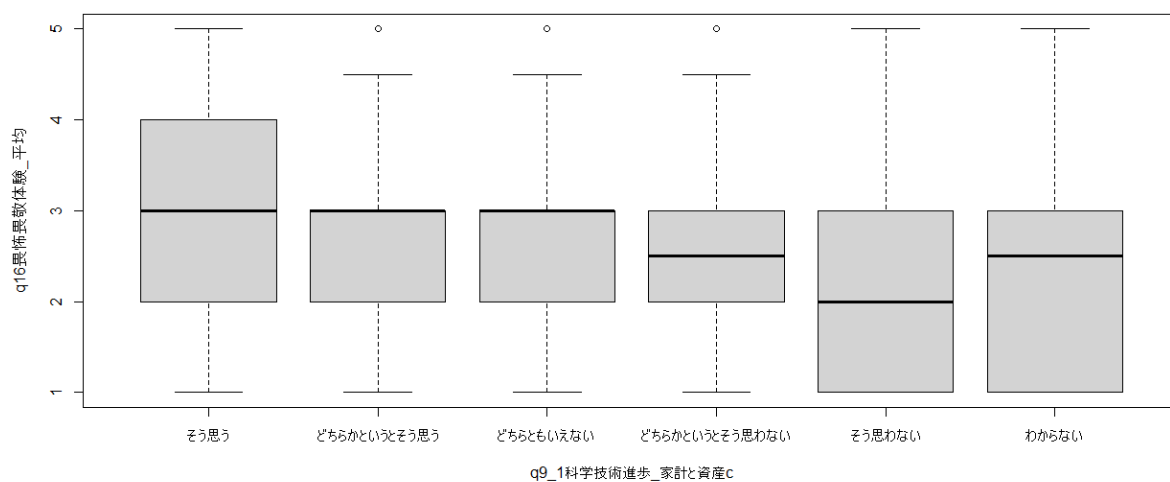


図表 11-21 q10_10 科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性と協調的幸福感(平均)との相関



図表 11-22 q10_11 科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さと協調的幸福感(平均)との相関

更に、q9_1 科学技術進歩_家計と資産と畏怖畏敬体験(平均)との相関を調べると図表 12-1 となり、科学技術の進歩が家計と資産の増進につながっていると考えている人ほど、平均された畏怖畏敬体験が高くなっている。



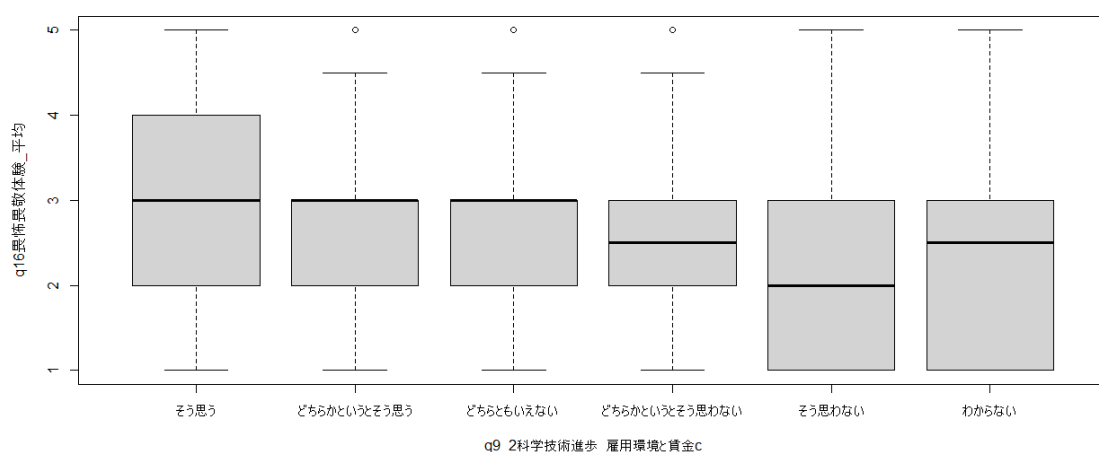
図表 12-1 q9_1 科学技術進歩_家計と資産と畏怖畏敬体験(平均)との相関

「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と畏怖畏敬体験(平均)との相関は図表 12-2 から図表 12-22 となる。科学技術の進歩が各項目の増進につながると回答した者は畏怖畏敬体験(平均)が高いという相関関係がある(H 検定)。

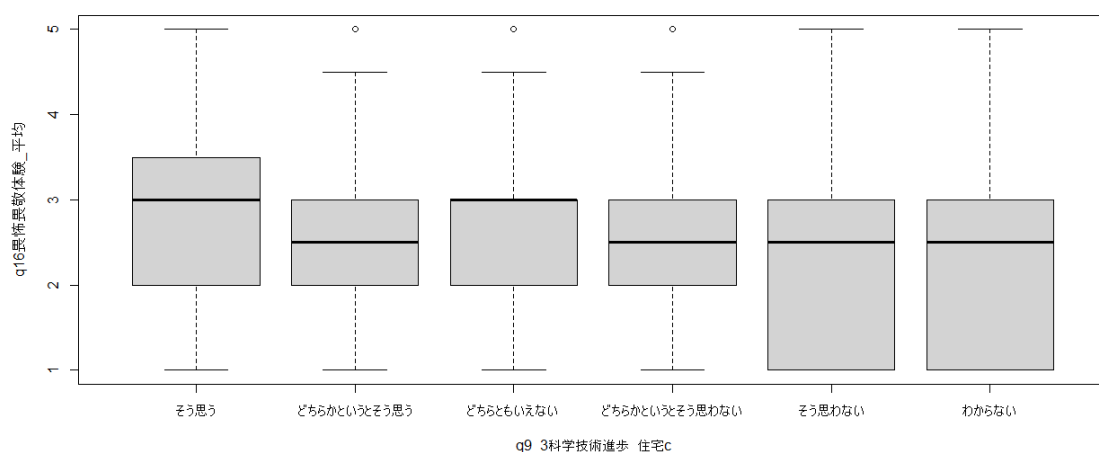
○H 検定の帰無仮説が棄却される(分布が異なる)

・雇用環境と賃金、住宅、仕事と生活(ワークライフバランス)、健康状態、あなた自身の教育水準・教育環境、交友関係やコミュニティなど社会とのつながり、生活を取り巻く空気や水などの自然環境、身の周りの安全、子育てのしやすさ、介護のしやすさ・されやすさ、多様性、公平公正、社会正義、マイノリティの包摂、ジェンダー平等、経済成長、格差是正、日本の伝統技術、脱炭素、政治・行政・裁判所への信頼性、生活の楽しさ・面白さ(21)

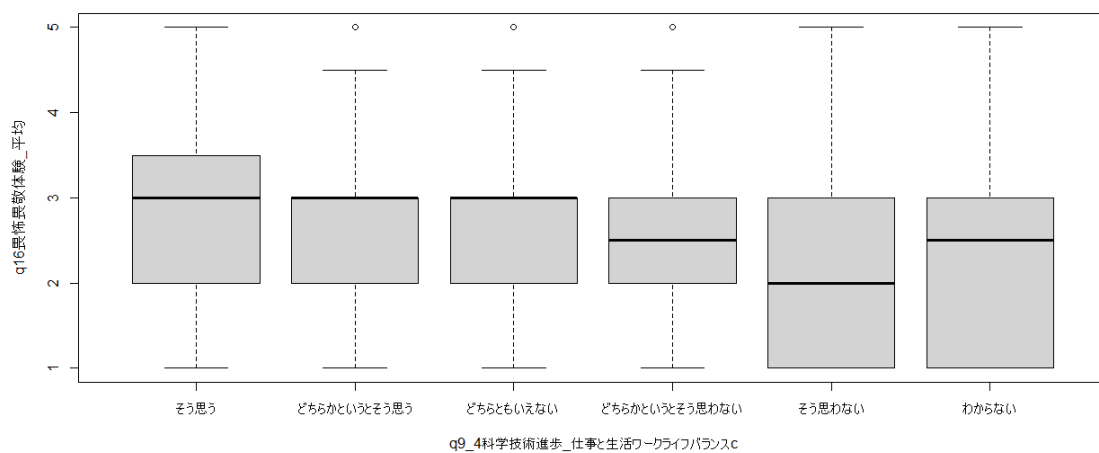
ここでは帰無仮説が棄却される、即ち科学技術の進歩に応じて分布が異なるものである。



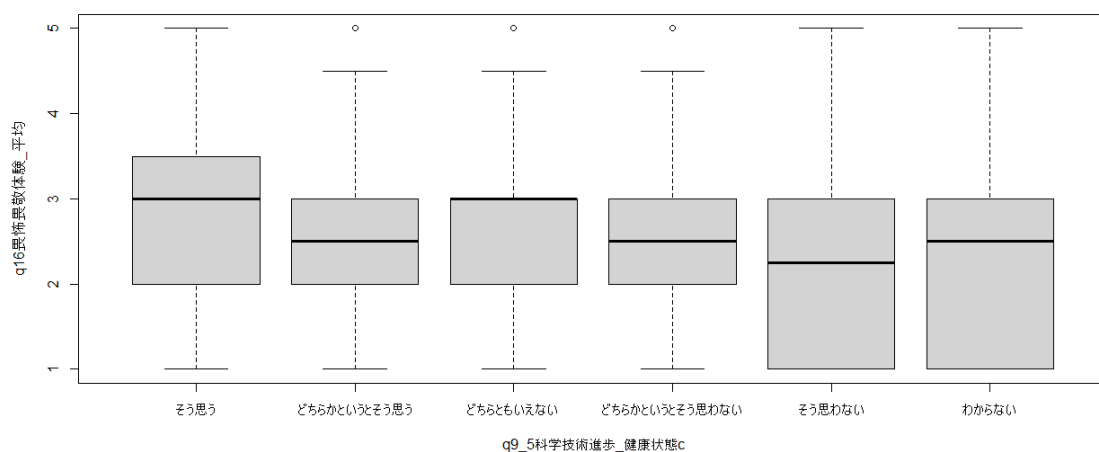
図表 12-2 q9_2 科学技術進歩_雇用環境と賃金と畏怖畏敬体験(平均)との相関



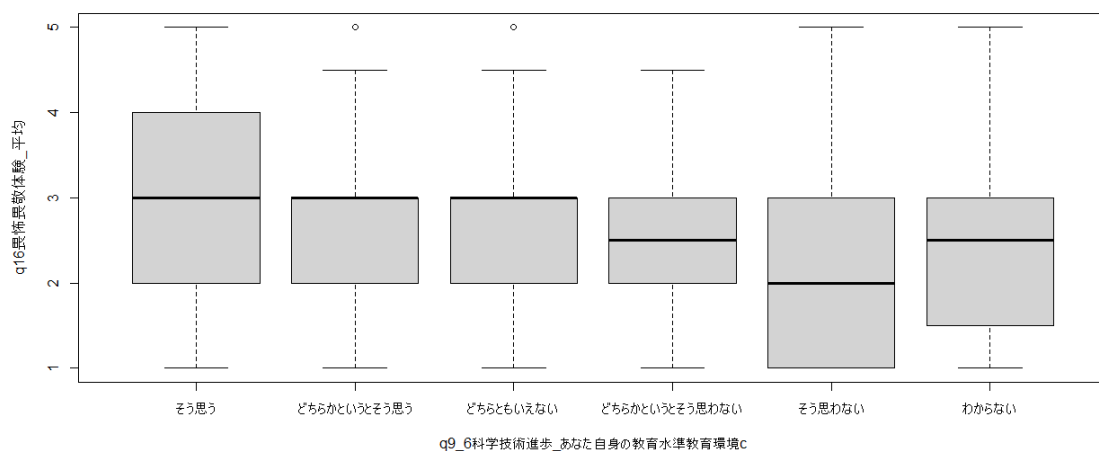
図表 12-3 q9_3 科学技術進歩_住宅と畏怖畏敬体験(平均)との相関



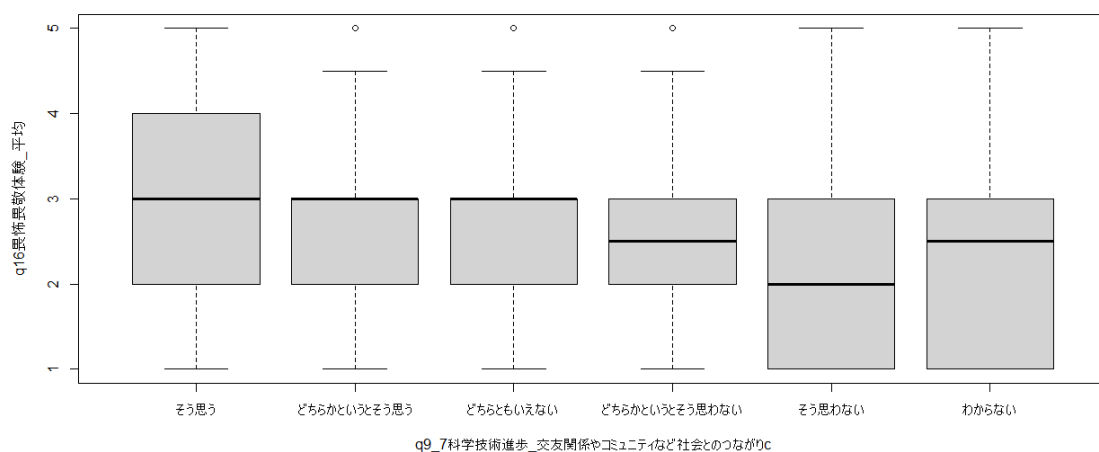
図表 12-4 q9_4 科学技術進歩_仕事と生活(ワークライフバランス)と畏怖畏敬体験(平均)との相関



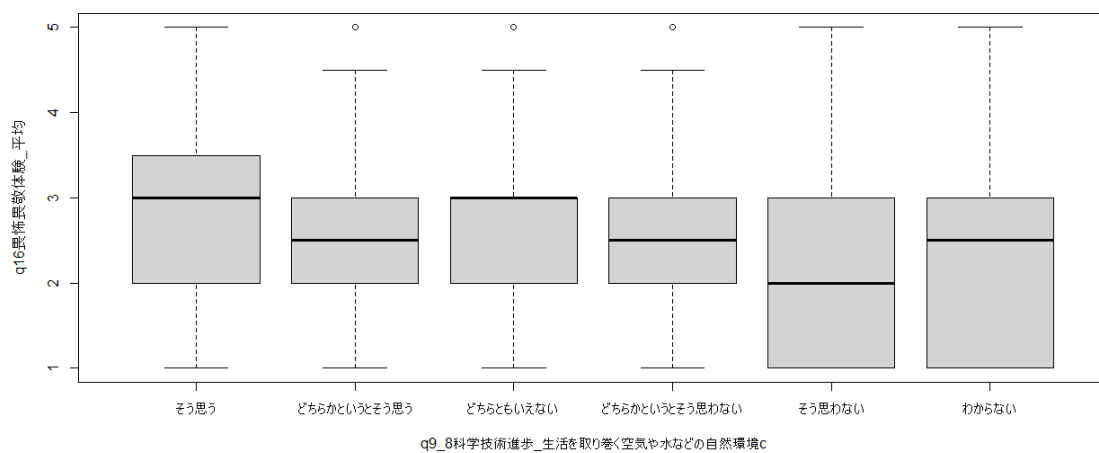
図表 12-5 q9_5 科学技術進歩_健康状態と畏怖畏敬体験(平均)との相関



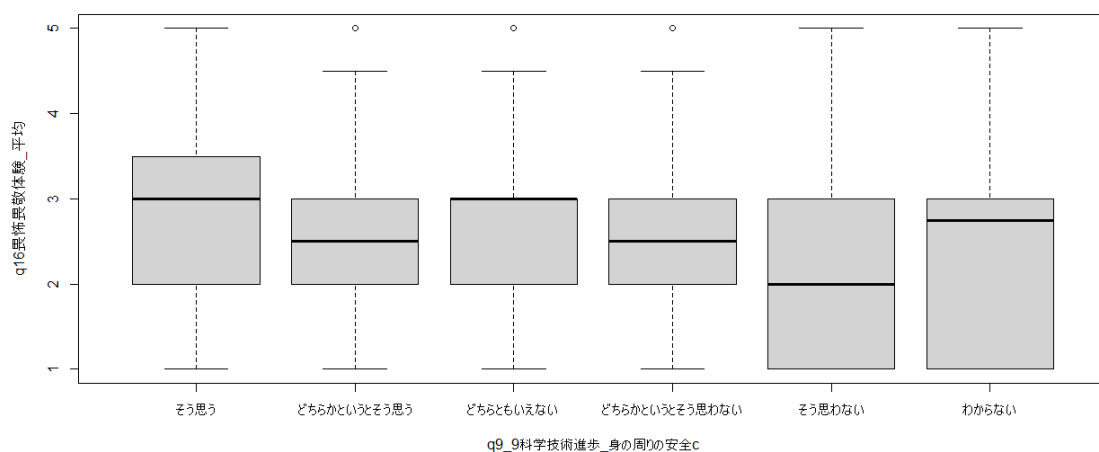
図表 12-6 q9_6 科学技術進歩_あなた自身の教育水準・教育環境と畏怖畏敬体験 (平均)との相関



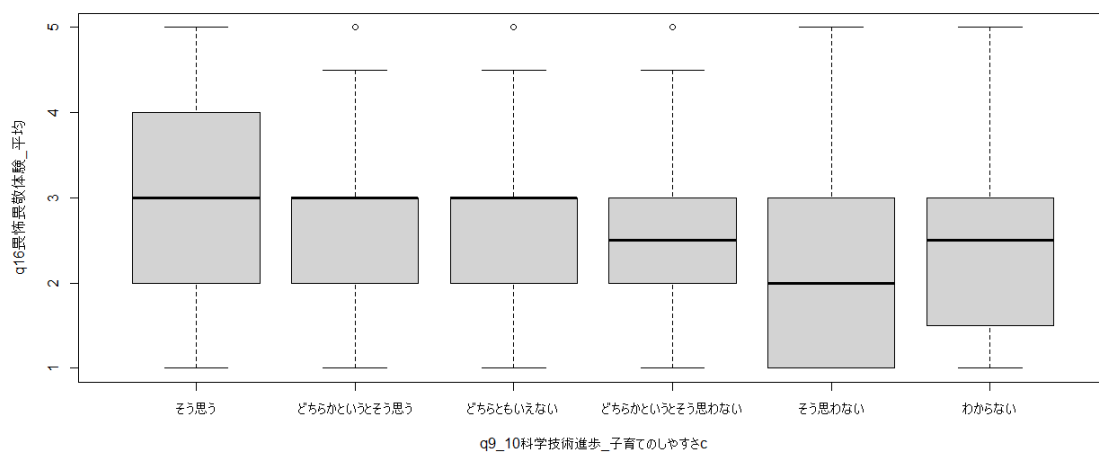
図表 12-7 q9_7 科学技術進歩_交友関係やコミュニティなど社会とのつながりと畏怖畏敬体験 (平均)との相関



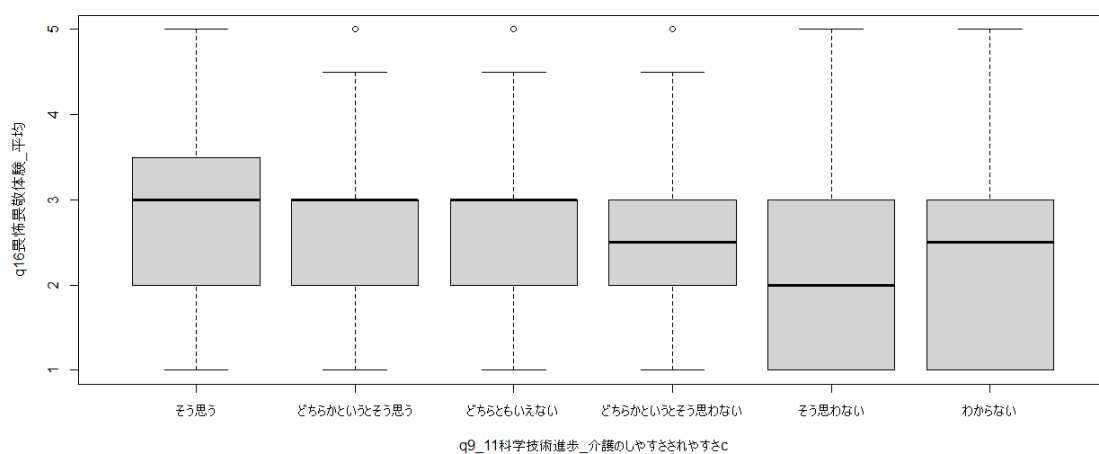
図表 12-8 q9_8 科学技術進歩_生活を取り巻く空気や水などの自然環境と畏怖畏敬体験(平均)との相関



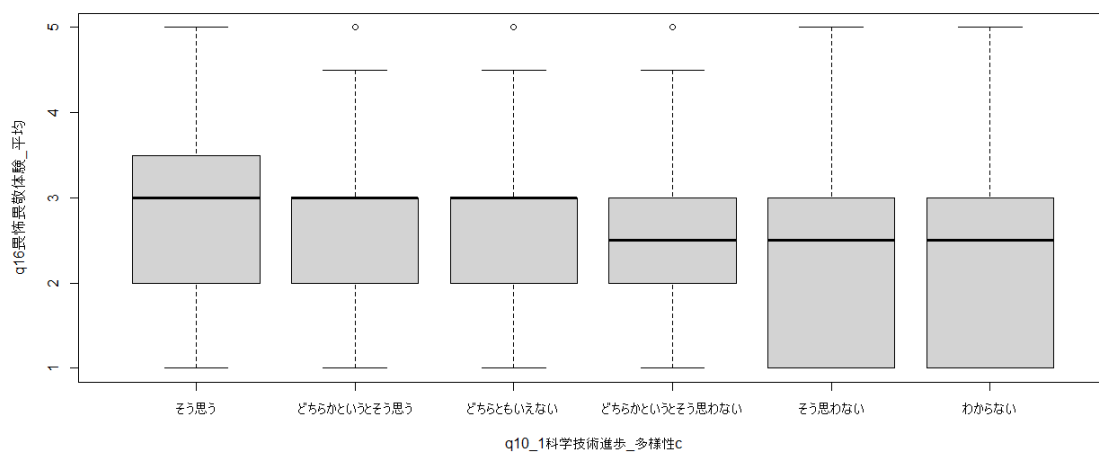
図表 12-9 q9_9 科学技術進歩_身の周りの安全と畏怖畏敬体験(平均)との相関



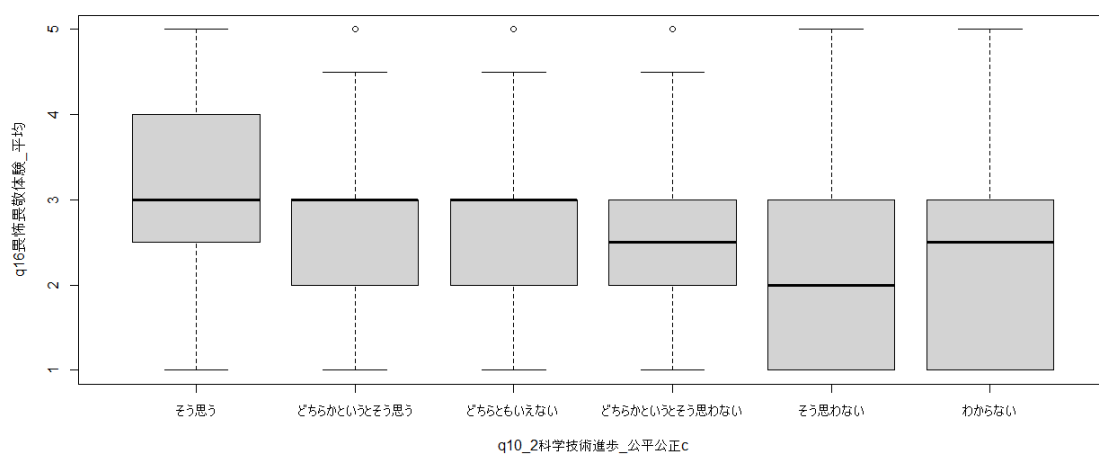
図表 12-10 q9_10 科学技術進歩_子育てのしやすさと畏怖畏敬体験 (平均)との相関



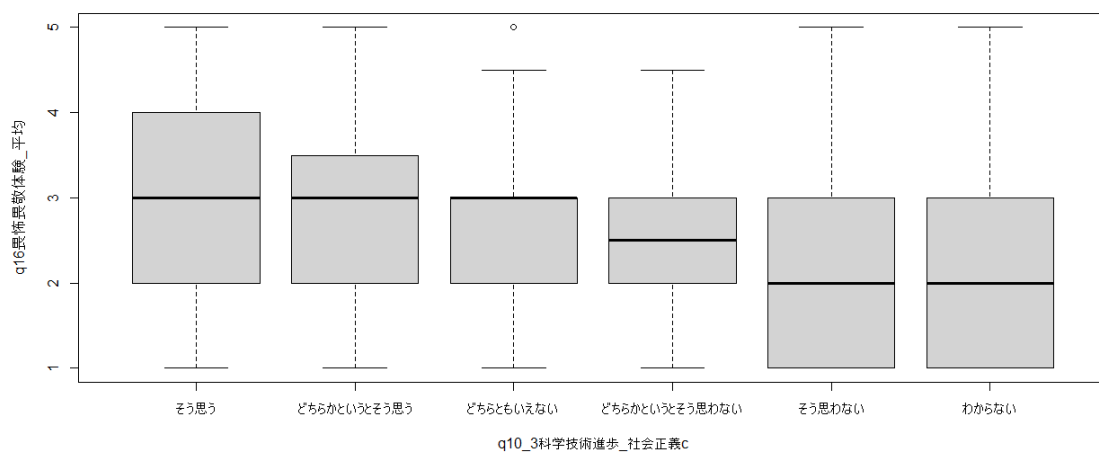
図表 12-11 q9_11 科学技術進歩_介護のしやすさ・されやすさと畏怖畏敬体験 (平均)との相関



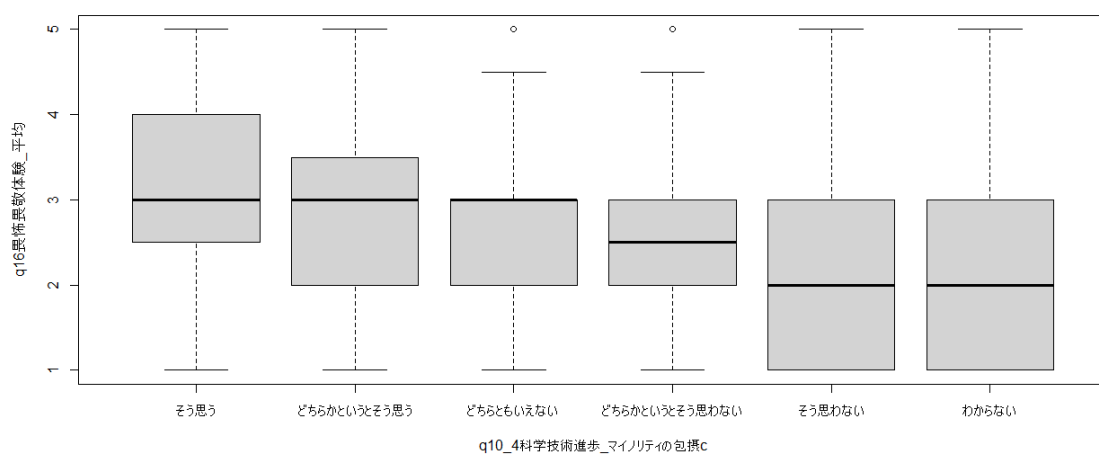
図表 12-12 q10_1 科学技術進歩_多様性と畏怖畏敬体験(平均)との相関



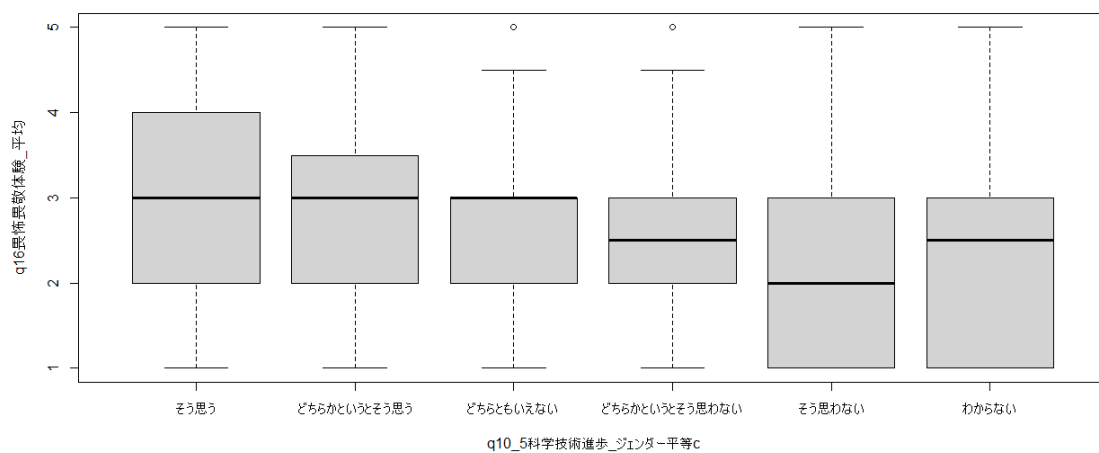
図表 12-13 q10_2 科学技術進歩_公平公正と畏怖畏敬体験(平均)との相関



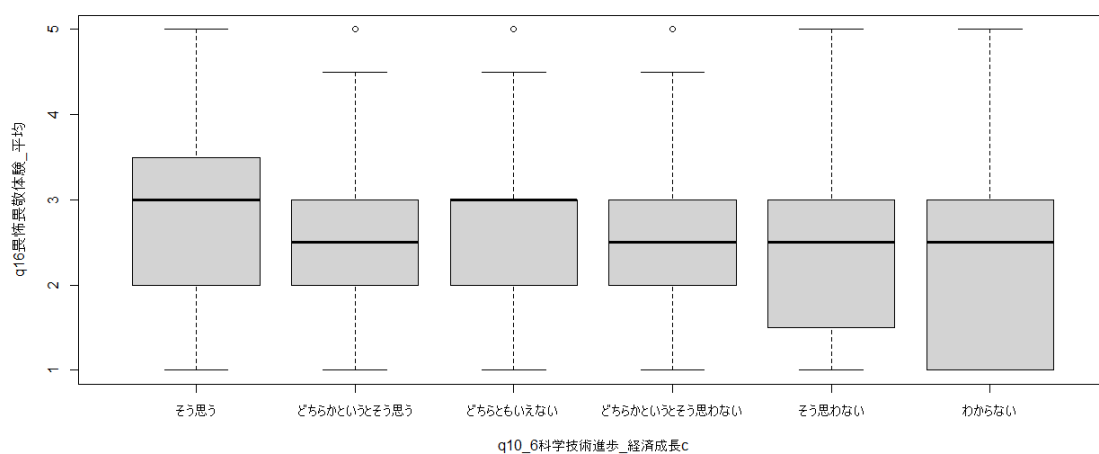
図表 12-14 q10_3 科学技術進歩_社会正義と畏怖畏敬体験(平均)との相関



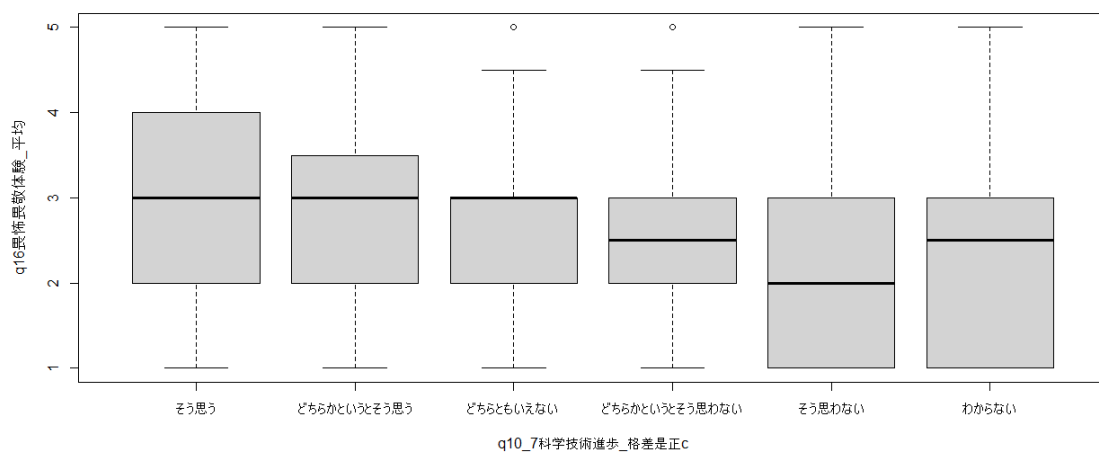
図表 12-15 q10_4 科学技術進歩_マイノリティの包摂と畏怖畏敬体験(平均)との相関



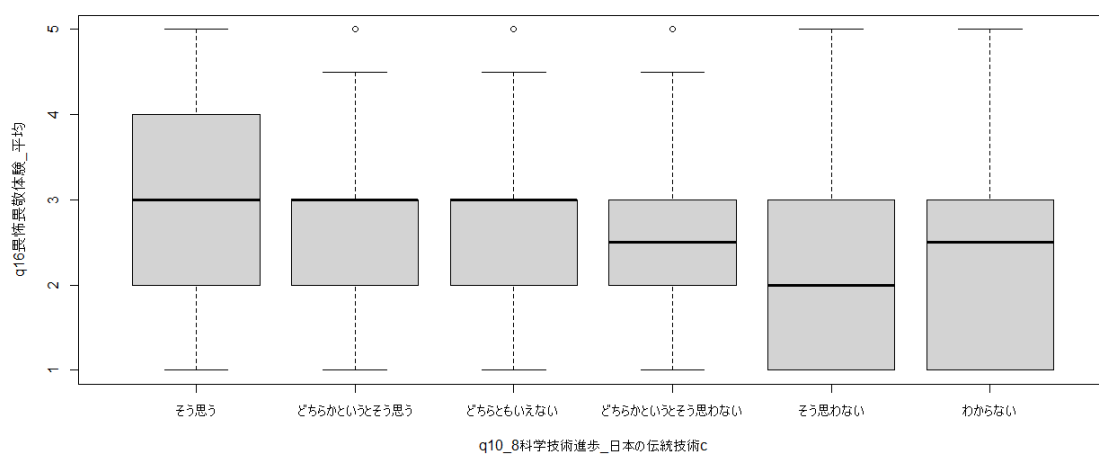
図表 12-16 q10_5 科学技術進歩_ジェンダー平等と畏怖畏敬体験(平均)との相関



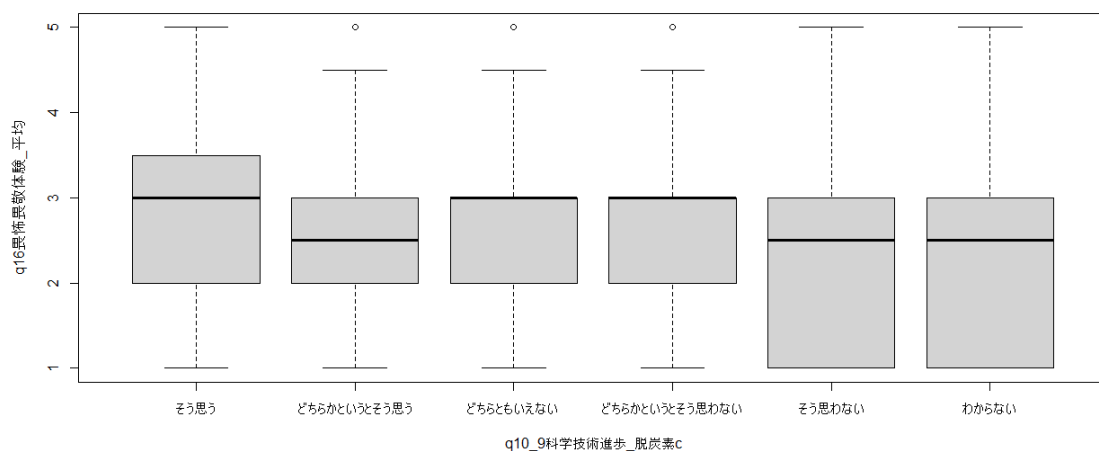
図表 12-17 q10_6 科学技術進歩_経済成長と畏怖畏敬体験(平均)との相関



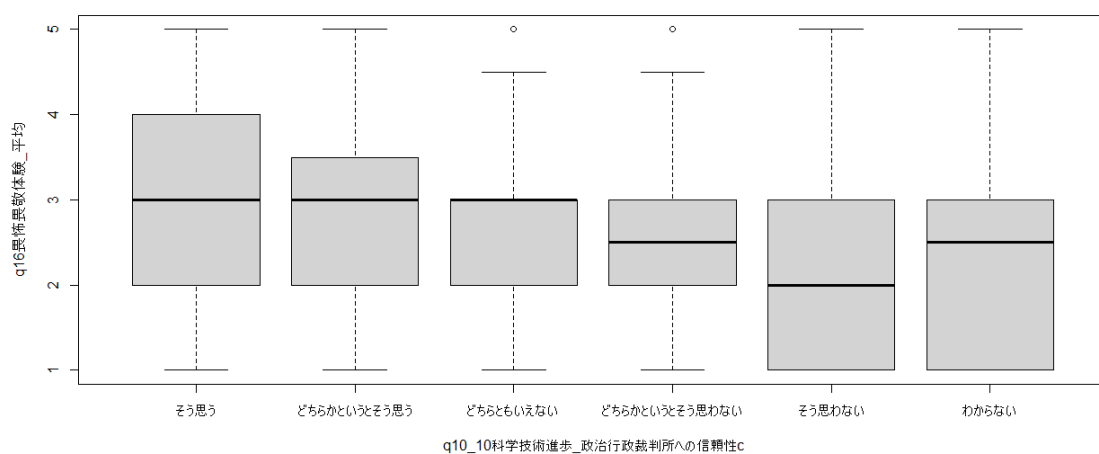
図表 12-18 q10_7 科学技術進歩_格差は正と畏怖畏敬体験 (平均)との相関



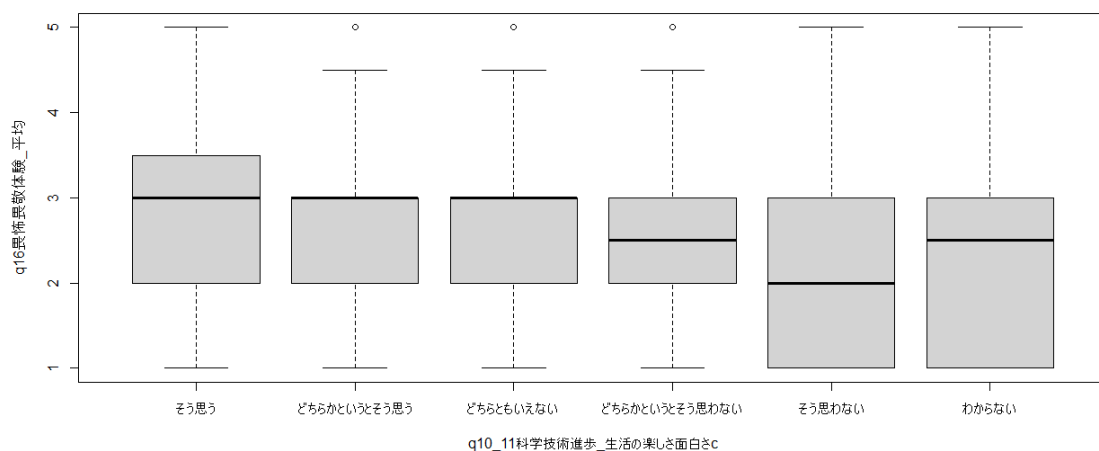
図表 12-19 q10_8 科学技術進歩_日本の伝統技術と畏怖畏敬体験 (平均)との相関



図表 12-20 q10_9 科学技術進歩_脱炭素と畏怖畏敬体験(平均)との相関



図表 12-21 q10_10 科学技術進歩_政治・行政・裁判所への信頼性と畏怖畏敬体験(平均)との相関



図表 12-22 q10_11 科学技術進歩_生活の楽しさ・面白さと畏怖畏敬体験(平均)との相関

q9 の「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と幸福度、健康状態、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験との相関は図表 12-23 となる。科学技術の進歩が各々の増進につながると回答した者は幸福度等が高いという相関関係がある。本節の議論は相関関係のみであり、因果関係は判定できない。(判定はクラスカル・ワリスの順位和検定(H 検定)による、有意性水準 1%、以下同じ)。

		YY の水準が高い					
		幸福度	健康状態	人生満足度*	人生の意義*	協調的幸福感*	畏怖畏敬体験*
科学技術進歩が XX の増進につながる	家計と資産	○	○	○	○	○	○
	雇用環境と賃金	○	○	○	○	○	○
	住宅	○	○	○	○	○	○
	仕事と生活（ワークライフバランス）	○	○	○	○	○	○
	健康状態	○	○	○	○	○	○
	あなた自身の教育水準・教育環境	○	○	○	○	○	○
	交友関係やコミュニティなど社会とのつながり	○	○	○	○	○	○
	生活を取り巻く空気や水などの自然環境	○	○	○	○	○	○
	身の周りの安全	○	○	○	○	○	○

	子育てのしやすさ	○	○	○	○	○	○
	介護のしやすさ・されやすさ	○	○	○	○	○	○

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば、左上の「○」は科学技術進歩が家計と資産の増進につながると考えている人ほど幸福度の水準が高い傾向にあることを示す。

(注)横軸項目中の「*」は当該項目中の小項目の平均データを用いたことを示す。

図表 12-23 q9 科学技術進歩_増進と幸福度等との相関

q10 の「あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。」に対して、回答と幸福度、健康状態、人生満足度、人生の意義、協調的幸福感、畏怖畏敬体験との相関は図表 12-24 となる。科学技術の進歩が各々の増進につながると回答した者は幸福度等が高いという相関関係がある(H 検定)。

		YY の水準が高い					
		幸福度	健康状態	人生満足度*	人生の意義*	協調的幸福感*	畏怖畏敬体験*
科学技術進歩が XX の増進につながる	多様性	○	○	○	○	○	○
	公平公正	○	○	○	○	○	○
	社会正義	○	○	○	○	○	○
	マイノリティの包摂	○	○	○	○	○	○
	ジェンダー平等	○	○	○	○	○	○
	経済成長	○	○	○	○	○	○
	格差是正	○	○	○	○	○	○
	日本の伝統技術	○	○	○	○	○	○
	脱炭素	○	○	○	○	○	○
	政治・行政・裁判所への信頼性	○	○	○	○	○	○
	生活の楽しさ・面白さ	○	○	○	○	○	○

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば、左上の「○」は科学技術進歩が多様性の増進につながると考えている人ほど幸福度の水準が高い傾向にあることを示す。

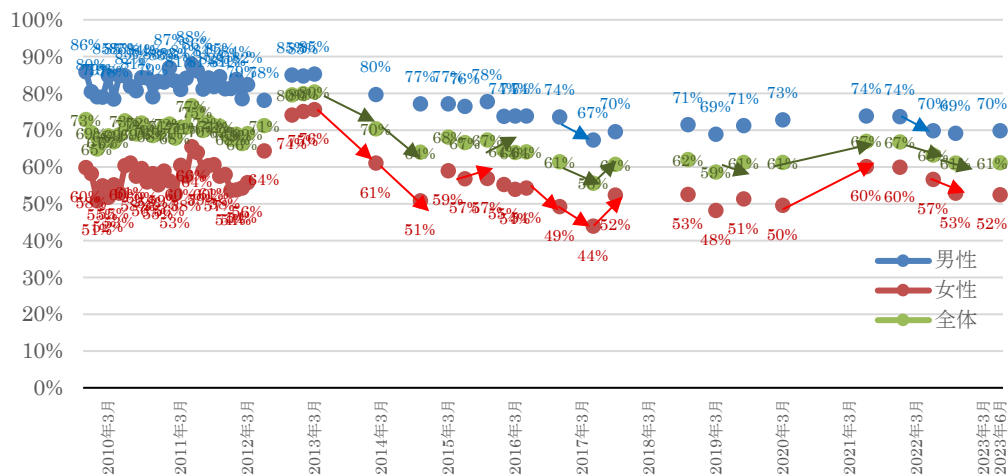
(注)横軸項目中の「*」は当該項目中の小項目の平均データを用いたことを示す。

図表 12-24 q10 科学技術進歩_増進と幸福度等との相関

(4) 科学技術とウェルビーイングの関係以外の科学技術政策に関する国民の意識

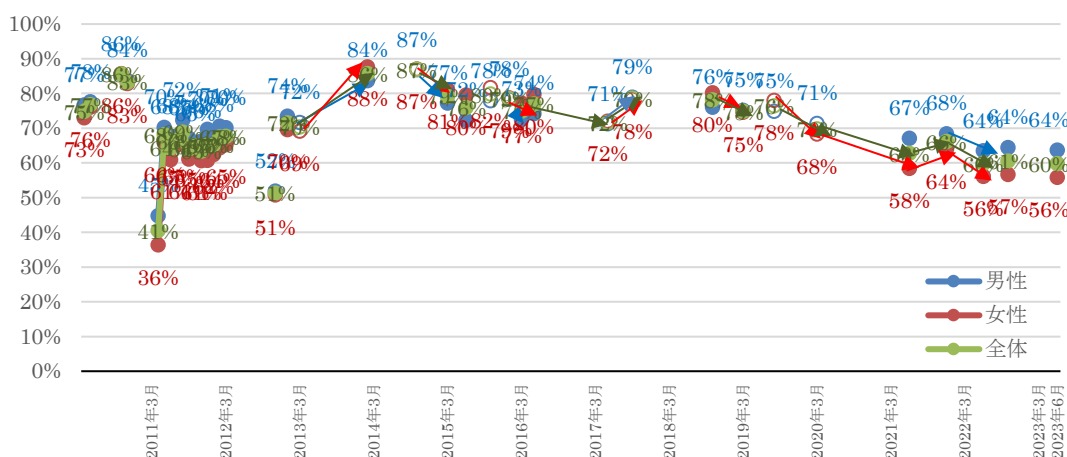
① 科学技術に対する関心・科学者への信頼度

科学技術関心度(図表 13)は横ばいである。科学者の信頼度(図表 14)も横ばいである。



図表 13 科学技術関心度の性別変化¹。(傾向の有無の判定はカイ二乗独立性検定による。有意性水準は1%に設定。以下同じ)

1

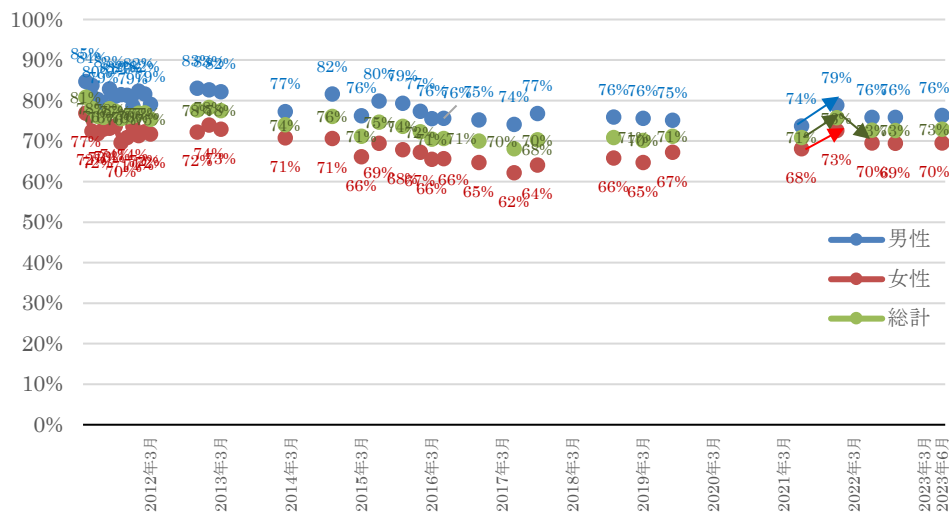


図表 14 科学者話信頼度の性別変化

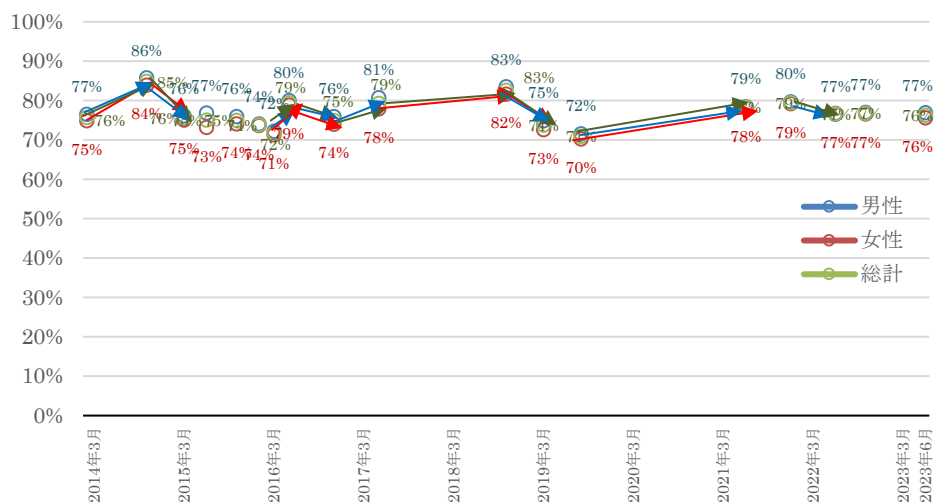
② 科学技術に対する評価

科学技術発展をプラスと回答した人の割合(図表 15)、「科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる」(図表 16)では横ばいである。

¹ 2023年6月時点、男性 69.8%、女性 52.4%、全体 61.1%

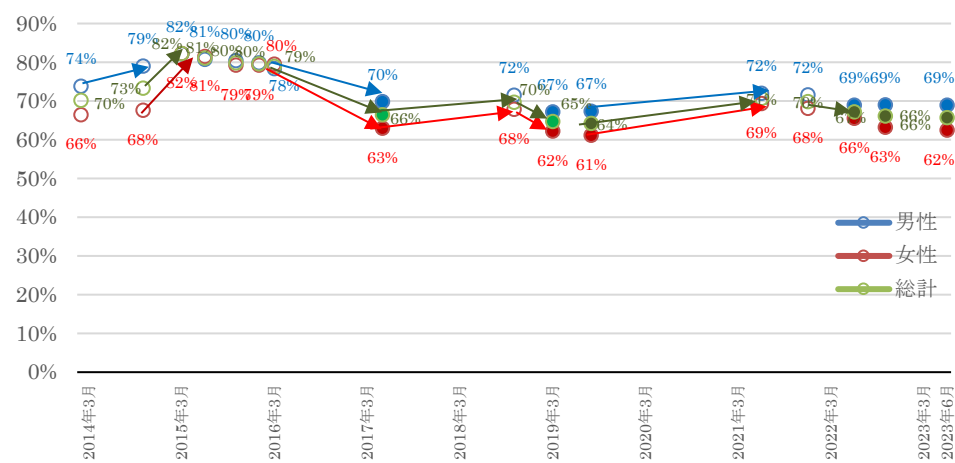


図表15 科学技術発展をプラスと回答した人の割合の性別変化

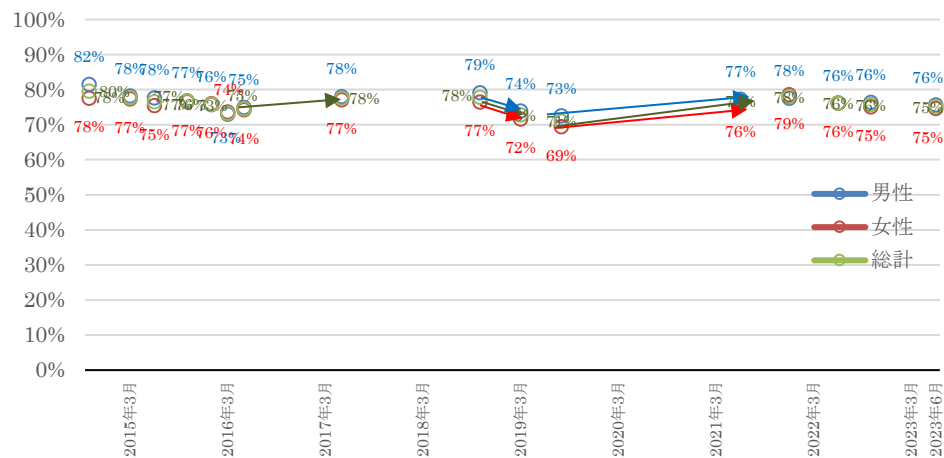


図表16 科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになるの性別変化

また、「日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことである」(図表 17)、「たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべき」(図表 18)では男女ともに変化は見られない傾向にある。



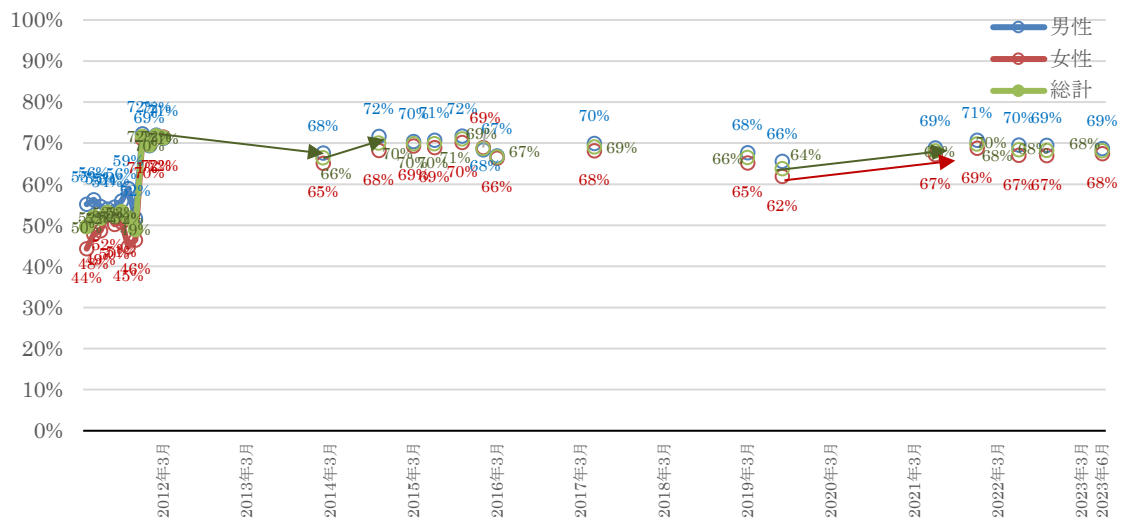
図表17 日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことであるの性別変化



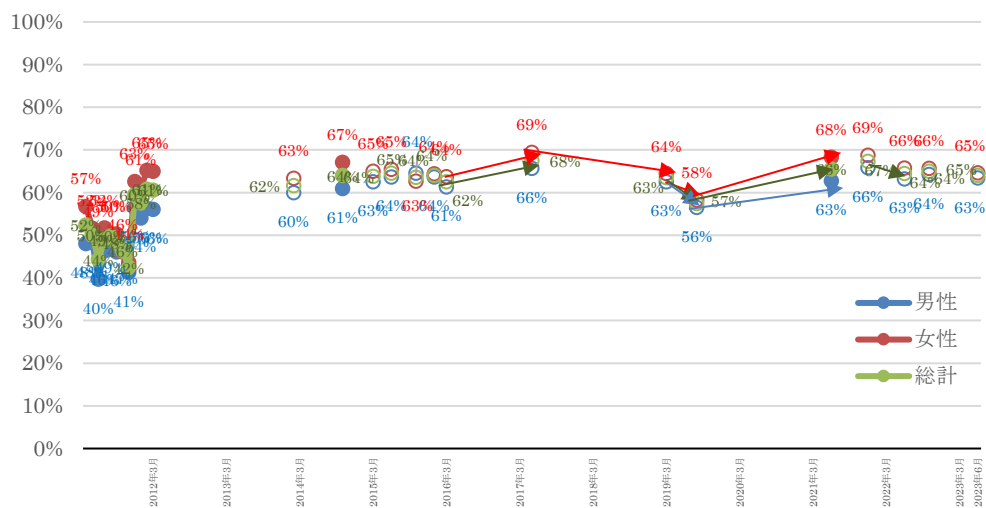
図表18 たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべきの性別変化

③ 科学技術に対する意見の変遷

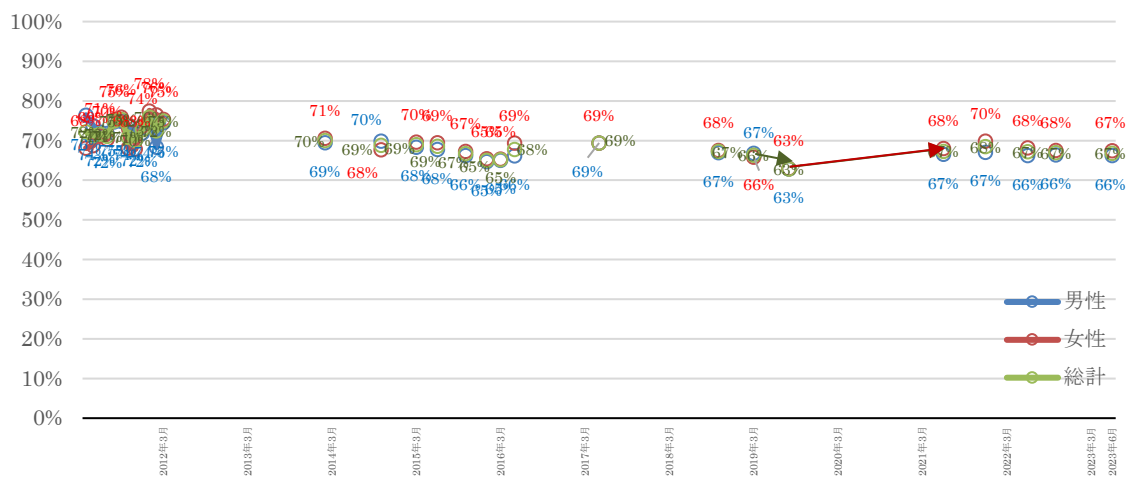
さらに、科学技術に対する意見の変遷を見ると(図表 19 から図表 23 まで)、特に総計、男性、女性別の時間変化は観察されていなかった。



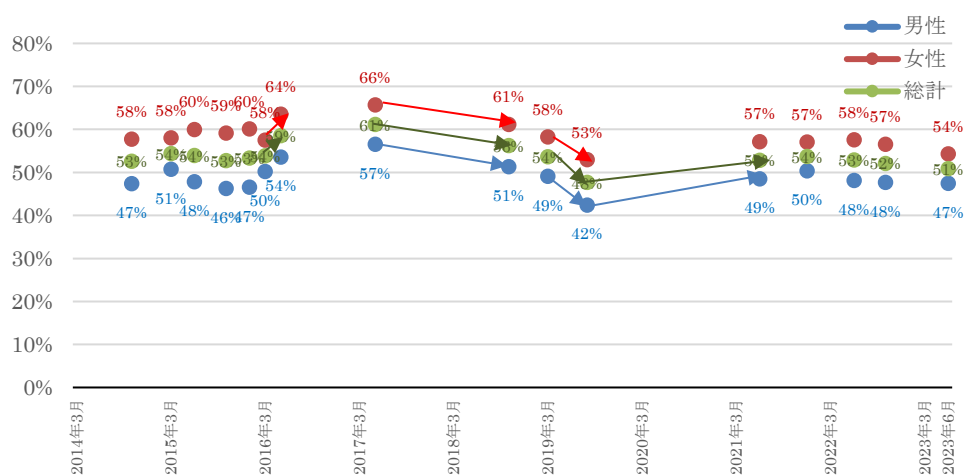
図表19 科学技術の利便性を享受するためにはある程度のリスクを受容しなければならないの性別変化



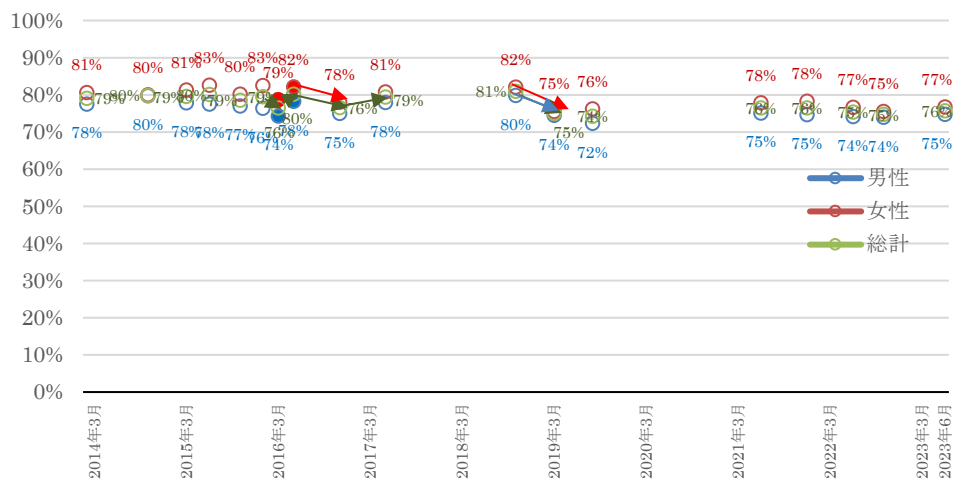
図表20 科学技術の研究開発の方向性は内容をよく知っている専門家が決めるのがよいの性別変化



図表21 社会的に影響力の大きい科学技術の研究開発を
国として推進するかどうかの判断には市民も参加すべきだの性別変化



図表22 少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではないの性別変化



図表23 科学技術の利用には予想もできない危険が潜んでいるの
性別変化

④ 科学技術に対する関心の性別変化

科学技術に対する関心の性別の経年変化を見ると(図表 24 から図表 43 まで)、

男性:減少(「高水準医療の提供など健康や医療に関心がある」(図表 33))

女性:統計的に有意な変化なし

全体:減少(「安全保障・テロ対策に関心がある」(図表 32)、「高水準医療の提供など健康や医療に関心がある」(図表 33))

などとなっており、全体的に減少傾向が見られた。

また、女性より男性の方の観測値が高いものは、

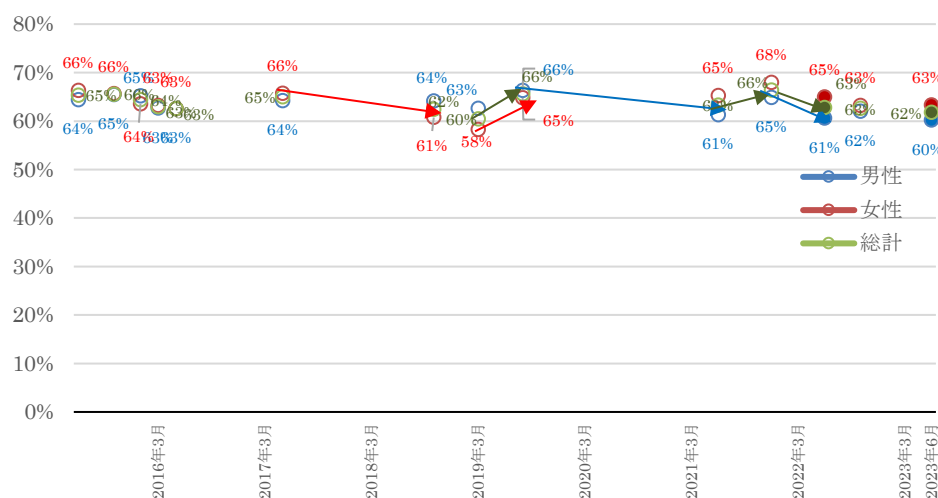
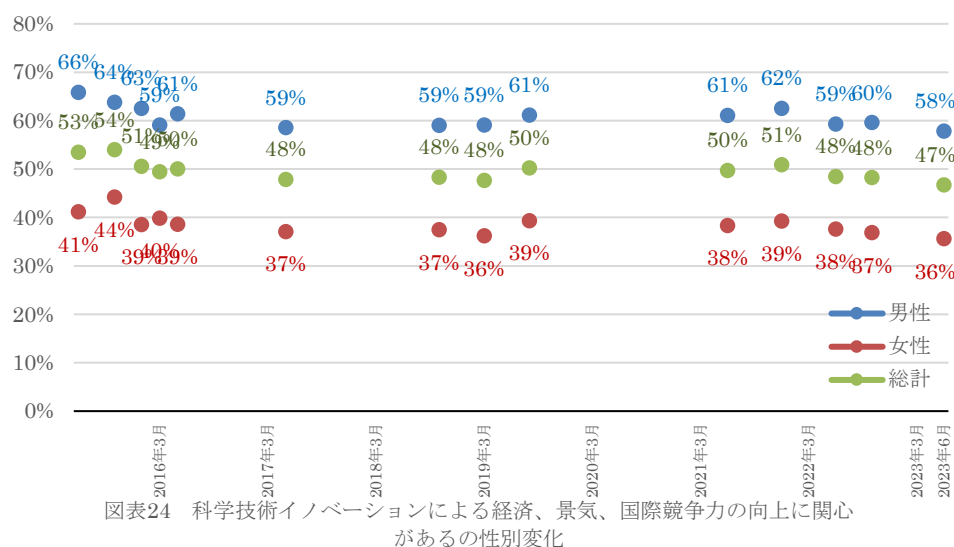
- ・「科学技術イノベーションによる経済、景気、国際競争力の向上に関心がある」(図表 24)、
- ・「資源・エネルギー問題対策に関心がある」(図表 26)、
- ・「新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)に関心がある」(図表 36)、
- ・「新しい科学的発見(観察や実験思考などに基づいた新事実や理論の発見など)に関心がある」(図表 37)、
- ・「新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)に関心がある」(図表 38)、
- ・「宇宙探査開発に関心がある」(図表 39)、
- ・「海洋探査開発に関心がある」(図表 40)、
- ・「原子力開発に関心がある」(図表 41)、
- ・「情報通信技術(インターネットや電子商取引情報、セキュリティ、ビッグデータなどの技術)に関心がある」(図表 42)、
- ・「数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)に関心がある」(図表 43)

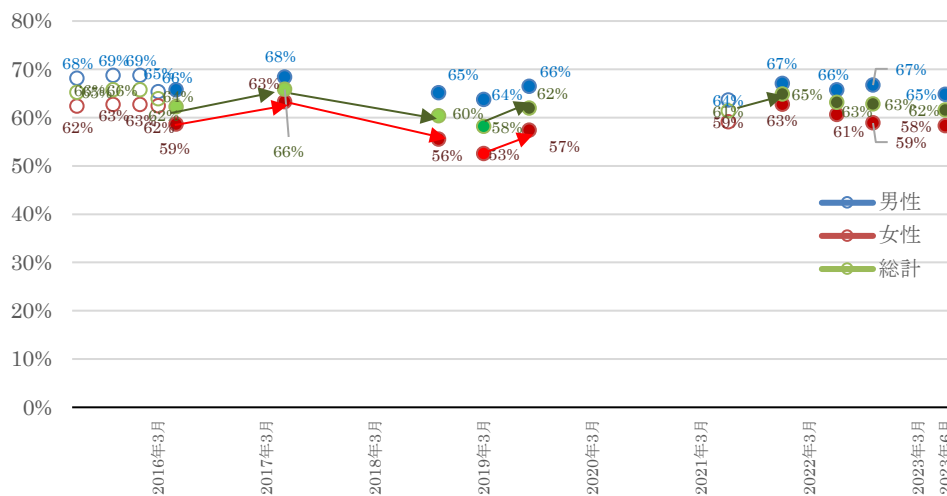
である。

- 一方、男性より女性の方の観測値が高いものは、
- ・「自然災害に対する防災・減災に関心がある」(図表 28)、
 - ・「少子高齢化社会対策に関心がある」(図表 29)、
 - ・「食の安全確保に関心がある」(図表 30)、
 - ・「教育に関心がある」(図表 31)、
 - ・「高水準医療の提供など健康や医療に関心がある」(図表 33)、
 - ・「生活環境の保全に関心がある」(図表 34)、
 - ・「自然環境の保全に関心がある」(図表 35)

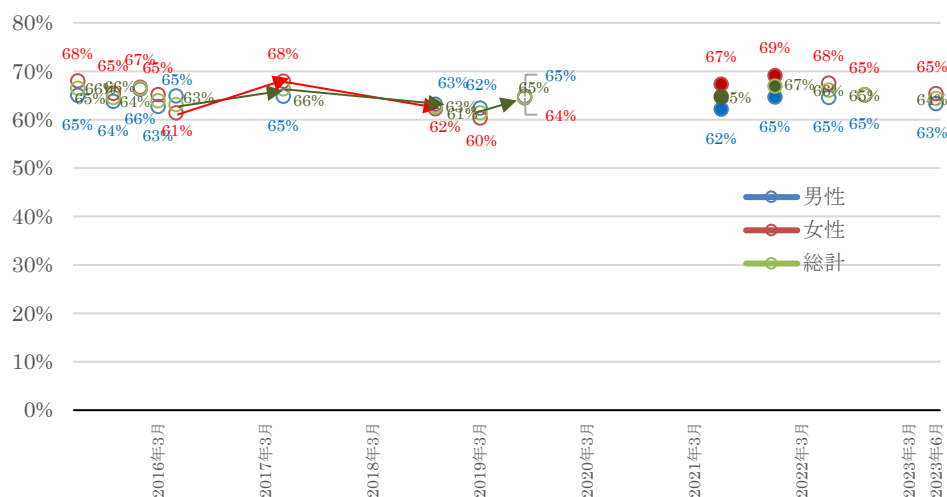
である。

女性の方の観測値が高いものは、より社会的な課題が多く見られた。一方、男性の方の観測値が高いものは、より挑戦的でフロンティアな課題が多く見られた。

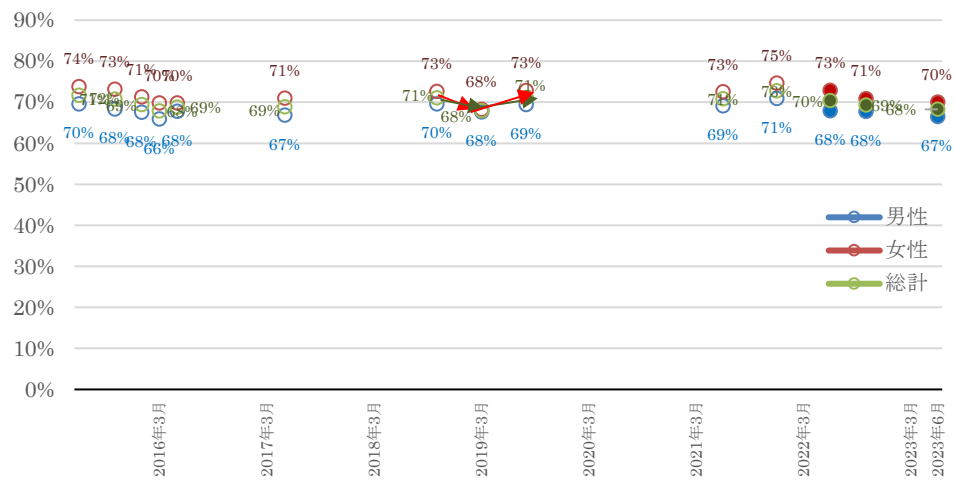




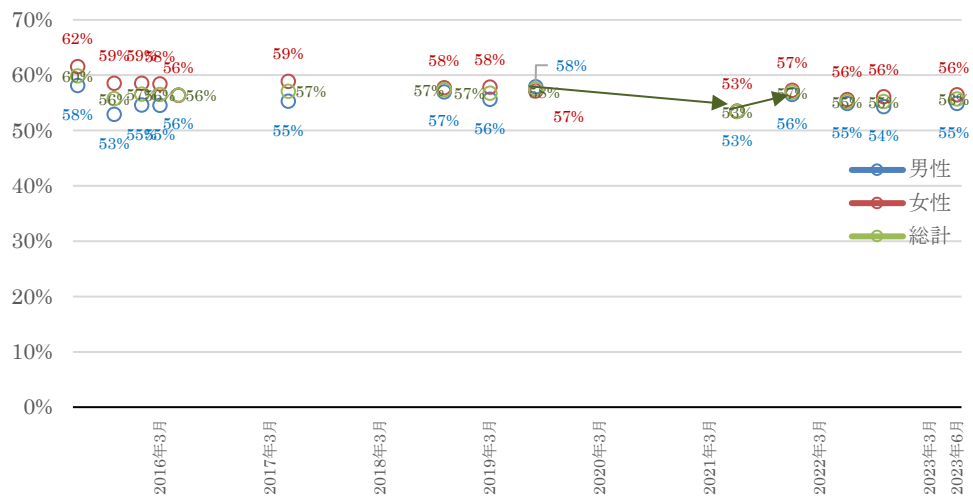
図表26 資源・エネルギー問題対策に関心があるの性別変化



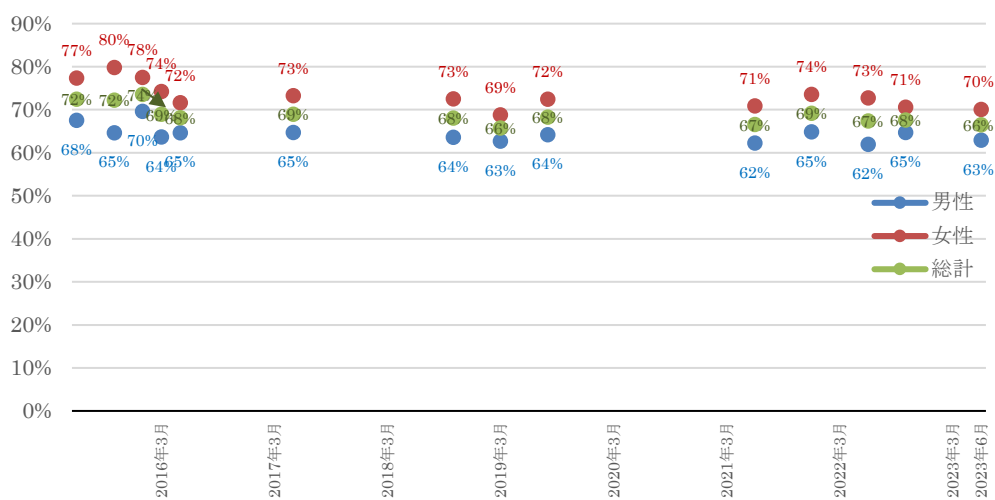
図表27 食料・水資源問題対策に関心があるの性別変化



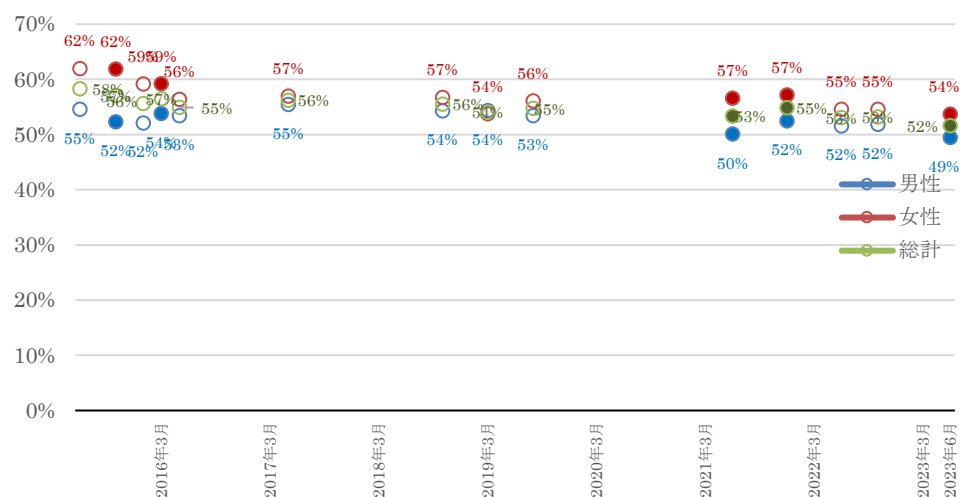
図表28 自然災害に対する防災・減災に関心があるの性別変化



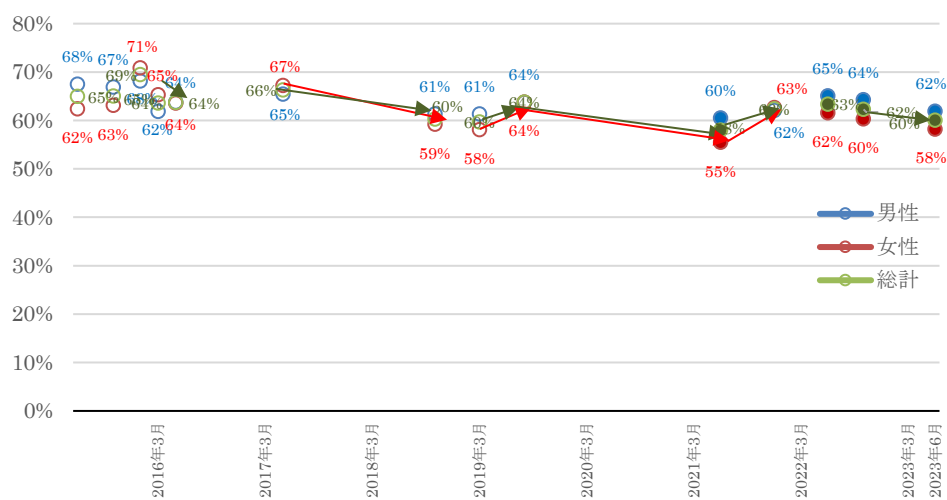
図表29 少子高齢化社会対策に関心があるの性別変化



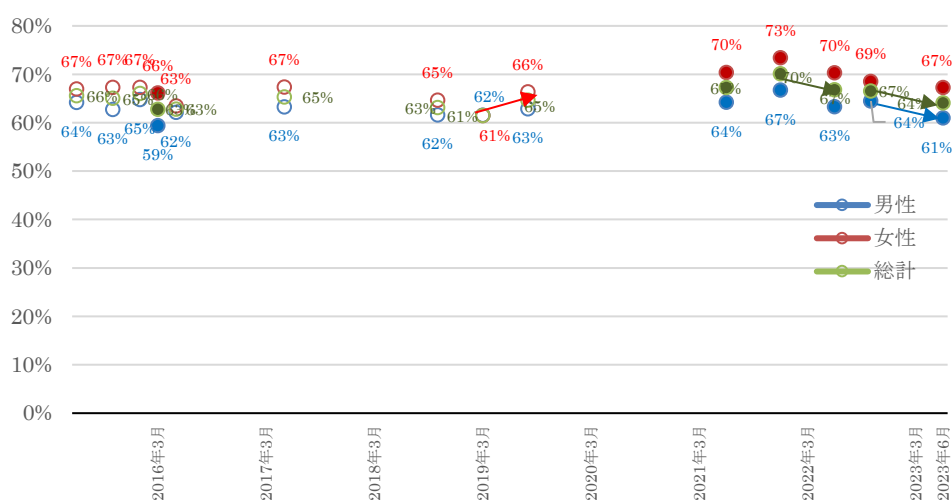
図表30 食の安全確保に関心があるの性別変化



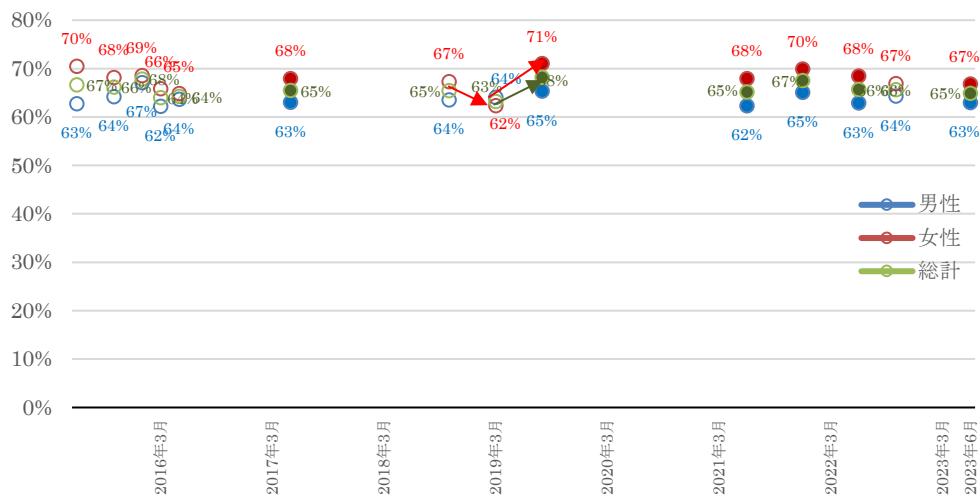
図表31 教育に関心があるの性別変化



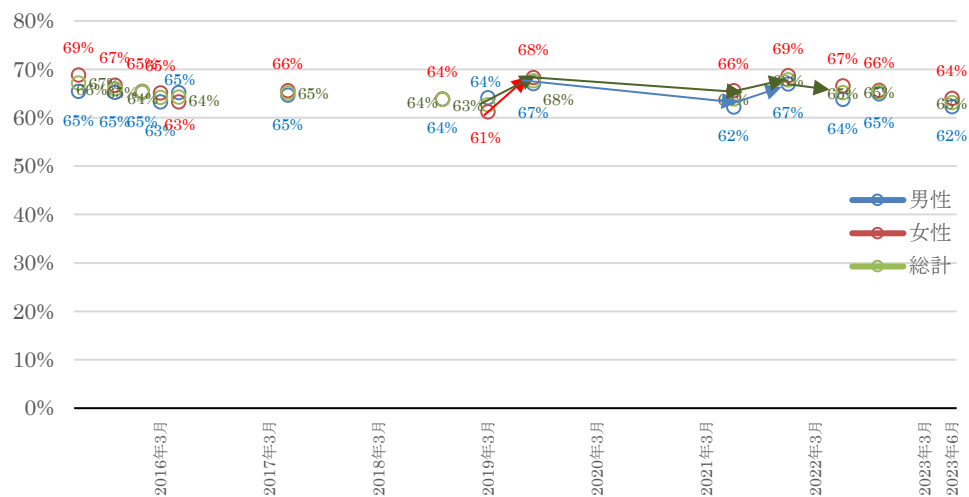
図表32 安全保障・テロ対策に関心があるの性別変化



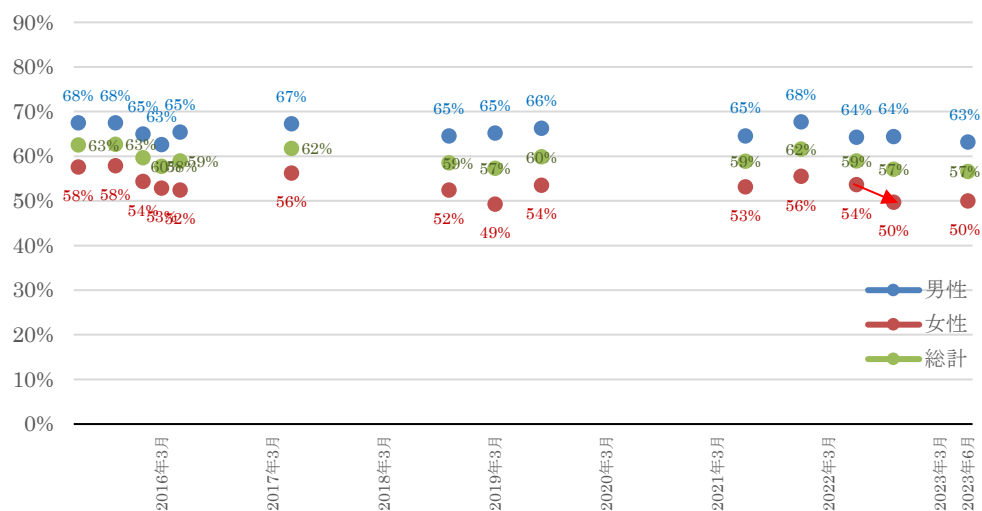
図表33 高水準医療の提供など健康や医療に関心があるの性別変化



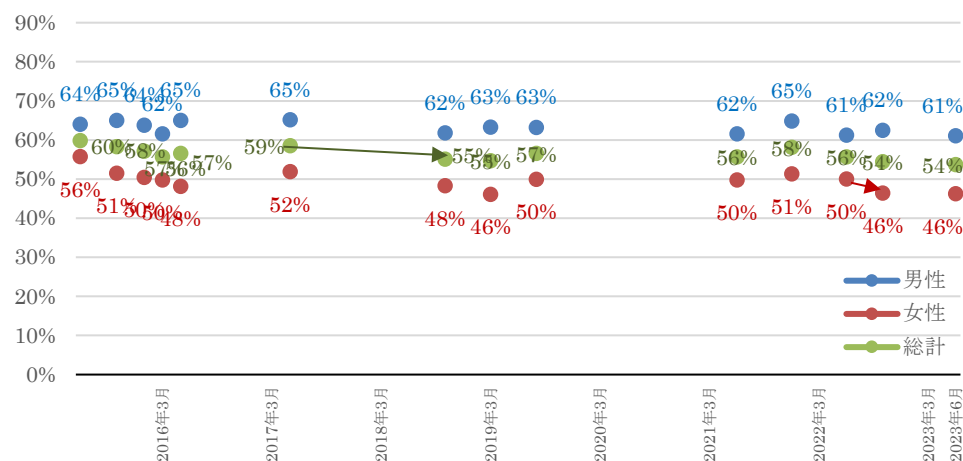
図表34 生活環境の保全に関心があるの性別変化



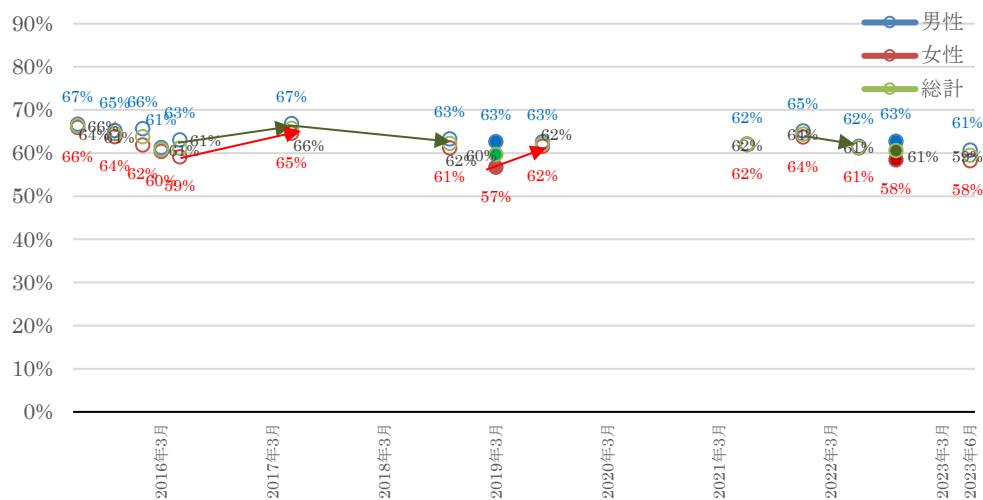
図表35 自然環境の保全に関心があるの性別変化



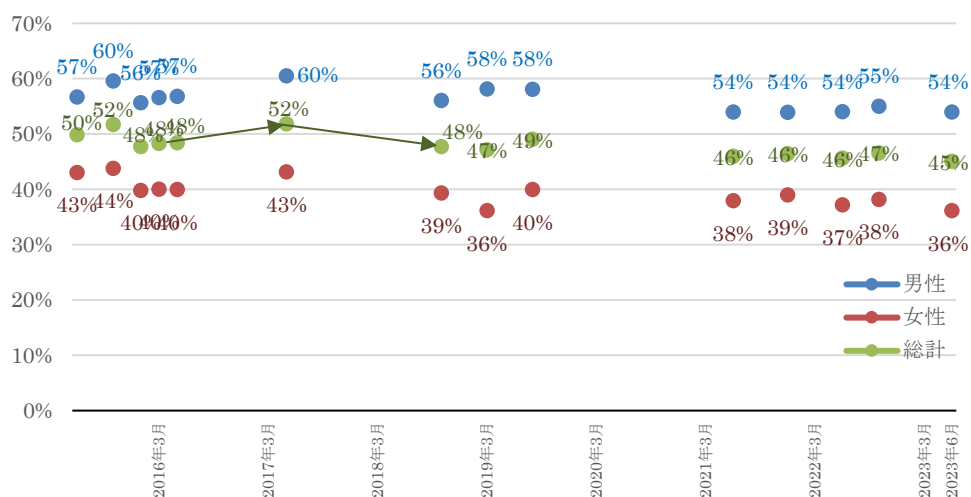
図表36 新しい技術や発明の利用
(既存の知識を用いた新製品の開発など) に関心があるの性別変化



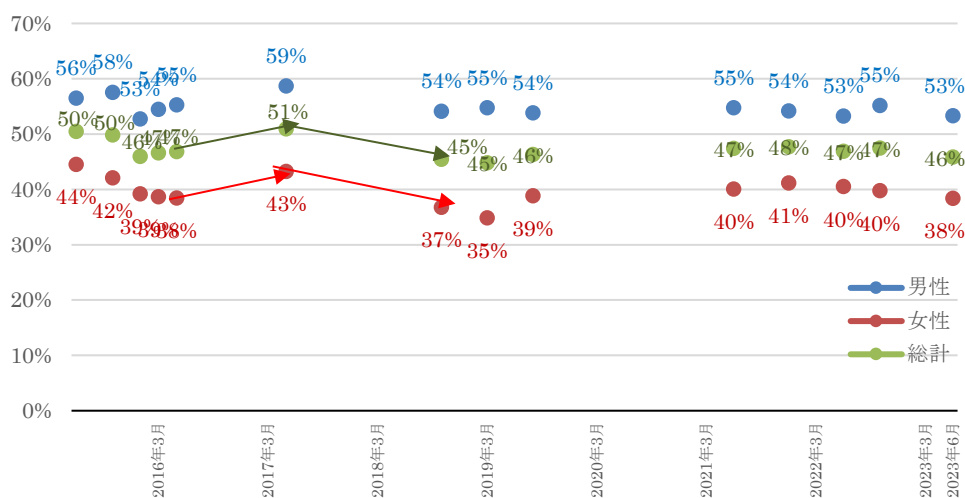
図表37 新しい科学的発見
(観察や実験思考などに基づいた新事実や理論の発見など) に関心があるの性別変化



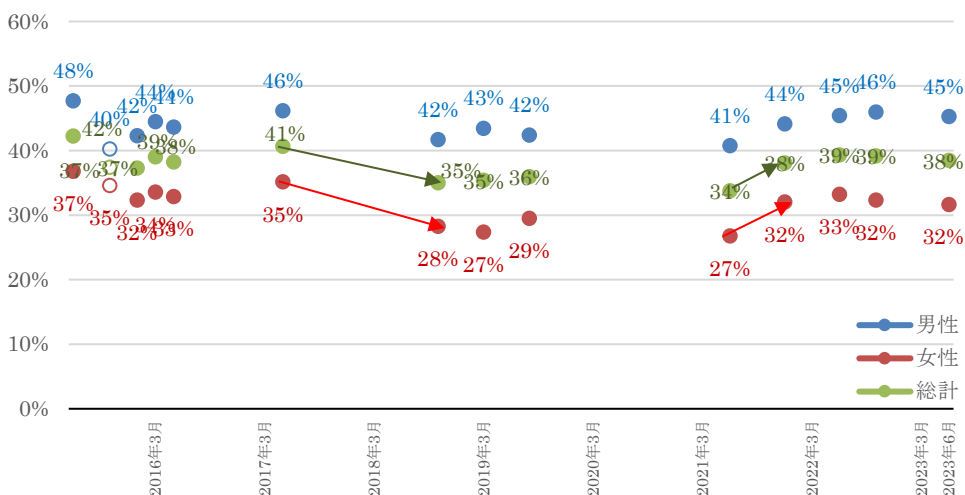
図表38 新しい医学的発見
(生体や疾病などに関する発見など) に関心があるの性別変化



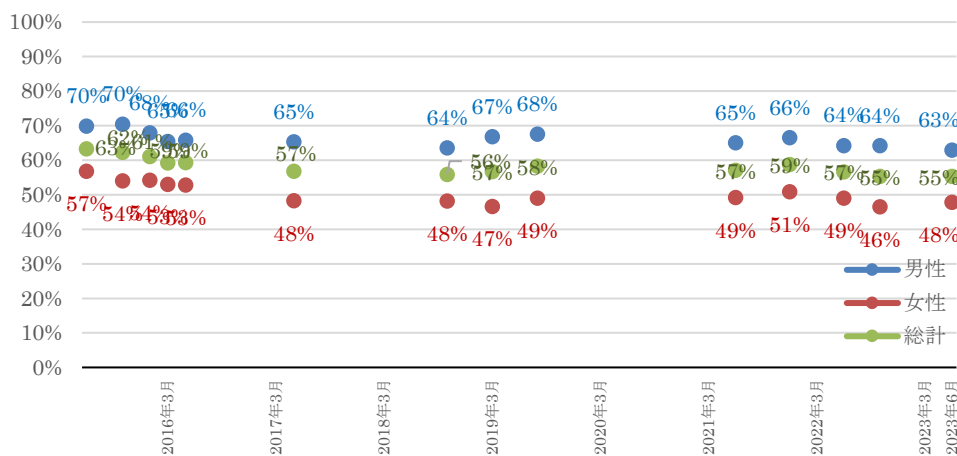
図表39 宇宙探査開発に関心があるの性別変化



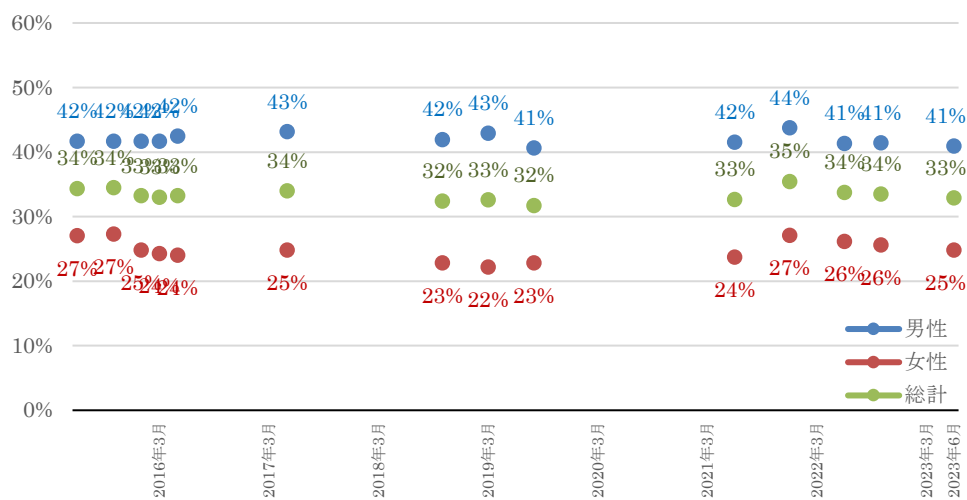
図表40 海洋探査開発に関心があるの性別変化



図表41 原子力開発に関心があるの性別変化



図表42 情報通信技術
(インターネットや電子商取引情報、セキュリティ、ビッグデータ
などの技術)に関心があるの性別変化



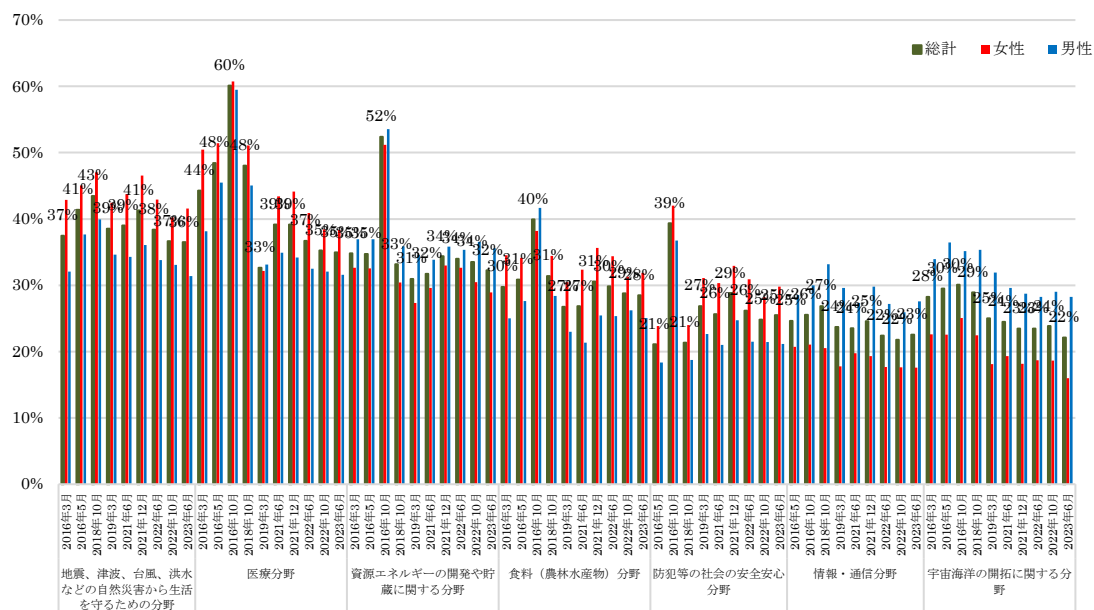
図表43 数理科学（最近の数学の成果を応用した技術開発など）
に関心があるの性別変化

⑤ 科学技術の発展に対する期待と不安

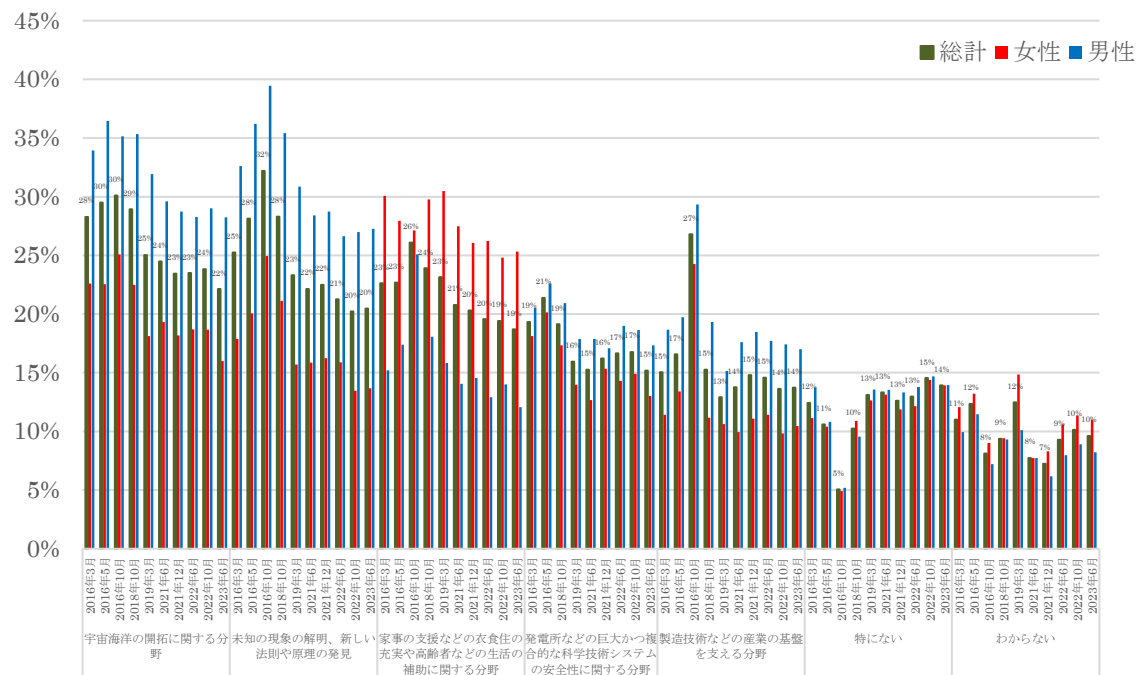
次に、科学技術の発展に対する期待を調べる(図表 44-1、図表 44-2。ここでは、横軸の項目は、2023 年 6 月調査時点の観測値(回答で得られた値)が高い順に項目を並び替えている(以降同じ))。「地震、津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野」への期待が最も高く、次いで「医療分野」などとなっている。

性別で見ると、「地震、津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野」も「医療分野」、「食料(農林水産物)分野」、「防犯等の社会の安全安心分野」、「家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野」、「わからない」、も女性の期待が高いことが分かる。

逆に男性の期待が高いのは、「資源エネルギーの開発や貯蔵に関する分野」、「情報・通信分野」、「宇宙海洋の開拓に関する分野」、「未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見」、「発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野」、「製造技術などの産業の基盤を支える分野」となっている。

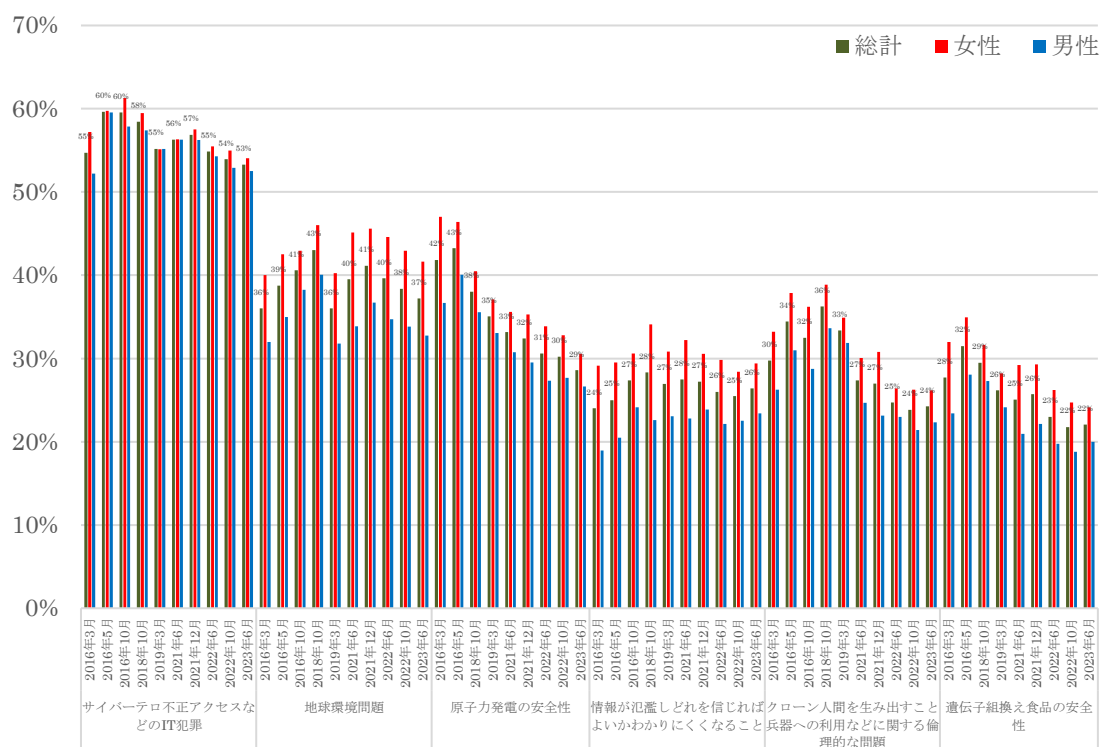


図表44-1 科学技術の発展に対する期待(性別①)

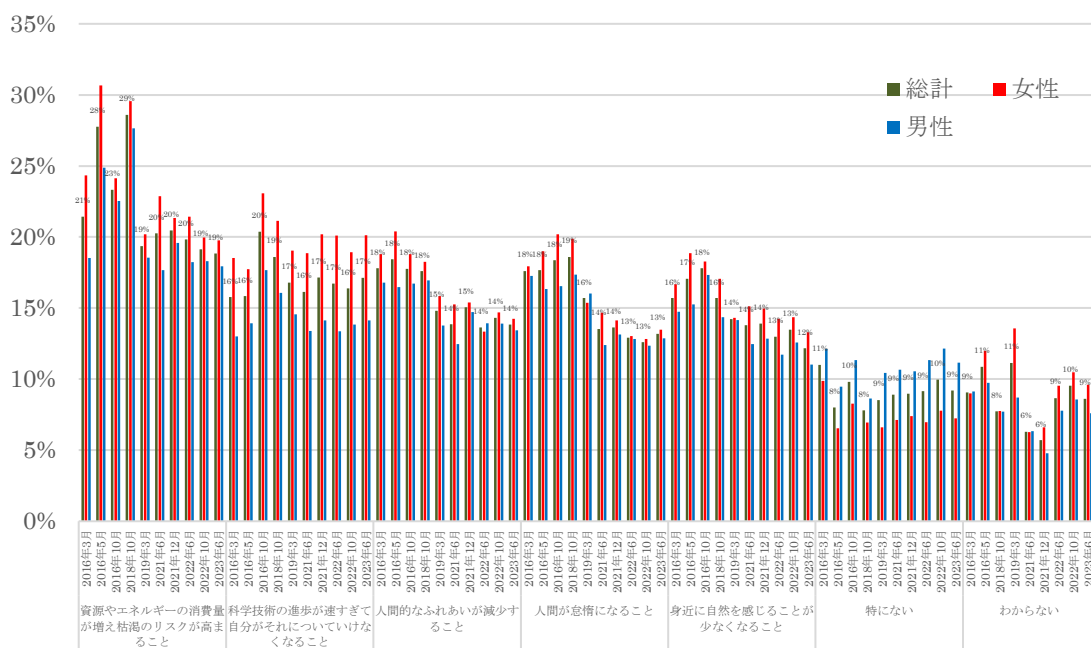


図表44-2 科学技術の発展に対する期待（性別②）

さらに、科学技術の発展に伴う不安を調べる（図表 45-1、図表 45-2）。「サイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪」への不安が最も高く、次いで「地球環境問題」などとなっている。性別で見ると、いずれの場合も、女性の不安が高いことが分かる。逆に男性の不安が高いのは、「特にない」となっている。



図表45-1 科学技術の発展に伴う不安（性別①）

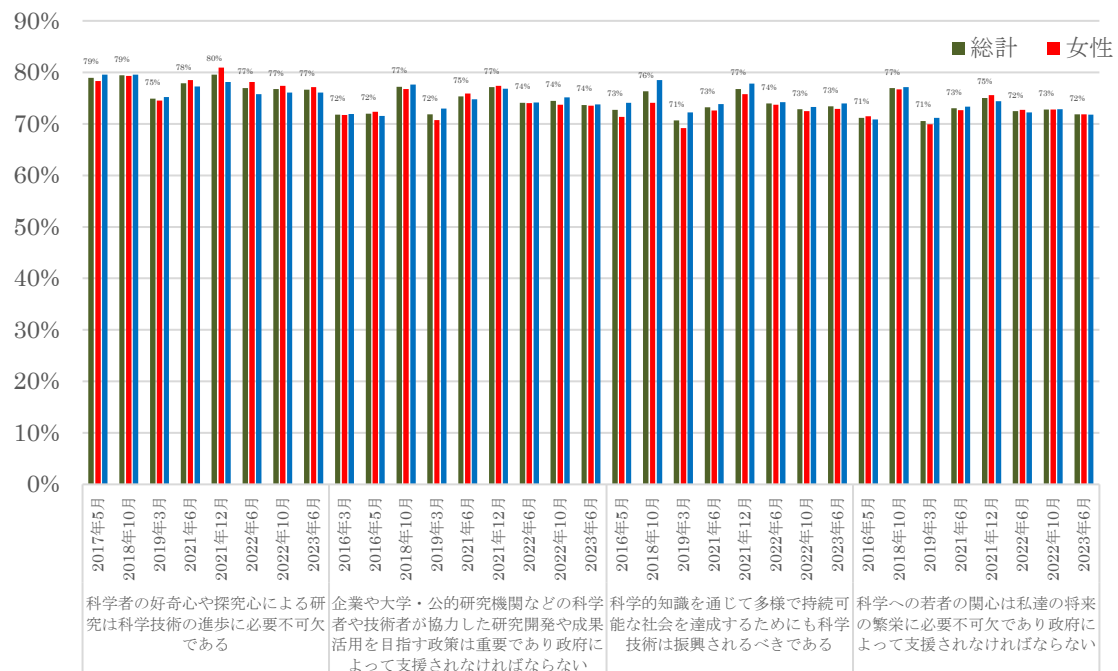


図表45-2 科学技術の発展に伴う不安（性別②）

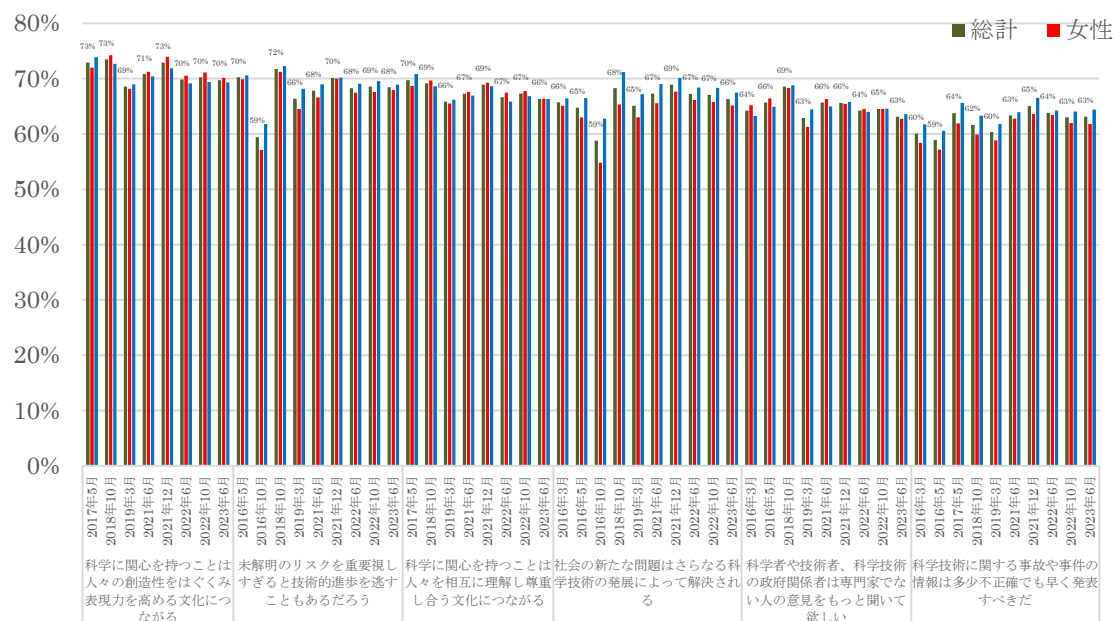
⑥ 科学技術に関する考え方

最後に、科学技術に対する考え方を調べる(図表 46-1、図表 46-2)。「科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である」が最も高く、次いで「企業や大学・公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり政府によって支援されなければならない」などとなっている。

性別で見ると、女性が一貫して男性より高い数値はあまり見当たらないが、逆に男性が高いのは、「未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう」、「社会の新たな問題はさらなる科学技術の発展によって解決される」、「科学技術に関する事故や事件の情報は多少不正確でも早く発表すべきだ」、となっている。



図表46-1 科学技術に対する考え方（性別①）



図表46-2 科学技術に対する考え方 (性別②)

(5) 科学技術の発展にともなう不安と満足度との間の相関分析

①幸福度との相関分析

「科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。」(継続質問)について訊いた。それらと幸福度との相関を箱ひげ図で示すと図表 47-1 から図表 47-11 となる。基本的に不安に思う(該当)方が思わない(非該当)よりも幸福度が高くなる。両者の差を調べるためにクラスカル・ワリスの順位検定(H 検定)を用いる(有意性水準 1%、以下同じ)。

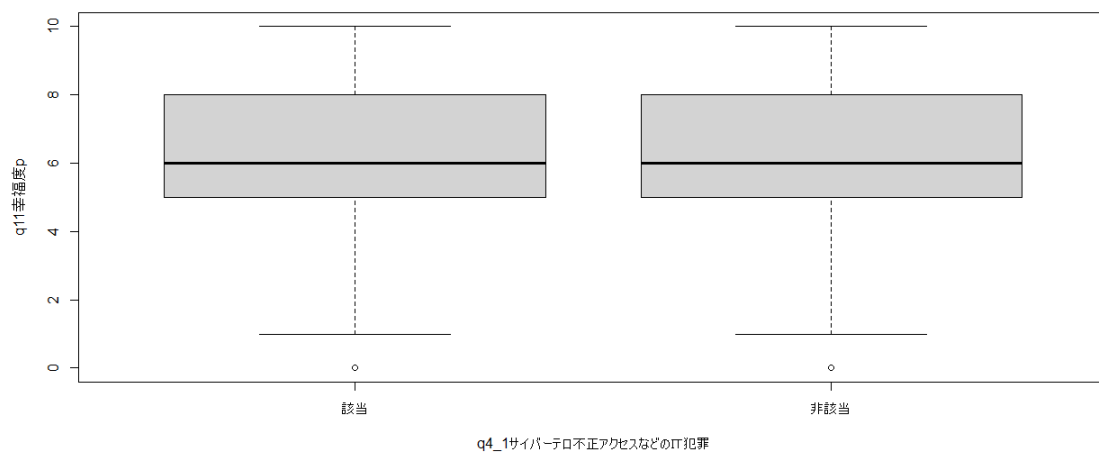
○H 検定の帰無仮説が棄却されない(該当・非該当の分布が同じ)

・サイバーテロ・不正アクセスなどのIT犯罪、原子力発電の安全性、資源やエネルギーの無駄遣いが増えること、身近に自然を感じることが少なくなること、情報が氾濫しどれを信じればよいかかわりにくくなること、人間的なふれあいが減少すること、人間が怠惰になること、科学技術の進歩が速すぎて自分がそれについていけなくなること(8)

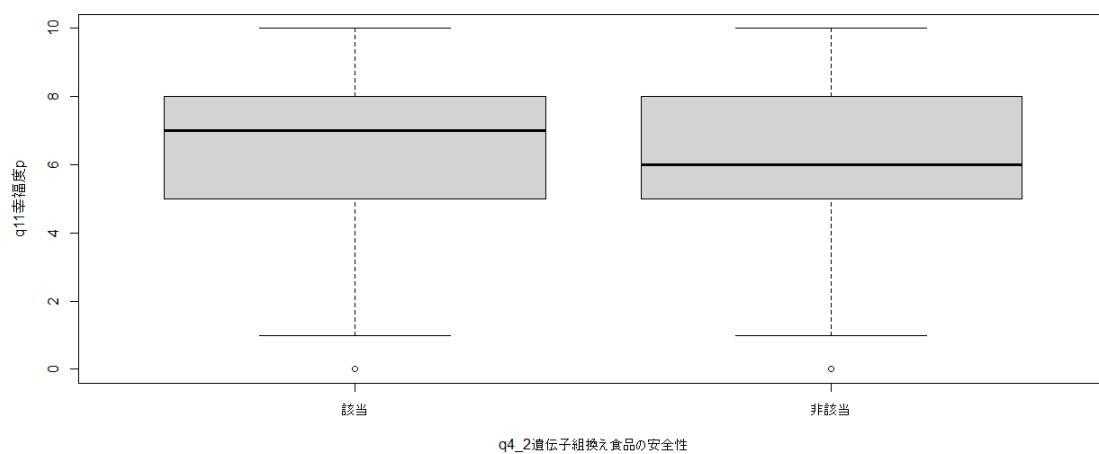
○H 検定の帰無仮説が棄却される(該当・非該当の分布が異なる)

・遺伝子組換え食品の安全性、地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題、クローン人間を生み出すこと・兵器への利用などに関する倫理的な問題(3)

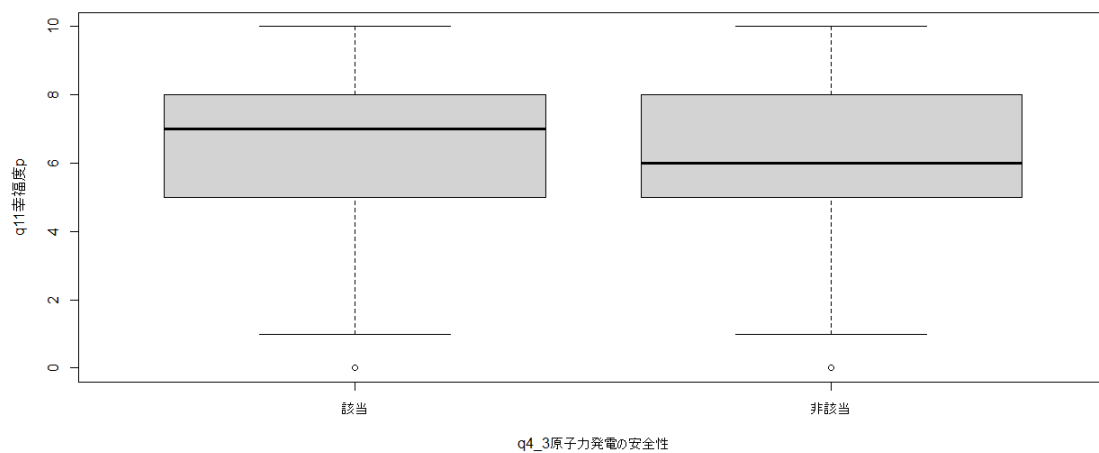
ここでは帰無仮説が棄却されない、即ち該当・非該当の分布が同じものが多い。



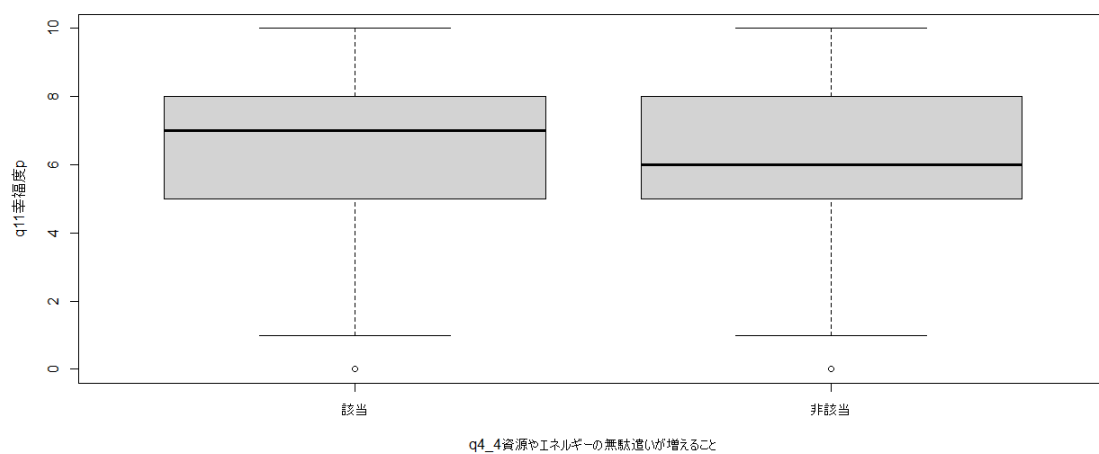
図表 47-1 q4_1 サイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪と幸福度の相関



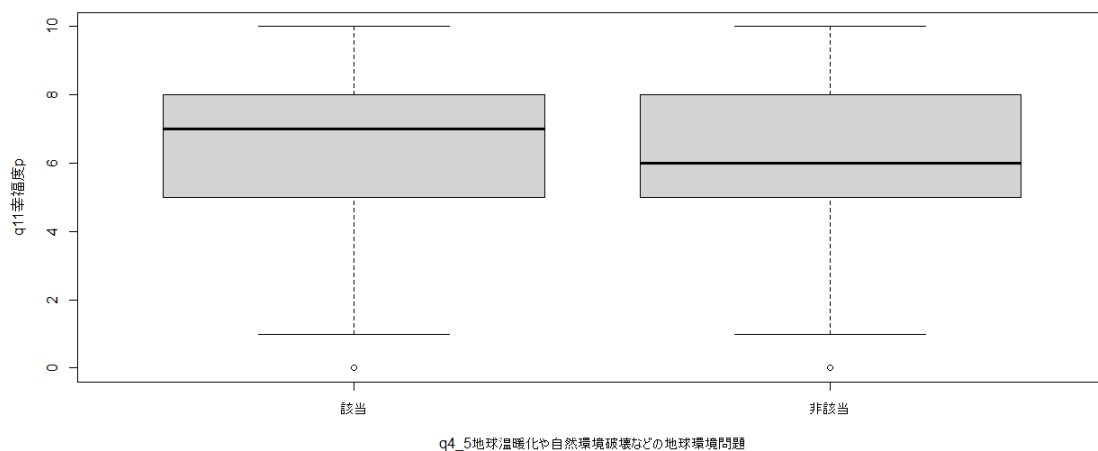
図表 47-2 q4_2 遺伝子組み換え食品の安全性と幸福度の相関



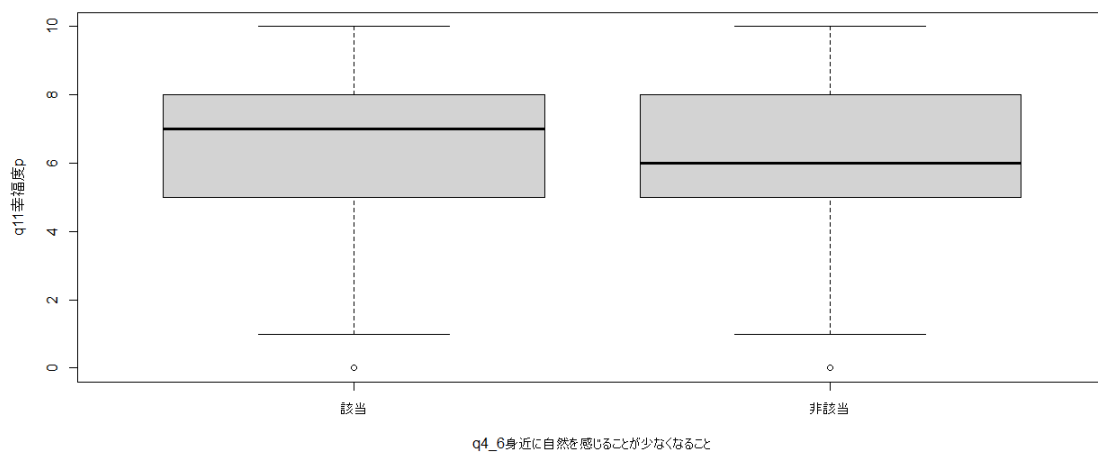
図表 47-3 q4_3 原子力発電の安全性と幸福度の相関



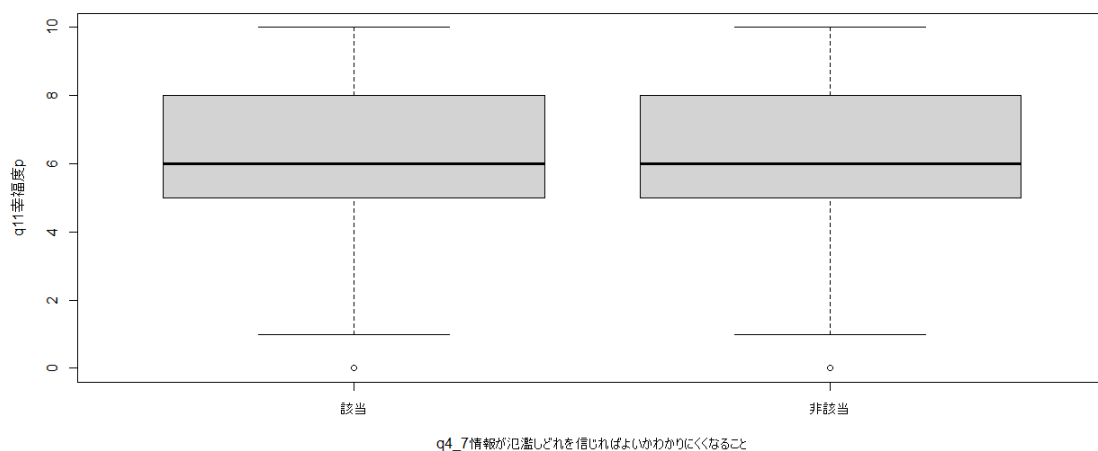
図表 47-4 q4_4 資源やエネルギーの無駄遣いが増えることと幸福度の相関



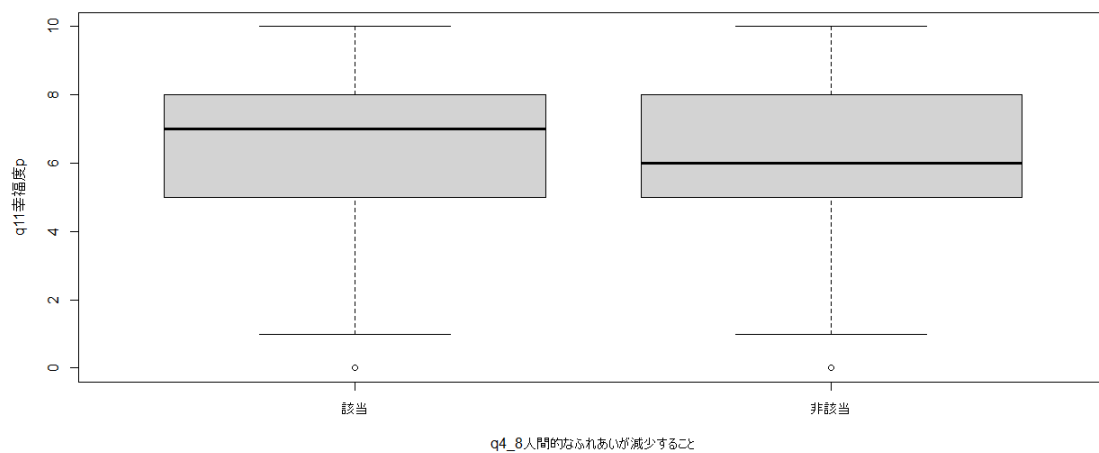
図表 47-5 q4_5 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題と幸福度の相関



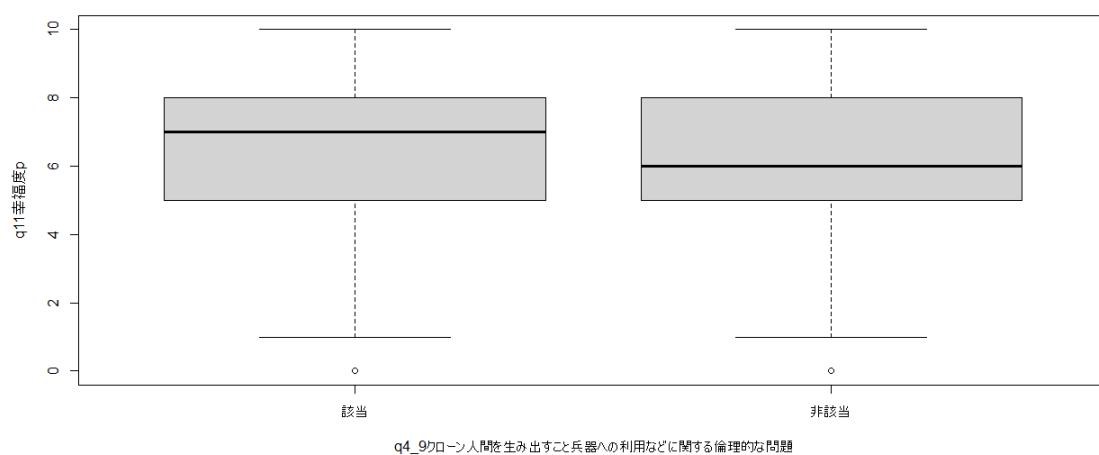
図表 47-6 q4_6 身近に自然を感じることが少なくなることと幸福度の相関



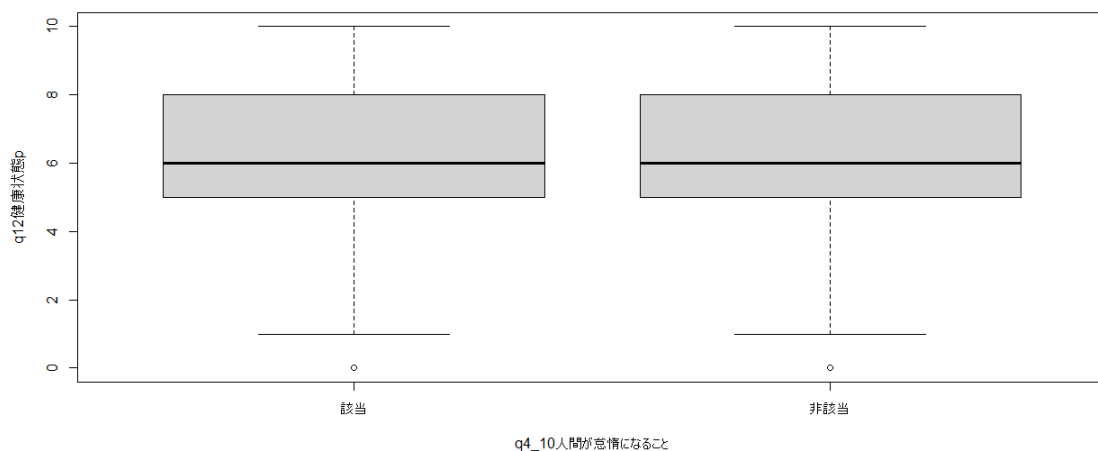
図表 47-7 q4_7 情報が氾濫しどれを信じればよいかわかりにくくなることと幸福度の相関



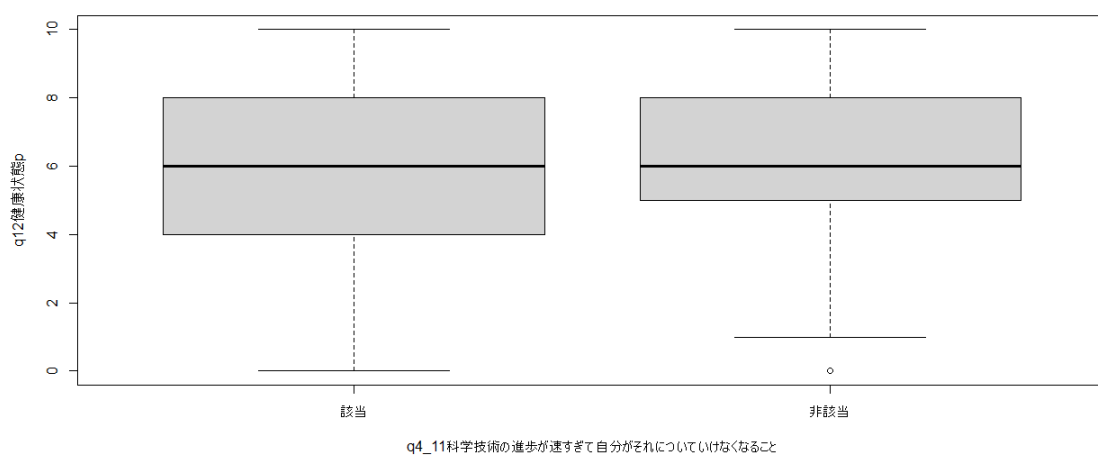
図表 47-8 q4_8 人間的なふれあいが増えることと幸福度の相関



図表 47-9 q4_9 クローン人間を生み出すこと兵器への利用などに関する倫理的な問題と幸福度の相関

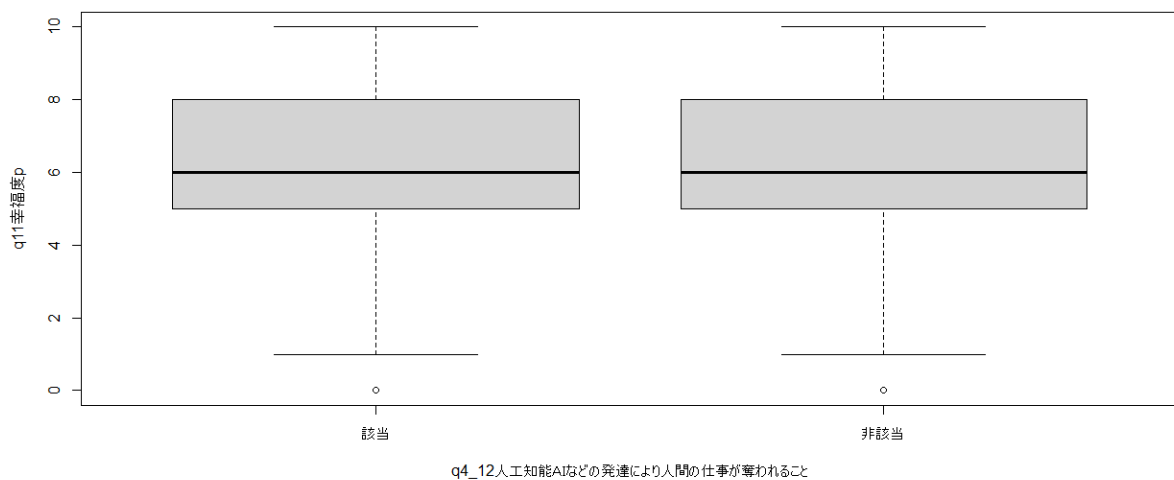


図表 47-10 q4_10 人間が怠惰になることと幸福度の相関



図表 47-11 q4_11 科学技術の進歩が速すぎて自分がそれについていけなくなることと幸福度の相関

そのうち、「人工知能 (AI) などの発達により人間の仕事が奪われる」と回答した人とそうでない人との間で前述の幸福度によって分布を箱ひげ図で示すと図表 47-12 となる。結果は AI による仕事が奪われることに不安を感じる人とそうでない人とは幸福度に違いは見られない(判定はクラスカル・ワリスの順位和検定 (H 検定) による、有意性水準 1%、以下同じ)。



図表 47-12 q4_12 人工知能(AI)などの発達により人間の仕事が奪われることと幸福度の相関

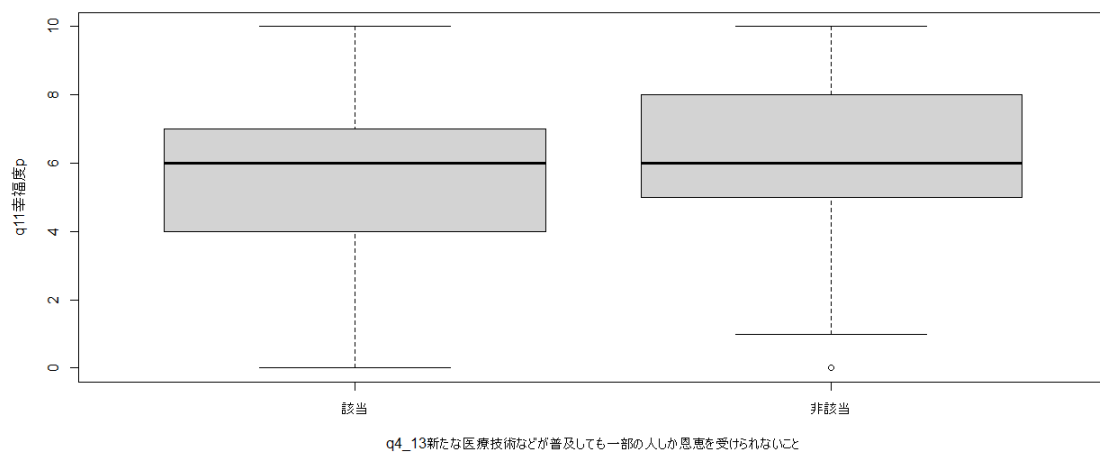
「科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかお選びください。」(継続質問)について q4_13 新たな医療技術などが普及しても一部の人以上しか恩恵を受けられないことを訊いた。

それと幸福度との相関を箱ひげ図で示すと図表 47-13 となる。ここでは不安に思う(該当)の方が思わない(非該当)よりも幸福度が低くなる。両者の差を調べるためにクラスカル・ワリスの順位和検定(H検定)を用いる(有意性水準1%、以下同じ)。

○H検定の帰無仮説が棄却される(該当・非該当の分布が異なる)

- ・新たな医療技術などが普及しても一部の人以上しか恩恵を受けられないこと(1)

ここでは帰無仮説が棄却される、即ち該当・非該当の分布が異なるとされる。



図表 47-13 q4_13 新たな医療技術などが普及しても一部の人以上しか恩恵を受けられないことと幸福度の相関

② 健康状態との相関分析

「科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。」(継続質問)について訊いた。それらと健康状態との相関を箱ひげ図で示すと図表 48-1 から図表 48-11 となる。基本的に不安に思う(該当)方が思わない(非該当)よりも健康状態が高くなる。

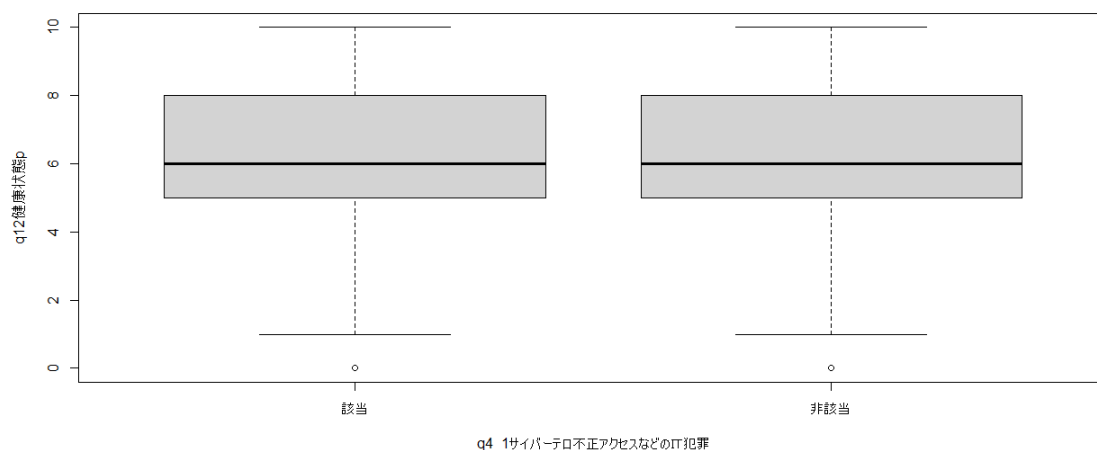
○H 検定の帰無仮説が棄却されない(該当・非該当の分布が同じ)

・サイバーテロ・不正アクセスなどのIT犯罪、遺伝子組換え食品の安全性、原子力発電の安全性、資源やエネルギーの無駄遣いが増えること、地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題、身近に自然を感じる事が少なくなる事、人間的なふれあいが減少すること、クローン人間を生み出すこと・兵器への利用などに関する倫理的な問題、人間が怠惰になること(9)

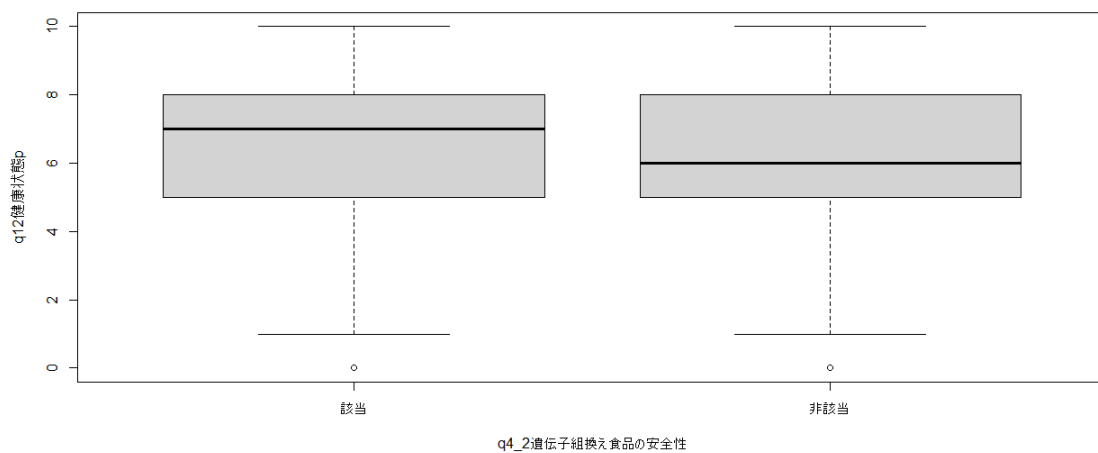
○H 検定の帰無仮説が棄却される(該当・非該当の分布が異なる)

・情報が氾濫しどれを信じればよいかわかりにくくなること、科学技術の進歩が速すぎて自分がそれについていけなくなること(2)

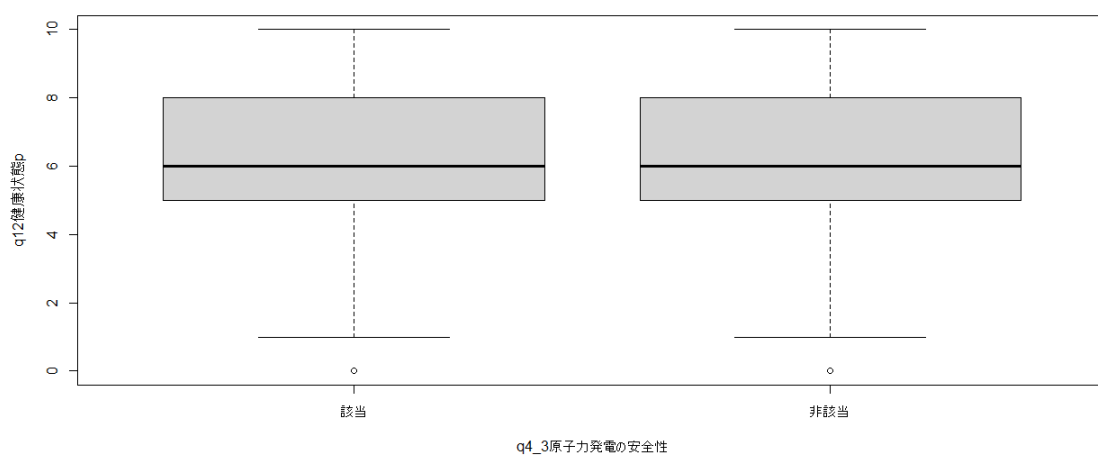
ここでも帰無仮説が棄却されない、即ち該当・非該当の分布が同じものが多い。



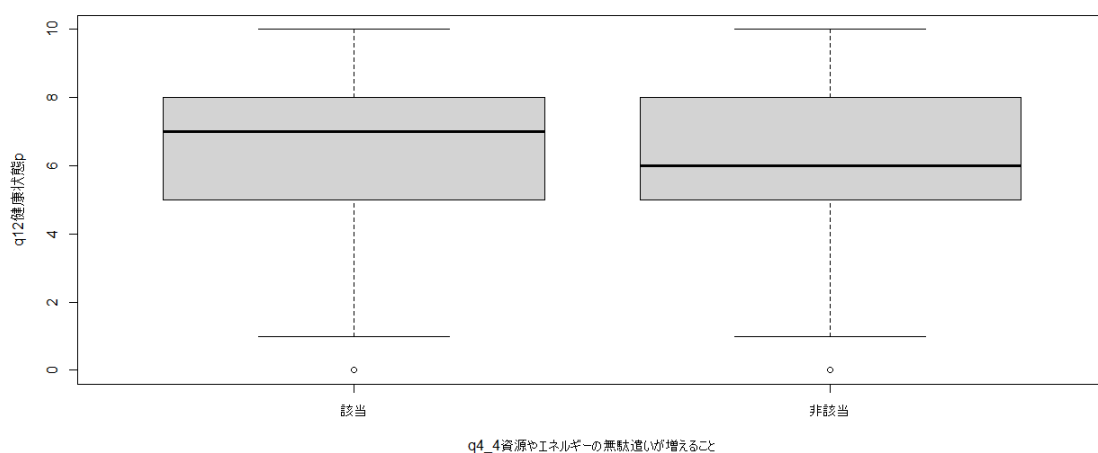
図表 48-1 q4_1 サイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪と健康状態の相関



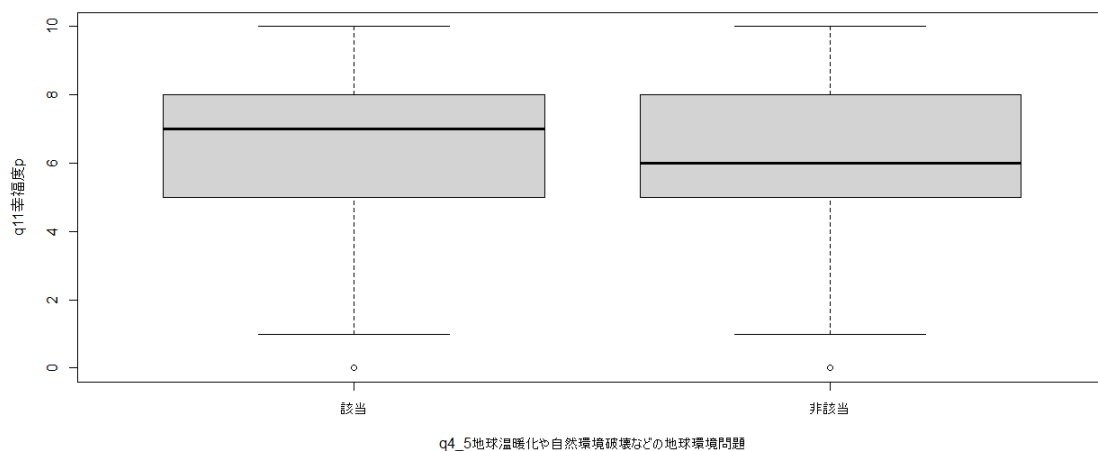
図表 48-2 q4.2 遺伝子組み換え食品の安全性と健康状態の相関



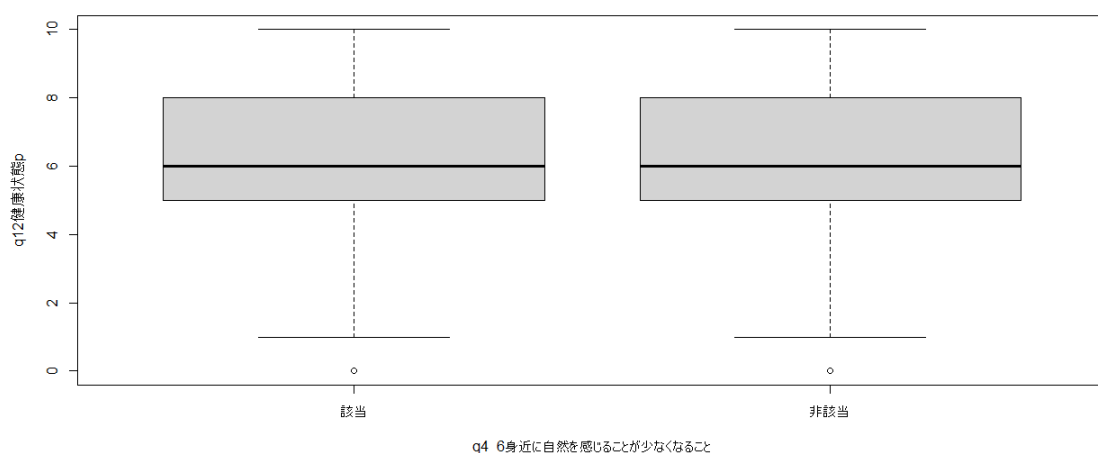
図表 48-3 q4.3 原子力発電の安全性と健康状態の相関



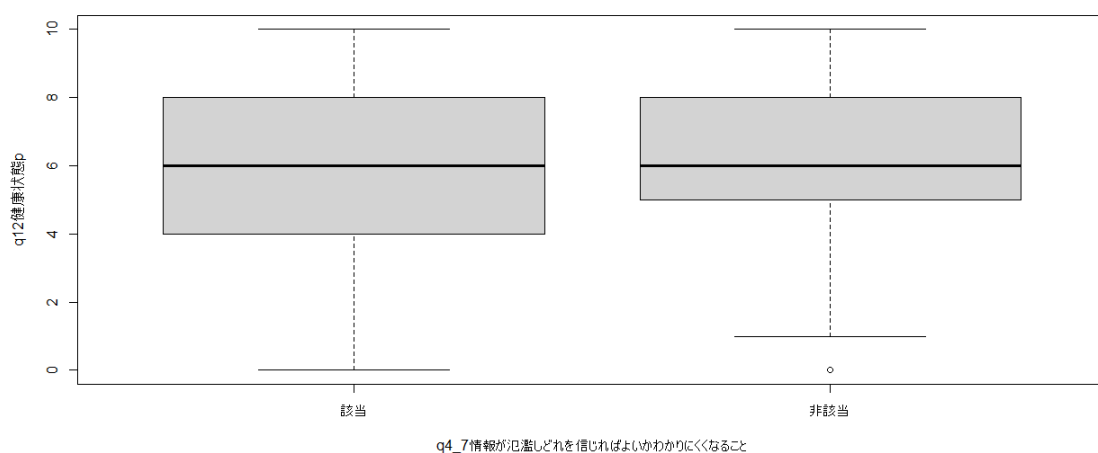
図表 48-4 q4.4 資源やエネルギーの無駄遣いが増えることと健康状態の相関



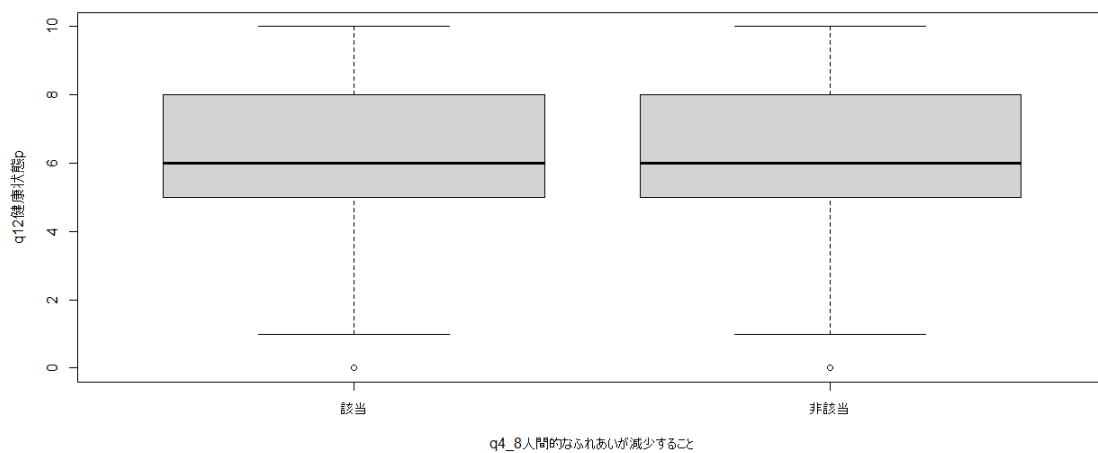
図表 48-5 q4_5 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題と健康状態の相関



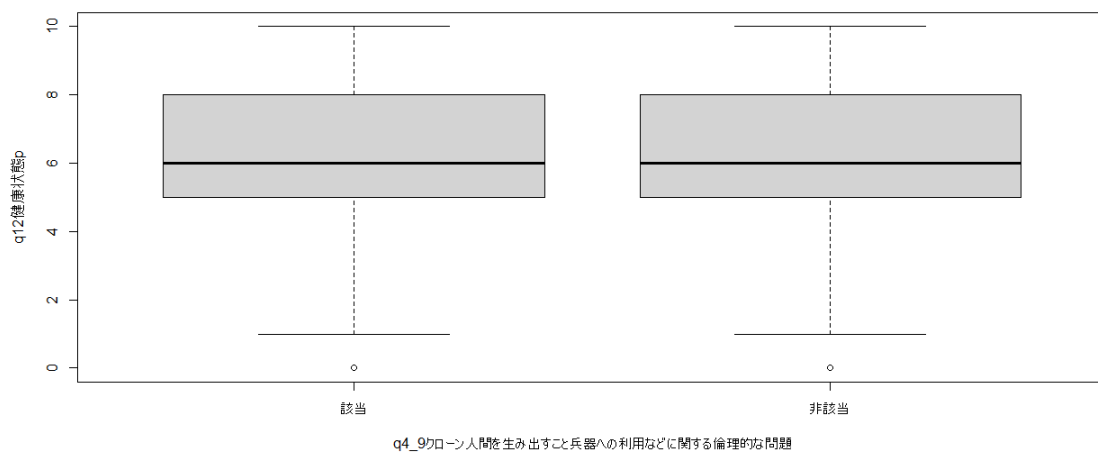
図表 48-6 q4_6 身近に自然を感じる事が少なくなることと健康状態の相関



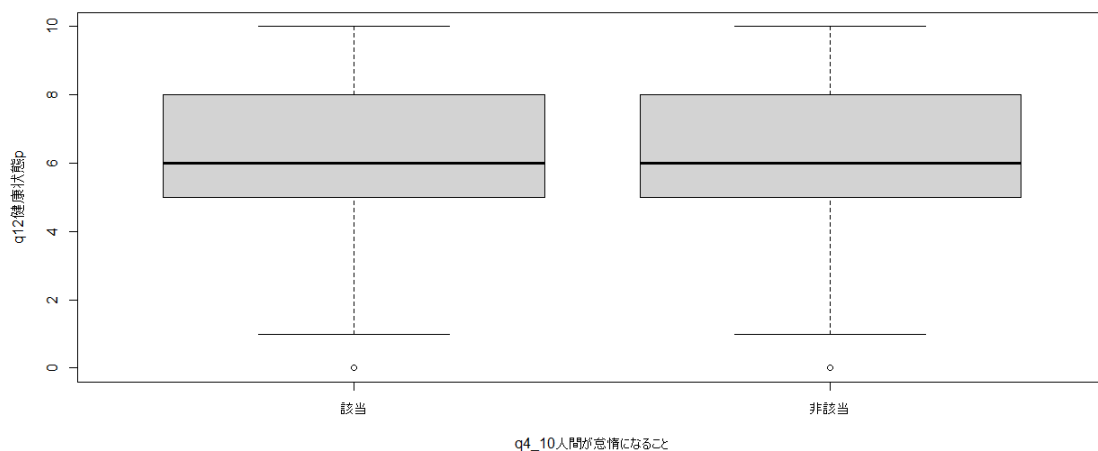
図表 48-7 q4_7 情報が氾濫しどれを信じればよいかわかりにくくなることと健康状態の相関



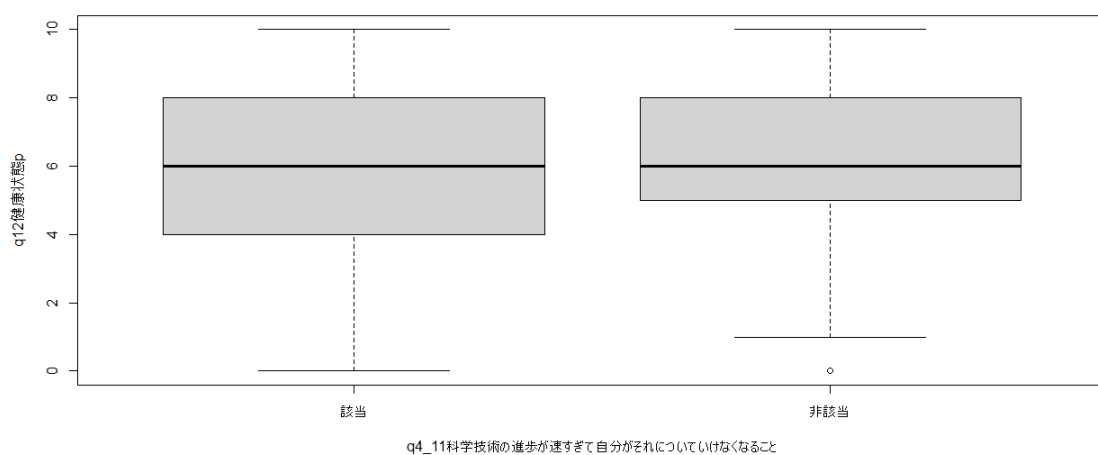
図表 48-8 q4_8 人間的なふれあいが減少することと健康状態の相関



図表 48-9 q4_9 クローン人間を生み出すこと兵器への利用などに関する倫理的な問題と健康状態の相関

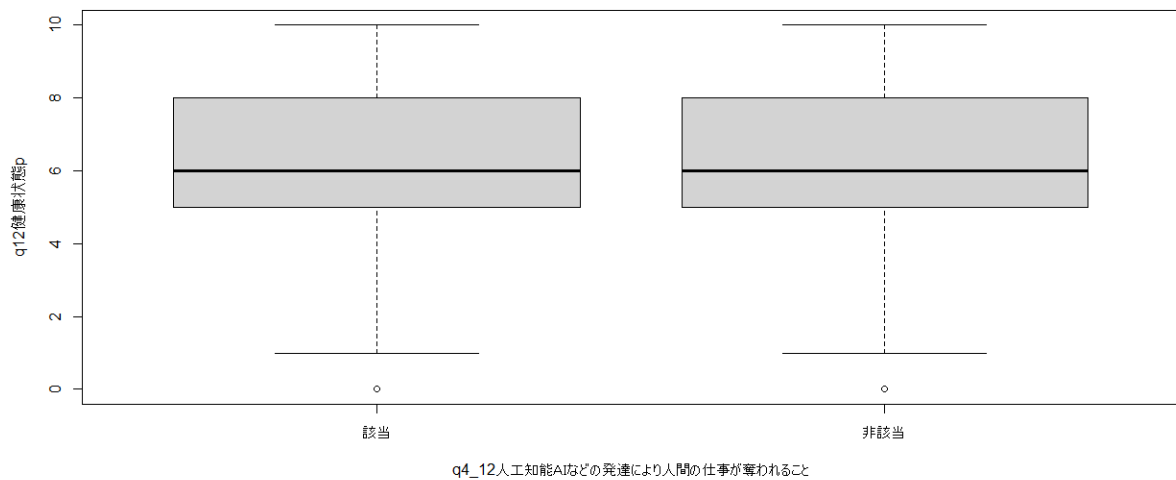


図表 48-10 q4_10 人間が怠惰になることと健康状態の相関



図表 48-11 q4_11 科学技術の進歩が速すぎて自分がそれについていけなくなることと健康状態の相関

そのうち、「人工知能 (AI) などの発達により人間の仕事が奪われる」と回答した人とそうでない人との間で健康状態によって分布を箱ひげ図で示すと図表 48-12 となる。結果は AI による仕事が奪われることに不安を感じる人とそうでない人とでは健康状態に違いは見られない。



図表 48-12 q4_12 人工知能 (AI) などの発達により人間の仕事が奪われることと健康状態の相関

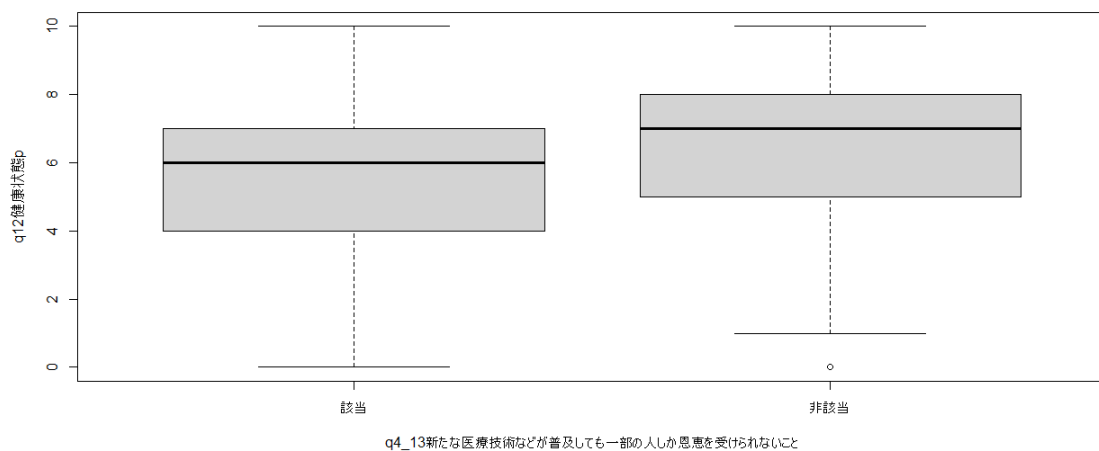
「科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。」(継続質問)について q4_13 新たな医療技術などが普及しても一部の人は恩恵を受けられないことを聞いた。

それと健康状態との相関を箱ひげ図で示すと図表 48-13 となる。ここでは不安に思う(該当)の方が思わない(非該当)よりも健康状態が低くなる。両者の差を調べるためにクラスカル・ワリスの順位和検定(H 検定)を用いる(有意性水準 1%、以下同じ)。

○H 検定の帰無仮説が棄却される(該当・非該当の分布が異なる)

- ・新たな医療技術などが普及しても一部の人は恩恵を受けられないこと(1)

ここでは帰無仮説が棄却される、即ち該当・非該当の分布が異なるとされる。



図表 48-13 q4_13 新たな医療技術などが普及しても一部の人は恩恵を受けられないことと健康状態の相関

「科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。」と各項目について訊いたところ、その回答と幸福度、健康状態との相関は図表 49 となる。

		YY の水準が高い (*低い)	
		幸福度	健康状態
科学技術の発展に伴い XX について不安が高まっている	サイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪	×	×
	遺伝子組換え食品の安全性	○	×
	原子力発電の安全性	×	×
	資源やエネルギーの無駄遣いが増えること	×	×
	地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題	○	×
	身近に自然を感じることが少なくなること	×	×
	情報が氾濫しどれを信じればよいかわかりにくくなること	×	○
	人間的なふれあいが減少すること	×	×
	クローン人間を生み出すこと・兵器への利用などに関する倫理的な問題	○	×
	人間が怠惰になること	×	×
	科学技術の進歩が速すぎて自分がそれについていけなくなること	×	○
	人工知能 (AI) などの発達により人間の仕事が奪われること	×	×
	新たな医療技術などが普及しても一部の人が恩恵を受けられないこと	○*	○*

(注)表の縦軸項目と横軸項目の間に相関がある場合「○」、ない場合「×」を示した。例えば左上の「×」は、科学技術の発展に伴いサイバーテロ・不正アクセスなどの IT 犯罪について不安が高まっている人ほど幸福度の水準が高いとは言えないことを示す。

図表 49 q4 科学技術の発展に伴う不安と幸福度等の相関

4. おわりに

本調査の実施に際し、多大な御協力を頂いた皆様をはじめとする関係者の方々に心から感謝申し上げます。

5. 参考文献

- [1] 満足度・生活の質に関する調査報告書 2022(内閣府)
- [2] 文化に関する世論調査—ウェルビーイングと文化芸術活動の関連—(2022 年 3 月文化庁)

質 問 票

(インターネット調査質問票その1)

F1

あなたの性別をお答えください。

1 ☐ 男性

2 ☐ 女性

次へ

F2

あなたのお年は満でいくつですか。

歳

次へ

F3

あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

--- ▼

次へ

F4

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)は、次のどれに当てはまりますか。

なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

- 1 ☐ 中学校
- 2 ☐ 高等学校、または専修学校高等課程
- 3 ☐ 高等専門学校
- 4 ☐ 短期大学
- 5 ☐ 専門学校、または専修学校専門課程
- 6 ☐ 大学
- 7 ☐ 専門職学位
- 8 ☐ 大学院修士課程
- 9 ☐ 大学院博士課程
- 10 ☐ その他

次へ

F5

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。

なお、F4で「中学校」又は「高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「該当しない」をお選びください。

- 1 ☐ 人文・社会科学系
(政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など)
- 2 ☐ 自然科学・工学系
(数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など)
- 3 ☐ スポーツ・文化芸術系(体育、音楽、美術、造形、デザインなど)
- 4 ☐ その他
- 5 ☐ 該当しない

次へ

職種の分類

分類における注意事項又は具体的な職種の事例

(1)農林漁業

農林漁業従事による収入を生計の主としている者

(2)自営の商工サービス業

家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者

(3)自由業

俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者

(4)管理的職業

管理職の公務員(議会議員を含む)、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者

(5)科学技術的職業

科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健婦(士)、栄養士、教員(大学等の教員)、その他の科学技術的職業に従事する者

(6)その他専門的・技術的職業

保育士、弁護士、会計士、教員(小・中・高の教員)、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者

(7)事務的職業

総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者

(8)労務的職業

生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者

(9)販売的職業

百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲売人、その他の販売的職業に従事する者

(10)サービスの職業

家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者

(11)保安的職業

自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者

(12)家事

主婦、主として家事を務めている夫等

(13)学生

学業を主としている者(アルバイト等による収入のある学生を含む)

(14)無職

就職の希望を有している者

(15)無職(退職等)

定年退職等により、就職の希望を有していない者

(16)その他

上記に該当しない者

F6

あなたの現在の職業(学生等を含む)は、次のどの分類に当てはまりますか。

- 1 ☐ 農林漁業
- 2 ☐ 自営の商工サービス業
- 3 ☐ 自由業
- 4 ☐ 管理的職業
- 5 ☐ 科学技術的職業
- 6 ☐ その他専門的・技術的職業
- 7 ☐ 事務的職業
- 8 ☐ 労務的職業
- 9 ☐ 販売的職業
- 10 ☐ サービス的職業
- 11 ☐ 保安的職業
- 12 ☐ 家事
- 13 ☐ 学生
- 14 ☐ 無職
- 15 ☐ 無職(退職等)
- 16 ☐ その他

次へ

F7

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。

次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- 1 ☐ 同居している小学生未満の子どもがいる
- 2 ☐ 同居している小学生の子どもがいる
- 3 ☐ 同居している中学生の子どもがいる
- 4 ☐ 同居している高校生(専修学校高等課程を含む)の子どもがいる
- 5 ☐ 同居している大学生(高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む)の子どもがいる
- 6 ☐ 同居している大学院生の子どもがいる
- 7 ☐ 同居している社会人の子どもがいる
- 8 ☐ 上記以外の同居している子どもがいる
- 9 ☐ 同居している子どもはいない
- 10 ☐ 子どもはいない

次へ

F8

あなたの現在の税込世帯年収はいくらですか。

次のうち、当てはまるものをお答えください。

- 1 ☐ 300万円未満
- 2 ☐ 300-600万円未満
- 3 ☐ 600-900万円未満
- 4 ☐ 900-1200万円未満
- 5 ☐ 1200-1500万円未満
- 6 ☐ 1500万円以上

次へ

F9

あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。
この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。
回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

郵便番号はこちら<<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>>から検索して入力してください。

 -

次へ

Q1

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きたり、読んだり、利用したりしますか。

それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

 回答方向		ほぼ 毎日 のよう に	週 に 3 〜 4 日 程 度	週 に 1 〜 2 日 程 度	月 に 1 〜 2 日 程 度	左 記 未 満	見 聞 き し な い / 読 ま な い / 利 用 し な い
1	新聞(印刷版)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
2	新聞(電子版)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
3	テレビ	6○	5○	4○	3○	2○	1○
4	ラジオ	6○	5○	4○	3○	2○	1○
5	インターネット(新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
6	SNS(FacebookやTwitter、LINEなど)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
7	電子メール(ウェブメールを含む)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
8	一般向け書籍(電子版を含む)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
9	週刊誌や情報誌など雑誌(電子版を含む)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
10	専門書籍や論文雑誌(電子版を含む)	6○	5○	4○	3○	2○	1○

Q2

次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。
それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が な い	関 心 が な い
1	科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	4○	3○	2○	1○
2	地球温暖化や気候変動対策	4○	3○	2○	1○
3	資源・エネルギー問題対策	4○	3○	2○	1○
4	食料・水資源問題対策	4○	3○	2○	1○
5	自然災害に対する防災・減災	4○	3○	2○	1○
6	少子高齢化社会対策	4○	3○	2○	1○
7	食の安全確保	4○	3○	2○	1○
8	教育	4○	3○	2○	1○
9	安全保障・テロ対策	4○	3○	2○	1○
10	予防措置や医療の提供など健康や医療	4○	3○	2○	1○

11	生活環境の保全	4○	3○	2○	1○
12	自然環境の保全	4○	3○	2○	1○
13	新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)	4○	3○	2○	1○
14	新しい科学的発見(観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など)	4○	3○	2○	1○
15	新しい医学的発見(新たな疾病や治療薬などに関する発見など)	4○	3○	2○	1○
16	宇宙探査・開発	4○	3○	2○	1○
17	海洋探査・開発	4○	3○	2○	1○
18	原子力開発	4○	3○	2○	1○
19	情報通信技術(インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術)	4○	3○	2○	1○
20	数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)	4○	3○	2○	1○
 回答方向		関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が な い	関 心 が な い

次へ

Q3

発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。
この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつかあげてください。(いくつでも)

- 1 ☐ 未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見
- 2 ☐ 宇宙、海洋の開拓に関する分野
- 3 ☐ 地球環境の保全に関する分野
- 4 ☐ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野
- 5 ☐ 医療分野など生命に関する科学技術
- 6 ☐ 食料(農林水産物)分野
- 7 ☐ 家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野
- 8 ☐ 製造技術などの産業の基盤を支える分野
- 9 ☐ 地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野
- 10 ☐ 発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野
- 11 ☐ 情報・通信分野
- 12 ☐ 防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野
- 13 ☐ その他
- 14 ☐ 特にない
- 15 ☐ わからない

次へ

Q4

科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。
ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。
(いくつでも)

- 1 ☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪
- 2 ☐ 遺伝子組換え食品の安全性
- 3 ☐ 原子力発電の安全性
- 4 ☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること
- 5 ☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題
- 6 ☐ 身近に自然を感じる事が少なくなる事
- 7 ☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること
- 8 ☐ 人間的なふれあいが減少すること
- 9 ☐ クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題
- 10 ☐ 人間が怠惰になること
- 11 ☐ 科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなる事
- 12 ☐ 人工知能(AI)などの発達により、人間の仕事が奪われること
- 13 ☐ 新たな医療技術などが普及しても、一部のしか恩恵を受けられないこと
- 14 ☐ その他
- 15 ☐ 特に不安を感じない
- 16 ☐ わからない

次へ

Q5

科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- 1 ☐ 関心がない
- 2 ☐ どちらかというと関心がない
- 3 ☐ どちらかというと関心がある
- 4 ☐ 関心がある

次へ

Q6

あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- 1 ☐ わからない
- 2 ☐ 信頼できない
- 3 ☐ どちらかというと信頼できない
- 4 ☐ どちらかというと信頼できる
- 5 ☐ 信頼できる

次へ

Q7

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- 1 ☐ マイナス面が多い
- 2 ☐ どちらかというともマイナス面が多い
- 3 ☐ 両方同じくらいである
- 4 ☐ どちらかというともプラス面が多い
- 5 ☐ プラス面が多い

次へ

Q8

科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。
あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

 回答方向		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思うわない	そう思わない
1	科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい。	5○	4○	3○	2○	1○
2	科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	5○	4○	3○	2○	1○
3	日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	5○	4○	3○	2○	1○
4	たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	5○	4○	3○	2○	1○
5	博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	5○	4○	3○	2○	1○
6	企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	5○	4○	3○	2○	1○
7	少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	5○	4○	3○	2○	1○
8	科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	5○	4○	3○	2○	1○
9	科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	5○	4○	3○	2○	1○
10	科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	5○	4○	3○	2○	1○
11	社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	5○	4○	3○	2○	1○
12	科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	5○	4○	3○	2○	1○

13	資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	5○	4○	3○	2○	1○
14	科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	5○	4○	3○	2○	1○
15	未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	5○	4○	3○	2○	1○
16	科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	5○	4○	3○	2○	1○
17	科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	5○	4○	3○	2○	1○
18	科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	5○	4○	3○	2○	1○
19	科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐくみ表現力を高める文化につながる	5○	4○	3○	2○	1○
20	現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	5○	4○	3○	2○	1○
21	10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	5○	4○	3○	2○	1○
22	学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	5○	4○	3○	2○	1○
23	科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	5○	4○	3○	2○	1○
24	人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	5○	4○	3○	2○	1○
 回答方向		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	そう思わない

次へ

Q9

あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。

あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

 回答方向		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない
		1	家計と資産	6○	5○	4○	3○
2	雇用環境と賃金	6○	5○	4○	3○	2○	1○
3	住宅	6○	5○	4○	3○	2○	1○
4	仕事と生活(ワークライフバランス)	6○	5○	4○	3○	2○	1○
5	健康状態	6○	5○	4○	3○	2○	1○
6	あなたご自身の教育水準・教育環境	6○	5○	4○	3○	2○	1○
7	交友関係やコミュニティなど社会とのつながり	6○	5○	4○	3○	2○	1○
8	生活を取り巻く空気や水などの自然環境	6○	5○	4○	3○	2○	1○
9	身の周りの安全	6○	5○	4○	3○	2○	1○
10	子育てのしやすさ	6○	5○	4○	3○	2○	1○
11	介護のしやすさ・されやすさ	6○	5○	4○	3○	2○	1○

Q10

あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。
 あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

 回答方向		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
1	多様性	6○	5○	4○	3○	2○	1○
2	公平・公正	6○	5○	4○	3○	2○	1○
3	社会正義	6○	5○	4○	3○	2○	1○
4	マイノリティの包摂	6○	5○	4○	3○	2○	1○
5	ジェンダー平等	6○	5○	4○	3○	2○	1○
6	経済成長	6○	5○	4○	3○	2○	1○
7	格差是正	6○	5○	4○	3○	2○	1○
8	日本の伝統技術	6○	5○	4○	3○	2○	1○
9	脱炭素	6○	5○	4○	3○	2○	1○
10	政治・行政・裁判所への信頼性	6○	5○	4○	3○	2○	1○
11	生活の楽しさ・面白さ	6○	5○	4○	3○	2○	1○

Q11

現在、あなたはどの程度幸せですか。
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

--- ▼

次へ

Q12

現在のあなたの健康状態はいかがですか。
「とても良い」を10点、「良くない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

--- ▼

次へ

Q13

人生満足度について、それぞれ、もっともあてはまるものを1つ選択してください。
(それぞれひとつずつ)

 回答方向		全くあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる	非常にあてはまる
1	私は自分の人生に満足している	1○	2○	3○	4○	5○	6○	7○
2	私の暮らし向き(生活状態)は素晴らしいものである	1○	2○	3○	4○	5○	6○	7○
3	大体において、私の人生は理想に近いものである	1○	2○	3○	4○	5○	6○	7○
4	もう一度人生をやり直すとしても、私には変えたいと思うところはほとんどない	1○	2○	3○	4○	5○	6○	7○
5	これまで私は望んだものは手に入れてきた	1○	2○	3○	4○	5○	6○	7○

次へ

Q14

人生の意義、あるいは社会的つながりについて過去30日間での、あなたの経験について教えてください。

それぞれ、もっともあてはまるものを1つ選択してください。(それぞれひとつずつ)

 回答方向		一度もない	一度か二度	およそ週に1回	週に2〜3回	週に4〜5回	毎日
1	社会に貢献できる要素があると感じた	1○	2○	3○	4○	5○	6○
2	自分はコミュニティや集団の一部だと感じた	1○	2○	3○	4○	5○	6○
3	他者との温かく信頼できる関係があると感じた	1○	2○	3○	4○	5○	6○
4	自分が成長し、よりよい人になることを促すような経験があった	1○	2○	3○	4○	5○	6○
5	自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり、話したりした	1○	2○	3○	4○	5○	6○
6	自分の人生には方向性や意味があると感じた	1○	2○	3○	4○	5○	6○

次へ

Q15

協調的幸福感について、それぞれ、もっともあてはまるものを1つ選択してください。
(それぞれひとつずつ)

 回答方向		全くあてはまらない	ややあてはまらない	どちらでもない	ややあてはまる	非常にあてはまる
		1○	2○	3○	4○	5○
1	自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	1○	2○	3○	4○	5○
2	周りの人に認められていると感じる	1○	2○	3○	4○	5○
3	周りの人たちと同じくらい幸せだと思う	1○	2○	3○	4○	5○
4	周りの人並みの生活は手に入れている自信がある	1○	2○	3○	4○	5○
5	周りの人たちと同じくらい、それなりにうまくいっている	1○	2○	3○	4○	5○
6	大切な人を幸せにしていると思う	1○	2○	3○	4○	5○
7	大きな悩み事はない	1○	2○	3○	4○	5○
8	人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている	1○	2○	3○	4○	5○

Q16

畏怖畏敬体験について、それぞれ、もっともあてはまるものを1つ選択してください。
(それぞれひとつずつ)

 回答方向		全くあてはまらない	ややあてはまらない	どちらでもない	ややあてはまる	非常にあてはまる
1	周囲に科学的真実を見いだすことができる	1○	2○	3○	4○	5○
2	私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている	1○	2○	3○	4○	5○

送信

(インターネット調査質問票その2)

Q1

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きしたり、読んだり、利用したりしますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		ほぼ毎日 のように	週に3～4 日程度	週に1～2 日程度	月に1～2 日程度	左記未 満	見聞きし ない／読 まない／ 利用しな い
新聞（印刷版）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
新聞（電子版）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
テレビ	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ラジオ	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
インターネット（新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
SNS（FacebookやTwitter、LINEなど）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
電子メール（ウェブメールを含む）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
一般向け書籍（電子版を含む）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
週刊誌や情報誌など雑誌（電子版を含む）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
専門書籍や論文雑誌（電子版を含む）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q2

次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない
科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	→	☐	☐	☐	☐
地球温暖化や気候変動対策	→	☐	☐	☐	☐
資源・エネルギー問題対策	→	☐	☐	☐	☐
食料・水資源問題対策	→	☐	☐	☐	☐
自然災害に対する防災・減災	→	☐	☐	☐	☐
少子高齢化社会対策	→	☐	☐	☐	☐
食の安全確保	→	☐	☐	☐	☐
教育	→	☐	☐	☐	☐
安全保障・テロ対策	→	☐	☐	☐	☐
予防措置や医療の提供など健康や医療	→	☐	☐	☐	☐

生活環境の保全	→	○	○	○	○
自然環境の保全	→	○	○	○	○
新しい技術や発明の利用（既存の知識を用いた新製品の開発など）	→	○	○	○	○
新しい科学的発見（観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など）	→	○	○	○	○
新しい医学的発見（新たな疾病や治療薬などに関する発見など）	→	○	○	○	○
宇宙探査・開発	→	○	○	○	○
海洋探査・開発	→	○	○	○	○
原子力開発	→	○	○	○	○
情報通信技術（インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術）	→	○	○	○	○
数理科学（最近の数学の成果を応用した技術開発など）	→	○	○	○	○

Q3

発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつでもあげてください。

いくつでも

必須

☐

未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見

☐

宇宙、海洋の開拓に関する分野

☐

地球環境の保全に関する分野

☐

資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野

☐

医療分野など生命に関する科学技術

☐

食料（農林水産物）分野

☐

家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野

☐

製造技術などの産業の基盤を支える分野

☐

地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野

☐

発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野

☐

情報・通信分野

☐

防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野

☐ その他

入力してください

☐ 特になし

☐ わからない

Q4

科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつでもお選びください。

いくつでも

必須

☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪

☐ 遺伝子組換え食品の安全性

☐ 原子力発電の安全性

☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること

☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題

☐ 身近に自然を感じる事が少なくなる事

☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること

☐ 人間的なふれあいが減少すること

☐	クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題
☐	人間が怠惰になること
☐	科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなること
☐	人工知能（AI）などの発達により、人間の仕事が奪われること
☐	新たな医療技術などが普及しても、一部の人しか恩恵を受けられないこと
☐	その他
	入力してください
☐	特に不安を感じない
☐	わからない

Q5

科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ	必須
-------	----

☐	関心がある
☐	どちらかというと関心がある
☐	どちらかというと関心がない
☐	関心がない

Q6

あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 信頼できる

☐ どちらかという信頼できる

☐ どちらかという信頼できない

☐ 信頼できない

☐ わからない

Q7

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ プラス面が多い

☐ どちらかというとプラス面が多い

☐ 両方同じくらいである

☐ どちらかというとマイナス面が多い

☐ マイナス面が多い

Q8

科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

	そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない
科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい	→	☐	☐	☐	☐

科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	→	○	○	○	○	○
日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	→	○	○	○	○	○
たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	→	○	○	○	○	○
博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	→	○	○	○	○	○
企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	→	○	○	○	○	○
少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	→	○	○	○	○	○
科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	→	○	○	○	○	○
科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	→	○	○	○	○	○
科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	→	○	○	○	○	○
社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	→	○	○	○	○	○
科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	→	○	○	○	○	○
資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	→	○	○	○	○	○
科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	→	○	○	○	○	○
未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	→	○	○	○	○	○
科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	→	○	○	○	○	○
科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	→	○	○	○	○	○
科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	→	○	○	○	○	○
科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐくみ表現力を高める文化につながる	→	○	○	○	○	○
現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	→	○	○	○	○	○
10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	→	○	○	○	○	○
学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	→	○	○	○	○	○
科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	→	○	○	○	○	○
人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	→	○	○	○	○	○

Q9

あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない	わからない
家計と資産	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
雇用環境と賃金	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
住宅	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
仕事と生活（ワークライフバランス）	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
健康状態	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
あなたご自身の教育水準・教育環境	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
交友関係やコミュニティなど社会とのつながり	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
生活を取り巻く空気や水などの自然環境	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
身の周りの安全	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
子育てのしやすさ	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
介護のしやすさ・されやすさ	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q10

あなたは、科学技術の進歩が次の増進に繋がっていると思いますか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない	わからない
多様性	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
公平・公正	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
社会正義	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
マイノリティの包摂	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ジェンダー平等	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
経済成長	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
格差是正	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
日本の伝統技術	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
脱炭素	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
政治・行政・裁判所への信頼性	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
生活の楽しさ・面白さ	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q11

現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

ひとつだけ

必須

選択してください



Q12

現在のあなたの健康状態はいかがですか。「とても良い」を10点、「良くない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

ひとつだけ

必須

選択してください



Q13

人生満足度について、それぞれ、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

それぞれひとつだけ

必須

		全くあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる	非常にあてはまる
私は自分の人生に満足している	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私の暮らし向き(生活状態)は素晴らしいものである	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
大体において、私の人生は理想に近いものである	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もう一度人生をやり直すとしても、私には変えたいと思うところはほとんどない	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
これまで私は望んだものは手に入ってきた	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q14

人生の意義、あるいは社会的つながりについて過去30日間での、あなたの経験について教えてください。それぞれ、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください

それぞれひとつだけ

必須

		一度もない	一度か二度	およそ週に1回	週に2~3回	週に4~5回	毎日
社会に貢献できる要素があると感じた	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分はコミュニティや集団の一部だと感じた	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
他者との温かく信頼できる関係があると感じた	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分が成長し、よりよい人になることを促すような経験があった	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり、話したりした	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分の人生には方向性や意味があると感じた	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q15

協調的幸福感について、それぞれ、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください

それぞれひとつだけ

必須

		全くあてはまらない	ややあてはまらない	どちらでもない	ややあてはまる	非常にあてはまる
自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	→	☐	☐	☐	☐	☐
周りの人に認められていると感じる	→	☐	☐	☐	☐	☐
周りの人たちと同じくらい幸せだと思う	→	☐	☐	☐	☐	☐
周りの人並みの生活は手に入れている自信がある	→	☐	☐	☐	☐	☐
周りの人たちと同じくらい、それなりにうまくいっている	→	☐	☐	☐	☐	☐
大切な人を幸せにしていると思う	→	☐	☐	☐	☐	☐
大きな悩み事はない	→	☐	☐	☐	☐	☐
人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている	→	☐	☐	☐	☐	☐

Q16

畏怖畏敬体験について、それぞれ、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください

それぞれひとつだけ

必須

		全くあてはまらない	ややあてはまらない	どちらでもない	ややあてはまる	非常にあてはまる
周囲に科学的真実を見いだすことができる	→	☐	☐	☐	☐	☐
私は自分の世界に対する理解を揺るがす体験を求めている	→	☐	☐	☐	☐	☐

F1

あなたの性別をお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 男性

☐ 女性

F2

あなたのお年は満でいくつですか。

必須

歳

F3

あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

ひとつだけ

必須

選択してください



F4

あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）は、次のどれに当てはまりますか。なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 1. 中学校	
☐ 2. 高等学校、または専修学校高等課程	
☐ 3. 高等専門学校	
☐ 4. 短期大学	
☐ 5. 専門学校、または専修学校専門課程	
☐ 6. 大学	
☐ 7. 専門職学位	
☐ 8. 大学院修士課程	
☐ 9. 大学院博士課程	
☐ 10. その他	
入力してください	

F5

あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。なお、F4で「1. 中学校」又は「2. 高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「5. 該当しない」をお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 1. 人文・社会科学系（政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など）

☐ 2. 自然科学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など）

☐ 3. スポーツ・文化芸術系（体育、音楽、美術、造形、デザインなど）

☐ 4. その他

入力してください

☐ 5. 該当しない

F6

あなたの現在の職業（学生等を含む）は、次のどの分類に当てはまりますか。

職種の分類	分類における注意事項又は具体的な職種の事例
(1)農林漁業	農林漁業従事による収入を生計の主としている者
(2)自営の商工サービス業	家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者
(3)自由業	俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者
(4)管理的職業	管理職の公務員（議会議員を含む）、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者
(5)科学技術的職業	科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健婦（士）、栄養士、教員（大学等の教員）、その他の科学技術的職業に従事する者
(6)その他専門的・技術的職業	保育士、弁護士、会計士、教員（小・中・高の教員）、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者
(7)事務的職業	総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者
(8)労務的職業	生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者
(9)販売的職業	百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲売人、その他の販売的職業に従事する者
(10)サービスの職業	家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者
(11)保安的職業	自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者
(12)家事	主婦、主として家事を務めている夫等
(13)学生	学業を主としている者（アルバイト等による収入のある学生を含む）
(14)無職	就職の希望を有している者
(15)無職（退職等）	定年退職等により、就職の希望を有していない者
(16)その他	上記に該当しない者

ひとつだけ

必須

☐ (1) 農林漁業

☐ (2) 自営の商工サービス業

☐ (3) 自由業

☐ (4) 管理的職業
☐ (5) 科学技術的職業
☐ (6) その他専門的・技術的職業
☐ (7) 事務的職業
☐ (8) 労務的職業
☐ (9) 販売的職業
☐ (10) サービス的職業
☐ (11) 保安的職業
☐ (12) 家事
☐ (13) 学生
☐ (14) 無職
☐ (15) 無職（退職等）
☐ (16) その他

F7

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。

いくつでも

必須

☐ 同居している小学生未満の子どもがいる

☐ 同居している小学生の子どもがいる

☐ 同居している中学生の子どもがいる

☐ 同居している高校生（専修学校高等課程を含む）の子どもがいる

☐ 同居している大学生（高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む）の子どもがいる

☐ 同居している大学院生の子どもがいる

☐ 同居している社会人の子どもがいる

☐ 上記以外の同居している子どもがいる

☐ 同居している子どもはいない

☐ 子どもはいない

F8

あなたの現在の税込世帯年収はいくらですか。次のうち、当てはまるものをお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 300万円以下
☐ 300-600万円
☐ 600-900万円
☐ 900-1200万円
☐ 1200-1500万円
☐ 1500万円以上

F9

あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

必須

郵便番号 左 (3桁)	
郵便番号 右 (4桁)	

DISCUSSION PAPER No.224

科学技術に関する国民意識調査－科学技術とウェルビーイングとの関係－

2023 年 8 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ
細坪護拳、加納圭、渡邊英一郎

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階
TEL: 03-3581-2395

Public Attitudes to Science and Technology
- The relationship between science and technology and well-being -

August 2023

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei, WATANABE Eiichiro
1st Policy-Oriented Research Group
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan

<http://doi.org/10.15108/dp224>



<https://www.nistep.go.jp>